取扱説明書
詳細版

KYL21

DIGNO S

4G LTE

ごあいさつ

このたびは、「DIGNO S」(以下、「本製品」と表記します)をお買い上げいただき、誠にありがとうございました。
ご使用の前に本製品に付属する『設定ガイド』『取扱説明書』または本書をお読みいただき、正しくお使いください。

操作説明について

■『設定ガイド』/『取扱説明書』

主な機能の主な操作のみ説明しています。
さまざまな機能のより詳しい説明については、本体内で利用できる『取扱説明書』アプリケーションやauホームページより『取扱説明書詳細版』(本書)をご参照ください。
http://www.au.kddi.com/torisetsu/index.html

- 本書に記載している会社名、製品名は、各社の商標または登録商標です。

■『取扱説明書』アプリケーション

本製品では、本体内で詳しい操作方法を確認できる『取扱説明書』アプリケーションをご利用できます。
また、機能によっては説明画面からその機能を起動することができます。

ホームスクリーン→[▦]→[取扱説明書 DIGNO S]

- 初めてご利用になる場合は、画面の指示に従ってアプリケーションをダウンロードして、インストールする必要があります。

■For Those Requiring an English Instruction Manual
英語版の『取扱説明書』が必要な方へ

You can download the English version of the Basic Manual from the au website (available from approximately one month after the product is released).
『取扱説明書(英語版)』をauホームページに掲載しています(発売約1ヶ月後から)。
Download URL:
http://www.au.kddi.com/torisetsu/index.html

安全上のご注意

本製品をご利用になる前に、本書の「安全上のご注意」をお読みのうえ、正しくご使用ください。
故障とお考えになる前に、以下のauホームページのauお客さまサポートで症状をご確認ください。
http://cs.kddi.com/support/komatta/kosho/index.html

本製品をご利用いただくにあたって

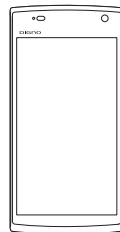
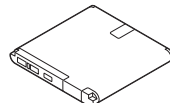
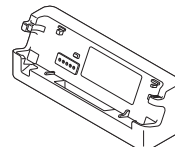
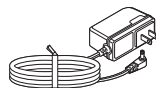
- サービスエリア内でも電波の届かない場所(トンネル・地下など)では通信できません。また、電波状態の悪い場所では通信できないこともあります。なお、通信中に電波状態の悪い場所へ移動すると、通信が途切れることがありますので、あらかじめご了承ください。
- 本製品は電波を使用しているため、第三者に通信を傍受される可能性がないとは言えませんので、ご留意ください。(ただし、LTE/CDMA/GSM/UMTS方式は通信上の高い秘話機能を備えております。)

- 本製品は国際ローミングサービス対応の携帯電話ですが、本書で説明しております各ネットワークサービスは、地域やサービス内容によって異なります。
- 本製品は電波法に基づく無線局ですので、電波法に基づく検査を受ける場合があり、その際にはお使いの本製品を一時的に検査のためご提供いただく場合がございます。
- 「携帯電話の保守」と「稼動状況の把握」のために、お客様が利用されている携帯電話のIMEI情報を自動的にKDDI(株)に送信いたします。
- 公共の場でご使用の際は、周りの方の迷惑にならないようご注意ください。
- お子様がお使いになるときは、保護者の方が『取扱説明書詳細版』(本書)をよくお読みになり、正しい使いかたをご指導ください。
- 海外でご利用される場合は、その国/地域の法規制などの条件をあらかじめご確認ください。

■ こんな場所では、使用禁止!

- 自動車・原動機付自転車・自転車運転中に携帯電話を使用しないでください。交通事故の原因となります。自動車・原動機付自転車運転中の携帯電話の使用は法律で禁止されています。また、自転車運転中の携帯電話の使用も法律などで罰せられる場合があります。
- 航空機内で本製品を使用しないでください。航空機内での電波を発する電子機器の使用は法律で禁止されています。ただし、一部の航空会社ではご利用いただける場合もございます。詳細はご搭乗される航空会社にお問い合わせください。

同梱品一覧

ご使用いただく前に、下記の同梱物がすべてそろっていることをご確認ください。

- 取扱説明書
- 設定ガイド
- 本体保証書
- 急速充電対応卓上ホルダ保証書
- 卓上ホルダ専用ACアダプタ保証書
- ご使用上の注意

以下のものは同梱されていません。

・microUSBケーブル　・イヤホン

目次

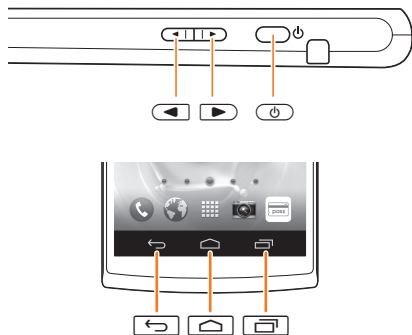
##

付録/索引 215

安全上のご注意

本書の表記方法について

■掲載されているキー表示について

本書では、キーの図を次のように簡略化しています。

■項目／アイコン／キーなどを選択する操作の表記方法について

本書では、操作手順を以下のように表記しています。
タップとは、ディスプレイに表示されているキーやアイコンを指で軽く叩いて選択する動作です（▶P.44）。

表記例	意味
ホームスクリーン→[（電話）]→[1][4][1]→[発信]	ホームスクリーン下部の「」をタップします。続けて「1」「4」「1」の順にタップして、最後に「」をタップします。
スリープモード中に	スリープモード中にを押します。

■掲載されているイラスト・画面表示について

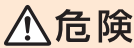
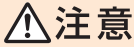
本書に記載されているイラスト・画面は、実際の製品・画面とは異なる場合があります。
また、画面の一部などを省略している場合がありますので、あらかじめご了承ください。

memo

◎本書では縦表示からの操作を基準に説明しています。横表示では、メニューの項目／アイコン／画面上のキーなどが異なる場合があります。
◎本書に記載されているメニューの項目や階層、アイコンはご利用になる機能や条件などにより異なる場合があります。
◎本書では「microSD™メモリカード」および「microSDHC™メモリカード」、「microSDXC™メモリカード」の名称を、「microSDメモリカード」もしくは「microSD」と省略しています。

免責事項について

◎ 地震・雷・風水害などの天災および当社の責任以外の火災、第三者による行為、その他の事故、お客様の故意または過失・誤用・その他異常な条件下での使用により生じた損害に関して、当社は一切責任を負いません。
◎ 本製品の使用または使用不能から生ずる付随的な損害(記録内容の変化・消失、事業利益の損失、事業の中断など)に関して、当社は一切責任を負いません。
◎ 本書の記載内容を守らないことにより生じた損害に関して、当社は一切責任を負いません。
◎ 当社が関与しない接続機器、ソフトウェアとの組み合わせによる誤動作などから生じた損害に関して、当社は一切責任を負いません。
◎ 本製品の故障・修理・その他取り扱いによって、撮影した画像データやダウンロードされたデータなどが変化または消失することがありますが、これらのデータの修復により生じた損害・逸失利益に関して、当社は一切責任を負いません。
◎ 大切なデータはコンピュータのハードディスクなどに保存しておくことをおすすめします。万一、登録された情報内容が変化・消失してしまうことがあっても、故障や障害の原因にかかわらず当社としては責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。

※ 本書で表す「当社」とは、以下の企業を指します。
発売元:KDDI(株)・沖縄セルラー電話(株)
製造元:京セラ株式会社

■ お知らせ

- 本書の内容の一部、または全部を無断転載することは、禁止されています。
- 本書の内容に関して、将来予告なしに変更することがあります。
- 本書の内容については万全を期しておりますが、万一、ご不審な点や記載漏れなどお気付きの点がありましたらご連絡ください。
- 乱丁、落丁はお取り替えいたします。

安全上のご注意(必ずお守りください)

■ ご使用の前に、この「安全上のご注意」をよくお読みのうえ、正しくお使いください。また、お読みになった後は大切に保管してください。

● この「安全上のご注意」には本製品を使用するお客様や他の人々への危害や財産への損害を未然に防止するために、守っていただきたい事項を記載しています。
● 各事項は以下の区分に分けて記載しています。

■ 表示の説明

⚠危険	この表示は「人が死亡または重傷(※1)を負う危険が差し迫って生じることが想定される内容」を示しています。
	この表示は「人が死亡または重傷(※1)を負うことが想定される内容」を示しています。
	この表示は「人が傷害(※2)を負うことが想定される内容や物的損害(※3)の発生が想定される内容」を示しています。

※1重傷：失明・けが・やけど(高温・低温)・感電・骨折・中毒などで後遺症が残るもの、および治療に入院や長期の通院を要するものを指します。
※2傷害：治療に入院や長期の通院を要さない、けが・やけど(高温・低温)・感電などを指します。
※3物的損害：家屋・家財および家畜・ペットにかかわる拡大損害を指します。

■ 図記号の説明

	禁止(してはいけないこと)を示す記号です。		水がかかる場所で使用したり、水に濡らしたりしてはいけないことを示す記号です。
	濡れた手で扱ってはいけないことを示す記号です。		必ず実行していただくこと(強制)を示す記号です。

	分解してはいけないことを示す記号です。
	電源プラグをコンセントから抜いていただく(強制)内容を示しています。

■本体、電池パック、充電用機器、au Micro IC Card (LTE)、周辺機器共通

⚠危険　必ず下記の危険事項をお読みになってからご使用ください。

 必ず指定の周辺機器をご使用ください。専用の周辺機器以外を使用した場合、発熱・発火・破裂・故障・漏液の原因となります。

 高温になる場所(火のそば、暖房器具のそば、こたつの中、直射日光の当たる場所、炎天下の車内など)で使用、保管、放置しないでください。発火・破裂・故障・火災・傷害の原因となります。

 ガソリンスタンドなど、引火性ガスが発生する場所に立ち入る場合は、必ず事前に本製品の電源をお切りください。また、充電もしないでください。ガスに引火するおそれがあります。また、ガソリンスタンド構内などでNFC／おサイフケータイ®の決済機能をご利用になる際は、必ず事前に電源を切った状態でご使用ください。(NFC／おサイフケータイ®をロックされている場合は、ロックを解除したうえで電源をお切りください。)

 電子レンジなどの加熱調理機器や高圧容器に入れないでください。発火・破裂・故障・火災・傷害の原因となります。

 火の中に投入したり、加熱したりしないでください。発火・破裂・火災の原因となります。

 接続端子やイヤホンマイク端子をショートさせないでください。また、接続端子やイヤホンマイク端子に導電性異物(金属片・鉛筆の芯など)が触れたり、内部に入らないようにしてください。火災や故障の原因となります。

 金属製のアクセサリーなどをご使用になる場合は、充電の際に接続端子、イヤホンマイク端子、コンセントなどに触れないように十分ご注意ください。感電・発火・傷害・故障の原因となります。

 カメラのレンズに直射日光などを長時間当てないようにしてください。レンズの集光作用により、発火・破裂・火災の原因となります。

 お客様による分解や改造、修理をしないでください。故障・発火・感電・傷害の原因となります。万一、改造などにより本体や周辺機器などに不具合が生じても当社では一切の責任を負いかねます。本製品の改造は電波法違反になります。

⚠警告　必ず下記の警告事項をお読みになってからご使用ください。

 落下させる、投げつけるなどの強い衝撃を与えないでください。破裂・発熱・発火・故障の原因となります。

 屋外で雷鳴が聞こえたときは使用しないでください。落雷・感電のおそれがあります。

 接続端子に手や指など身体の一部が触れないようにしてください。感電・傷害・故障の原因となる場合があります。

 本製品が落下などによって破損し、ディスプレイが割れたり、機器内部が露出した場合、割れたディスプレイや露出部に手を触れないでください。感電したり、破損部でけがをする場合があります。auショップまたは安心ケータイサポートセンターまでご連絡ください。

 本製品は防水性能を有する機種ですが、万一、水などの液体が外部接続端子カバー、イヤホンマイク端子、電池フタなどから本体などに入った場合には、ご使用をやめてください。そのまま使用すると、発熱・発火・故障の原因となります。

 電池フタを取り外す際、必要以上に力を入れないでください。電池パックが飛び出すなどして、けがや故障の原因となる場合があります。

 自動車や原動機付自転車、自転車などの運転中や歩きながらの操作はしないでください。安全性を損ない、事故の原因となります。

 所定の充電時間を超えても充電が完了しない場合は、充電をおやめください。漏液・発熱・破裂・発火の原因となります。

 乳幼児の手が届く場所には置かないでください。小さな部品などの誤飲で窒息したり、誤って落下させたりするなど、事故や傷害の原因となる場合があります。

⚠注意　必ず下記の注意事項をお読みになってからご使用ください。

- 直射日光の当たる場所(自動車内など)や高温になる場所、極端に低温になる場所、湿気やほこりの多い場所に保管しないでください。発熱・発火・変形や故障の原因となる場合があります。

- ぐらついた台の上や傾いた場所など、不安定な場所に置かないでください。落下してけがや破損の原因となります。バイブレータ設定中は特にご注意ください。また、衝撃などにも十分ご注意ください。
- 使用中や充電中に、布団などで覆ったり、包んだりしないでください。火災、故障、傷害の原因となります。
- 外部から電源が供給されている状態の本体、指定の充電用機器に長時間触れないでください。低温やけどの原因となる場合があります。
- 本製品を長時間ご使用になる場合、特に高温環境では熱くなることがありますので、ご注意ください。長時間肌に触れたまま使用していると、低温やけどの原因となる場合があります。
- コンセントや配線器具は定格を超えて使用しないでください。たこ足配線などで定格を超えると、発熱による火災の原因となります。
- 電池フタを外したまま使用しないでください。
- 腐食性の薬品のそばや腐食性ガスの発生する場所に置かないでください。故障・内部データの消失の原因となります。
- 本体から電池フタを外したまま、放置・保管しないでください。内部にほこりなどの異物が入ると故障の原因となります。
- 使用中に煙が出たり、異臭や異音がする、過剰に発熱しているなどの異常が起きたときは使用をやめてください。充電中であれば、指定の充電用機器をコンセントまたはソケットから抜き、熱くないことを確認してから電源を切り、電池パックを外して、auショップまたは安心ケータイサポートセンターまでご連絡ください。また、落下したり、破損した場合なども、そのまま使用せず、auショップまたは安心ケータイサポートセンターまでご連絡ください。

- イヤホンなどを本製品に挿入して使用する場合は、適度な音量に調節してください。音量が大きすぎたり、長時間連続して使用したりすると耳に悪い影響を与えるおそれがあります。また、音量を上げすぎると外部の音が聞こえにくくなり、踏切や横断歩道などで交通事故の原因となります。
- イヤホンなどを本製品に挿入し音量を調節する場合は、少しずつ音量を上げて調節してください。始めから音量を上げすぎると、突然大きな音が出て耳に悪い影響を与えるおそれがあります。
- 充電用機器や外部機器などをお使いになるときは、接続する端子に対してコネクタをまっすぐに抜き差ししてください。また、正しい方向で抜き差ししてください。破損・故障の原因となります。

■本体について

⚠警告　必ず下記の警告事項をお読みになってからご使用ください。

- 自動車・原動機付自転車・自転車運転中に携帯電話を使用しないでください。交通事故の原因となります。自動車・原動機付自転車運転中の携帯電話の使用は法律で禁止されています。また、自転車運転中の携帯電話の使用も法律などで罰せられる場合があります。
- 航空機内で本製品を使用しないでください。航空機内での電波を発する電子機器の使用は法律で禁止されています。ただし、一部の航空会社ではご利用いただける場合もございます。詳細はご搭乗される航空会社にお問い合わせください。
- 高精度な電子機器の近くでは、本製品の電源をお切りください。電子機器に影響を与える場合があります。(影響を与えるおそれがある機器の例:心臓ペースメーカー・補聴器・その他医用電気機器・火災報知機・自動ドアなど。医用電気機器をお使いの場合は機器メーカーまたは販売者に電波による影響についてご確認ください。)

植え込み型心臓ペースメーカーおよび植え込み型除細動器や医用電気機器の近くで本製品を使用する場合は、電波によりそれらの装置・機器に影響を与えるおそれがありますので、次のことをお守りください。

1. 植え込み型心臓ペースメーカーおよび植え込み型除細動器を装着されている方は、本製品を植え込み型心臓ペースメーカーおよび植え込み型除細動器から22cm以上離して携行および使用してください。
2. 満員電車の中など混雑した場所では、付近に植え込み型心臓ペースメーカーおよび植え込み型除細動器を装着している方がいる可能性がありますので、本製品の電源を切るよう心がけてください。
3. 医療機関の屋内では次のことに注意してご使用ください。
   - 手術室、集中治療室（ICU）、冠状動脈疾患監視病室（CCU）には本製品を持ち込まないでください。
   - 病棟内では、本製品の電源をお切りください。
   - ロビーなどであっても付近に医用電気機器がある場合は本製品の電源をお切りください。
   - 医療機関が個々に使用禁止、持ち込み禁止などの場所を定めている場合は、その医療機関の指示に従ってください。
4. 医療機関の外で、植え込み型心臓ペースメーカーおよび植え込み型除細動器以外の医用電気機器を使用される場合（自宅療養など）は、電波による影響について個別に医療用電気機器メーカーなどにご確認ください。

通話・メール・インターネット・撮影・ゲームなどをするときや、TV（ワンセグ）を視聴したり、音楽を聴くときなどは周囲の安全を確認してください。転倒・交通事故の原因となります。

赤外線ポートを目に向けて赤外線送信しないでください。目に影響を与える可能性があります。また、その他赤外線装置に向けて送信すると誤動作するなどの影響を与えることがあります。

撮影ライト／簡易ライトをご使用になる場合は、人の目の前で発光させないでください。また、撮影ライト／簡易ライト点灯時は発光部を直視しないようにしてください。視力低下などの障がいを引き起こす原因となります。特に乳幼児に対して至近距離で撮影しないでください。

自動車や原動機付自転車、自転車などの運転者に向けて撮影ライト／簡易ライトを点灯させないでください。目がくらんで運転不能になり、事故を起こす原因となります。

ごくまれに、点滅を繰り返す画面を見ていると、一時的に筋肉のけいれんや意識の喪失などの症状を起こす人がいます。こうした経験のある人は、事前に医師とご相談ください。

本製品のディスプレイ部には強化ガラスを使用していますが、万一、破損してしまった場合は破損部に触れないでください。破損部でけがをすることがあります。auショップもしくは安心ケータイサポートセンターまでご連絡ください。

⚠注意　**必ず下記の注意事項をお読みになってからご使用ください。**

自動車内で使用する場合、まれに車載電子機器に影響を与える場合があります。安全走行を損なうおそれがありますので、その場合は使用しないでください。

皮膚に異常を感じたときは直ちに使用を止め、皮膚科専門医へご相談ください。お客様の体質・体調によっては、かゆみ・かぶれ・湿疹などが生じる場合があります。
本製品で使用している各部品の材質は以下の通りです。

使用場所	使用材料	表面処理
外装ケース（ディスプレイ側）	PA樹脂	アクリル系UV硬化塗装（ホワイト・ピンク） ウレタン系熱硬化塗装（ブラック）
外装ケース（側面）	PC樹脂	アクリル系UV硬化塗装
ディスプレイ	化学強化ガラス	防汚処理
電池フタ	PC樹脂	アクリル系UV硬化塗装（ホワイト・ピンク） ウレタン系熱硬化塗装（ブラック）
外部接続端子カバー	PC樹脂	アクリル系UV硬化塗装
⏻キー	アルミニウム	アルマイト処理
◀▶キー	PC樹脂	アクリル系UV硬化塗装
カメラレンズ、赤外線ポート部	PMMA樹脂	ハードコート処理
モバイルライト部	PC樹脂	－
アンテナ先端	PC樹脂	アクリル系UV硬化塗装（ホワイト・ピンク） ウレタン系熱硬化塗装（ブラック）
アンテナシャフト	SUS	－

使用場所	使用材料	表面処理
充電端子	PPS樹脂(SUS周囲樹脂) SUS	- 金メッキ処理(下地Niメッキ)
イヤホンマイク端子	PA樹脂	-

キャッシュカード･フロッピーディスク･クレジットカード･テレホンカードなどの磁気を帯びたものを近づけたりしないでください。記録内容が消失される場合があります。

イヤホンマイク端子、microSDメモリカードスロットに液体、金属体、燃えやすいものなどの異物を入れないでください。火災･感電･故障の原因となります。

イヤホン(市販品)やストラップなどを持って、本製品を振りまわさないでください。けがなどの事故や破損の原因となります。

通常は外部接続端子カバーなどを閉めた状態で使用してください。カバーを閉めずに使用すると、ほこり･水などが入り故障の原因となります。

TV(ワンセグ)視聴時以外ではTVアンテナを収納してください。TVアンテナを引き出したままで通話などをすると顔などにあたり思わぬけがの原因となります。

心臓の弱い方は、着信バイブレータ(振動)や着信音量の設定に注意してください。心臓に悪影響を及ぼす原因となります。

砂浜などの上に直に置かないでください。送話口(マイク)、スピーカー部などに砂などが入り音が小さくなったり、本体内に砂などが混入すると発熱や故障の原因となります。

通話･通信中などの使用中は、本体が熱くなることがありますので、長時間直接肌に触れさせたり、紙･布･布団などをかぶせたりしないでください。火災･やけど･故障の原因となる場合があります。

■電池パックについて

(本製品の電池パックは、リチウムイオン電池です。)
電池パックはお買い上げ時には、十分充電されていません。充電してからお使いください。

⚠危険　必ず下記の危険事項をお読みになってからご使用ください。

電池パックのプラス(+)とマイナス(−)をショートさせないでください。

電池パックを本製品に接続するときは、正しい向きで接続してください。誤った向きに接続すると、破裂･火災･発熱の原因となります。また、うまく接続できないときは無理せず、接続部を十分に確認してから接続してください。

釘をさしたり、ハンマーで叩いたり、踏み付けたりしないでください。発火や破損の原因となります。

持ち運ぶ際や保管するときは、金属片(ネックレスやヘアピンなど)などと接続端子、イヤホンマイク端子が触れないようにしてください。ショートによる火災や故障の原因となる場合があります。

分解･改造をしたり、直接ハンダ付けをしたりしないでください。電池内部の液が飛び出し、目に入ったりして失明などの事故や発熱･発火･破裂の原因となります。

落としたり、踏み付けたり、破損や液漏れした電池パックを使用しないでください。液漏れや異臭がするときは直ちに火気から遠ざけてください。漏れた液に引火し、発火･破裂の原因となります。

電池パックを水や海水･ペットの尿などで濡らさないでください。電池パックが濡れると発熱･破裂･発火の原因となります。誤って水などに落としたときは、直ちに電源を切り、電池パックを外して、auショップもしくは安心ケータイサポートセンターまでご連絡ください。また、濡れた電池パックは充電をしないでください。

液漏れして皮膚や衣服に付着した場合は、傷害を起こすおそれがありますので直ちに水で洗い流してください。また、目に入った場合は失明のおそれがありますのでこすらずに水で洗ったあと直ちに医師の診断を受けてください。機器に付着した場合は、液に直接触れないで拭き取ってください。

電池パックは消耗品です。充電しても使用時間が極端に短いなど、機能が回復しない場合には寿命ですのでご使用をおやめになり、指定の新しい電池パックをお買い求めください。発熱･発火･破裂･漏液の原因となります。なお、寿命は使用状態などにより異なります。

ペットが電池パックに噛みつかないようご注意ください。電池パックの漏液･発熱･破裂･発火などの原因となります。

■充電用機器について

⚠警告　必ず下記の警告事項をお読みになってからご使用ください。

指定以外の電源電圧では使用しないでください。発火・火災・発熱・感電などの原因となります。
- 急速充電対応卓上ホルダ(KYL21PUA):DC5.0V
- 卓上ホルダ専用ACアダプタ(KYL21PQA):AC100V～240V
- 上記以外の海外で充電可能なACアダプタ(別売):AC100V～240V
- 共通DCアダプタ03(別売):DC12V・24V(マイナスアース車専用)

指定の充電用機器の電源プラグはコンセントまたはシガーライタソケットに根元まで確実に差し込んでください。差し込みが不完全だと、感電や発熱・発火による火災の原因となります。指定の充電用機器が傷んでいるときや、コンセントまたはシガーライタソケットの差し込み口がゆるいときは使用しないでください。

共通DCアダプタ03(別売)のヒューズが切れたときは、指定(定格250V、1A)のヒューズと交換してください。指定以外のヒューズと交換すると、発熱・発火の原因となります。(ヒューズの交換は、共通DCアダプタ03(別売)の取扱説明書をよくご確認ください。)

指定の充電用機器のケーブルを傷付けたり、加工したり、ねじったり、引っ張ったり、重いものを載せたりしないでください。また、傷んだケーブルは使用しないでください。感電・ショート・火災の原因となります。

接続端子、イヤホンマイク端子に手や指など身体の一部が触れないようにしてください。感電・傷害・故障の原因となる場合があります。

雷が鳴り出したら電源プラグに触れないようにしてください。落雷による感電などの原因となります。

お手入れをするときは、指定の充電用機器の電源プラグをコンセントまたはシガーライタソケットから抜いてください。抜かないでお手入れをすると、感電や回路のショートの原因となります。また、指定の充電用機器の電源プラグに付いたほこりは拭き取ってください。そのまま放置すると火災の原因となります。

電源プラグに付いたほこりは、拭き取ってください。火災、やけど、感電の原因となります。

車載機器などは、運転操作やエアーバッグなどの安全装置の妨げにならない位置に設置・配置してください。交通事故の原因となります。車載機器の取扱説明書に従って設置してください。

長時間使用しない場合は指定の充電用機器の電源プラグをコンセントから抜いておいてください。感電・火災・故障の原因となります。

水やペットの尿など液体が直接かからない場所でご使用ください。発熱・火災・感電・電子回路のショートによる故障の原因となります。万一、液体がかかってしまった場合には直ちに指定の充電用機器の電源プラグを抜いてください。

⚠注意　必ず下記の注意事項をお読みになってからご使用ください。

風呂場などの湿気の多い場所で使用したり、濡れた手で指定の充電用機器を抜き差ししないでください。感電や故障の原因となります。

充電は安定した場所で行ってください。傾いたところやぐらついた台などに置くと、落下してけがや破損の原因となります。特にバイブレータ設定中はご注意ください。また、布や布団をかぶせたり、包んだりしないでください。火災・故障の原因となります。

指定の充電用機器の電源プラグをコンセントまたはシガーライタソケットから抜くときは、電源プラグを持って抜いてください。コードを引っ張るとコードが損傷するおそれがあります。

共通DCアダプタ03(別売)は、車のエンジンを切ったまま使用しないでください。車のバッテリー消耗の原因となります。

本体から電池パックを外した状態で指定の充電用機器を差したまま放置しないでください。発火・感電の原因となります。

皮膚に異常を感じたときは直ちに使用を止め、皮膚科専門医へご相談ください。お客様の体質・体調によっては、かゆみ・かぶれ・湿疹などが生じる場合があります。
急速充電対応卓上ホルダ(KYL21PUA)、卓上ホルダ専用ACアダプタ(KYL21PQA)で使用している各部品の材質は以下の通りです。

■ 急速充電対応卓上ホルダ(KYL21PUA)

使用場所	使用材料	表面処理
外装ケース	ABS樹脂	-
レバー、ノブ	POM樹脂	-
充電端子	真鍮	金メッキ処理(下地Niメッキ)

■ 卓上ホルダ専用ACアダプタ(KYL21PQA)

使用場所	使用材料(金属部)	使用材料(樹脂部)
外装ケース	銅、亜鉛、ニッケル	PC樹脂
コード	-	TPE
コネクタ	鉄、銅、亜鉛、ニッケル、金	PBT

■ au Micro IC Card (LTE)について

必ず下記の警告事項をお読みになってからご使用ください。

電子レンジなどの加熱調理機器や高圧容器にau Micro IC Card (LTE)を入れないでください。溶損・発熱・発煙・データの消失・故障の原因となります。

必ず下記の注意事項をお読みになってからご使用ください。

au Micro IC Card (LTE)の取り付け・取り外しの際にご注意ください。手や指を傷付ける可能性があります。

au Micro IC Card (LTE)を使用する機器は、当社が指定したものをご使用ください。指定品以外のものを使用した場合はデータの消失や故障の原因となります。
指定品については、auショップもしくはお客さまセンターまでお問い合わせください。

au Micro IC Card (LTE)を分解、改造しないでください。データの消失・故障の原因となります。

au Micro IC Card (LTE)を火のそば、ストーブのそばなど、高温の場所で使用、放置しないでください。溶損・発熱・発煙・データの消失・故障の原因となります。

au Micro IC Card (LTE)を火の中に入れたり、加熱したりしないでください。溶損・発熱・発煙・データの消失・故障の原因となります。

au Micro IC Card (LTE)のIC(金属)部分を不用意に触れたり、ショートさせたりしないでください。データの消失・故障の原因となります。

au Micro IC Card (LTE)を落としたり、衝撃を与えたりしないでください。故障の原因となります。

au Micro IC Card (LTE)を折ったり、曲げたり、重い物を載せたりしないでください。故障の原因となります。

au Micro IC Card (LTE)を濡らさないでください。故障の原因となります。

au Micro IC Card (LTE)のIC(金属)部分を傷付けないでください。故障の原因となります。

au Micro IC Card (LTE)はほこりの多い場所には保管しないでください。故障の原因となります。

au Micro IC Card (LTE)保管の際には、直射日光が当たる場所や高温多湿な場所には置かないでください。故障の原因となります。

au Micro IC Card (LTE)は、乳幼児の手の届かない場所に保管してください。誤って飲み込むと、窒息や傷害などの原因となります。

取り扱い上のお願い

性能を十分に発揮できるようにお守りいただきたい事項です。よくお読みになって、正しくご使用ください。

■ 本体、電池パック、充電用機器、au Micro IC Card (LTE)、周辺機器共通

- 本製品に無理な力がかからないように使用してください。多くのものが詰まった荷物の中に入れたり、中で重い物の下になったりしないよう、ご注意ください。衣類のポケットに入れて座ったりするとディスプレイ、内部基板などの破損、故障の原因となります。
  また、外部機器を外部接続端子やイヤホンマイク端子に差した状態の場合、コネクタ破損、故障の原因となります。外部に損傷がなくても保証の対象外となります。
- 本製品の防水性能（IPX5、IPX7相当）を発揮するために、電池フタや外部接続端子カバーをしっかりと取り付けた状態でご使用ください。
  ただし、すべてのご使用状況について保証するものではありません。本製品内部に水を侵入させたり、電池パックや充電用機器、オプション品に水をかけたりしないでください。雨の中や水滴が付いたままでの電池フタの取り付け／取り外し、外部接続端子カバーの開閉は行わないでください。水が浸入して内部が腐食する原因となります。
  調査の結果、これらの水濡れの侵入による故障と判明した場合、保証対象外となります。
- 極端な高温・低温・多湿の場所では使用しないでください。
  （周囲温度5℃～35℃、湿度35%～85%の範囲内でご使用ください。）
  - 充電用機器
  - 周辺機器
- 極端な高温・低温・多湿の場所では使用しないでください。
  （周囲温度5℃～35℃、湿度35%～90%の範囲内でご使用ください。ただし、36℃～40℃であれば一時的な使用は可能です。）
  - 本製品本体
  - 電池パック・au Micro IC Card (LTE)（本製品本体装着状態）
- ほこりや振動の多い場所では使用しないでください。
- 接続端子、イヤホンマイク端子をときどき乾いた綿棒などで掃除してください。汚れていると接触不良の原因となる場合があります。また、このとき強い力を加えて接続端子、イヤホンマイク端子を変形させないでください。
- お手入れは乾いた柔らかい布（めがね拭きなど）で拭いてください。乾いた布などで強くこすると、ディスプレイに傷が付く場合があります。ディスプレイに水滴や汚れなどが付着したまま放置すると、シミになることがあります。またアルコール、シンナー、ベンジン、洗剤などで拭くと、外装の印刷が消えたり、色があせたりすることがあります。
- 一般電話・テレビ・ラジオをお使いになってる近くで使用すると影響を与える場合がありますので、なるべく離れてご使用ください。
- 充電中など、ご使用状況によっては本製品が温かくなることがありますが異常ではありません。
- お子様がお使いになるときは、保護者の方が『取扱説明書詳細版』（本書）をよくお読みになり、正しい使いかたをご指導ください。
- 電池パックは電源を切ってから取り外してください。電源を切らずに電池パックを取り外すと、保存されたデータが変化・消失するおそれがあります。
- 本体には、シールなどを貼り付けないでください。音が出なくなる場合や相手に音声が届かなくなることがあります。

■ 本体について

- 強く押す、叩くなど故意に強い衝撃をディスプレイに与えないでください。傷の発生や破損の原因となる場合があります。
- キーやディスプレイの表面に爪や鋭利な物、硬い物などを強く押し付けないでください。傷の発生や破損の原因となります。
  タッチパネルは指で軽く触れるように設計されています。指で強く押したり、先のとがったもの（爪／ボールペン／ピンなど）を押し付けたりしないでください。
  以下の場合はタッチパネルに触れても動作しないことがあります。また、誤動作の原因となりますのでご注意ください。
  ・ 手袋をしたままでの操作
  ・ 爪の先での操作
  ・ 異物を操作面に乗せたままでの操作
  ・ 保護シートやシールなどを貼っての操作
  ・ ディスプレイに水滴が付着または結露している状態での操作
  ・ 濡れた指または汗で湿った指での操作
  ・ 水中での操作
- 本製品はアンテナ部に印刷タイプのアンテナを用いています。爪や鋭利な物で引っかくとパターンは切断されて性能が出せなくなります。

- FeliCaアンテナを剥がしてしまうと接点部も剥離して使用できなくなります。FeliCaアンテナを剥がさないでください。また、爪や鋭利な物で引っかくとパターンは切断されて性能が出せなくなりますので、やめてください。
- 電池パックを外したところに貼ってあるIMEIの印刷されたシールは、お客様が使用されている本製品および通信モジュールが電波法および電気通信事業法に適合したものであることを証明するものですので、剥がさないでください。
- 改造されたau電話は絶対に使用しないでください。改造された機器を使用した場合は電波法に抵触します。
  本製品は電波法に基づく特定無線設備の技術基準適合証明などを受けており、その証として、「技適マーク」が本製品本体の銘板シールに表示されております。
  本製品本体のネジを外して内部の改造を行った場合、技術基準適合証明などが無効となります。技術基準適合証明などが無効となった状態で使用すると、電波法に抵触しますので、絶対に使用されないようにお願いいたします。
- 本製品は不正改造を防止するために容易に分解できない構造になっています。また、改造することは電波法で禁止されています。
- 本製品に登録された連絡先・メール・お気に入りなどの内容は、事故や故障・修理、その他取り扱いによって変化・消失する場合があります。大切な内容は必ず控えをお取りください。万一内容が変化・消失した場合の損害および逸失利益につきましては、当社では一切の責任は負いかねますので、あらかじめご了承ください。
- 本製品に保存されたコンテンツデータ(有料・無料を問わない)などは、故障修理などによる交換の際に引き継ぐことはできませんので、あらかじめご了承ください。
- 本製品はディスプレイに液晶を使用しております。低温時は表示応答速度が遅くなることもありますが、液晶の性質によるもので故障ではありません。常温になれば正常に戻ります。
- 本製品で使用しているディスプレイは、非常に高度な技術で作られていますが、一部に点灯しないドット(点)や常時点灯するドット(点)が存在する場合があります。これらは故障ではありませんので、あらかじめご了承ください。
- 公共の場でご使用の際は、周りの方の迷惑にならないようにご注意ください。
- 撮影などした写真／動画データや音楽データは、メール添付の利用などにより個別にパソコンに控えを取っておくことをおすすめします。ただし、著作権保護が設定されているデータなど、上記の手段でも控えが取れないものもありますので、あらかじめご了承ください。
- 磁気カードやスピーカー、テレビなど磁力を有する機器を本製品に近づけると故障の原因となる場合がありますのでご注意ください。
  強い磁気を近づけると誤動作の原因となります。
- イヤホンマイク端子は防水用イヤホンマイク端子を使用していますが水がたまった状態でプラグを挿入されると使用できない場合があります。イヤホンマイク端子に水が残らないように、振って水を出し、乾燥させてから使用してください。
- ポケットやカバンなどに収納するときは、ディスプレイが金属などの硬い部材に当たらないようにしてください。傷の発生や破損の原因となります。また金属などの硬い部材がディスプレイに触れるストラップは、傷の発生や破損の原因となる場合がありますのでご注意ください。
- 寒い場所から急に暖かい場所に移動させた場合や、湿度の高い場所、エアコンの吹き出し口の近くなど温度が急激に変化するような場所で使用された場合、本製品内部に水滴が付くことがあります(結露といいます)。このような条件下でのご使用は湿気による腐食や故障の原因となりますのでご注意ください。
- ディスプレイを拭くときは柔らかい布で乾拭きしてください。濡らした布やガラスクリーナーなどを使うと故障の原因となります。
- 外部接続端子やイヤホンマイク端子に外部機器を接続するときは、接続端子に対して外部機器のコネクタやプラグがまっすぐになるように抜き差ししてください。
- 外部接続端子やイヤホンマイク端子に外部機器を接続した状態で無理な力を加えると破損の原因となりますのでご注意ください。
- 通常のゴミと一緒に捨てないでください。環境保護と資源の有効利用をはかるため、不要となった本製品の回収にご協力ください。auショップなどで本製品の回収を行っております。
- 本製品のmicroSDメモリカードスロットには、microSDメモリカード以外のものは挿入しないでください。
- microSDメモリカードの取り付け・取り外しの際に、必要以上の力を入れないでください。手や指を傷付ける場合があります。
- microSDメモリカードのデータ書き込み中や読み出し中に、振動や衝撃を与えたり、電池パックを取り外したり、電源を切ったりしないでください。データの消失・故障の原因となります。
- 通話中、送話口(マイク)を指などで覆わないようにご注意ください。相手にこちらの声が聞こえにくくなります。

- ハンズフリー通話をご使用の際はスピーカーから大きな音が出る場合があります。耳から十分に離すなど、注意してご使用ください。
- 光センサーを指でふさいだり、光センサーの上にシールなどを貼ると、周囲の明暗に光センサーが反応できずに、正しく動作しない場合がありますのでご注意ください。
- 近接センサーの上にシールなどを貼ると、センサーが誤動作し着信中や通話中にディスプレイの表示が常に消え、操作が行えなくなる場合がありますのでご注意ください。

■ タッチパネルについて

- タッチ操作は指で行ってください。ボールペンや鉛筆など先が鋭いもので操作しないでください。正しく動作しないだけでなく、ディスプレイへの傷の発生や、破損の原因となる場合があります。
- ディスプレイにシールやシート類(市販の保護フィルムや覗き見防止シートなど)を貼らないでください。タッチパネルが正しく動作しない原因となる場合があります。
- 爪先でタッチ操作をしないでください。爪が割れたり、突き指などけがの原因となる場合があります。
- ディスプレイ表面が汚れていたり、汗や水で濡れていると、誤動作の原因となります。その場合は柔らかい布でディスプレイ表面を乾拭きしてください。
- ポケットやカバンなどに入れて持ち運ぶ際は、タッチパネルに金属などの伝導性物質が近づいた場合、タッチパネルが誤動作する場合がありますのでご注意ください。

■ 電池パックについて

- 夏期、閉めきった(自動車)車内に放置するなど、極端な高温や低温環境では電池パックの容量が低下し、ご利用できる時間が短くなります。また、電池パックの寿命も短くなります。できるだけ、常温でお使いください。
- 長時間使用しない場合は、本体から電池フタを外して電池パックを外し、高温多湿を避けて保管してください。
- 初めてお使いのときや、長時間ご使用にならなかったときは、ご使用前に充電してください。
- 電池パックには寿命があります。充電しても機能が回復しない場合は寿命ですので、指定の電池パックをご購入ください。なお、寿命は使用状態などによって異なります。
- 通常のゴミと一緒に捨てないでください。環境保護と資源の有効利用をはかるため、不要となった電池パックの回収にご協力ください。auショップなどで使用済み電池パックの回収を行っております。
- 電池パックは、ご使用条件により寿命が近づくにつれて膨れる場合があります。これはリチウムイオン電池の特性であり、安全上の問題はありません。

■ 充電用機器について

- ご使用にならないときは、指定の充電用機器の電源プラグをコンセントまたはシガーライタソケットから外してください。
- 指定の充電用機器の電源コードを電源プラグ･急速充電対応卓上ホルダ(KYL21PUA)に巻きつけないでください。感電、発熱、火災の原因となります。
- 充電用機器のプラグやコネクタと電源コードの接続部を無理に曲げたりしないでください。感電、発熱、火災の原因となります。
- 卓上ホルダ専用ACアダプタ(KYL21PQA)はAC100VからAC240Vまで対応しています。ACアダプタのプラグ形状はAC100V用(国内仕様)です。海外で使用する場合は、渡航先に適合した変換アダプタが必要です。なお、海外旅行用変圧器を使用した充電は行わないでください。

■ au Micro IC Card (LTE)について

- au Micro IC Card (LTE)は、auからお客様にお貸し出ししたものになります。紛失･破損の場合は、有償交換となりますのでご注意ください。なお、故障と思われる場合、盗難･紛失の場合は、auショップもしくはPiPitまでお問い合わせください。
- au Micro IC Card (LTE)の取り外し、および挿入時には、必要以上に力を入れないようにしてください。ご使用になるau電話への挿入には必要以上の負荷がかからないようにしてください。
- 他のICカードリーダー／ライターなどに、au Micro IC Card (LTE)を挿入して故障した場合は、お客様の責任となりますのでご注意ください。
- au Micro IC Card (LTE)のIC(金属)部分はいつもきれいな状態でご使用ください。お手入れは乾いた柔らかい布(めがね拭きなど)などで拭いてください。
- au Micro IC Card (LTE)にシールなどを貼らないでください。
- 変換アダプタを取り付けたau Micro IC Card (LTE)を挿入しないでください。故障の原因となります。

■ カメラ機能について

- カメラ機能をご使用の際は、一般的なモラルをお守りのうえご使用ください。
- 本製品の故障・修理・その他の取り扱いによって、撮影した画像データが変化または消失することがあり、この場合、当社は変化または消失したデータの修復や、データの変化または消失によって生じた損害、逸失利益について一切の責任を負いません。
- 大切な撮影(結婚式など)をするときは、試し撮りをし、画像を再生して正しく撮影されていることをご確認ください。
- 販売されている書籍や、撮影の許可されていない情報の記録には使用しないでください。
- カメラのレンズに直射日光が当たる状態で放置しないでください。素子の退色・焼付けを起こすことがあります。

■ 音楽／動画／TV(ワンセグ)機能について

- 自動車や原動機付自転車、自転車などの運転中は、音楽や動画およびTV(ワンセグ)を視聴しないでください。自動車・原動機付自転車運転中の携帯電話の使用は法律で禁止されています(自転車運転中の使用も法律などで罰せられる場合があります)。また、歩行中でも周囲の交通に十分ご注意ください。周囲の音が聞こえにくく、表示に気を取られ交通事故の原因となります。特に踏切、駅のホームや横断歩道ではご注意ください。
- 耳を刺激するような大きな音量で長時間続けて聴くと、聴力に悪い影響を与える場合がありますのでご注意ください。
- 電車の中など周囲に人がいる場合には、イヤホンなどからの音漏れにご注意ください。

■ 著作権・肖像権について

- お客様が本製品で撮影・録音したデータやインターネット上からダウンロードなどで取得したデータの全部または一部が、第三者の有する著作権で保護されている場合、個人で楽しむなどのほかは、著作権法により、権利者に無断で複製、頒布、公衆送信、改変などはできません。
  また、他人の肖像や氏名を無断で使用・改変などをすると肖像権の侵害となるおそれがありますので、そのようなご利用もお控えください。
  なお、実演や興行、展示物などでは、個人で楽しむなどの目的であっても、撮影・録音を制限している場合がありますのでご注意ください。
- 撮影したフォトなどをインターネットホームページなどで公開する場合は、著作権や肖像権に十分ご注意ください。

■ 本製品の記録内容の控え作成のお願い

- ご自分で本製品に登録された内容や、外部から本製品に取り込んだ内容で、重要なものは控えをお取りください。本製品のメモリは、静電気・故障などの不測の要因や、修理・誤った操作などにより、記録内容が消えたり変化する場合があります。
  ※控え作成の手段:連絡先のデータや音楽データ、撮影したフォトやムービーなど、重要なデータはmicroSDメモリカードに保存しておいてください。またはメールに添付して送信したり、パソコンに転送しておいてください。ただし、上記の手段でも控えが作成できないデータがあります。あらかじめ、ご了承ください。

ご利用いただく各種暗証番号について

本製品をご使用いただく場合に、各種の暗証番号をご利用いただきます。

ご利用いただく暗証番号は次の通りとなります。設定された各種の暗証番号は各種操作・ご契約に必要となりますので、お忘れにならないようご注意ください。

● 暗証番号

使用例	①お留守番サービス、着信転送サービスを一般電話から遠隔操作する場合
	②お客さまセンター音声応答、auホームページでの各種照会・申込・変更をする場合
初期値	申込書にお客様が記入した任意の4桁の番号

● 画面ロックの設定

使用例	画面ロックの設定/解除をする場合
初期値	タッチ

● PINコード

使用例	第三者によるau Micro IC Card (LTE)の無断使用を防ぐ場合
初期値	1234

● ロックNo.(「NFC/おサイフケータイロック」)

使用例	「NFC/おサイフケータイロック」を利用する場合
初期値	1234

PINコードについて

■PINコード

第三者によるau Micro IC Card (LTE)の無断使用を防ぐために、電源を入れるたびにPINコードの入力を必要にすることができます。また、PINコードの入力要否を設定する場合にも入力が必要となります。

PINコードは3回連続で間違えるとコードがロックされます。ロックされた場合は、PINロック解除コードを利用して解除できます。

- お買い上げ時のPINコードは「1234」、入力要否は入力が不要な設定になっていますが、お客様の必要に応じてPINコードは4~8桁のお好きな番号、入力要否は入力が必要な設定に変更できます。

■PINロック解除コード

PINコードがロックされた場合に入力することでロックを解除できます。

- PINロック解除コードは、au Micro IC Card (LTE)が取り付けられていたプラスティックカード裏面に印字されている8桁の番号で、お買い上げ時にはすでに決められています。
- PINロック解除コードを入力した場合は、新しくPINコードを設定してください。
- PINロック解除コードを10回連続で間違えた場合は、auショップ・PiPitもしくはお客さまセンターまでお問い合わせください。
- PINコードは「データの初期化」を行ってもリセットされません。

<この部分をコピーしてご使用ください>

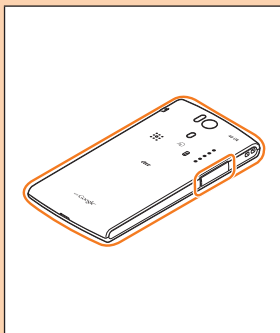
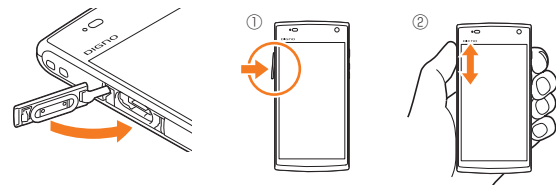
防水／防塵性能に関するご注意

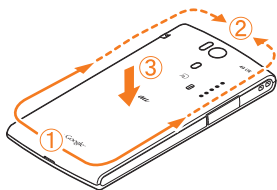
本製品は外部接続端子カバー、電池フタが完全に装着された状態でIPX5※1相当、IPX7※2相当の防水性能およびIP5X※3相当の防塵性能を有しております（当社試験方法による）。
具体的には、雨（1時間の雨量が20mm未満）の中、傘をささずに濡れた手で持って通話したり、お風呂やキッチンなど水がある場所でもお使いいただけます。
正しくお使いいただくために、「ご使用にあたっての重要事項」「快適にお使いいただくために」の内容をよくお読みになってからご使用ください。記載されている内容を守らずにご使用になると、浸水や砂・異物などの混入の原因となり、発熱・発火・感電・傷害・故障のおそれがあります。

※1 IPX5相当とは、内径6.3mmのノズルを用いて、約3mの距離から約12.5リットル／分の水を3分以上注水する条件で、あらゆる方向からのノズルによる噴流水によっても、電話機としての性能を保つことです。
※2 IPX7相当とは、常温で水道水、かつ静水の水深1mの水槽に静かに本製品を沈めた状態で約30分間、水底に放置しても本体内部に浸水せず、電話機としての性能を保つことです。
※3 IP5X相当とは、直径75μm以下の塵埃（じんあい）が入った装置に電話機を8時間入れて攪拌（かくはん）させ、取り出したときに電話機の機能を有し、かつ安全に維持することを意味します。

利用シーンは、上記条件で確認しており、実際の使用時、すべての状況での動作を保証するものではありません。お客様の取り扱いの不備による故障と認められた場合は、保証の対象外となります。

ご使用にあたっての重要事項

- 外部接続端子カバーをしっかり閉じ、電池フタは完全に装着した状態にしてください。
  - 完全に閉まっていることで防水性能が発揮されます。
  - 接触面に微細なゴミ（髪の毛1本、砂粒1個など）がわずかでも挟まると浸水の原因となります。
  - 手や本体が濡れている状態での外部接続端子カバー、電池フタの開閉は絶対にしないでください。また、イヤホンマイク端子に水が入った状態で、イヤホン（市販品）を差し込まないでください。

外部接続端子カバーの閉じかた
カバーのヒンジを収納してから①カバー全体を指の腹で押し込んでください。②矢印の方向になぞり、カバーが浮いていることのないように確実に閉じてください。

電池フタの取り付けかた

電池フタを本体に合わせて装着してから、フタ全体に浮きがないように注意しながら①から②の方向へ矢印に沿ってなぞり、中央部③をしっかりと押して取り付けてください。

- ● 石けん、洗剤、入浴剤の入った水には浸けないでください。
- ● 海水、プール、温泉の中に浸けないでください。
- ● 水以外の液体（アルコールなど）に浸けないでください。
- ● 砂浜などの上に直に置かないでください。送話口（マイク）、スピーカーなどに砂などが入り音が小さくなったり、本体内に砂などが混入すると発熱や故障の原因となります。
- ● 水中で使用しないでください。
- ● お風呂、台所など、湿気の多い場所には長時間放置しないでください。

石けん・洗剤・入浴剤

海水

プール

温泉

砂・泥

快適にお使いいただくために

- ● 水濡れ後は本体の隙間に水がたまっている場合があります。よく振って水を抜いてください。特に電池フタおよびキー部内の水を抜いてください。
- ● 水抜き後も、水分が残っている場合があります。ご使用にはさしつかえありませんが、濡れては困るもののそばには置かないでください。また、服やカバンの中などを濡らすおそれがありますのでご注意ください。
- ● 送話口（マイク）に水がたまり、一時的に音が聞こえにくくなった場合は水抜きを行ってください。

■利用シーン別注意事項

＜雨の中＞

雨の中、傘をささずに濡れた手で持って通話できます。

- 雨とは、「やや強い雨」の場合（1時間の雨量が20mm未満まで）を指します。
- ディスプレイに水滴が付着していると、タッチパネルが誤動作する場合があります。
- 雨がかかっている最中、または手が濡れている状態での外部接続端子カバー、電池フタの開閉は絶対にしないでください。

＜シャワー＞

シャワーを浴びた濡れた手で持って通話できます。

- 耐水圧設計ではないので高い水圧が直接かかるようなご使用はしないでください。

＜洗う＞

やや弱めの水流（6リットル／分以下）で蛇口やシャワーより約10cm離れた位置で常温（5℃～35℃）の水道水で洗えます。

- 耐水圧設計ではないので高い水圧を直接かけたり、長時間水中に沈めたりしないでください。
- 洗うときは電池フタをしっかり閉じた状態で、外部接続端子カバーが開かないように押さえたまま、ブラシやスポンジなどは使用せず手で洗ってください。
- 洗濯機や超音波洗浄機などで洗わないでください。
- 石けん、洗剤などの水道水以外のものをかけたり浸けたりしないでください。

＜お風呂＞

お風呂で使用できます。

- 濡れた手で通話できますが、湯船には浸けないでください。耐熱設計ではありません。
- お風呂場での長時間のご使用はおやめください。防湿仕様ではありません。
- 温泉や石けん、洗剤、入浴剤の入った水には浸けないでください。また、水中で使用しないでください。故障の原因となります。
- 急激な温度変化は、結露の原因となります。寒い場所から暖かいお風呂場などに本製品を持ち込むときは、本体が常温になってから持ち込んでください。
- ディスプレイの内側に結露が発生した場合、結露が取れるまで常温で放置してください。
- TV（ワンセグ）を見るときは安定した場所に置いてご使用ください。
- 高温のお湯をかけないでください。耐熱設計ではありません。
- 急速充電対応卓上ホルダ（KYL21PUA）、卓上ホルダ専用ACアダプタ（KYL21PQA）をお風呂場へ持ち込まないでください。

<プールサイド>

- プールの水に浸けたり、落下させたりしないでください。また、水中で使用しないでください。
- プールの水には消毒用塩素が含まれているため、プールの水がかかった場合には速やかに常温の水道水※で洗い流してください。洗う際にブラシなどは使用しないでください。
  ※やや弱めの流水(6リットル/分以下)

<キッチン>

キッチンなど水を使う場所でも使用できます。

- 石けん、洗剤、調味料、ジュースなど水道水以外のものをかけたり浸けたりしないでください。
- 熱湯に浸けたり、かけたりしないでください。耐熱設計ではありません。
- コンロのそばや冷蔵庫の中など、極端に高温・低温になる場所に置かないでください。
- TV(ワンセグ)を見るときは安定した場所に置いてご使用ください。

■共通注意事項

外部接続端子カバー、電池フタについて

外部接続端子カバーはしっかりと閉じ、電池フタは完全に装着した状態にしてください。接触面に微細なゴミ(髪の毛1本、砂粒1個など)がわずかでも挟まると浸水の原因となります。

外部接続端子カバーを開閉したり、電池フタを取り外し、取り付ける際は手袋などをしたまま操作しないでください。接触面は微細なゴミ(髪の毛1本、砂粒1個など)がわずかでも挟まると浸水の原因となります。カバーを閉じる際、わずかでも水滴・汚れなどが付着している場合は、乾いた清潔な布で拭き取ってください。

外部接続端子カバー、電池フタに劣化・破損があるときは、防水性能を維持できません。これらのときは、お近くのauショップまでご連絡ください。

水以外が付着した場合

万一、水以外(海水・洗剤・アルコールなど)が付着してしまった場合、すぐに水で洗い流してください。

やや弱めの水流(6リットル/分以下)で蛇口やシャワーより約10cm離れた位置で常温(5℃~35℃)の水道水で洗えます。

汚れた場合、ブラシなどは使用せず、電池フタ、外部接続端子カバーが開かないように押さえながら手で洗ってください。

水に濡れた後は

水濡れ後は水抜きをし、電池フタを外さないで、本体、電池フタとも乾いた清潔な布で水を拭き取ってください。

寒冷地では本体に水滴が付着していると、凍結することがあります。凍結したままで使用すると故障の原因となります。水滴が付着したまま放置しないでください。

(本製品は、結露に関しては特別な対策を実施しておりません。)

ゴムパッキンについて

外部接続端子カバー周囲のゴムパッキン、電池フタのゴムパッキンは、防水性能を維持するため大切な役割をしています。傷付けたり、剥がしたりしないでください。

外部接続端子カバー、電池フタを閉める際はゴムパッキンを噛み込まないようご注意ください。噛み込んだまま無理に閉めようとすると、ゴムパッキンが傷付き、防水性能が維持できなくなる場合があります。接触面に微細なゴミ(髪の毛1本、砂粒1個など)がわずかでも挟まると浸水の原因となります。

水以外の液体(アルコールなど)が付着した場合は耐久性能を維持できなくなる場合があります。

外部接続端子カバー、電池フタの隙間に、先のとがったものを差し込まないでください。本体が破損・変形したり、ゴムパッキンが傷付くおそれがあり、浸水の原因となります。

防水性能を維持するための部品は、異常の有無にかかわらず2年ごとに交換することをおすすめします。部品の交換については、お近くのauショップまでご連絡ください。

充電について

本体が濡れている状態では、絶対に充電しないでください。

付属品、オプション品は防水性能を有しておりません。

防水性能について

耐水圧設計ではありませんので、高い水圧がかかる場所(蛇口・シャワーなど)でのご使用や、水中に長時間沈めることはおやめください。また、規定以上の強い水流(6リットル/分以上の水流:例えば、蛇口やシャワーから肌に当てて痛みを感じるほどの強さの水流)を直接当てないでください。本製品はIPX5相当の防水性能を有しておりますが、故障の原因となります。洗濯機や超音波洗浄機などで洗わないでください。

本製品は水に浮きません。

耐熱性について

熱湯・サウナ・熱風(ドライヤーなど)は使用しないでください。本製品は耐熱設計ではありません。

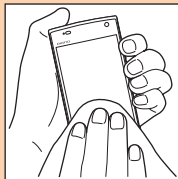
衝撃について

本製品は耐衝撃性能を有しておりません。落下させたり、衝撃を与えないでください。また、送話口(マイク)、スピーカーなどを綿棒やとがったものでつつかないでください。本体が破損・変形するおそれがあり、浸水の原因となります。

■水に濡れたときの水抜きについて

本製品を水に濡らした場合、非耐水エリアがありますので、そのまま使用すると衣服やカバンなどを濡らす場合や音が聞こえにくくなる場合があります。

下記手順で水抜きを行ってください。

1 本体表面の水分を繊維くずの出ない乾いた清潔な布などでよく拭き取ってください。

2 振りかたについて

① 本体をしっかり持ち、水が出なくなるまで本体を矢印方向に振ります。

※ 振る際は周りに危険がないことを確認してください。

※ 本体が飛び出さないように、しっかりと持ち水抜きをしてください。

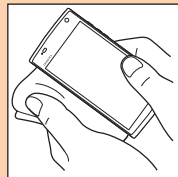
スピーカー側・イヤホンマイク端子部側：各20回以上

送話口(マイク)側：各20回以上

② 出てきた水分を拭き取ります。

※ 送話口(マイク)、スピーカー部、イヤホンマイク端子部は特に水が抜けにくいため、押し付けるように各部分を下側にして拭き取ってください。

③ 乾いたタオルや布の上に置き、常温でしばらく放置します。

3 繊維くずの出ない乾いた清潔な布などに本体を軽く押し当て、送話口・スピーカー・外部接続端子部・イヤホンマイク端子部などの隙間に入った水分を拭き取ってください。

4 本体から出た水分を十分に取り除いてから常温で1時間以上放置して乾燥させてください。

上記手順を行った後でも、本体に水分が残っている場合があります。濡れて困るもののそばには置かないでください。

また、衣服やカバンなどを濡らしてしまうおそれがありますのでご注意ください。

■充電のときは

付属品、オプション品は防水／防塵性能を有しておりません。充電時、および充電後には次の点をご確認ください。

- 本体が濡れている状態では絶対に充電しないでください。感電や電子回路のショートなどによる火災・故障の原因となります。
- 本体が濡れていないかご確認ください。水に濡れた後に充電する場合は、よく水抜きをして乾いた清潔な布などで拭き取ってから、急速充電対応卓上ホルダ(KYL21PUA)に差し込んだり、外部接続端子カバーを開いたりしてください。
- 外部接続端子カバーを開いて充電した場合には、充電後はしっかりとカバーを閉じてください。外部接続端子カバーからの浸水を防ぐため、急速充電対応卓上ホルダ(KYL21PUA)、卓上ホルダ専用ACアダプタ(KYL21PQA)を使用して充電することをおすすめします。
- 濡れた手で指定の充電用機器に触れないでください。感電の原因となります。
- 指定の充電用機器は、水のかからない状態で使用し、お風呂場、シャワー室、台所、洗面所などの水まわりでは使用しないでください。火災・感電・故障の原因となります。また、充電しないときでも、お風呂場などに持ち込まないでください。火災・感電の原因となります。

Bluetooth®／無線LAN（Wi-Fi®）機能をご使用の場合のお願い

Bluetooth®／無線LAN（Wi-Fi®）機能について

- 本製品のBluetooth®機能は日本国内規格、FCC規格およびEC指令に準拠し、認定を取得しています。
- 本製品の無線LAN機能は日本国内規格、FCC規格およびEC指令に準拠し、認定を取得しています。
- 無線LANやBluetooth®機器が使用する2.4GHz帯は、さまざまな機器が運用されています。場合によっては他の機器の影響によって通信速度や通信距離が低下することや、通信が切断することがあります。
- 電気製品・AV・OA機器などの磁気を帯びているところや電磁波が発生しているところで使用しないでください。
- 磁気や電気雑音の影響を受けると雑音が大きくなったり、通信ができなくなることがあります（特に電子レンジ使用時には影響を受けることがあります）。
- テレビ、ラジオなどの近くで使用すると受信障害の原因となったり、テレビ画面が乱れることがあります。
- 近くに複数の無線LANアクセスポイントが存在し、同じチャンネルを使用していると、正しく検索できない場合があります。
- 航空機内での使用はできません。Wi-Fi対応の航空機内であっても、必ず電源をお切りください。ただし、一部の航空会社ではご利用いただける場合もございます。詳細はご搭乗される航空会社にお問い合わせください。
- 通信機器間の距離や障害物、接続する機器により、通信速度や通信できる距離は異なります。

2.4GHz帯ご使用上の注意

本製品のBluetooth®機能／無線LAN機能は2.4GHz帯を使用します。この周波数帯では、電子レンジなどの家電製品や産業・科学・医療用機器のほか、ほかの同種無線局、工場の製造ラインなどで使用される免許を要する移動体識別用構内無線局、免許を要しない特定の小電力無線局、アマチュア無線局など（以下「ほかの無線局」と略す）が運用されています。

1. 本製品を使用する前に、近くで「ほかの無線局」が運用されていないことを確認してください。
2. 万一、本製品と「ほかの無線局」との間に電波干渉の事例が発生した場合には、速やかに本製品の使用場所を変えるか、または機器の運用を停止（電波の発射を停止）してください。
3. ご不明な点やその他お困りのことが起きた場合は、auショップもしくはお客さまセンターまでお問い合わせください。

- 本製品はすべてのBluetooth®・無線LAN対応機器との接続動作を確認したものではありません。したがって、すべてのBluetooth®・無線LAN対応機器との動作を保証するものではありません。
- 無線通信時のセキュリティとして、Bluetooth®・無線LANの標準仕様に準拠したセキュリティ機能に対応しておりますが、使用環境および設定内容によってはセキュリティが十分でない場合が考えられます。Bluetooth®・無線LANによるデータ通信を行う際はご注意ください。
- 無線LANは、電波を利用して情報のやりとりを行うため、電波の届く範囲であれば自由にLAN接続できる利点があります。その反面、セキュリティの設定を行っていないときは、悪意ある第三者により不正に侵入されるなどの行為をされてしまう可能性があります。お客様の判断と責任において、セキュリティの設定を行い、使用することを推奨します。

- Bluetooth®･無線LAN通信時に発生したデータおよび情報の漏洩につきましては、当社では責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。
- Bluetooth®と無線LANは同じ無線周波数帯を使用するため、同時に使用すると電波が干渉し合い、通信速度の低下やネットワークが切断される場合があります。接続に支障がある場合は、今お使いのBluetooth®、無線LANのいずれかの使用を中止してください。

本製品のBluetooth®機能および無線LAN機能は、2.4GHz帯の周波数を使用します。

- **Bluetooth®機能：2.4FH1/XX1**

本製品は2.4GHz帯を使用します。変調方式としてFH-SS変調方式等を採用し、与干渉距離は約10m以下です。
移動体識別装置の帯域を回避することはできません。

- **無線LAN機能：2.4DS/OF4**

本製品は2.4GHz帯を使用します。変調方式としてDS-SS方式およびOFDM方式を採用しています。与干渉距離は約40m以下です。
全帯域を使用し、移動体識別装置の帯域を回避可能であることを意味します。
利用可能なチャンネルは、国により異なります。
航空機内の使用は、事前に各航空会社へご確認ください。

5GHz帯ご使用上の注意

本製品の無線LAN機能は5GHz帯を使用します。電波法により5.2GHz帯および5.3GHz帯の屋外利用は禁止されております。
本製品が使用するチャンネルは以下の通りです。
W52（5.2GHz帯／36, 38, 40, 44, 46, 48ch）
W53（5.3GHz帯／52, 54, 56, 60, 62, 64ch）
W56（5.6GHz帯／100, 102, 104, 108, 110, 112, 116, 118, 120, 124, 126, 128, 132, 134, 136, 140ch）

IEEE802.11b/g/n

IEEE802.11a/n
J52 W52 W53 W56

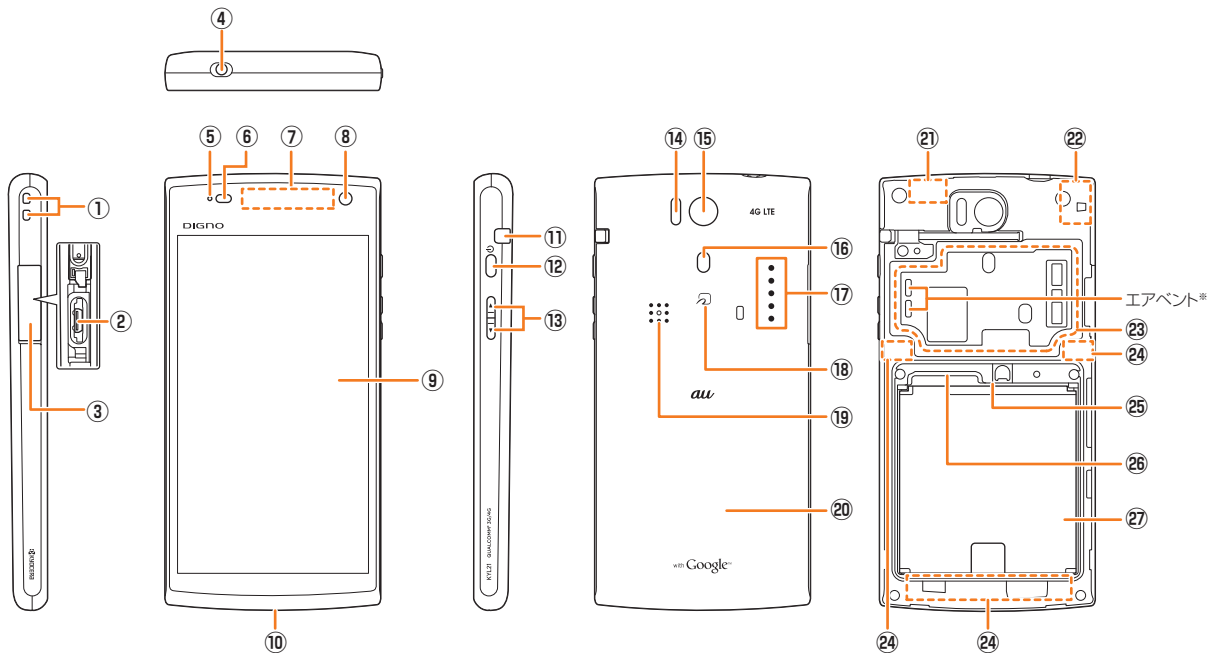
パケット通信料についてのご注意

◎本製品は常時インターネットに接続される仕様であるため、アプリケーションなどにより自動的にパケット通信が行われる場合があります。このため、ご利用の際はパケット通信料が高額になる場合がありますので、パケット通信料定額／割引サービスへのご加入をおすすめします。
◎本製品でのホームページ閲覧や、アプリケーションなどのダウンロード、アプリケーションによる通信、Eメールの送受信、各種設定を行う場合に発生する通信はインターネット経由での接続となり、パケット通信は有料となります（「auからの重要なお知らせメール」、「WEB de 請求書お知らせメール」などのEメール受信も有料となります）。
※Wi-Fi®接続の場合はパケット通信料はかかりません。

Google Play／au Market／アプリケーションについて

◎ アプリケーションのインストールは安全であることをご確認の上、自己責任において実施してください。アプリケーションによっては、ウイルスへの感染や各種データの破壊、お客様の位置情報や利用履歴、携帯電話内に保存されている個人情報などがインターネットを通じて外部に送信される可能性があります。
◎ 万一、お客様がインストールを行ったアプリケーションなどにより各種動作不良が生じた場合、当社では責任を負いかねます。この場合、保証期間内であっても有償修理となる場合がありますので、あらかじめご了承ください。
◎ お客様がインストールを行ったアプリケーションなどにより、お客様ご自身または第三者への不利益が生じた場合、当社では責任を負いかねます。
◎ アプリケーションによっては、microSDメモリカードをセットしないとご利用できない場合があります。
◎ アプリケーションの中には動作中スリープモードにならなくなったり、バックグラウンドで動作して電池の消耗が激しくなるものがあります。
◎ 本製品に搭載されているアプリケーションやインストールされているアプリケーションはアプリケーションのバージョンアップによって操作方法や画面表示が予告なく変更される場合があります。また、本書に記載の操作と異なる場合がありますのであらかじめご了承ください。
◎ アプリケーションによっては、microSDメモリカードにインストールされる場合と、本体メモリにインストールされる場合があります。

ご利用の準備

各部の名称と機能

※ 本製品は防水仕様のため、本体の密閉度が高くなっています。そのため、エアベント（空気抜き用の穴）を設けています。

- エアベントは防水性に影響を与えません。
- シールなどでエアベントをふさがないでください。

① **ストラップ取付口**

② **外部接続端子**

共通ACアダプタ04(別売)やmicroUSBケーブル01(別売)などの接続時に使用します。

③ **外部接続端子カバー**

④ **イヤホンマイク端子**

⑤ **着信(充電)ランプ**

充電中は赤色で点灯します。
着信時、メール受信時には設定内容に従って点滅します。

⑥ **近接センサー/光センサー**

近接センサーは通話中にタッチパネルの誤動作を防ぎます。
光センサーは周囲の明るさを検知して、ディスプレイの明るさを調整します。

⑦ **受話部(レシーバー)**

スマートソニックレシーバーで通話中の相手の方の声、伝言メモの再生音などが聞こえます。
詳しくは「スマートソニックレシーバーについて」(▶P.34)をご参照ください。

⑧ **インカメラ(レンズ部)**

⑨ **ディスプレイ**

⑩ **送話口(マイク)**

通話中の相手の方にこちらの声を伝えます。また、音声を録音するときにも使用します。通話中やムービー録画中は、マイクを指などで覆わないようにご注意ください。

⑪ **TVアンテナ**

TV(ワンセグ)を視聴するときに伸ばして使用します。通話時やブラウザご利用時などに伸ばしても、通話やデータ通信に影響はありません。

⑫ (⏻) **電源キー**

電源ON/OFFやスリープモードの移行/解除などに使用します。

⑬ (◀)(▶) **音量DOWN/UPキー**

音量を調節します。
スリープモード中に(▶)を長く押すと、「すぐごえ」(▶P.150)が起動します。

⑭ **赤外線ポート**

赤外線通信で、データの送受信を行います。

⑮ **アウトカメラ(レンズ部)**

⑯ **撮影ライト/簡易ライト**

⑰ **充電端子**

急速充電対応卓上ホルダ(KYL21PUA)を使用して充電するときの端子です。

⑱ **FeliCaマーク**

NFC/おサイフケータイ®利用時にこのマークをリーダー/ライターにかざしてください。
IC通信で、データの送受信を行います。

⑲ **スピーカー**

着信音やアラーム音などが聞こえます。

⑳ **電池フタ**

㉑ **Wi-Fi®アンテナ部※**

㉒ **GPS/Bluetooth®/Wi-Fi®アンテナ部※**

㉓ **FeliCaアンテナ部**

㉔ **メイン/サブアンテナ部※**

㉕ **au Micro IC Card (LTE)挿入口**

㉖ **microSDメモリカードスロット**

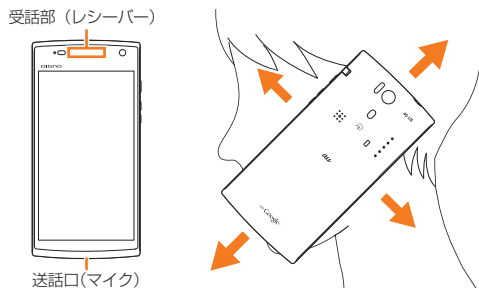
㉗ **電池パック**

※ アンテナ部付近を手で覆ったり、シールなどを貼ったりしないでください。通話/通信品質に影響を及ぼす場合があります。アンテナ部を爪や鋭利な物で引っかくとパターンは切断されて性能が出せなくなります。また、FeliCaアンテナを剥がしてしまうと接点部も剥離して使用できなくなります。アンテナ部を引っかいたり剥がしたりしないでください。

スマートソニックレシーバーについて

本製品は、ディスプレイ部を振動させて音を伝えるスマートソニックレシーバーを搭載しています。受話部（レシーバー）に穴はありませんが、通常通りご使用いただけます。

■耳への当てかた

下図のように、本製品の受話部（レシーバー）付近を耳に当て、耳を覆うことで周囲の騒音を遮蔽し、音声がより聞き取りやすくなります。ご自身の聞こえかたや周囲の環境に合わせて本製品の位置を上下左右に動かし、調整してください。

memo

◎通話時に本製品の送話口（マイク）を指などでふさがないようにご注意ください。
◎イヤホン（市販品）を接続している場合は、スマートソニックレシーバーを利用した音声ではなく、イヤホンからの音声に切り替わります。
◎ディスプレイにシールやシート類などを貼らないでください。受話音が聞き取りにくくなる場合があります。
◎聞き取りやすさには個人差があります。
◎周囲の環境により、聞き取りやすさの効果は異なります。

電池パックを取り付ける／取り外す

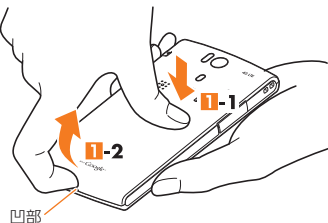
電池パックは、本製品専用のものを使用して正しく取り付けてください。

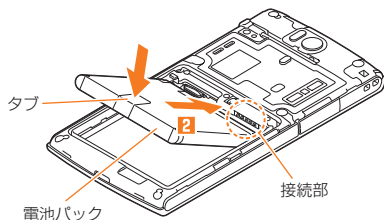
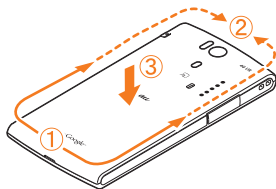
memo

◎電池パックと電池フタの取り付け／取り外しは、電源を切ってから行ってください。

電池パックを取り付ける

1 本体裏面の電池フタを取り外す

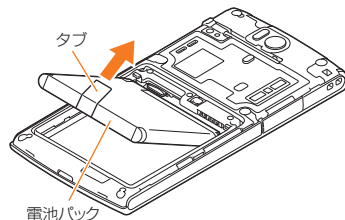
電池フタの中央部分を軽く押さえながら（**1-1**）、電池フタの凹部に指先（爪など）をかけて、矢印の方向に持ち上げて取り外します（**1-2**）。

2 接続部の位置を確かめて、電池パックをスライドさせて確実に押し込む

タブが上に出ていることを確認してください。

3 電池フタを本体に合わせて装着してから、カバー全体に浮きがないように注意しながら①から②の方向へ矢印に沿ってなぞり、中央部③をしっかりと押す

memo

◎ au Micro IC Card (LTE)が確実に装着されていることを確認してから電池パックを取り付けてください。
◎ 取り付け時に間違った取り付けかたをすると、電池パックおよび電池フタ破損の原因となります。
◎ 電池フタを取り付けるときは、電池パックのタブを挟み込まないようご注意ください。

電池パックを取り外す

1 本体裏面の電池フタを取り外す（**▶P.34****）**

2 電池パックのタブを上に引き、取り外す

3 電池フタを取り付ける（**▶P.35****）**

memo

◎ 電池パックを取り外すときは、タブを上に引くようにしてください。タブ以外の方向から持ち上げようとすると、本体または電池の接続部を破損するおそれがあります。

au Micro IC Card (LTE)について

au Micro IC Card (LTE)にはお客様の電話番号などが記録されています。
本製品はau Micro IC Card (LTE)にのみ対応しております。au携帯電話、スマートフォンとau ICカードやmicro au ICカードを差し替えてのご利用はできません。

au Micro IC Card(LTE)

IC(金属)部分

memo

◎au Micro IC Card (LTE)を取り扱うときは、故障や破損の原因となりますので、次のことにご注意ください。
- au Micro IC Card (LTE)のIC(金属)部分や、本製品本体のICカード用端子には触れないでください。
- 正しい挿入方向をご確認ください。
- 無理な取り付け、取り外しはしないでください。

◎au Micro IC Card (LTE)着脱時は、必ず指定のACアダプタなどの電源プラグを本製品本体から抜いてください。
◎au Micro IC Card (LTE)を正しく取り付けていない場合やau Micro IC Card (LTE)に異常がある場合はエラーメッセージが表示されます。
◎取り外したau Micro IC Card (LTE)はなくさないようにご注意ください。

■au Micro IC Card (LTE)が挿入されていないと…

au Micro IC Card (LTE)以外のカードを挿入して本製品を使用することはできません。
au Micro IC Card (LTE)を挿入しないで電源を入れた場合は、次の操作※1を行うことができません。また、ステータスバーに が表示されます。

- 電話をかける※2／受ける
- SMSの送受信
- Eメール(@ezweb.ne.jp)の初期設定および送受信
- UIMカードロック設定
- 自局電話番号／自局メールアドレスの確認

※1 上記の操作以外にも、お客様の電話番号などが必要な機能がご利用できない場合があります。
※2 110番(警察)・119番(消防機関)・118番(海上保安本部)への緊急通報も発信できません。

■PINコードによる制限設定

au Micro IC Card (LTE)をお使いになるうえで、お客様の貴重な個人情報を守るために、PINコードの変更やUIMカードのロックにより他人の使用を制限できます。(▶P.22「PINコードについて」)

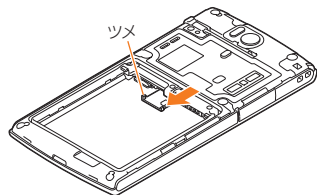
au Micro IC Card (LTE)を取り付ける

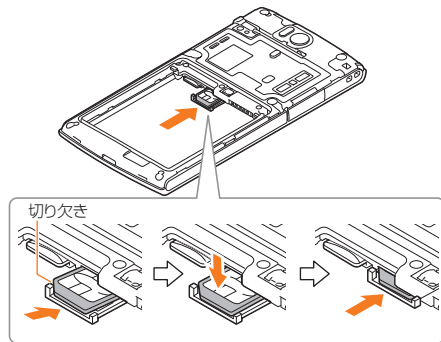
au Micro IC Card (LTE)の取り付けは、電源を切り、電池パックを取り外してから行います。

1 本体の電源を切り、電池パックを取り外す

(▶P.35「電池パックを取り外す」)

2 ツメに指をかけトレイをまっすぐに引き出す

トレイは矢印位置までしか引き出せません。また、トレイを強く引くと、トレイが破損する場合があります。

3 トレイの上にIC面を上にしてau Micro IC Card (LTE)をのせ、トレイとau Micro IC Card (LTE)を奥まで押し込む

切り欠きの方向にご注意ください。
トレイを奥まで押し込んだ際の正しい位置は、au Micro IC Card (LTE)の端が少し見える程度の位置です。

4 電池パック・電池フタを取り付ける(▶P.35)

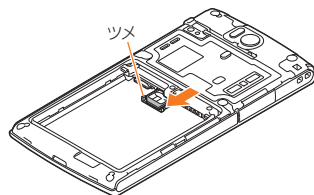
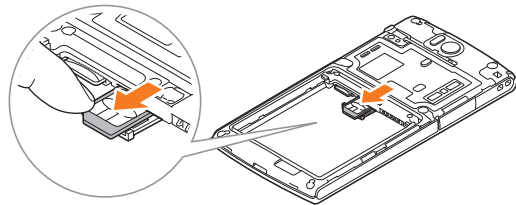
au Micro IC Card (LTE)を取り外す

au Micro IC Card (LTE)の取り外しは、電源を切り、電池パックを取り外してから行います。

1 本体の電源を切り、電池パックを取り外す

(▶P.35「電池パックを取り外す」)

2 ツメに指をかけトレイをまっすぐに引き出す

トレイは矢印位置までしか引き出せません。また、トレイを強く引くと、トレイが破損する場合があります。

3 au Micro IC Card (LTE)をスライドさせるようにして取り外す

4 電池パック・電池フタを取り付ける(▶P.35)

充電する

お買い上げ時には、電池パックは十分に充電されていません。必ず充電してからお使いください。赤色に点灯していた充電ランプが消灯したら充電完了です。充電時間とご利用可能時間は、次の通りです。

■ 充電時間(目安)

本製品の電源を切って、電池パックが空の状態から充電したときの時間です。電源を入れたまま充電したり、低温時に充電したりすると、充電時間は長くなります。

急速充電対応卓上ホルダ(KYL21PUA)	約120分
共通ACアダプタ04(別売)	約160分
共通DCアダプタ03(別売)	約380分

■ ご利用可能時間

連続待受時間※	約580時間(LTEエリア)
	約720時間(3Gエリア)
連続通話時間※	約1110分

※日本国内でご利用の場合の時間です。海外でご利用の場合の時間については、「主な仕様」(▶P.223)をご参照ください。

memo

◎ 充電中、本製品本体と電池パックが温かくなることがありますが異常ではありません。
◎ カメラ機能などを使用しながら充電した場合、充電時間は長くなる場合があります。
◎ 電池パックは、「安全上のご注意」(▶P.11)をよくお読みになってお取り扱いください。
◎ 指定の充電用機器を接続した状態で各種の操作を行うと、短時間の充電／放電を繰り返す場合があり、電池のもちが悪くなります。
◎ 周囲温度や本製品の温度が、極端に高温や低温になっている場合には、充電が停止することがあります。できるだけ常温の環境で充電してください。
◎ 本製品の充電ランプが赤色に点滅したときは、電池パックの取り付け、接続などが正しいかご確認ください。それでも点滅する場合は、充電を中止して、auショップもしくは安心ケータイサポートセンターまでご連絡ください。
◎ 電源端子･充電端子は、ときどき乾いた綿棒などで、端子が変形しないように注意して掃除してください。汚れていると正常に充電されない場合があります。
◎ 水分やほこりなどが入らないように、外部接続端子カバーは、充電後しっかりと閉めてください。また、強く引っ張ったり、ねじったりしないでください。
◎ 連続待受時間および連続通話時間は、電波を正常に受信できる移動状態と静止状態の組み合わせによるそれぞれの平均的な利用可能時間です。充電状態、気温などの使用環境、使用場所の電波状態、機能の設定などにより、次のような場合には、ご利用可能時間は半分以下になることもあります。
- (圏外)が表示される場所での使用が多い場合
- Wi-Fi®機能、メール機能、カメラ機能、TV(ワンセグ)機能、位置情報などの使用
- アプリケーションなどでスリープモードに移行しないように設定されている場合
- バックグラウンドで動作するアプリケーションを使用した場合

◎ 充電中、充電ランプがまだ点灯しているときに充電をやめると、(十分)が表示されていても充電が十分にできていない場合があります。その場合は、ご利用可能時間が短くなります。

■急速充電対応卓上ホルダ(KYL21PUA)を使って充電する

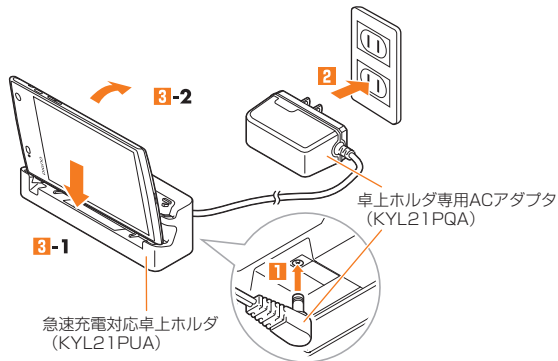
付属の急速充電対応卓上ホルダ(KYL21PUA)と卓上ホルダ専用ACアダプタ(KYL21PQA)を使用すると、従来よりも短い時間で急速に充電することができます。

- 急速充電対応卓上ホルダ(KYL21PUA)には、卓上ホルダ専用ACアダプタ(KYL21PQA)を接続してご使用ください。

1 卓上ホルダ専用ACアダプタ(KYL21PQA)のプラグを急速充電対応卓上ホルダ(KYL21PUA)の外部接続端子にまっすぐに差し込む

2 卓上ホルダ専用ACアダプタ(KYL21PQA)の電源プラグをコンセント(AC100V～240V)に差し込む

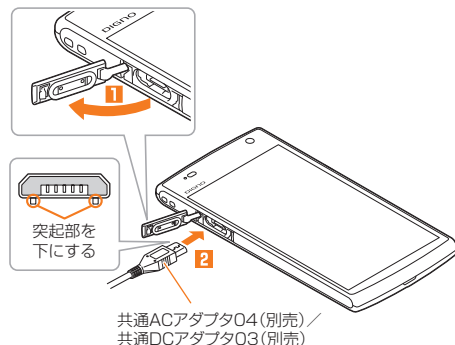
3 3-1、3-2の順に本製品を急速充電対応卓上ホルダ(KYL21PUA)に差し込む

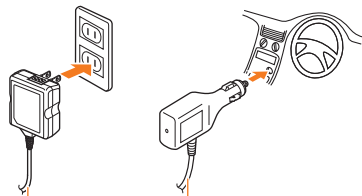
本製品の充電ランプが赤色に点灯します。
充電が完了すると、充電ランプが消灯します。

4 充電が終わったら、本製品を手前に倒すようにして急速充電対応卓上ホルダ(KYL21PUA)から取り外す

■指定のACアダプタ(別売)／DCアダプタ(別売)を使って充電する

共通ACアダプタ04(別売)／共通DCアダプタ03(別売)を接続して充電する方法を説明します。指定のACアダプタ(別売)／DCアダプタ(別売)については、「周辺機器のご紹介」(▶P.216)をご参照ください。

1 本製品の外部接続端子カバーを開ける

2 共通ACアダプタ04(別売)／共通DCアダプタ03(別売)のmicroUSBプラグの向きを確認し、外部接続端子にまっすぐに差し込む

3 共通ACアダプタ04（別売）の電源プラグをコンセント（AC100V～240V）に差し込む／共通DCアダプタ03（別売）のプラグをシガーライタソケットに差し込む

本製品の充電ランプが赤色に点灯します。本製品の電源が入っている場合は、ステータスバーに が表示されます。
充電が完了すると、充電ランプが消灯します。

4 充電が終わったら、外部接続端子から共通ACアダプタ04（別売）／共通DCアダプタ03（別売）のmicroUSBプラグをまっすぐに引き抜く

5 外部接続端子カバーを閉じる

6 共通ACアダプタ04（別売）の電源プラグをコンセントから抜く／共通DCアダプタ03（別売）のプラグをシガーライタソケットから抜く

memo

◎外部接続端子に外部機器を接続した状態で無理な力を加えると、破損の原因となりますのでご注意ください。
◎電池が切れた状態で充電すると、充電ランプがすぐに点灯しないことがありますが、充電は開始しています。

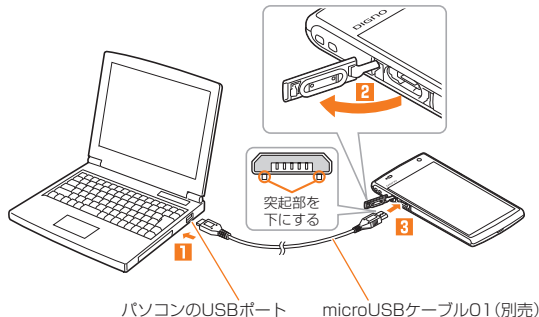
■パソコンを使って充電する

microUSBケーブル01（別売）を利用して、本製品をパソコンの充電可能なUSBポートに接続して充電する方法を説明します。

1 パソコンが完全に起動している状態で、microUSBケーブル01（別売）をパソコンのUSBポートに接続

2 本製品の外部接続端子カバーを開ける

3 microUSBケーブル01（別売）のmicroUSBプラグの向きを確認し、外部接続端子にまっすぐに差し込む

本製品の充電ランプが赤色に点灯します。
充電が完了すると、充電ランプが消灯します。
- パソコン上に新しいハードウェアの検索などの画面が表示された場合は、「キャンセル」を選択してください。

4 充電が終わったら、microUSBケーブル01（別売）を外部接続端子とパソコンから取り外す

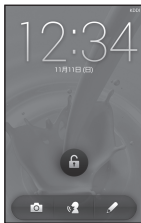
◎ 電池が切れた状態で充電すると、充電ランプがすぐに点灯しないことがありますが、充電は開始しています。
◎ 指定のACアダプタでの充電と比べて時間が長くかかることがあります。また、お使いのパソコンによっても充電時間は変動します。

電源を入れる／切る

電源を入れる

1 着信ランプが点灯するまで⏻を長く押す

しばらくすると、ロック解除画面が表示されます。「🔒」をタップ（▶P.44）するとロックが解除され、ホームスクリーン（▶P.45）が表示されます。
「📷」／「🎙」／「✏」をタップしてロックを解除すると、カメラ（▶P.118）／すぐごえ（▶P.150）／すぐ文字（▶P.149）が起動します。

- お買い上げ時、初めて電源を入れたときは、au ID設定などを行える「auかんたん設定」が起動します。「au IDの設定をする」（▶P.42）の操作2以降を参照して、必要に応じて設定を行ってください。
  また、ホームスクリーンについての説明画面も表示されますので、確認後「OK」をタップしてください。

《ロック解除画面》

memo

◎ 電源を入れてから各種ロゴが表示されている間は、タッチパネルの初期設定を行っているため、画面に触れないでください。タッチパネルが正常に動作しなくなる場合があります。
◎ 不在着信や新着メールなどがあるときは、ロック解除画面にアプリケーションのアイコンが表示されます。タップするとロックが解除され、対応するアプリケーションが起動します。
◎ お買い上げ時に「auかんたん設定」の操作をスキップしても、後から設定することができます（▶P.42）。
◎ 電源を入れたときに充電ランプが黄色で点滅している場合は、起動するのに電池残量が十分でないことを示しています。充電してお使いください。

電源を切る

1 ⏻（1秒以上長押し）

2 [電源を切る]→[OK]

スリープモードについて

⏻を押すか、一定時間操作しないと画面が一時的に消え、スリープモードに移行します。次の操作を行うと、スリープモードを解除できます。

1 スリープモード中に⏻

ロック解除画面が表示されます。

◎ スリープモード中に⏻を押して画面を表示する際は、画面に触れないでください。タッチパネルが正常に動作しなくなる場合があります。

au IDの設定をする

au IDを設定すると、au MarketやGoogle Playに掲載されているアプリケーションの購入ができる「auかんたん決済」の利用をはじめとする、au提供のさまざまなサービスがご利用になれます。
「auかんたん設定」を利用すると、au ID設定などを行うことができます。

1 ホームスクリーン→[▦]→[auかんたん設定]

2 [次へ]→[登録]→[OK]→[au IDの設定･保存]

認証を開始します。

3 画面の指示に従って操作し、au IDを設定

au IDをすでに取得されている場合は、お持ちのau IDを設定します。
au IDをお持ちでない場合は、新規登録を行います。
引き続き、画面の指示に従って操作してください。

memo

◎au IDのみ設定する場合は、「au ID 設定」を利用することもできます。

Googleアカウントをセットアップする

Googleアカウントをセットアップすると、Googleが提供するオンラインサービスを利用できます。
Googleアカウントがセットアップされていないときに Googleアカウントが必要なアプリケーションや機能を起動すると、セットアップ画面が表示されます。

1 Googleアカウントのセットアップ画面

■Googleアカウントをすでにお持ちの場合

2 [既存のアカウント]→メールアドレスとパスワードを入力→「ログイン」

3 画面の指示に従って操作

■Googleアカウントをお持ちではない場合

2 [新しいアカウント]→画面の指示に従って操作し、Googleアカウントを登録

■ログインできない場合

1 ホームスクリーン→[(ブラウザ)]→URL表示欄を選択→「http://www.google.com/accounts/recovery/」を入力→[実行]

2 ログインできない理由を選択→必要に応じてメールアドレスを入力→[続行]

3 画面の指示に従って操作

基本操作

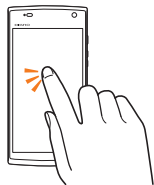
基本操作

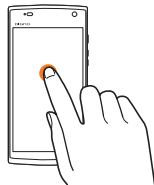
タッチパネルの使いかた

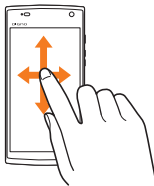
本製品のディスプレイはタッチパネルになっており、指で直接触れて操作します。

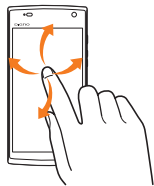
- タッチパネルは指で軽く触れるように設計されています。指で強く押したり、先のとがったもの（爪／ボールペン／ピンなど）を押し付けたりしないでください。
- 以下の場合はタッチパネルに触れても動作しないことがあります。また、誤動作の原因となりますのでご注意ください。
  - 手袋をしたままでの操作
  - 爪の先での操作
  - 異物をディスプレイに乗せたままでの操作
  - 保護シートやシールなどを貼っての操作
  - ディスプレイに水滴が付着または結露している状態での操作
  - 濡れた指または汗で湿った指での操作
  - 水中での操作

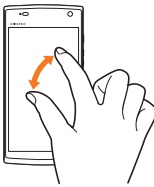
■タップ／ダブルタップ

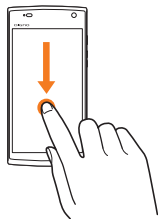
画面に軽く触れて、すぐに指を離します。また、2回連続で同じ位置をタップする操作をダブルタップと呼びます。

■ロングタッチ

項目やキーなどに指を触れた状態を保ちます。

■スライド

画面内で表示しきれないときなど、画面に軽く触れたまま、目的の方向へなぞります。

■フリック

画面を指ですばやく上下左右にはらうように操作します。

■指を広げる／狭める

2本の指で画面に触れたまま指を開いたり、閉じたりします。

■ ドラッグ

画面に軽く触れたまま目的の位置までなぞります。

ナビゲーションバーの使いかた

画面下部のナビゲーションバーには次のキーが表示されます。

:1つ前の画面に戻ります。

:ホームスクリーンを表示します。

:最近使用したアプリケーションの一覧を表示します。

画面によっては、上記以外のキーが表示されることがあります。

縦／横画面表示を切り替える

本製品の向きに合わせて、自動的に縦／横画面表示を切り替えることができます。

memo

◎ 本製品を垂直に立てた状態で操作してください。本製品を水平に寝かせると画面表示が切り替わらない場合があります。

◎ 縦／横画面表示を切り替えるかどうかは、「画面の自動回転」（▶P.185）で設定できます。

◎ アプリケーションによっては、本製品の向きや設定にかかわらず画面表示が切り替わらない場合があります。

ホームスクリーンを利用する

ホームスクリーンにはショートカットやウィジェット、フォルダを追加することができます。「」をタップすると、いつでもホームスクリーンを表示することができます。

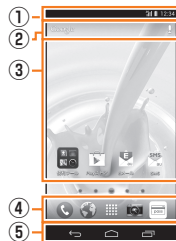
① **ステータスバー**

② **クイック検索ボックス**

③ **ショートカット／ウィジェット／フォルダ**

お買い上げ時は、便利ツールなどが表示されます。

④ **クイック起動エリア**

⑤ **ナビゲーションバー**

《ホームスクリーン》

■ホームスクリーンを切り替える

ホームスクリーンは複数の画面で構成されており、左右にスライド／フリックすると切り替えることができます。

《ホームスクリーンの切り替えイメージ》

- 初回切り替え時には、説明画面が表示されます。
- ホームスクリーンの画面下部には現在の表示位置を示すインジケータが表示されます。
  インジケータをタップしてホームスクリーンを切り替えることもできます。

memo

◎お買い上げ時には左右に2枚ずつ、合計5枚のホームスクリーンがあらかじめ設定されています。

■ホームスクリーンを編集する

ホームスクリーンで指を狭めるとサムネイルが表示され、ホームスクリーンの追加／削除や並び替えなどの操作ができます。ホームスクリーンは最大9枚まで追加することができます。

memo

◎ホームスクリーン→空きスペースをロングタッチ→[壁紙]と操作すると、ホームスクリーンの壁紙を変更できます。ライブ壁紙を設定すると、電池の消耗が激しくなりますのでご注意ください。

ホームスクリーンにウィジェット／ショートカット／フォルダを追加する

アプリケーションのウィジェットやショートカット、フォルダをホームスクリーンに追加できます。

■ウィジェット／ショートカットを追加する場合

1 ホームスクリーン→空きスペースをロングタッチ→[ウィジェット追加]／[ショートカット追加]

2 ウィジェット／アプリケーションをタップ

ホームスクリーンの空きスペースに自動で追加されます。

■フォルダを作成する場合

ショートカットをドラッグして他のショートカットに重ねるとフォルダが作成され、複数のアイコンを収納できます。

memo

◎操作2でウィジェット／アプリケーションをロングタッチすると、ホームスクリーンのサムネイルが表示されます。表示する位置へドラッグして指を離すと、追加できます。

◎表示しているホームスクリーンに空きスペースがない場合などは追加できません。

フォルダについて

◎フォルダを選択→フォルダ下部のフォルダ名をタップ→フォルダ名を入力→[完了]と操作すると、フォルダ名を変更できます。

◎フォルダをタップして、表示されるショートカットをドラッグしてフォルダの外に移動すると、フォルダから削除することができます。

◎ショートカットが1つになると、フォルダ表示は解除されます。

■ ウィジェット／ショートカット／フォルダを移動／削除する

1 移動／削除するウィジェット／ショートカット／フォルダをロングタッチ

■ 移動する場合

2 移動する位置へドラッグして、指を離す

■ 削除する場合

2 画面上部の「削除」にドラッグして、指を離す

memo

◎ ホームスクリーンの左端または右端にドラッグすると、ホームスクリーンのサムネイルが表示され、表示したい位置に移動できます。

便利ツール／My Selectionを利用する

便利ツール／My Selectionは、よく利用するアプリケーションのショートカットを、ホームスクリーン上にまとめておけるフォルダ／ウィジェットです。

便利ツール（フォルダ）

My Selection（ウィジェット）

1 ホームスクリーン→[（便利ツール）]／[（My Selection）]

2 起動するアプリケーションのショートカットをタップ

アプリケーションが起動します。

■ 便利ツール／My Selectionを編集する

便利ツール／My Selectionでは、ショートカットをロングタッチして入れ替えや削除の操作を行うことができます。また、My Selectionでは[＋]→アプリケーションを選択、と操作すると、ショートカットを追加できます。

アプリ一覧を利用する

インストールされているアプリケーションの一覧が表示されます。

1 ホームスクリーン→[▦]

アプリ一覧が表示されます。

初回起動時には、アプリの選択についての説明画面が表示されます。確認後、「OK」をタップしてください。

① **カテゴリータイトル**

タップすると、タイトル一覧を表示します。

ロングタッチすると、タイトルを変更できます。

② **メニューアイコン**

アプリ一覧のメニューを表示します。

《アプリ一覧（カテゴリー順）》

memo

◎「シンプルメニュー設定」（▶P.51）がオンに設定されている場合は、ホームスクリーンで「▦」をタップするとシンプルメニューが表示されます（▶P.52）。

◎ ダウンロードしたアプリケーションは、アプリ一覧の「ダウンロードしたアプリ」のページに配置されます。

■「アプリ一覧」の主なアイコンの種類

■ 基本機能

アイコンの表示名	ページ
すぐごえ 音声入力で、アプリケーションを起動できます。	P.150
すぐ文字 入力した文字を利用して、アプリケーションを起動できます。	P.149
赤外線	P.170
アラーム	P.147
カレンダー	P.146
電卓	P.148
おサイフケータイ	P.138
メモ帳	P.149
OfficeSuite Word、Excelなどのファイルを閲覧できます。	P.151
簡易ライト	P.152
省電力ナビ 電池の消耗を最小値に抑えるように設定します。	P.153
ファイル管理 microSDメモリカード内のデータを一覧で表示し、再生を行うことができます。	P.125
ダウンロード ダウンロードしたデータの管理を行うことができます。	—
設定	P.180

■ コミュニケーション

アイコンの表示名	ページ
電話	P.66
電話帳	P.114
Friends Note ケータイ電話のアドレス帳とFacebookやTwitterなど複数のSNSの友人やメッセージを管理、投稿できるサービスです。	P.143
Skype※ 音声通話やインスタントメッセージ(チャット)ができます。	—
SMS	P.96
Eメール	P.72
PCメール	P.100
Gmail	P.104
Google+	—
トーク	P.144
メッセンジャー Google+のメッセンジャーを利用できます。	—
ローカル	P.145
Latitude	P.145
Facebook	P.143
LINE※ LINEは24時間、いつでも、どこでも、無料で好きなだけ通話やメールが楽しめるコミュニケーションアプリです。	—

※ 利用するにはダウンロード／インストールが必要です。

■ 検索／ポータル

アイコンの表示名	ページ
auスマートパス 月額390円で500本以上のアプリが取り放題！その他にもお得なクーポンやプレゼント、写真のお預かりサービスやセキュリティソフトなど、安心･快適なスマホライフが楽しめるサービスです。	P.159
Playストア	P.139
au Market auスマートパスのアプリ取り放題に対応したAndroidアプリをインストールできます。	P.141

アイコンの表示名	ページ
GREEマーケット GREEマーケットで提供しているゲームや、コンテンツを探すことができるアプリケーションです。サービスへのログインがなくても、手軽に探すことができます。	P.142
ブラウザ	P.109
Chrome	—
Dolphin Browser for au※ Google Playで人気があるブラウザ！インターネットをサクサク快適に見ることができます。また、他のブラウザアプリにないジェスチャー機能やスピードダイアルなどの便利な機能もあります。	—
検索	P.55
ニュースと天気	P.148
マップ	P.144
ナビ	P.146
お買い物サーチ※ 人気モールなどいろいろなサイトの商品をまとめて検索できます。	—
京セラサイト 京セラサイトに接続します。	—

※利用するにはダウンロード／インストールが必要です。

■ カメラ

アイコンの表示名	ページ
カメラ	P.118
エフェクトプラス	P.124
QuickPanorama カメラを移動させるだけで簡単にパノラマ写真が撮影できるアプリケーションです。	P.122
ギャラリー	P.123
au Cloud※ スマートフォンに保存されている写真や動画をau Cloudにアップロードするアプリです。アップロードは自動・手動どちらでもできます。ただし、自動アップロードは、Wi-Fiエリアのみとなります。	—

アイコンの表示名	ページ
Photo Album※ au Cloudに保存した写真や動画を見たり、アルバムを作って整理するアプリです。また、作成したアルバムは友達や家族と共有することができます。	—
TOLOT フォトブック※ スマートフォンで撮影した写真で、おしゃれなフォトブックが簡単に作れます！旅行や記念日の思い出に、家族や友人へのプレゼントにもおすすめ。	—
バーコードリーダー 進化するバーコードリーダー/アイコニット！ QRコードやJANコードを読み取るだけで、動画・音声・画像・テキスト…などのさまざまなアクションがスマートフォンならではのクオリティで再生されます。	P.122

※利用するにはダウンロード／インストールが必要です。

■ エンターテインメント

アイコンの表示名	ページ
うたパス 多彩な音楽チャンネルから流れてくる音楽を1人で楽しめるだけでなく、離れた友達と一緒に聴くことができるサービスです。	—
ビデオパス※ 幅広いジャンルの映画やドラマ、アニメなどの人気作品がお楽しみいただけるアプリケーションです。	—
YouTube	P.143
Playムービー	P.125
LISMO Player LISMO Playerを利用して音楽を再生したり、音楽情報を調べたりできます。また、調べた曲の試聴・購入も可能なアプリです。	P.127
LISMO WAVE※ 全国のFMラジオやミュージッククリップ・ライブなどの映像が楽しめます。	—
LISMO Book store※ コミック・小説・写真集など多くの電子書籍を楽しむことができます。	—
Playミュージック	P.124

アイコンの表示名	ページ
音声レコーダー	P.152
ワンセグ	P.127
auテレビ.Gガイド テレビ番組の閲覧や、番組検索ができます。さらにワンセグ連携や遠隔録画予約機能がご利用いただけます。	P.131
着メロ取り放題for au※ 約30,000曲の配信曲がすべて取り放題！！人気の着メロ専門アプリ！	—
DiXiM Player	P.166

※利用するにはダウンロード／インストールが必要です。

■ コンテンツ

アイコンの表示名	ページ
ジーニアス英和辞典第4版・和英辞典第3版※ 英和・和英辞典のトップブランド。学習にもビジネスにもさまざまな利用シーンに役立ちます。	—
大辞林※ 25万以上という膨大な数の言葉を収録した日本語辞典の最高峰です。	—
家庭医学大全科for au※ 2,600以上の病気について600人以上の医療専門家が執筆した最新版「家庭医学大全科」をもとにした家庭用医学事典アプリです。「フリーワード」「症状」「目次」「検査結果」など多角的に病気を検索することができます。	—
COOKPAD クックパッドで毎日の料理が楽しくなります。120万品を超えるみんなのレシピから、ぴったりのレシピを見つけたり、仕事帰りやスーパーなど、いつでもどこからでもレシピにアクセスすることができます。	—
じぶん銀行※ 入出金明細や残高の確認、最寄りの提携ATM検索などを、スマートフォンに最適化した画面でご利用いただけます。	—
乗換ナビ 電車での移動に便利な機能を搭載した、乗換専用アプリケーションです。	—
GREE※ 2,500万人以上がコミュニケーションや無料ゲームを楽しんでいるau GREE公式アプリです。	—
太鼓の達人※ ゲームセンターや家庭用ゲームでお馴染みの『太鼓の達人』です。リズムに乗って画面をタッチするだけの簡単操作で、誰でも気軽に太鼓を演奏することができます。	—
おはなしアシスタント※ スマートフォンに向かって話しかけることで、電話発信、メール作成、スケジュール管理、アラーム設定などが簡単に行えます。さらに、アシスタントキャラクターとの楽しい会話も可能です。	—
スマホカバー※ 人気ファッションブランドのオリジナルデザインが選べるスマートフォンカバーをお買い求めいただけます。	—
NFCメニュー NFCサービスに対応するアプリケーションの一覧表示やNFCロックの設定などのほか、各種設定を行うことができます。	P.137
NFCタグリーダー※ NFCタグの読み込み／データ書き込みを実行するアプリケーションです。また、データ読み取り後、その情報に応じた動作をします。	P.138

※利用するにはダウンロード／インストールが必要です。

■ サポート

アイコンの表示名	ページ
au ID設定	P.42
au Wi-Fi接続ツール au Wi-Fi SPOTの利用可能なスポットで簡単にWi-Fi®を利用できます。	—
LAWSON※ ローソンのおトクな最新情報をいつでも手に入れられるアプリケーションです。Ponta会員の方なら、ログインするだけで「Pontaポイント残高」、「アプリ限定クーポン」、無料公衆無線LANサービス「LAWSON Wi-Fi」をご利用いただけます。	—
らくらく無線スタートEX※ Atermシリーズの無線LAN親機とスマートフォンの接続設定が簡単にできるアプリです。セキュリティ設定も同時に行いますので安心です。	—
auかんたん設定 auの便利な機能やサービスを利用するための設定を簡単な操作で進められます。	P.42
au災害対策	P.156
3LM Security	P.156
リモートサポート	P.156
GLOBAL PASSPORT※ 海外でご利用の際、接続中の事業者と海外ダブル定額の適用有無、電話のかけかたなどをチェックできるアプリケーションです。	—
安心アクセス for Android※ お子様がスマートフォンを安心してご利用いただけるよう、不適切と思われるウェブページへのアクセスやアプリケーションのご利用を制限するフィルタリングアプリです。	—
ウイルスバスター※	P.156
はらぺこあおむし<auホームアレンジ>※ auスマートパス会員なら、ポータルサイトで毎月紹介されるきせかえテーマが取り放題となるホームアプリです。	—
auお客さまサポート auホームページのauお客さまサポートに接続します。	P.154

アイコンの表示名	ページ
取扱説明書 DIGNO S※ 『取扱説明書』アプリケーションを利用できます。	P.ii

※利用するにはダウンロード/インストールが必要です。

memo

◎各アプリケーションからそれぞれの機能を使用すると、機能によっては通信料が発生する場合があります。
◎アイコンの表示名は、予告なく変更される場合があります。

アプリ一覧のメニューを利用する

1 アプリ一覧→[⋮]

2

シンプルメニュー設定	シンプルメニューのオン/オフを切り替えます。
アプリの表示順	アプリ一覧を「50音順」「ダウンロード順」「カテゴリー順」で切り替えます。
アプリの並び替え	▶P.51「アプリ一覧のアイコンを移動する」
アプリの管理	アプリ管理画面が表示されます。 ▶P.141「アプリケーションを管理する」
端末設定	▶P.180「機能設定」

※メニューに表示される項目は、画面によって異なります。

アプリ一覧のアイコンを移動する

アプリの表示順が「カテゴリー順」の場合、アプリケーションのアイコンをアプリ一覧内の別の位置へ移動できます。

1 アプリ一覧→[⋮]→[アプリの並び替え]

2 アイコンをロングタッチ→移動する位置までアイコンをドラッグして、指を離す→[完了]

クイック起動エリアを利用する

よく使うアプリケーションをホームスクリーンのクイック起動エリアに配置できます。
クイック起動エリアは、ホームスクリーンのどの画面でも固定で表示されます。お買い上げ時には、電話、ブラウザ、カメラ、auスマートパスが登録されています。

1 **アプリ一覧→アイコンをロングタッチ→ホームスクリーンのサムネイルにアイコンをドラッグして、指を離す**

2 **ホームスクリーンに移動したアイコンをロングタッチ→クイック起動エリアにアイコンをドラッグして、指を離す**

memo

◎クイック起動エリアに空きスペースがない場合でも、すでにあるアイコンに追加したいアイコンを重ねてフォルダを作成することもできます。

シンプルメニューを利用する

「シンプルメニュー設定」(▶P.51)をオンに設定すると、基本的な機能を配置した「シンプルメニュー」が表示されるようになります。アイコンを選択するとアプリケーションを起動できます。

1 **ホームスクリーン→[▦]**

シンプルメニューが表示されます。

《シンプルメニュー》

■「シンプルメニュー」のアイコンの種類

アイコンの表示名	ページ
赤外線	P.170
電話帳	P.114
ワンセグ	P.127
アラーム	P.147
アプリ一覧 アプリ一覧に切り替わります。	P.47
カメラ	P.118
カレンダー	P.146
省電力ナビ 電池の消耗を最小値に抑えるように設定します。	P.153
ファイル管理 microSDメモリカード内のデータを一覧で表示し、再生を行うことができます。	P.125
メモ帳	P.149
マップ	P.144
設定	P.180

memo

◎シンプルメニューのアプリケーションは変更できません。

本製品の状態を知る

アイコンの見かた

ステータスバーの左側には不在着信、新着メールや実行中の動作などをお知らせするお知らせアイコン、右側には本製品の状態を表すステータスアイコンが表示されます。

■主なお知らせアイコンの例

アイコン	概要
	不在着信あり
	新着メールあり（SMS）
	新着メールあり（Eメール）
	新着メールあり（PCメール）
	新着メールあり（Gmail）
	スヌーズ中のアラームまたは解除せずに終了したアラームあり
	カレンダーの予定通知あり
	ワンセグ起動中
	音楽再生中
	発信中、通話中または着信中
	伝言メモあり
	本体の空き容量が少ないとき
	他のBluetooth®機器からファイル受信リクエストあり
	USB接続中
	データを送信／アップロード
	データを受信／ダウンロード
	インストール完了
	インストール済みアプリケーションのアップデート通知
	VPN接続中、未接続
	メジャーアップデート（OS用）とソフトウェア更新あり
	GPS利用中
	USBテザリング中
	Wi-Fiテザリング中
	USBテザリングとWi-Fiテザリングを同時に使用中
	省電力ナビ動作中
	スクリーンショット完了
	microSDメモリカードのマウント解除中
	キーボード表示中
	MHL接続中
	NFC R/W P2P機能利用中

■主なステータスアイコンの例

アイコン	概要
12:34	時刻
	電池レベル状態 100%／残量なし／充電中
	電波の強さ・通信状態（LTE／3G） レベル4／圏外／通信中 LTE使用可能／3G使用可能／ローミング中
	機内モード設定中
	au Micro IC Card (LTE)未挿入
	Wi-Fi®の電波の強さ レベル4／レベル0
	アラーム設定あり
	マナーモード（バイブレーション）設定中
	マナーモード（ミュート）設定中
	Bluetooth®機能利用中 待機中／接続中
	伝言メモ設定中 伝言メモ設定中／伝言メモ全件録音済み

アイコン	概要
	「NFC／おサイフケータイ®ロック」設定中
	すぐごえの「着信時に自動起動」を設定中

お知らせ／ステータスパネルについて

ステータスバーを下にスライドすると、お知らせ／ステータスパネルが表示されます。
お知らせ／ステータスパネルでは、お知らせの確認や対応するアプリケーションの起動ができます。また、よく使う機能を設定したり、ショートカットからアプリケーションを起動できます。

① **設定アイコン**
設定メニュー（▶P.180）を表示します。

② **機能アイコン**
よく使う機能のオン／オフを設定します。
お買い上げ時は、「Wi-Fi」「テザリング」（Wi-Fiテザリング）「Bluetooth」「GPS」「省電力」「マナー」「画面照明」「画面回転」「着信非表示」「読み上げ」（すぐごえの「着信時に自動起動」）の各機能が登録されています。

③ **アプリショートカット**
よく使うアプリケーションを起動します。
お買い上げ時は、「すぐごえ」「すぐ文字」「電話帳」「アラーム」のショートカットが登録されています。

④ **お知らせエリア**
本製品の状態やお知らせの内容を確認できます。情報によっては、タップすると対応するアプリケーションを起動できます。

⑤ **通知を消去**
タップすると通知をすべて消去します。

⑥ **付箋メモ**
メモを貼り付けることができます。

⑦ **月間カレンダー**
タップするとカレンダーアプリを起動します。

⑧ **編集アイコン**
タップするとお知らせ／ステータスパネルの編集画面が表示されます。項目をロングタッチして、並べ替える位置にドラッグして移動したり、「削除」にドラッグして削除します。「項目を追加」をタップすると、項目を追加できます。編集後は「完了」をタップします。

⑨ **閉じるタブ**
上にスライドするとお知らせ／ステータスパネルを非表示にします。

アプリケーションを切り替える

アプリケーションを起動中に「[ホーム]」をタップすると、ホームスクリーンに戻り、使用するアプリケーションを切り替えることができます(使用していたアプリケーションはバックグラウンドで処理を継続、または一時停止状態となります)。また、「[最近]」をタップすると、最近使用したアプリケーションの一覧が表示され、アプリケーションを起動できます。

1 [[最近]]

最近使用したアプリケーションが一覧で表示されます。

2 **使用するアプリケーションをタップ**

memo

◎一覧からアプリケーションを削除するには、次の方法があります。
- 操作2で削除したいアプリケーションを左右にフリックする

クイック検索を利用する

本製品内やウェブサイトの情報を検索できます。

1 **ホームスクリーン→クイック検索ボックスをタップ**

クイック検索画面が表示されます。

2 **入力欄にキーワードを入力**

- 一覧から本製品内のアプリケーションを選択した場合は、アプリケーションが起動します。
- 一覧からキーワードを選択した場合は、ウェブサイトの情報を検索できます。

memo

◎入力欄の下に検索候補が一覧表示された場合は、候補をタップして検索することもできます。

◎一覧表示された項目の「[↖]」をタップすると、選択した項目を入力欄に入力します。

◎一覧表示された項目の[[×]]→[はい]と操作すると、検索履歴を消去できます。
また、クイック検索画面→[[⋮]]→[設定]→[Google検索]→[端末上の検索履歴を消去する]→[履歴を消去する]と操作すると、検索履歴をすべて削除できます。

Google音声検索を利用する

検索するキーワードを音声で入力できます。

1 **ホームスクリーン→クイック検索ボックスの[[マイク]]**

2 **送話口(マイク)に向かってキーワードを話す**

ブラウザが起動してGoogle検索の検索結果が表示されます。

クイック検索を設定する

1 **クイック検索画面→[[⋮]]→[設定]**

2

検索対象	クイック検索で検索する対象を設定します。
Google検索	使用するGoogleアカウントの確認や履歴の消去、ウェブ履歴や現在地情報の利用、利用規約の確認などの操作ができます。

利用できるメニューを表示する

■オプションメニューについて

オプションメニューは、メニューを表示できる画面で「⋮」をタップすると表示されるメニューです。

例:アプリ一覧の場合

オプションメニュー

■コンテキストメニューについて

コンテキストメニューは、画面や項目をロングタッチすると表示されるメニューです。

例:ブラウザ画面の場合

コンテキストメニュー

スクリーンショットを撮影する

⏻と◀を同時に長く押すと、現在表示されている画面を画像として保存(スクリーンショット)できます。保存中および保存完了時にはステータスバーにメッセージと🖼が表示され、保存完了後にお知らせ/ステータスパネルを開くと保存した画像を確認できます。

memo

◎スクリーンショットを行った画像は、microSDメモリカード内の「Pictures」フォルダ内の、「Screenshots」フォルダに保存されます(▶P.125)。
◎保存された画像は「ギャラリー」(▶P.123)、「ファイル管理」(▶P.125)などの画像閲覧用アプリケーションでも確認できます。
◎起動中のアプリケーションによっては、スクリーンショットが動作しない場合や黒い画像になる場合があります。

文字入力

文字を入力する

文字入力には、ソフトウェアキーボードを使用します。
ソフトウェアキーボードは、連絡先の登録時やメール作成時などに表示される文字入力画面で入力欄をタップすると表示されます。
本製品では、次のソフトウェアキーボードを利用できます。

iWnn IME	主にひらがな／漢字／カタカナを入力する場合に選択するキーボードです。テンキー／フルキーの2種類があります。
漢字手書き(LaLaStroke)	入力したい文字種を選択し、手書き入力フィールドに文字を書き、入力します。一行で漢字を含めた複数の文字の入力ができます。
連続かな手書き(LaLaStroke)	入力したい文字種を選択し、手書き入力フィールドに文字を書き、入力します。一画ごとに文字認識を行う文字入力が行えます。

キーボードを切り替える

■テンキー／フルキーを切り替えるには

1 文字入力画面(テンキー／フルキー)→[⚙]→[テンキー⇔フルキー]

■テンキー／フルキーから手書き入力(LaLaStroke)に切り替えるには

1 文字入力画面(テンキー／フルキー)→[漢字手書き]／[連続かな]

手書き入力(LaLaStroke)の画面で「キーボード」をタップすると、手書き入力に切り替える前に使用していたキーボードに戻ります。

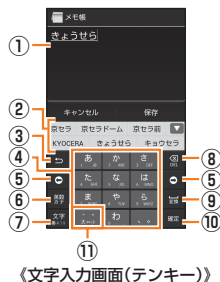
memo

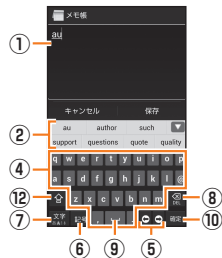
◎入力ソフトは、アプリケーションをインストールして利用することもできます。インストール後に、「言語と入力」(▶P.188)でアプリケーションを有効にしてください。アプリケーションのインストール方法については、「Google Playを利用する」(▶P.139)をご参照ください。

テンキー／フルキーで入力する

■文字入力画面(テンキー)

一般的な携帯電話と同じ順序で文字が並んでいるキーボードです。文字入力キーをタップするたびに文字が切り替わります。また、「フリック入力」を行うこともできます。詳しくは「フリック入力について」(▶P.59)をご参照ください。

《文字入力画面(テンキー)》

■文字入力画面(フルキー)

一般的なパソコンと同じ順序で文字が並んでいるキーボードです。文字入力キーをタップすると、キーに表示されている文字が入力されます。日本語は「ローマ字」で入力します。

《文字入力画面(フルキー)》

① **文字入力エリア**

② **通常変換候補リスト/予測変換候補リスト**

文字を入力して「変換」をタップすると、通常変換候補リストが表示されます。「予測変換」を有効に設定している場合は、文字を入力すると予測変換候補リストが表示され、入力が確定すると、さらに入力が予想される候補も表示されます。

- 「▼」をタップすると候補リストの表示エリアを拡大できます。元の表示に戻すには、「▲」をタップします。

③ **バックキー/戻すキー**

⮌:同じキーに割り当てられた文字を逆の順に表示します。

- 「フリック入力」では、バック機能を利用できません。

Undo:文字入力確定後にタップして未確定の状態に戻すなど、直前の操作をキャンセルします。

④ **ソフトウェアキーボード**

各キーに割り当てられた文字を入力できます。

⑤ **カーソルキー**

カーソルを左/右に移動します。文字入力中/変換時は、文字の区切りを変更します。

⑥ **絵文字・記号・顔文字キー/英数・カナキー**※

記号:絵文字/記号/顔文字一覧を表示します。

英数カナ:入力したキーに割り当てられているひらがな、カタカナ、英字、数字、予測される日付や時間が変換候補に表示されます。

※操作する画面やアプリケーションなどによっては、入力できない文字種があります。

⑦ **文字種切替キー**※

入力する文字種を切り替えます。

タップするたびに、表示が次のように変更されます。

文字:ひらがな漢字入力　　文字:半角英字入力

文字:半角数字入力　　文字:音声入力

また、[⚙]→[入力モード切替]でカタカナや全角文字など他の文字種に切り替えることもできます。

文字:全角英字入力　　文字:全角数字入力

文字:全角カタカナ入力　　文字:半角カタカナ入力

※操作する画面やアプリケーションなどによっては、入力できない文字種があります。

⑧ **DELキー**

選択した文字やカーソルの左の文字を削除します。

⑨ **変換キー/スペースキー**

変換:通常変換候補リストを表示します。

- ひらがな入力中に表示されます。

␣:スペースを入力します。

- 数字/半角英字入力中などに表示されます。

⑩ **確定キー/Enterキー**

確定:入力中の文字を確定します。

⏎:カーソルの位置で改行します。

- アプリケーションや入力中の項目によって、表示が切り替わります。

⑪ **大文字/小文字切替キー**

ひらがな/カタカナ入力時に「大⇔小」をタップすると、入力した文字を大文字/小文字に切り替えたり、濁点/半濁点を付けたりします。

英字入力時に「A⇔a」をタップすると、入力した英字を大文字/小文字に切り替えます。

⑫ **シフトキー**

シフトキーをタップすると、大文字／小文字入力を切り替えます。タップするたびに、表示が次のように変更されます。

[icon]:小文字入力　[icon]:大文字入力ロック

[icon]:大文字入力

また、全角数字入力／半角数字入力時にタップすると、入力できる記号を切り替えられます。

予測変換について

◎ひらがな入力中に「[変換]」をタップすると通常変換候補リストに切り替えられます。「[DEL]」をタップすると、再度予測変換候補リストに切り替えられます。

◎「ワイルドカード予測」（▶P.63）を設定している場合は、字数を指定して変換させることができます。カーソルが文末の右位置にあるとき、「[icon]」をタップするたびに「○」が表示されます。「○」は任意の1文字とし、変換候補には入力文字数以上の候補を表示します。

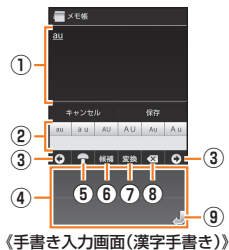
■フリック入力について

ソフトウェアキーボードが「テンキー」の場合、キーを上下左右にフリックすることで、キーを繰り返してタップすることなく、入力したい文字を入力することができます。

キーをロングタッチすると、フリック入力で入力できる候補が表示されます。入力したい文字が表示されている方向にフリックすると、文字入力エリアに文字が入力されます。例えば「あ」を入力する場合は「[あ]」をタップするだけで入力でき、「お」を入力する場合は「[あ]」をロングタッチしてから下にフリックすると入力されます。

手書きで入力する

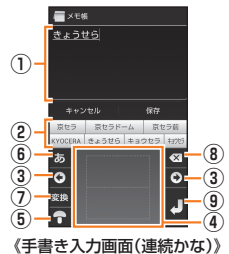
■手書き入力（LaLaStroke）画面（漢字手書き）

ひらがな／カタカナ／英字／記号／数字を手書きで入力できます。漢字を直接入力することもできます。

《手書き入力画面（漢字手書き）》

■手書き入力（LaLaStroke）画面（連続かな）

ひらがな／カタカナ／英字／記号／数字※を手書きで一画ごとに認識し、書いた先から文字に変換します。

ひらがな入力時に表示される変換候補から漢字を選択して入力することもできます。

※各種の文字の入力は、文字種切替キーで切替を行ってから入力してください。

《手書き入力画面（連続かな）》

1 **文字入力画面（テンキー／フルキー）→［漢字手書き］／［連続かな］**

手書き入力画面（漢字手書き／連続かな）が表示されます。

① **文字入力エリア**

② **変換候補欄**

③ **カーソルキー**

④ **手書き入力フィールド**

⑤ **マッシュルームキー**

マッシュルーム拡張機能を利用できます。

（▶P.62「マッシュルーム拡張機能を設定する」）

⑥ **文字種切替キー／候補キー**※

［あ#1A］／［あ］：入力する文字種を切り替えます。［あ#1A］の場合は文字種を自動的に判別します。

［候補］：認識した文字の候補を表示します。

※「漢字手書き」の場合のみ、表示されます。

⑦ **スペースキー／変換キー**

［スペース］：スペースを入力します。

［変換］：認識した文字の漢字変換候補を表示します。

⑧ **DELキー**

⑨ **Enterキー**

カーソルの位置で改行します。

2 **手書き入力フィールドで文字を手書きする**

手書きした文字を認識すると文字が入力されます。

- 「漢字手書き」の場合、手書きした文字がうまく認識されないときは、「［候補］」をタップして正しい文字を選択してください。
  変換候補欄の候補をタップして入力することもできます。

◎「漢字手書き」の場合、手書き入力が早すぎるときや一文字ごとの間隔が広いときは、文字を認識できないことがあります。ゆっくり正確に入力してください。

■手書き入力の設定をする

1 **手書き入力画面→［⚙］**

手書き入力設定メニューが表示されます。

2

項目	説明
漢字手書き（LaLaStroke）操作説明	操作説明を表示します。
連続かな手書き（LaLaStroke）操作説明	
自動認識待ち時間	入力してから自動で認識するまでの時間を設定します。

文字サイズガイド線	文字サイズのガイド線を表示するかどうかを設定します。
スクロール時間	文字がスクロールする時間を設定します。
筆跡の太さ	筆跡の太さを設定します。
ガイドメッセージ	ガイドメッセージを表示するかどうかを設定します。
アルファベットガイド線	アルファベットのガイド線を表示するかどうかを設定します。
大文字小文字境界線	手書き入力フィールドに大文字と小文字の境界線を表示するかどうかを設定します。
カタカナを半角	カタカナを半角にするかどうかを設定します。
記号／数字／英字を半角	記号／数字／英字を半角にするかどうかを設定します。
ひらがなで数字を認識	ひらがな入力時に数字を認識するかどうかを設定します。
確定ジェスチャー	手書き入力フィールドの斜め左下フリックでの確定ジェスチャーを有効にするかどうかを設定します。
スペースジェスチャー	手書き入力フィールドの右フリックでのスペースジェスチャーを有効にするかどうかを設定します。
削除ジェスチャー	手書き入力フィールドの左フリックでの削除ジェスチャーを有効にするかどうかを設定します。
ヘルプジェスチャー	手書き入力フィールドの上フリックでのヘルプジェスチャーを有効にするかどうかを設定します。
文字種かなの絞り込み	かなを入力したときに文字種を絞り込むかどうかの設定をします。

※メニューに表示される項目は、画面によって異なります。

memo

◎手書き入力設定メニューでは、上記以外に候補学習、予測変換、日本語ユーザー辞書、英語ユーザー辞書、学習辞書リセット（▶P.62）が設定できます。
◎ジェスチャーについての詳細な説明は、操作2で［漢字手書き（LaLaStroke）操作説明］／［連続かな手書き（LaLaStroke）操作説明］→［ジェスチャーについて］と操作すると、表示できます。

文字入力の便利な機能を利用する

絵文字／記号／顔文字を入力する

テンキーまたはフルキーでは、絵文字／記号／顔文字を利用できます。

1 文字入力画面（テンキー／フルキー）→［記号］

絵文字／記号／顔文字一覧画面が表示されます。
文字入力画面に変換対象がない状態で表示されます。

2 絵文字／記号／顔文字を選択

■絵文字／記号／顔文字一覧画面の操作

▲／▼：前／次のカテゴリーやページの表示
戻る：文字入力画面に戻る
DEL：選択した文字やカーソルの左の文字の削除

memo

◎操作するアプリケーションや画面によっては、一覧画面の表示方法が異なる場合や、絵文字／記号／顔文字の表示や入力ができない場合があります。

文字を切り取り／コピーしてから貼り付ける

1 文字入力画面→文字入力エリアをロングタッチ→「◢」／「◣」をドラッグして、範囲を選択

2 ［Cut］（Cut）／［Copy］（Copy）

基本操作

3 貼り付ける位置をタップしてカーソルを移動→カーソルをロングタッチ→[貼り付け]

貼り付け一覧画面が表示されます。

4 貼り付ける文字を選択

マッシュルーム拡張機能を利用する

マッシュルームを利用すると、いろいろな文字入力に関する機能を拡張できます。

1 文字入力画面(テンキー/フルキー)→「記号」をロングタッチ

手書き入力画面では「 」をタップします。

2 アプリケーションを選択

■マッシュルーム拡張機能を設定する

マッシュルームを利用する前に、あらかじめマッシュルームの設定を行っておいてください。

1 文字入力画面(テンキー/フルキー)→[ ]

2 [各種設定]→[マッシュルーム]→[使用する]→[OK]

memo

◎マッシュルーム拡張機能は、アプリケーションをインストールしないと利用することはできません。アプリケーションのインストール方法については、「Google Playを利用する」(▶P.139)をご参照ください。

iWnn IMEの設定を行う

iWnn IMEでのキー操作時の操作音やバイブレータなどを設定できます。

1 文字入力画面(テンキー/フルキー)→[ ]→[各種設定]

iWnn IME設定画面が表示されます。

2

キー操作音	キーをタップしたときにキー操作音を鳴らすかどうかを設定します。
キー操作バイブ	キーをタップしたときに、バイブレータを有効にするかどうかを設定します。
キーポップアップ	タップしたキーを拡大表示させるかどうか、フリック入力のガイドを表示させるかどうかを設定します。
自動大文字変換	半角英字入力時に、文頭の文字を自動的に大文字に変換するかどうかを設定します。
自動スペース入力	半角英字入力時に、変換候補の単語を選択するとスペースを自動入力するかどうかを設定します。
キーボードタイプ	ソフトウェアキーボードのタイプを変更します。
キーサイズ	画面の向きごとにキーボードの高さを設定します。
キーボードイメージ	ソフトウェアキーボードのイメージを変更します。
音声入力	音声入力を使用するかどうかを設定します。
フルスクリーンモード	フルスクリーンモードを有効にするかどうかを設定します。
フリック入力	フリック入力機能(▶P.59)を利用するかどうかを設定します。
フリック感度	フリック入力時のフリックの感度を設定します。

トグル入力	フリック入力が有効のとき、キーを繰り返しタップして入力する文字を切り替えるかどうかを設定します。
自動カーソル移動	文字入力後、自動でカーソルが移動するまでの間隔を設定します。 • カーソル移動後でも、゛（濁点）／゜（半濁点）の付加や、大文字／小文字の変換を行うことができます。
候補学習	変換候補リストから確定した文字を学習します。
予測変換	よく使う言葉や過去に変換･確定した文節を途中まで入力したときに変換候補を予測表示するかどうかを設定します。
入力ミス補正	フルキーで半角英字入力時、入力ミスの修正候補を表示するかどうかを設定します。
ワイルドカード予測	ワイルドカード予測機能（▶P.59）を利用するかどうかを設定します。
候補表示行数	ソフトウェアキーボードで文字入力する際に、予測変換などの変換候補リストを表示する行数を変更します。
マッシュルーム	マッシュルーム拡張機能を使用するかどうかを設定します。
日本語ユーザー辞書	▶P.63「ユーザー辞書に登録する」
英語ユーザー辞書	
学習辞書リセット	学習辞書の登録内容をすべて削除します。 • 絵文字／記号／顔文字の入力履歴も削除されます。

ユーザー辞書に登録する

よく利用する単語などの読みと表記を、日本語と英語をそれぞれ最大500件まで登録できます。文字の入力時に登録した単語などの読みを入力すると、変換候補リストに表示されます。

1 iWnn IME設定画面→[日本語ユーザー辞書]／[英語ユーザー辞書]

日本語／英語ユーザー辞書単語一覧画面が表示されます。

2 [⋮]→[登録]

3 読み／表記を入力→[保存]

◎ 登録した単語を編集する場合は、日本語／英語ユーザー辞書単語一覧画面で編集する単語を選択→[⋮]→[編集]と操作します。

◎ 日本語／英語ユーザー辞書単語一覧画面で削除する単語を選択→[⋮]→[削除]→[OK]と操作すると、選択した単語を削除できます。また、日本語／英語ユーザー辞書単語一覧画面→[⋮]→[ユーザー辞書全消去]→[OK]と操作すると、すべての単語を削除できます。

電話をかける

1 ホームスクリーン→[(電話)]

電話番号入力画面が表示されます。

2 電話番号を入力

一般電話へかける場合には、同一市内でも市外局番から入力してください。

:入力した数字を1桁削除

(ロングタッチ):すべての数字を削除

電話帳:電話帳を起動

「1」をロングタッチ→[OK]と操作すると、お留守番サービスセンターに接続され、伝言を聞くことができます。※

※お留守番サービスEXは有料オプションサービスです。

3 [発信]→通話→[ ](通話終了)

通話中に を押すと、通話音量(相手の方の声の大きさ)を調節できます。

memo

◎アプリ一覧→[設定]→[端末情報]→[端末の状態]と操作すると、「電話番号」欄で自分の電話番号を確認できます。また、電話帳を起動して、自分の電話番号を確認することもできます(▶P.115)。

◎発信中/通話中に顔などによって画面を覆うと、誤動作を防止するため画面が消灯します。

◎「1401」を付加して電話をかけた場合の通話料は、auのぷりペイドカードを購入し、ご登録された残高から引かれます。

◎送話口(マイク)を覆っても、相手の方には声が伝わりますのでご注意ください。

◎「機内モード」を設定中でも、緊急通報番号(110、119、118)へは電話をかけることができます。

■電話番号入力画面のメニューを利用する

1 電話番号入力画面→[メニュー]

2

連絡先に追加※	電話帳の連絡先に追加します。
日本へ発信	海外での使用時のみ表示されます。「+81」を先頭に付与し、プレフィックスの「0」を除去します。
番号非通知(184)付加	電話番号に「184」を追加します。
番号通知(186)付加	電話番号に「186」を追加します。
2秒間停止(,)付加※	「,」を入力します。電話番号の後ろに「,」と番号を入力して電話をかけると、電話がつながってから約2秒後に番号がプッシュ信号として自動的に送信されます。
ポーズダイヤル(;)付加※	「;」を入力します。電話番号の後ろに「;」と番号を入力して電話をかけると、電話がつながってから「送信」をタップしたときに番号をプッシュ信号として送信できます。
通話設定	▶P.67「通話に関する設定をする」

※電話番号が入力されている場合に表示されます。

■通話中に利用できる操作

アイコン	操作	説明
	はっきり通話	はっきり通話に切り替えます。
	スピーカー	ハンズフリー通話に切り替えます。
	ミュート	自分の声を相手に聞こえなくします。
	数字キー	プッシュ信号を送信できます。
	通話を追加	別の相手に電話をかけることができます。

■ 緊急通報位置通知について

本製品は、警察・消防機関・海上保安本部への緊急通報の際、お客様の現在地（GPS情報）が緊急通報先に通知されます。

memo

◎ 警察（110）・消防機関（119）・海上保安本部（118）について、ここでは緊急通報受理機関と記載します。
◎ 本機能は、一部の緊急通報受理機関でご利用いただけない場合もあります。
◎ 緊急通報番号（110、119、118）の前に「184」を付加した場合は、電話番号と同様にお客様の現在地を緊急通報受理機関に知らせることができません。
◎ GPS衛星または基地局の信号による電波を受信しづらい、地下街・建物内・ビルの陰では、実際の現在地と異なる位置が、緊急通報受理機関へ通知される場合があります。
◎ GPS測位方法で通知できない場合は、基地局信号により、通知されます。
◎ 警察・消防機関・海上保安本部への緊急通報の際には、必ずお客様の所在地をご確認の上、口頭でも正確な住所をお伝えくださいますようお願いいたします。なお、おかけになった地域によっては、管轄の通報先に接続されない場合があります。
◎ 緊急通報した際は、通話中もしくは通話切断後一定の時間内であれば、緊急通報受理機関が、人の生命、身体などに差し迫った危険があると判断した場合には、発信者の位置情報を取得する場合があります。

通話に関する設定をする

通話時間の確認や留守番電話の設定など、通話に関する設定を行います。

1 電話番号入力画面→[メニュー]→[通話設定]

2

通話時間	通話時間 通話時間（海外）	前回通話・累積の通話時間の目安を表示します。 • [ ]→[リセット]→[OK]と操作すると、表示されている時間をリセットできます。
発信者番号通知	自分の電話番号を相手の方に通知するかどうかを設定します。	
着信相手非表示	着信時に相手の名前や画像などを表示しないようにするかどうかを設定します。	
伝言メモ	伝言メモ設定	電話に出ることができないとき、応答メッセージを流して相手の方の伝言を録音するかどうかを設定します。
	応答時間	伝言メモで応答するまでの時間を設定します。
	伝言メモリスト	伝言メモを選択して再生します。 • 伝言メモリスト画面で、「 」をタップしたり、伝言メモをロングタッチしたりすると、伝言メモの保護や削除などの操作が行えます。
留守番電話	▶P.198「お留守番サービスEXを利用する（オプションサービス）」	
転送電話	▶P.192「着信転送サービスを利用する（標準サービス）」	
着信拒否	▶P.68「着信を拒否する」	
はっきり通話	スマートソニックレシーバーからの音声をはっきり聞こえるように設定します。	
SMS応答	SMS応答（▶P.70）のメッセージを編集します。	

memo

通話時間について

◎ 表示される通話時間は、自分から発信したときの通話時間になります。
◎ 通話が途切れるなど正常に終了できなかった場合や国際電話をかけた場合など、通話時間が更新されない場合があります。

発信者番号通知について

◎ 電話をかける場合、「184」または「186」を相手の方の電話番号に追加して入力したときは、「発信者番号通知」の設定にかかわらず、入力した「184」または「186」が優先されます。
◎ 発信番号表示サービスの契約内容が非通知の場合は、「発信者番号通知」を有効にしていても相手の方に電話番号が通知されません。電話番号を通知したい場合は、auショップもしくはお客さまセンターまでお問い合わせください。
◎「発信者番号通知」を無効に設定しても、緊急通報番号（110、119、118）への発信時や、SMS送信時は発信者番号が通知されます。
◎ 海外でのローミング中は、相手の方に電話番号が表示されない場合があります。

伝言メモについて

◎ 録音できるのは、1件あたり約60秒間で、20件までです。20件録音されている場合は、再生済みで保護されていない伝言メモが、古いものから順に削除されます。すべて未再生または保護されている場合、伝言メモで応答しません。

着信を拒否する

自動的に着信を拒否する条件を設定できます。着信を拒否した場合は、着信画面の表示、着信音・バイブレータの鳴動は行われません。

1 **電話番号入力画面→[メニュー]→[通話設定]→[着信拒否]**

2

指定番号	指定番号設定	特定の電話番号からの着信を拒否します。
	指定番号リスト	特定の電話番号を指定して、その電話番号からの着信を拒否します。 電話帳／履歴を引用して登録する場合 **1. [ ]→[登録]→[ ]／[ ]** **2. 連絡先／履歴を選択→[登録]** 電話番号を入力して登録する場合 **1. [ ]→[登録]** **2. 電話番号を入力→[登録]**
非通知	電話番号を通知しない着信を拒否します。	
公衆電話	公衆電話からの着信を拒否します。	
通知不可能	電話番号を通知できない着信を拒否します。	
電話帳登録外	電話帳に登録されている電話番号以外からの着信を拒否します。	
着信履歴保存	拒否した着信を着信履歴に保存するかどうかを設定します。	

◎ 割込通話サービスの割込通話は、着信拒否できません。

履歴を利用して電話をかける

1 **電話番号入力画面→[発信履歴]／[着信履歴]**

発信／着信履歴一覧画面が表示されます。

:着信
:着信（伝言メモあり）
:不在着信（赤色）
:不在着信（伝言メモあり）
:発信
:着信拒否
:不在着信（ワン切り※）

※ 約3秒以内に切れた不在着信をワン切りとみなします。お客様に折り返し電話させ、悪質な有料番組につなげる行為の可能性がありますのでご注意ください。

2 電話をかける履歴の[📞]

選択した相手に電話を発信します。

- 発信／着信履歴一覧画面で履歴をタップすると履歴詳細画面が表示され、音声発信以外にも伝言メモの再生やSMSの作成、電話帳への登録や着信拒否登録などの操作を行うことができます。

memo

◎ 発信履歴／着信履歴はそれぞれ最大50件まで保存され、50件を超えると最も古い履歴から自動的に削除されます。空き容量によっては、保存件数が少なくなる場合があります。

■ 着信お知らせサービスについて

「着信お知らせサービス」は、au電話の電源を切っていた場合や機内モード中の場合、または電波の届かない場所にいた場合、着信があったことをSMSでお知らせするサービスです。

電話をかけてきた相手の方が伝言を残さずに電話を切った場合に、着信があった時間と相手の方の電話番号をお知らせします。

■ 発信／着信履歴一覧画面のメニューを利用する

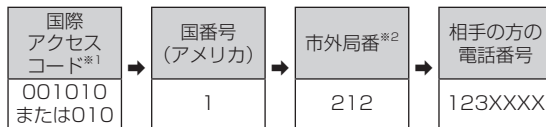
発信／着信履歴一覧画面で「⋮」をタップすると、オプションメニューが表示され、履歴の消去や通話設定(▶P.67)などの操作を行うことができます。

au電話から海外へかける(au国際電話サービス)

本製品からは、特別な手続きなしで国際電話をかけることができます。

例：本製品からアメリカの「212-123-XXXX」にかける場合

1 電話番号入力画面→国際アクセスコード、国番号、市外局番、相手の方の電話番号を入力→[発信]

国際アクセスコード※1	→	国番号(アメリカ)	→	市外局番※2	→	相手の方の電話番号
001010または010		1		212		123XXXX

※1 「0」をロングタッチすると、「+」が入力され、発信時に「001010」が自動で付加されます。

※2 市外局番が「0」で始まる場合は、「0」を除いて入力してください(イタリア･モスクワなど一部の国や地域の固定電話などの例外もあります)。

memo

◎ au国際電話サービスは毎月のご利用限度額を設定させていただきます。auにて、ご利用限度額を超過したことが確認された時点から同月内の末日までの期間は、au国際電話サービスをご利用いただけません。

◎ ご利用限度額超過によりご利用停止となっても、翌月1日からご利用を再開できます。また、ご利用停止中も国内通話は通常通りご利用いただけます。

◎ 通話料は、auより毎月のご利用料金と一括してのご請求となります。

◎ ご利用を希望されない場合は、お申し込みによりau国際電話サービスを取り扱わないようにすることもできます。

au国際電話サービスに関するお問い合わせ:

au電話から(局番なしの)157番(通話料無料)

一般電話から 0077-7-111(通話料無料)

受付時間 9:00～20:00(年中無休)

電話を受ける

1 着信中に「📞」を右にスライド

2 通話→[📞](通話終了)

■ 着信を拒否する場合

1 着信中に[⋮]→[拒否]

着信音が止まって電話が切れ、相手の方には音声ガイダンスでお知らせします。

電話

■電話がかかってきた場合の表示について

お買い上げ時は、着信すると次の内容が表示されます。

- 相手の方から電話番号の通知があると、ディスプレイに電話番号が表示されます。電話帳に登録されている場合は、名前や画像などの情報も表示されます。
- 相手の方から電話番号の通知がないと、ディスプレイに理由が表示されます。
  「非通知設定」「公衆電話」「通知不可能※」
  ※相手の方が通知できない電話からかけている場合です。

着信時に相手の方の電話番号や名前、画像などを表示しないようにすることもできます（▶P.67「着信相手非表示」）。

かかってきた電話に出なかった場合は

◎ステータスバーに[icon]が表示されます。ステータスバーを下にスライドしてお知らせ／ステータスパネルを開くと、着信のあった時間や電話番号、または電話帳に登録されている名前が表示されます。

着信時に着信音、バイブレータを無効にするには

◎着信時に[◀][▶]を押すと、着信音、バイブレータを無効にすることができます。

他の機能をご利用中に着信した場合は

◎電話帳やメールなどをご利用中に着信した場合は、着信が優先され、通話終了後に再度ご利用が可能となります。

◎動画を録画していた場合は、録画が中断され、録画終了後の画面になります。

◎音声レコーダーなどで録音していた場合は、録音が中断され、録音していたデータは保存されます。

■着信中のメニューを利用する

1 **着信中に[⋮]**

2

SMS応答	着信拒否をして、SMSのメッセージで応答します。 ・定型文を選択するか、または自分で文章を作成して返信することもできます。定型文をあらかじめ編集しておくこともできます（▶P.67「SMS応答」）。
伝言メモ応答	伝言メモのメッセージで応答し、相手の方の伝言を録音します。
転送	かかってきた電話に出ずに、転送先の電話番号へ転送します。 ・転送先の登録方法については「手動で転送する（選択転送）」（▶P.194）をご参照ください。
拒否	着信を拒否します。

◎伝言メモ録音中に「[icon]」を右にスライドすると、電話に出ることができます。

電話

メール

メールについて

本製品では、次のメールが利用できます。

■Eメール

(@ezweb.ne.jp)のアドレスを利用してメールの送受信ができるサービスです。絵文字やデコレーションメールに対応し、文章のほか、静止画や動画などのデータを送ることができます(▶P.72)。

■SMS

電話番号を宛先としてメールのやりとりができるサービスです。他社携帯電話との間でもSMSの送信および受信をご利用いただけます(▶P.96)。

■PCメール

「PCメール」アプリケーションを利用して、au one メールのメールアカウントやExchange ActiveSyncアカウント、一般のISP(プロバイダ)が提供するPOP3やIMAPに対応したメールアカウントなどを設定し、パソコンと同じように本製品からメールを送受信できます(▶P.100、103)。

■Gmail

Googleが提供するメールサービスです。本製品からGmailの確認・送受信などができます(▶P.104)。

Eメールを利用する

- Eメールアプリを利用するには、あらかじめ初期設定が必要です。詳しくは、同梱の「設定ガイド」をご参照ください。
- Eメールを利用するには、LTE NETのお申し込みが必要です。ご購入時にお申し込みにならなかった方は、auショップまたはお客さまセンターまでお問い合わせください。

memo

◎Eメールは海外でもご利用になれます。詳しくは、「グローバルパスポート」(▶P.205)をご参照ください。

◎Eメールの送受信には、データ量に応じて変わるパケット通信料がかかります。海外でのご利用は、通信料が高額となる可能性があります。詳しくは、au総合カタログおよびauホームページをご参照ください。

◎添付データが含まれている場合やご使用エリアの電波状態によって、Eメールの送受信に時間がかかる場合があります。

◎Eメールの送受信はWi-Fi®で利用できますが、初期設定はLTE/3Gデータ通信にて行ってください。

Eメールを送信する

1 アプリ一覧→[Eメール]→[新規作成]

送信メール作成画面が表示されます。

《送信メール作成画面》

2 [ ]

アドレス入力欄をタップしてアドレスを直接入力することもできます。

メール

3

アドレス帳引用	電話帳のEメールアドレスを宛先に入力します。
アドレス帳グループ引用	電話帳のグループに登録されたすべてのEメールアドレスを宛先に入力します。 • グループに登録されているEメールアドレスが宛先の上限を超えている場合は、上限まで宛先に入力します。 • 「Friends Noteでグループ作成」を選択すると、グループを作成することができます。Friends Noteアプリがインストールされていない場合もしくはバージョンが古い場合は、最新のFriends Noteアプリを、ホームスクリーン→[(auスマートパス)]→[アプリ]からダウンロードしてください。
メール受信履歴引用	メール受信履歴／メール送信履歴の一覧から選択して、Eメールアドレスを宛先に入力します。 **Eメールアドレスを選択→[選択]** • [ ]→[削除]→Eメールアドレスを選択→[削除]→[削除]と操作すると、履歴を削除できます。
メール送信履歴引用	
プロフィール引用	本製品に登録されているEメールアドレスを選択して宛先に入力します。
貼り付け※	クリップボードに記憶されたEメールアドレスを貼り付けます。

※クリップボードに文字が記憶されている場合に表示されます。

4 件名入力欄をタップ→件名を入力

件名は、全角50／半角100文字まで入力できます。

5 本文入力欄をタップ→本文を入力→[完了]

本文は、全角5,000／半角10,000文字まで入力できます。

6 [送信]→[送信]

memo

◎デコレーションアニメには対応しておりません。
◎件名や本文には、半角カナおよび半角記号『ー（長音）゛（濁点）゜（半濁点）、。・「」』は入力できません。
◎1日に送信できるEメールの件数は、宛先数の合計で最大1,000通までです。
◎一度に送信できるEメールの宛先の件数は、最大30件（To／Cc／Bccを含む。1件につき半角64文字以内）までです。
◎絵文字を他社携帯電話やパソコンなどに送信すると、一部他社の絵文字に変換されたり、受信側で正しく表示されないことがあります。また、auの異なる携帯電話に送信した場合、auの旧絵文字に変換される場合があります。
◎送信メール作成画面で「保存」をタップすると、作成中のEメールを未送信ボックスに保存できます。
◎送信時確認表示は非表示に設定することもできます（▶P.91）。

宛先を追加・削除する

宛先を追加／削除したり、宛先の種類（To／Cc／Bcc）を変更したりできます。

1 送信メール作成画面を表示

■ 宛先を追加する場合

2 未入力のアドレス入力欄の[ ]

宛先の入力方法を選択するサブメニューが表示されます。「Eメールを送信する」の操作3をご参照ください。
アドレス入力欄をタップしてアドレスを直接入力することもできます。

■ 宛先を削除する場合

2 入力済みのアドレス入力欄の[ ]→[削除]

■ 宛先の種類を変更する場合

2 [To]

3

To	選択した宛先の種類を「To」に変更します。
Cc	選択した宛先の種類を「Cc」に変更します。
Bcc	選択した宛先の種類を「Bcc」に変更します。

memo

◎一番上の宛先は種類を変更することはできません。

Eメールにデータを添付する

送信メールには、最大5件(合計2MB以下)のデータを添付できます。

1 **送信メール作成画面→添付データ欄をタップ**

2

ストレージ	microSDメモリカードのデータを添付します。
ギャラリー(静止画)	ギャラリーやファイル管理の静止画データを添付します。
ギャラリー(動画)	ギャラリーやファイル管理の動画データを添付します。
カメラ(静止画)※	フォトを撮影して添付します。
カメラ(動画)※	ムービーを撮影して添付します。
その他	他のアプリケーションを利用してデータを添付します。

※添付するデータが、microSDメモリカードに保存されない場合があります。

memo

◎1データあたり2MBまでのデータを添付できます。
◎データを添付した後に、添付データ欄をタップすると添付したデータを再生できます。

添付データを削除する

1 **送信メール作成画面→削除する添付データ欄の[×]**

2 **[削除]**

絵文字を利用する

Eメール作成中に、デコレーションメールの素材を簡単に探すことができます。

1 **送信メール作成画面→本文入力欄をタップ→[絵文字]**

2 **[D絵文字]/[ピクチャ]→[▲]**

3

メニューリストから探す	auポータルに接続して、デコレーションメールアプリを検索できます。
お気に入りからコンテンツを探す	他のアプリケーションを利用して、デコレーションメールの素材を検索できます。

■ microSDメモリカードの絵文字を利用する場合

2 **[microSD]→[ダウンロード]**

3

メニューリストから探す	auポータルに接続して、デコレーションメールアプリを検索できます。
お気に入りからコンテンツを探す	他のアプリケーションを利用して、デコレーションメールの素材を検索できます。
更新	microSDメモリカードに保存されているデコレーション絵文字を検索し、表示します。

本文を装飾する

本文を装飾したEメールを送信できます(デコレーションメール)。

1 **送信メール作成画面→本文入力欄をタップ→本文を入力**

2 [装飾]

デコレーションメニューが表示されます。

3 装飾の開始位置を選択→[選択開始]→[ ]／[ ]で終了位置を選択

「全選択」をタップして、すべての文字を選択することもできます。

4

文字サイズ	文字の大きさを変更します。 「小さい」「標準」「大きい」
文字位置／効果	文字の位置や動きを指定します。 「左寄せ」「センタリング」「右寄せ」「点滅表示」「テロップ」「スウィング」
文字色	24色のカラーパレットから文字の色を選択します。
背景色※	24色のカラーパレットから背景の色を選択します。
挿入	microSDメモリカードやギャラリーに保存された画像、カメラで撮影した画像を挿入したり、行と行の間にラインを挿入したりします。 「画像挿入」「ライン挿入」

※「冒頭文」「署名」編集時は選択できません。

[ ]→[装飾全解除]→[解除]と操作すると、装飾を解除できます。

5 [完了]→[送信]→[送信]

◎本文を装飾する場合は、装飾情報を含めて約10KBの文字を入力できます。

◎本文には、最大20件（合計100KB以下）の画像／デコレーション絵文字を挿入できます。

※一度挿入した画像／デコレーション絵文字は、件数に関係なく繰り返し挿入できます。

※挿入できる画像／デコレーション絵文字は、拡張子が「.jpg」「.gif」のファイルです。

◎「Eメールにデータを添付する」（▶P.74）の操作でデータを添付した場合は、添付データと画像／デコレーション絵文字を合計して2MBまで添付できます。

◎装飾した文字を削除しても、装飾情報のみが残り、入力可能文字数が少なくなる場合があります。

◎異なる機種の携帯電話やパソコンなどの間で送受信したデコレーションメールは、受信側で一部正しく表示されないことがあります。

◎デコレーションメール非対応機種やパソコンなどに送信すると、通常のEメールとして受信・表示される場合があります。

◎Eメールの「サーバ転送」では、本文を装飾できません。

■速デコを利用する

本文を入力後に、自動的に絵文字を挿入したりフォント／背景色を変更し、本文を装飾することができます。速デコを利用するには、あらかじめ「auポータル」の「メニューリスト」から対応するアプリケーションをダウンロードしてください。

1 送信メール作成画面→本文入力欄をタップ→本文を入力

2 [速デコ]

装飾結果プレビュー画面が表示されます。
「次候補」をタップするたびに次の装飾候補が表示されます。

3 [確定]

4 [完了]→[送信]→[送信]

■テンプレートを利用する

テンプレートにメッセージを挿入することで、簡単に装飾メールを作成して送信することができます。

1 アプリ一覧→[Eメール]→[テンプレート]

テンプレート一覧画面が表示されます。
[⋮]→[ストレージから読み込み]と操作すると、microSDメモリカード内のテンプレート一覧を表示できます。本体メモリに読み込んでからご利用ください。

2 テンプレートをタップ→[メール作成]

本文入力中にできること

1 送信メール作成画面→本文入力欄をタップ→[⋮]

2

アドレス帳引用	電話帳から、電話番号やEメールアドレスなどを呼び出して挿入します。
プロフィール引用	プロフィールに登録している電話番号やEメールアドレスを呼び出して挿入します。
挿入	定型文／冒頭文／署名を挿入します。 「定型文」「冒頭文」「署名」 • 冒頭文／署名はあらかじめ登録してください(▶P.91)。
装飾全解除	すべての装飾を解除します。
文字サイズ	文字サイズを一時的に切り替えます。 「特大」「大」「中」「小」「極小」
完了	本文の入力を完了します。

Eメールを受信する

1 Eメールを受信

Eメールの受信が終了すると、ステータスバーに[E]が表示され、Eメール受信音が鳴ります。
ステータスバーにEメールアドレス、名前、件名が表示されます。受信したEメールに差出人名称が設定されている場合は、設定されている名前が表示されます。Eメールアドレスが電話帳に登録されている場合は、電話帳に登録されている名前が優先して表示されます。

《受信完了画面》

2 ステータスバーを下にスライド

3 [Eメール]

Eメールトップ画面が表示されます。

4 フォルダを選択→受信したEメールをタップ

受信メール内容表示画面が表示されます。

memo

◎Eメールやその他の機能を操作中でもバックグラウンドでEメールを受信します。ステータスバーに[E]が点灯し、Eメール受信音が鳴ります。ただし、「メール自動受信」(▶P.90)を自動受信しない設定にしている場合は、バックグラウンド受信しません。

◎「メール自動受信」(▶P.90)を自動受信しない設定にしている場合や、受信に失敗した場合は、Eメール受信音が鳴り[E]が点灯します。「新着メールを問い合わせて受信する」(▶P.77)操作を行い、Eメールを受信してください。

◎受信状態および受信データにより、正しく受信されなかった場合でもパケット通信料がかかる場合があります。

◎受信できる本文の最大データ量は、1件につき全角約5,000文字/半角約10,000文字(約10KB)までです。それを超える場合は、本文の最後に、以降の内容を受信できなかった旨のメッセージが表示されます。

◎受信したEメールの内容によっては、正しく表示されない場合があります。

添付データを受信・再生する

1 受信メール内容表示画面を表示

■受信済みの添付データ(本体メモリ保存)を再生する場合

2 添付データをタップ→[表示]

■未受信の添付データを受信して再生する場合

2 未受信の添付データをタップ

受信が開始されます。

3 添付データをタップ→[表示]

memo

◎受信メール内容表示画面で添付データをタップ→[ストレージへ保存]と操作すると、添付データをmicroSDメモリカードに保存できます。

◎通常のEメール(テキストメール)では、添付データがメール内容表示画面にインライン再生される場合があります。再生されるデータの種類は、拡張子が「.png」「.jpg」「.gif」のファイルです。

※データによっては、インライン再生されない場合があります。

◎デコレーションメールの本文内に挿入されている画像は最大150KBまで受信できます。

新着メールを問い合わせて受信する

「メール自動受信」(▶P.90)を自動受信しない設定にした場合や、Eメールの受信に失敗した場合は、新着メールを問い合わせて受信することができます。

1 アプリ一覧→[Eメール]→[新着問合せ]

新着のEメールがあるかどうかを確認します。

新着問合せをした際の認証中には、ステータスバーに[E]が表示されます。

メール

Eメールを確認する

受信したEメールは、受信ボックスに保存されます。送信済みのEメールは送信ボックスに保存されます。受信したEメールや送信したEメールが振分け条件に一致した場合は、設定したフォルダに保存されます。送信せずに保存したEメール、送信に失敗したEメールは未送信ボックスに保存されます。

1 アプリ一覧→[Eメール]

Eメールトップ画面が表示されます。

- 受信ボックスに新着メールがある場合は赤丸と件数が表示され、新着メールを確認すると青丸に変わります。
- 未送信ボックスにEメールがある場合は、青丸と件数が表示されます（送信に失敗したEメールがある場合は、赤丸に変わります）。

《Eメールトップ画面》

■ 受信メールを確認する場合

2 [受信ボックス]またはフォルダを選択

受信メール一覧画面が表示されます。

3 Eメールをタップ

受信メール内容表示画面が表示されます。
［返信］：返信のEメールを作成
［転送］：転送のEメールを作成
［保護］／［保護解除］：Eメールを保護／保護解除
［フラグ］／［フラグ解除］：Eメールにフラグを付ける／外す
▶：前のEメールを表示
◀：次のEメールを表示

■ 送信メールを確認する場合

2 [送信ボックス]またはフォルダを選択

送信メール一覧画面が表示されます。
フォルダを選択した場合は「送信」をタップします。

3 Eメールをタップ

送信メール内容表示画面が表示されます。
［再送信］：同じEメールをもう一度送信
［コピー編集］：コピーして編集
［保護］／［保護解除］：Eメールを保護／保護解除
［フラグ］／［フラグ解除］：Eメールにフラグを付ける／外す
▶：前のEメールを表示
◀：次のEメールを表示

■ 未送信ボックスのEメールを確認する場合

2 [未送信ボックス]

未送信メール一覧画面が表示されます。

- 送信に失敗したEメールをロングタッチ→［送信失敗理由］と操作すると、送信に失敗した理由を確認できます。

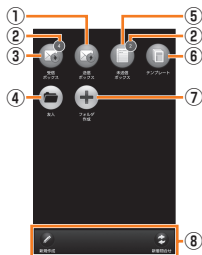
3 Eメールをタップ

未送信メール内容表示画面が表示されます。
［送信］：宛先が入力されているEメールを送信
［編集］：Eメールを編集
［コピー編集］：保護されたEメールをコピーして編集
［保護］／［保護解除］：Eメールを保護／保護解除
［フラグ］／［フラグ解除］：Eメールにフラグを付ける／外す
▶：前のEメールを表示
◀：次のEメールを表示

memo

◎宛先が不明で相手に届かなかったEメールは、送信ボックスに保存されます。
◎Eメールトップ画面で[⋮]→[au oneメール]→[au one メールTop]と操作すると、au one メールを利用できます。（▶P.103「au one メールを利用する」）
◎受信ボックスの容量を超えると、最も古い既読メールが自動的に削除されます。ただし、未読のEメール、保護されたEメール、本文を未受信のEメールは削除されません。
◎受信ボックスのすべてのメールが未読の状態で受信ボックスの容量を超えると、新着メールを受信できません。
◎送信ボックス・未送信ボックスの容量を超えると、最も古い送信済みメールが自動的に削除されます。削除できる送信済みメールがない場合は、サーバーに元のメールがなく転送に失敗したEメール、送信失敗メール、未送信メールの順に削除されます。

■Eメールトップ画面の見かた

Eメールトップ画面には、受信ボックスや送信ボックス、フォルダなどが表示されます。フォルダは、「フォルダ作成」をタップしてフォルダを作成すると表示されます。

《Eメールトップ画面》

① 送信ボックス
② フォルダに未読メールや未送信メールがある場合は、アイコンの右上に合計の件数が表示されます。
③ 受信ボックス
④ フォルダ
⑤ 未送信ボックス
⑥ テンプレート
⑦ フォルダ作成
⑧ アクションバー

■Eメール一覧画面の見かた

2行表示　本文プレビュー表示

《メール一覧画面（受信ボックス）》

2行表示　本文プレビュー表示

《メール一覧画面（送信ボックス）》

2行表示　本文プレビュー表示

⑫

《メール一覧画面(未送信ボックス)》

2行表示　本文プレビュー表示

⑬

《メール一覧画面(フォルダ)》

① ■:未読のEメール
　◯:本文を未受信のEメール
　⚠:サーバーにメールがなく本文を受信できないEメール

② 件名

③ **宛先／差出人の名前またはEメールアドレス**
Eメールアドレスが電話帳に登録されている場合は、電話帳に登録されている名前が表示されます。
受信したEメールに差出人名称が設定されている場合は、設定されている名前が表示されます。
※ 電話帳にEメールアドレスが登録されている場合は、電話帳に登録されている名前が優先して表示されます。
電話帳に登録されていない場合で、差出人名称も設定されていない場合は、Eメールアドレスが表示されます。

④ **:返信したEメール**
:転送したEメール
:返信／転送したEメール

⑤ **2行表示／本文プレビュー表示切替ボタン**
横画面表示に切り替えた場合は、本文プレビュー表示固定になります。

⑥ **添付データあり**

⑦ **保護されたEメール**

⑧ **フラグあり**

⑨ **アクションバー**

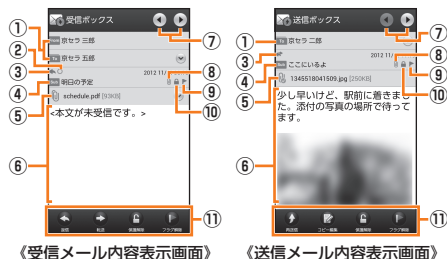
⑩ **本文**

⑪ **:返信のEメール**
:転送のEメール

⑫ **⚠:送信に失敗したEメール／サーバーに元のメール(受信メール)がなく転送に失敗したEメール**

⑬ **受信／送信切替スライダ**
フォルダ内の受信メール一覧と、送信済みメール一覧を切り替えて表示できます。

■Eメール内容表示画面の見かた

《受信メール内容表示画面》　《送信メール内容表示画面》

① **受信メール**

From:差出人の名前またはEメールアドレス

To／CC:宛先の名前またはEメールアドレス

送信メール

To／CC／BCC:宛先の名前またはEメールアドレス

※宛先が複数ある場合は1件のみ表示されます。をタップすると、その他のEメールアドレスを表示できます。

② **:本文を未受信のEメール**

:サーバーにメールがなく本文を受信できないEメール

③ **受信メール**

:返信したEメール

:転送したEメール

:返信／転送したEメール

送信メール

:返信のEメール

:転送のEメール

④ **Sub:件名**

⑤ **:受信済みの添付データ(本体メモリ保存)**

:未受信の添付データ

※添付データが複数ある場合は1件のみ表示されます。をタップすると、その他の添付データを表示できます。

:通常添付(ストレージ保存)

:通常添付(保存失敗)

:インライン添付(本体メモリ保存)

:インライン添付(ストレージ保存)

⑥ **本文表示エリア**

⑦ **次のEメール／前のEメールを表示**

※本文表示エリアを左右にフリックすることで、次のメール／前のメールを表示することもできます。

⑧ **添付データあり**

⑨ **フラグあり**

⑩ **保護されたEメール**

⑪ **アクションバー**

Eメール一覧画面でできること

1 **受信メール一覧画面(▶P.78)／送信メール一覧画面(▶P.78)／未送信メール一覧画面(▶P.78)／検索結果一覧画面(▶P.88)→[⋮]**

2

検索	▶P.88「Eメールを検索する」
移動	Eメールを移動します。 **移動するEメールを選択→[移動]→移動先のフォルダを選択** • あらかじめフォルダを作成してください(▶P.86)。 • 「全選択」をタップすると、一覧表示しているEメールをすべて選択できます。
削除	Eメールを削除します。 **削除するEメールを選択→[削除]→[削除]** • 「全選択」をタップすると、一覧表示している削除可能なEメールをすべて選択できます。 • 保護されたEメールは選択できません。

保護／解除	Eメールが自動的に削除されないように保護したり、保護を解除します。 **保護／解除するEメールを選択→[保護]／[解除]** • 「全選択」をタップすると、一覧表示しているEメールをすべて選択できます。 • 受信メールは、受信ボックス容量の50%または1,000件まで保護できます。 • 送信・未送信メールは、送信ボックス容量の50%または500件まで保護できます。	
フラグ	Eメールにフラグを付けたり、フラグを解除します。 **フラグを付ける／解除するEメールを選択→[つける]／[解除]** • 「全選択」をタップすると、一覧表示しているEメールをすべて選択できます。	
その他	ストレージへ保存	Eメールをストレージに保存します。 **保存するEメールを選択→[保存]** • 「全選択」をタップすると、一覧表示しているEメールをすべて選択できます。 • Eメール設定メニューの「バックアップ・復元」を利用すると、microSDメモリカードに保存したEメールを本製品に読み込むことができます（▶P.93）。
	フォルダ編集	表示中の受信ボックス／フォルダを編集します。 ▶P.86「フォルダを作成／編集する」
	選択受信	本文が未受信のEメールの本文を取得します。 **本文を受信するEメールを選択→[受信]** • 「全選択」をタップすると、一覧表示している本文受信可能なEメールをすべて選択できます。
	Eメール設定	▶P.89「Eメールを設定する」

※画面により選択できる項目は異なります。

Eメールを個別に操作する

1 受信メール一覧画面（▶P.78）／送信メール一覧画面（▶P.78）／未送信メール一覧画面（▶P.78）／検索結果一覧画面（▶P.88）→操作するEメールをロングタッチ

2

返信	Eメールに返信します。 • 送信メール作成画面（▶P.72）が表示されます。 • 件名には、元のEメールの件名に「Re:」を付けた件名が入力されます。 • 宛先には、差出人／返信先のEメールアドレスが入力されます。	
全員に返信	同報されている全員に返信します。 • 送信メール作成画面（▶P.72）が表示されます。 • 宛先が複数ある場合のみ選択できます。	
転送	本文転送	本文を転送するEメールを作成します。 • 送信メール作成画面（▶P.72）が表示されます。 • 件名には、元のEメールの件名に「Fw:」を付けた件名が入力されます。

転送	サーバ転送	サーバーに保存されているEメールを本文の最後に引用して転送します。 • 送信メール作成画面（▶P.72）が表示されます。 • 件名には、元のEメールの件名に「Fw:」を付けた件名が入力されます。 • サーバーにある元のEメール（受信メール）を転送するため、受信できなかった添付データもすべて転送されます。 • デコレーションメールはサーバ転送できません。
送信	未送信のEメールを送信します。 • 宛先がないEメールでは表示されません。	
編集	未送信のEメールを編集して送信します。 • 送信メール作成画面（▶P.72）が表示されます。	
コピー編集	送信したEメールや保護されている未送信のEメールをコピーして編集し、送信します。 • 送信メール作成画面（▶P.72）が表示されます。	
保護／保護解除	Eメールを保護します。 • 保護されているEメールでは「保護解除」をタップして保護を解除します。	
フラグ／フラグ解除	Eメールにフラグを付けます。 • フラグ付きのEメールでは「フラグ解除」をタップしてフラグを外します。	
送信失敗理由	送信に失敗したEメールの送信失敗理由を表示します。	
削除	Eメールを削除します。	
移動	Eメールを移動します。 **移動先のフォルダを選択** • あらかじめフォルダを作成してください（▶P.86）。	
拒否リスト登録	選択したEメールアドレスを迷惑メールフィルターの指定拒否リストに登録します。 ▶P.94「迷惑メールフィルターを設定する」	

※画面により選択できる項目は異なります。

Eメール内容表示画面でできること

1 **受信メール内容表示画面（▶P.81）／送信メール内容表示画面（▶P.81）→［⋮］**

2

転送	本文転送	本文を転送するEメールを作成します。 • 送信メール作成画面（▶P.72）が表示されます。 • 件名には、元のEメールの件名に「Fw:」を付けた件名が入力されます。
	サーバ転送	サーバーに保存されているEメールを本文の最後に引用して転送します。 • 送信メール作成画面（▶P.72）が表示されます。 • 件名には、元のEメールの件名に「Fw:」を付けた件名が入力されます。 • サーバーにある元のEメール（受信メール）を転送するため、受信できなかった添付データもすべて転送されます。 • デコレーションメールはサーバ転送できません。
移動	Eメールを移動します。 **移動先のフォルダを選択** • あらかじめフォルダを作成してください（▶P.86）。	
削除	Eメールを削除します。	

本文選択	Eメールの本文を選択してコピーします。 **表示される本文選択画面でコピーする文字列の開始位置をタップする、または[⇦]／[⇨]でカーソルを移動→[選択開始]→[⇦]／[⇨]で選択範囲を指定→[コピー]** • 本文をロングタッチ→[本文選択]と操作しても本文選択画面を表示できます。 • 本文選択画面をロングタッチ→「◢」／「◣」をドラッグして、選択範囲を指定→[コピー]と操作することもできます。 • 「全選択」をタップすると、本文全体を選択できます。 • 絵文字やインライン画像もコピーできます。 • 一部の装飾（文字位置／効果、背景色）はコピーされません。	
文字サイズ	本文の文字サイズを一時的に切り替えます。 「特大」「大」「中」「小」「極小」 • Eメール内容表示画面を閉じると、「受信・表示設定」で設定した文字サイズに戻ります。	
その他	ストレージへ保存	EメールをmicroSDメモリカードに保存します。 • Eメール設定メニューの「バックアップ・復元」を利用すると、microSDメモリカードに保存したEメールを本製品に読み込むことができます（▶P.93）。
	文字コード	本文を表示する文字コードを一時的に切り替えます。 「ISO-2022-JP」「Shift_JIS」「UTF-8」「EUC-JP」「ASCII」 • 変更した文字コードは、表示中のEメール内容表示画面でのみ一時的に適用されます。
	本文受信	本文未受信メールを表示した際、本文の受信を開始します。

※画面により選択できる項目は異なります。

差出人／宛先／件名／電話番号／Eメールアドレス／URLを利用する

1 受信メール内容表示画面（▶P.81）／送信メール内容表示画面（▶P.81）を表示

■ 差出人／宛先／本文中のEメールアドレスを利用する場合

2 差出人／宛先／本文中のEメールアドレスをタップ

3

Eメール作成	選択したEメールアドレスを宛先にしてEメールを作成します。
アドレス帳登録	▶P.114「連絡先を登録する」
アドレスコピー	選択したEメールアドレスをコピーします。
振分け条件に追加	選択したEメールアドレスをフォルダの振分け条件に登録します。 **[新規振分けフォルダ作成]／[「×××」（×××はフォルダ名）に追加]→[保存]** • ロックされたフォルダ（▶P.88）を選択した場合は、フォルダロック解除パスワードを入力します。 • 「保存」をタップした後、すぐに再振分けを行う場合は「再振分けする」をタップします。 ▶P.86「フォルダを作成／編集する」
拒否リスト登録	選択したEメールアドレスを迷惑メールフィルターの指定拒否リストに登録します。 ▶P.94「迷惑メールフィルターを設定する」

■ 件名をコピーする場合

2 件名を選択→[コピー]

■ 本文中の電話番号を利用する場合

2 本文中の電話番号をタップ

3	
音声発信	選択した電話番号に電話をかけます。
特番付加184	選択した電話番号に「184(発信者番号非通知)」を付加して電話をかけます。
特番付加186	選択した電話番号に「186(発信者番号通知)」を付加して電話をかけます。
au国際電話サービス	選択した電話番号に国際電話の識別番号「010」を付加して国際電話をかけます。 • au国際電話サービスを利用した国際電話のかけかたについては、下記のホームページをご参照ください。 http://www.001.kddi.com/lineup/001mobile/au.html
SMS作成	選択した電話番号を宛先としたSMSを作成します。 ▶P.96「SMSを送信する」
アドレス帳登録	▶P.114「連絡先を登録する」
電話番号コピー	選択した電話番号をコピーします。

■ 本文中のURLを利用する場合

2 本文中のURLをタップ

3	
開く	選択したURLのページをブラウザで表示します。
URLをコピー	選択したURLをコピーします。

memo

◎ 本文中のEメールアドレス、電話番号、URLは、表記のしかたによって正しく認識されない場合があります。

添付画像を保存する

Eメールに添付された画像をmicroSDメモリカードに保存できます。

1 受信メール内容表示画面(▶P.81)/送信メール内容表示画面(▶P.81)→本文をロングタッチ

2 [画像保存]

3 保存する画像を選択

「全選択」をタップすると、表示されている画像をすべて選択できます。

4 [保存先選択]

保存先選択画面が表示されます。

5 [保存]

選択した画像がmicroSDメモリカードの「MyFolder※」に保存されます。

※本製品では保存したデータはmicroSDメモリカード(/mnt/sdcard/private/au/email/MyFolder)に保存されます。

memo

◎ 保存先選択画面で「Up」をタップすると、1つ上の階層のフォルダを選択できます。

◎ 未受信の添付画像は保存できません。サーバーから画像を受信してから操作してください(▶P.77)。

Eメールトップ画面でできること

1 Eメールトップ画面(▶P.79)→[⋮]

2	
検索	▶P.88「Eメールを検索する」
フォルダ編集	▶P.86「フォルダを作成/編集する」

フォルダ削除	選択したフォルダとフォルダ内のメールをすべて削除します。 **削除するフォルダを選択→[削除]→[削除]** • ロックされたフォルダは選択できません。 • フォルダ内に保護されたEメールがある場合は、保護メールの削除を確認する画面が表示されます。「削除しない」をタップすると、保護メールが残り、フォルダは削除されません。	
再振分け	現在設定されているフォルダの振分け条件で、Eメールの再振分けを行います。 • ロックされたフォルダがある場合は、フォルダロック解除パスワードを入力します。	
Eメール設定	▶P.89「Eメールを設定する」	
au oneメール	au one メールTop	▶P.103「au one メールを利用する」
	au one メールへ自動保存	Eメール(@ezweb.ne.jp)で送受信したEメールをau one メールに自動的に保存する設定をします。 **[次へ]→セキュリティパスワード入力欄をタップ→セキュリティパスワードを入力→[OK]→画面に従って設定する** • あらかじめau one メールの会員登録を行ってください(▶P.103)。

フォルダを作成/編集する

フォルダを作成して、フォルダごとにEメールの振分け条件や着信通知を設定したり、フォルダにロックをかけたりすることができます。

■ フォルダを作成する

最大20個のフォルダを作成できます。

1 Eメールトップ画面(▶P.79)→[フォルダ作成]

フォルダ編集画面が表示されます。

《フォルダ編集画面》

2 フォルダ名称欄をタップ→フォルダ名を入力

フォルダ名は、全角8/半角16文字まで入力できます。

3 画面左上のフォルダアイコンをタップ

■ フォルダアイコンを変更する場合

4 アイコンを選択→カラーを選択→[OK]→[保存]

カラー選択時に画面を下にスライドすると、カラー一覧を確認できます。

■ フォルダ画像を設定する場合

4 [ギャラリーから写真を選択]

- 「アプリケーションを選択」メニューが表示された場合は、使用するアプリケーションを選択してください。常に同じアプリケーションを使用する場合は、「常にこの操作で使用する」を選択してから、アプリケーションを選択します。

5 画像を選択→切り抜き範囲を指定→[切り抜き]→[OK]→[保存]

■ フォルダに振分け条件を設定する

作成したフォルダに「メールアドレス」「ドメイン」「件名」「アドレス帳登録外」「不正なメールアドレス」の振分け条件を設定できます。設定した振分け条件に該当するEメールを受信/送信すると、自動的に設定フォルダにEメールが振り分けられます。

1 **Eメールトップ画面（▶P.79）→[ ]→[フォルダ編集]→フォルダを選択**

フォルダ編集画面が表示されます。
ロックされたフォルダを選択した場合は、フォルダロック解除パスワードを入力します。

■ 振分け条件を追加する場合

2 **[振分け条件追加]→[ ]**

3

メールアドレス	Eメールアドレスを振分け条件に登録します。 **Eメールアドレスを入力→[OK]→[保存]** • 「 」をタップすると、「アドレス帳引用」「アドレス帳グループ引用」「メール受信履歴引用」「メール送信履歴引用」「プロフィール引用」から入力方法を選択して、Eメールアドレスを登録できます。
ドメイン	ドメインを振分け条件に登録します。 **ドメインを入力→[OK]→[保存]** • 「 」をタップすると、「アドレス帳引用」「メール受信履歴引用」「メール送信履歴引用」「プロフィール引用」から入力方法を選択して、ドメインを登録できます。
件名	件名を振分け条件に登録します。 **件名を入力→[OK]→[保存]** • 件名の一部が一致する場合も振り分けられます。

■ アドレス帳登録外／不正なメールアドレスを振分け条件に設定する場合

2 **「アドレス帳登録外」／「不正なメールアドレス」を選択→[保存]**

memo

◎ 振分け条件を設定／編集して「保存」をタップすると、フォルダの再振分けを行うかどうかの確認画面が表示されます。すぐに再振分けを行う場合は、「再振分けする」をタップします。
◎ 全フォルダで「メールアドレス」「ドメイン」「件名」を合わせて最大400件登録できます。
◎ 同一の振分け条件を複数のフォルダに設定することはできません。
◎ 「振分け条件設定」の一覧で、追加した条件の右横にある「 」をタップして、条件を編集したり削除することができます。
◎ 振り分けの対象となるEメールアドレスは、受信メールの場合は差出人、送信メールの場合は宛先です。
◎ 一致する振分け条件が複数あるEメールの場合は、メールアドレス＞ドメイン＞件名＞その他の優先順位で振り分けられます。送信メールのメールアドレスは、To＞Cc＞Bccの優先順位で振り分けられ、先頭のメールアドレス／ドメイン＞2番目のメールアドレス／ドメイン＞・・・＞最後のメールアドレス／ドメインの優先順位で振り分けられます。

■ フォルダごとに着信通知を設定する

受信ボックスや作成したフォルダごとにEメール受信時の着信音やバイブレーション、着信ランプを設定できます。

1 **Eメールトップ画面（▶P.79）→[ ]→[フォルダ編集]→受信ボックス／フォルダを選択**

フォルダ編集画面が表示されます。
ロックされた受信ボックス／フォルダを選択した場合は、フォルダロック解除パスワードを入力します。

2 **[フォルダ別設定]**

3

着信音	受信ボックス／選択したフォルダに振り分けられるEメールを受信したときの着信音を設定します。 **[OFF]／着信音を選択→[OK]→[OK]→[保存]**

バイブレーション	受信ボックス／選択したフォルダに振り分けられるEメールを受信したときのバイブレーションを設定します。 **[OFF]／パターンを選択→[OK]→[OK]→[保存]**
LED	受信ボックス／選択したフォルダに振り分けられるEメールを受信したときの着信ランプを設定します。 **[OFF]／パターンを選択→[OK]→[OK]→[保存]**
着信音鳴動時間	受信ボックス／選択したフォルダに振り分けられるEメールを受信したときの着信音の鳴動時間を設定します。 「一曲鳴動」「時間設定」 ・「時間設定」を選択した場合は、1～60秒の範囲で指定します。

■フォルダにロックをかける

受信ボックスや作成したフォルダにロックをかけて、フォルダロック解除パスワードを入力しないとフォルダを開いたり編集や削除ができないように設定できます。あらかじめEメール設定メニューの「パスワード設定」でフォルダロック解除パスワードを設定してください（▶P.89）。

1 Eメールトップ画面（▶P.79）→[⋮]→[フォルダ編集]→受信ボックス／作成したフォルダを選択

フォルダ編集画面が表示されます。

2 [フォルダロック]→フォルダロック解除パスワードを入力→[OK]

「フォルダロック」が選択され、フォルダにロックがかかります。フォルダ編集画面で「フォルダロック」の選択を解除すると、フォルダロック設定が解除されます。

3 [保存]

フォルダを並び替える

1 Eメールトップ画面（▶P.79）で移動するフォルダをロングタッチ

画面上部に「選択したフォルダの場所を移動できます。」が表示されます。

2 移動する位置にドラッグして、指を離す

memo

◎「受信ボックス」「送信ボックス」「未送信ボックス」「テンプレート」「フォルダ作成」は移動できません。

Eメールを検索する

1 Eメールトップ画面（▶P.79）→[⋮]→[検索]

受信ボックス／送信ボックス／未送信ボックス／フォルダ内のEメールを検索するには、それぞれのEメール一覧画面で[⋮]→[検索]と操作します。

2 キーワード入力欄をタップ→キーワードを入力

半角と全角を区別して入力してください。

3 [🔍]／[🔍]

検索結果一覧画面が表示されます。

日時が新しいEメールから順に表示されます。

Eメールトップ画面から検索する場合、ロックされたフォルダ内のEメールは検索対象から外されます。

《検索結果一覧画面》

メール

■ 検索結果を絞り込む場合

4 [From]／[To]／[件名]／[本文]

検索条件を差出人、宛先、件名、本文のいずれかに絞り込んで検索した結果が表示されます。

Eメールを設定する

1 Eメールトップ画面（▶P.79）／受信メール一覧画面（▶P.78）／送信メール一覧画面（▶P.78）／未送信メール一覧画面（▶P.78）／検索結果一覧画面（▶P.88）→[⋮]→（[その他]→）[Eメール設定]

Eメール設定メニューが表示されます。

Eメールトップ画面では「その他」をタップする必要はありません。

《Eメール設定メニュー》

2

受信・表示設定	▶P.90「受信・表示に関する設定をする」
送信・作成設定	▶P.91「送信・作成に関する設定をする」
通知設定	▶P.92「通知に関する設定をする」

添付ファイル保存設定※	保存場所の設定	添付ファイルの保存場所を設定します。 **本体メモリに保存**：システムメモリに保存する。 **ストレージに保存**：microSDメモリカードに保存する。
	添付ファイル一括移動	自動的に保存された添付ファイルを別のストレージにまとめて移動します。 **ストレージへ一括移動**：本体メモリからmicroSDメモリカードへ移動する。 **本体メモリへ一括移動**：microSDメモリカードから本体メモリへ移動する。
パスワード設定	パスワード設定／パスワード変更	フォルダロック解除パスワードを設定／変更します。 **フォルダロック解除パスワード（4～16文字の英数字）を入力→[OK]→同じパスワードを再度入力→[OK]→ひみつの質問を選択→[OK]→ひみつの質問の回答を入力→[OK]** • パスワードを設定すると「パスワード変更」が表示されます。 • フォルダロック解除パスワードの入力を連続3回間違えるとひみつの質問画面が表示されます。[表示する]→回答を入力→[OK]と操作すると、新しいパスワードを設定できます。
	パスワードリセット	フォルダロック解除パスワードをリセットします。 **フォルダロック解除パスワードを入力→[OK]→[リセット]** • パスワード未設定の場合は選択できません。 • パスワードをリセットすると、フォルダロック設定も解除されます。

アドレス変更・その他の設定	▶P.92「Eメールアドレスを変更する」 ▶P.93「転送先を設定する」
設定更新	Eメールアドレスの再初期設定を行います。
バックアップ・復元	▶P.93「Eメールをバックアップ/復元する」
Eメール情報	自分のEメールアドレスやEメール保存件数/使用容量、ソフトウェアバージョンを表示します。 ・Eメールアドレス欄をタップ→[アドレスコピー]と操作すると、Eメールアドレスをコピーできます。

※ 受信/送信/未送信メールに添付されているファイルの保存場所を設定します。設定によりシステムメモリの負担を軽減させることができます。また、削除するメールにファイルが添付されている場合、添付ファイルも一緒に削除されます。本操作の「添付データ」はファイル検索を行ってもデータを確認することができません。残しておきたい添付ファイルの保存方法は、「添付データを受信・再生する」(▶P.77)にてご確認ください。

受信・表示に関する設定をする

1 Eメール設定メニュー→[受信・表示設定]

2

メール自動受信	サーバーに届いたEメールを自動的に受信するかどうかを設定します。解除してオフに設定すると、受信せずに新しいEメールがサーバーに到着したことをお知らせします。

メール受信方法	全受信	差出人・件名と本文を受信します。
	指定全受信	指定したアドレスからのEメールは、差出人・件名と本文を受信します。指定していないアドレスからのEメールは、差出人・件名のみを受信します。 **アドレス帳**:電話帳に登録されているアドレスからのEメールは差出人・件名と本文を受信する。 **個別アドレスリスト**:「個別アドレスリスト編集」で登録したアドレスからのEメールは差出人・件名と本文を受信する。 **個別アドレスリスト編集**:個別アドレスを登録する。 ・「[icon]」をタップすると、「アドレス帳引用」「アドレス帳グループ引用」「メール受信履歴引用」「メール送信履歴引用」「プロフィール引用」「貼り付け※」から入力方法を選択して、個別アドレスを登録できます。 ※ クリップボードに文字が記憶されている場合に表示されます。 ・登録した個別アドレスを削除するには、削除するアドレスの[×]→[削除]と操作します。
	差出人・件名受信	差出人・件名のみを受信します。 ・受信メール一覧画面(▶P.78)で本文が未受信のEメールをタップすると、本文を取得できます。本文未受信のままEメール内容表示画面が表示されたときは、[⋮]→[その他]→[本文受信]と操作すると、本文を取得できます。本文受信は、電波状態の良いところで行ってください。

添付自動受信	受信メールの添付データを自動的に受信するかどうかを設定します。選択してオンに設定すると、Eメールの受信と同時に添付データを受信します。オフに設定すると、添付データを別途取得します。
添付自動受信サイズ	自動受信する添付データの上限サイズを設定します。 「100KB」「500KB」「1MB」「2MB」
アドレス帳登録名表示	電話帳に登録された名前を表示するかどうかを設定します。
文字サイズ	Eメール内容表示画面／送信メール作成画面の本文の文字サイズを設定します。 「特大」「大」「中」「小」「極小」
テーマ設定	Eメールアプリのデザインイメージを設定します。

送信・作成に関する設定をする

1 **Eメール設定メニュー→[送信・作成設定]**

2

返信先アドレス	Eメールを受信した相手の方が返信する場合に、宛先に設定されるアドレスを設定します。 **[設定する]→返信先のEメールアドレス（半角64文字まで）を入力→[OK]**
差出人名称	送信先で表示される名前を設定します。 **[設定する]→差出人名称（全角12／半角24文字まで）を入力→[OK]**
冒頭文	本文の冒頭に挿入する文を設定します。 **[設定する]→冒頭文（全角1,250／半角2,500文字まで。装飾する場合は約2.5KBまで）を入力→[完了]→[設定]** • 冒頭文には、最大10種類の画像／デコレーション絵文字を挿入できます。 • 冒頭文／署名を挿入しただけで、画像／デコレーション絵文字の制限（最大20種類、または合計100KB以下）に達した場合は、本文入力時に画像／デコレーション絵文字を挿入できません。 • 冒頭文と署名に同じ画像を挿入した場合でも、冒頭文と署名が本文に挿入されると、画像は異なるファイルとして扱われます。
署名	本文の末尾に挿入する文を設定します。 **[設定する]→署名（全角1,250／半角2,500文字まで。装飾する場合は約2.5KBまで）を入力→[完了]→[設定]** • 署名には、最大10種類の画像／デコレーション絵文字を挿入できます。 • 冒頭文／署名を挿入しただけで、画像／デコレーション絵文字の制限（最大20種類、または合計100KB以下）に達した場合は、本文入力時に画像／デコレーション絵文字を挿入できません。 • 冒頭文と署名に同じ画像を挿入した場合でも、冒頭文と署名が本文に挿入されると、画像は異なるファイルとして扱われます。
返信メール引用	返信時、受信メールの内容を本文に引用するかどうかを設定します。選択してオンに設定すると、受信メールの行頭に「>」を付けて引用します。受信メールがデコレーションメールの場合は、1行目の行頭のみ「>」を付けて引用します。
送信時確認表示	誤送信防止のために送信時の確認画面を表示するかどうかを設定します。

通知に関する設定をする

1 **Eメール設定メニュー→[通知設定]**

2

着信音	Eメール受信時の着信音を設定します。 **[OFF]／着信音を選択→[OK]**
バイブレーション	Eメール受信時のバイブレーションを設定します。 **[OFF]／パターンを選択→[OK]**
LED	Eメール受信時の着信ランプを設定します。 **[OFF]／パターンを選択→[OK]**
着信音鳴動時間	Eメール着信音の鳴動時間を設定します。 「一曲鳴動」「時間設定」 • 「時間設定」を選択した場合は、1～60秒の範囲で指定します。
ステータスバー通知	Eメール受信時、ステータスバーに通知アイコンとともに差出人・件名または差出人を表示するか、または通知アイコンのみ表示するかを設定します。 「差出人・件名」「差出人」「通知のみ」
送信失敗通知	Eメール送信失敗時にバイブレーションでお知らせするかどうかを設定します。

Eメールアドレスを変更する

EメールアドレスはEメールアドレスの初期設定を行うと自動的に決まりますが、変更できます。

1 **Eメール設定メニュー→[アドレス変更・その他の設定]→Eメール設定の「接続する」をタップ→[Eメールアドレスの変更]**

2 **暗証番号入力欄をタップ→暗証番号を入力→[送信]**

3 **[承諾する]**

4 **Eメールアドレス入力欄をタップ→Eメールアドレスの「@」の左側の部分（変更可能部分）を入力→[送信]→[OK]**

◎暗証番号を同日内に連続3回間違えると、翌日まで設定操作はできません。
◎Eメールアドレスの変更可能部分は、半角英数小文字、「.」「-」「_」を含め、半角30文字まで入力できます。ただし、「.」を連続して使用したり、最初と最後に使用したりすることはできません。また、最初に数字の「0」を使用することもできません。
◎変更直後は、しばらくの間Eメールを受信できないことがありますので、あらかじめご了承ください。
◎入力したEメールアドレスがすでに使用されている場合は、他のEメールアドレスの入力を求めるメッセージが表示されますので、再入力してください。
◎Eメールアドレスの変更は1日3回まで可能です。

転送先を設定する

本製品で受信したEメールを自動的に転送するEメールアドレスを登録します。

1 Eメール設定メニュー→[アドレス変更・その他の設定]→Eメール設定の「接続する」をタップ→[自動転送先]

2 暗証番号入力欄をタップ→暗証番号を入力→[送信]

3 入力欄をタップ→Eメールアドレスを入力→[送信]→[終了]

memo

◎暗証番号を同日内に連続3回間違えると、翌日まで設定操作はできません。
◎自動転送先のEメールアドレスは2件まで登録できます。
◎自動転送先の変更・登録は、1日3回まで可能です。
※設定をクリアする操作は、回数には含まれません。
◎「エラー！ Eメールアドレスを確認してください。」と表示された場合は、自動転送先のEメールアドレスとして使用できない文字を入力しているか、指定のEメールアドレスが規制されている可能性があります。
◎Eメールアドレスを間違って設定すると、転送先の方に迷惑をかける場合がありますのでご注意ください。
◎自動転送メールが送信エラーとなった場合、自動転送先のEメールアドレスを含むエラーメッセージが送信元に返る場合がありますのでご注意ください。

Eメールをバックアップ／復元する

Eメールをフォルダごとにmicro SDメモリカードにバックアップすることができます。また、microSDメモリカードに保存したバックアップデータを本製品へ読み込むことができます。

memo

◎本製品ではバックアップしたデータはmicroSDメモリカード(/mnt/sdcard/private/au/email/BU/)に保存されます。

Eメールをバックアップする

1 Eメール設定メニュー→[バックアップ・復元]

2 [バックアップ]

3 バックアップするフォルダを選択→[OK]

ロックされた受信ボックス／フォルダを選択した場合は、フォルダロック解除パスワードを入力します。

バックアップデータを復元する

1 Eメール設定メニュー→[バックアップ・復元]

2 [メールを復元]

3 [受信メール]／[送信メール]／[未送信メール]／[ストレージから探す]→[OK]

4 復元するバックアップデータを選択→[OK]

「全選択」をタップすると、一覧表示しているデータをすべて選択できます。
「Up」をタップして1つ上の階層のフォルダを選択できます。
「MyFolder」をタップするとMyFolderを開くことができます。

5 [追加保存]／[上書き保存]→[OK]

「上書き保存」を選択した場合は、確認画面で「OK」をタップします。

◎添付ファイルはバックアップされません。
◎バックアップデータを復元する際に「上書き保存」を選択した場合は、保存されているすべてのEメールを削除して(保護されているEメールや未読メール、ロックされたフォルダ内のEメールも削除されます)、バックアップしたEメールを復元します。
◎復元したEメールから未受信の本文や添付ファイルを取得したり、復元したEメールを転送することはできません。

迷惑メールフィルターを設定する

迷惑メールフィルターには、特定のEメールを受信／拒否する機能と、携帯電話・PHSなどになりすましてくるEメールを拒否する機能があります。

1 Eメール設定メニュー→[アドレス変更・その他の設定]→Eメール設定の「接続する」をタップ

■おすすめの設定にする場合

2 [オススメの設定はこちら]→[登録]

なりすましメール・自動転送メールおよび迷惑メールの疑いのあるメールを拒否します。本設定により大幅に迷惑メールを削減できます。

■詳細を設定する場合

2 [迷惑メールフィルター]→暗証番号入力欄をタップ→暗証番号を入力→[送信]

3

カンタン設定	**1.「携帯」「PHS」「PC」メールを受信** なりすましメール・自動転送メールおよび迷惑メールの疑いのあるメールを拒否して、携帯電話・PHS・パソコンからのメールを受信する条件に設定します。 **2.「携帯」「PHS」メールのみを受信** パソコンからのメール・なりすましメール・自動転送メールおよび迷惑メールの疑いのあるメールを拒否して、携帯電話・PHSからのメールを受信する条件に設定します。	
詳細設定	個別設定	**一括指定受信** インターネット、携帯電話からのメールを一括で受信／拒否します。 **迷惑メールおまかせ規制** メールサーバーで受信したPCメールの中で、迷惑メールの疑いのあるメールを自動検知して規制します。 **なりすまし規制** 送信元のアドレスを偽って送信してくるメールの受信を拒否します。(高)(中)(低)の3つの設定があります。 ※指定受信リスト設定(なりすまし・転送メール許可)により「なりすまし規制」を回避して、自動転送メールを受信することもできます。 **HTMLメール規制** メール本文がHTML形式で記述されているメールを拒否することができます。 **URLリンク規制** 本文中にURLが含まれるメールを拒否することができます。

メール

詳細設定	個別設定	**ウィルスメール規制** メールサーバーで受信したメールの添付ファイルがウィルスに感染されている場合に、受信規制を行います。 **拒否通知メール返信設定** 迷惑メールフィルターで拒否されたメールに対して、受信エラー(宛先不明)メールを返信するかしないかを設定することができます。
	指定受信リスト設定	個別に指定したEメールアドレスやドメイン、「@」より前の部分を含むメールを優先受信します。 • 指定受信リスト以外のEメールをブロックする場合は、「一括指定受信」ですべてを解除してオフ(受信拒否)にしてください。 ※指定受信リスト設定(なりすまし・転送メール許可)により「なりすまし規制」を回避して、自動転送メールを受信します。なお、本受信リストにezweb.ne.jpやその一部を登録すると、すべてのメールを受信するためご注意ください。
	指定拒否リスト設定	個別に指定したEメールアドレスやドメイン、「@」より前の部分を含むメールの受信を拒否します。
	アドレス帳受信設定	Friends Noteもしくはauアドレス帳に保存したメールアドレスからのメールを受信することができます。
設定確認／解除		迷惑メールフィルター設定状態の確認と、設定の解除ができます。
PC設定用ワンタイムパスワード発行		▶P.96「パソコンから迷惑メールフィルターを設定するには」
設定にあたって		迷惑メールフィルターの設定を行う際の説明を表示します。

memo

◎暗証番号を同日内に連続3回間違えると、翌日まで設定操作はできません。

◎迷惑メールフィルターの設定により、受信しなかったEメールをもう一度受信することはできませんので、設定には十分ご注意ください。

◎迷惑メールフィルターは、以下の優先順位にて判定されます。
指定受信リスト設定(なりすまし・転送メール許可)＞なりすまし規制＞指定拒否リスト設定＞指定受信リスト設定＞アドレス帳受信設定＞HTMLメール規制＞URLリンク規制＞一括指定受信＞迷惑メールおまかせ規制＞ウィルスメール規制

◎「指定受信リスト設定(なりすまし・転送メール許可)」は、自動転送されてきたEメールが「なりすまし規制」の設定時に受信できなくなるのを回避する機能です。自動転送設定元のメールアドレスを指定受信リスト(なりすまし・転送メール許可)に登録することにより、そのメールアドレスがTo(宛先)もしくはCc(同報)に含まれているEメールについて、規制を受けることなく受信できます。
※Bcc(隠し同報)のみに含まれていた場合(一部メルマガ含む)は、本機能の対象外となりますのでご注意ください。

◎「拒否通知メール返信設定」は、迷惑メールフィルター初回設定時に自動的に「返信する」に設定されます。なお、「返信する」に設定している場合でも、なりすましメールには返信されません。

◎「URLリンク規制」を設定すると、メールマガジンや情報提供メールなどの本文中にURLが記載されたEメールの受信や、一部のケータイサイトへの会員登録などができなくなる場合があります。

◎「HTMLメール規制」を設定すると、メールマガジンやパソコンから送られてくるEメールの中にHTML形式で記述されているEメールが含まれる場合、それらのEメールが受信できない場合があります。また、携帯電話・PHSからのデコレーションメールは「HTML規制」を設定している場合でも受信できます。

◎「なりすまし規制」は、送られてきたEメールが間違いなくそのドメインから送られてきたかを判定し、詐称されている可能性がある場合は規制するものです。
この判定は、送られてきたEメールのヘッダ部分に書かれてあるドメインを管理しているプロバイダ、メール配信会社などが、ドメイン認証(SPFレコード記述)を設定している場合に限られます。ドメイン認証の設定状況につきましては、それぞれのプロバイダ、メール配信会社などにお問い合わせください。
※パソコンなどで受け取ったEメールを転送させている場合、転送メールが正しいドメインから送られてきていないと判断され受信がブロックされてしまうことがあります。そのような場合は自動転送元のアドレスを「指定受信リスト設定(なりすまし・転送メール許可)」に登録してください。

パソコンから迷惑メールフィルターを設定するには

迷惑メールフィルターは、お持ちのパソコンからも設定できます。auのホームページ内の「迷惑メールでお困りの方へ」の画面内にある「PCからメールフィルター設定」にアクセスし、PC設定用ワンタイムパスワードを入力して設定を行ってください。
PC設定用ワンタイムパスワードは、迷惑メールフィルター画面の「PC設定用ワンタイムパスワード発行」で確認できます。
PC設定用ワンタイムパスワードが発行されてから15分以内にパソコンから「迷惑メールフィルター設定」に接続を行ってください。15分を過ぎるとPC設定用ワンタイムパスワードは無効となります。

SMSを利用する

携帯電話同士で、電話番号を宛先としてメールのやりとりができるサービスです。海外の現地携帯電話の電話番号を宛先にしてもメッセージが送れます。

SMSを送信する

漢字・ひらがな・カタカナ・英数字・記号・絵文字・顔文字のメッセージ（メール本文）を送信できます。送信完了時には、相手の方にメールが届いたかどうかがわかります。

1 アプリ一覧→［SMS］→［新規作成］

SMS作成画面が表示されます。

2 ［■］

「宛先を入力」をタップして電話番号を直接入力することもできます。
海外へ送信する場合は、相手先電話番号の前に「010」と国番号を入力します。

010　＋　国番号　＋　相手先電話番号

※相手先電話番号が「0」で始まる場合は、「0」を除いて入力してください。
※連絡先などから相手先電話番号を引用した場合は、もう一度宛先をタップして「010」と「国番号」を入力してください。

3

アドレス帳引用	電話帳の電話番号を宛先に入力します。
送信履歴引用	送信履歴／受信履歴の一覧から選択して、電話番号を宛先に入力します。 • ［■］→［全件削除］→［はい］と操作すると、履歴を全件削除できます。
受信履歴引用	

4 ［メッセージを入力］→本文を入力

本文は、全角最大70／半角最大160文字まで入力できます。

メール

5 ［送信］

送信が完了すると、相手の方にメールが届いた旨のメッセージか、メールが蓄積された旨のメッセージが表示されます。送信したメールは送信ボックスに保存されます。

memo

◎ SMS作成画面で「保存」をタップすると、メールを送信せずに送信ボックスへ保存できます。
◎ SMSセンターは、次の通りSMSをお預かりします。

お預かり（蓄積）可能時間	72時間まで ※蓄積されてから72時間経過したSMSは、自動的に消去されます。
お預かり可能件数	制限なし ※受信されるお客様のご利用状況、また、送信されるお客様の電話機の種類により、SMSセンターでお預かりできない場合があります。

◎ 蓄積されたSMSが配信されるタイミングは、次の通りです。

SMS蓄積後すぐに配信	新しいSMSがSMSセンターに蓄積されるたびに、SMSセンターでお預かりしていたSMSがすべて配信されます。
リトライ機能による配信	相手の方が電波の届かない場所にいるときや、電源が入っていないなどの理由で、蓄積後すぐに配信できなかった場合は、最大72時間、相手先へSMSを繰り返し送信するリトライ機能によりSMSを配信します。
通話を終了したときに配信	蓄積後すぐに配信できなかった場合は、お客様が本製品で通話を終了したときに、SMSセンターにお預かりしていたSMSをすべて配信します。

※国際SMSの場合、配信タイミングが異なる場合があります。

◎ 発信者番号通知をせずにSMSを送信することはできません。
◎ 絵文字を他社の携帯電話に送信すると、一部他社の絵文字に変換されたり、受信側で正しく表示されないことがあります。また、auの異なる携帯電話に送信した場合は、auの旧絵文字に変換される場合があります。
◎ SMSの送信が成功しても、電波の弱い場所などではまれに「送信できませんでした」と表示される場合があります。
◎ 国際SMSの詳細につきましては、auホームページをご参照ください。
http://www.au.kddi.com/service/kokusai/kokusai_sms/index.html

SMSを受信する

1 SMSを受信すると

SMSの受信が終了すると、ステータスバーに[SMS]が表示され、メール受信音が鳴ります。

2 ステータスバーを下にスライド

3 電話番号または名前をタップ

未読のSMSが複数あるときは「新着メッセージ（X件）」と表示されます。

4 受信したSMSをタップ

memo

◎ SMSの受信は、無料です。
◎ 受信したSMSでは、送信してきた相手の方の電話番号を確認できます。
◎ 受信したメールの内容によっては正しく表示されない場合があります。
◎ 本文中に電話番号やURLを含むSMSを受信するには、SMS安心ブロック機能を解除する必要があります（▶P.99「SMS安心ブロック機能を設定する」）。

SMSを確認する

受信したSMSは、受信ボックスに保存されます。送信済みのSMSや送信せずに保存したSMSは、送信ボックスに保存されます。

1 アプリ一覧→［SMS］

■ 受信メールを確認する場合

2 ［受信ボックス］

3 SMSをタップ

［返信］：返信のSMSを作成
［編集］：本文を引用してSMSを作成
［削除］：SMSを削除
［保護］／［保護解除］：SMSを保護／保護解除

■送信メールを確認する場合

2 ［送信ボックス］

3 SMSをタップ

［再送信］：送信済み／送信に失敗したSMSをもう一度送信
［送信］：未送信のSMSを送信
［編集］：SMSを編集
［削除］：SMSを削除
［保護］／［保護解除］：SMSを保護／保護解除

memo

◎メール受信件数が上限（1,000件）を超えると、既読、未読の順で古いメールから自動的に削除されます。その際、保護メールは自動削除の対象外です。本製品のユーザーメモリ（本体）の空き容量が不足すると、上限に達していない場合でも自動的に削除されます。
◎メール送信件数が上限（1,000件）を超えると、送信済み、送信失敗、未送信の順で古いメールから自動的に削除されます。その際、保護メールは自動削除の対象外です。
◎受信ボックスでは、未読のSMSには「●」、返信済みのSMSには「◀」が表示されます。
◎送信ボックスでは、送達確認済みのSMSには「✓」、未送信のSMSには「✎」、送信に失敗したSMSには「⚠」が表示されます。
◎受信ボックス／送信ボックス内表示中に「⋮」をタップすると、SMSの設定（▶P.98）や削除などの操作ができます。
◎受信ボックス／送信ボックス内のSMSをロングタッチすると、電話帳への登録や発信、送達結果の表示などの操作ができます。「受信フィルター登録」をタップすると、その電話番号が受信フィルター（▶P.99）の指定番号リストに登録されます。
◎受信ボックス／送信ボックス内表示中に、［本文検索］→キーワードを入力→［検索］と操作すると、検索結果が表示されます。

SMSを設定する

1 アプリ一覧→［SMS］→［SMS設定］

2

通知設定	SMS受信時、ステータスバーに通知アイコンを表示するかどうかを設定します。解除してオフに設定すると、SMSを受信しても通知アイコンは表示されません。また、「着信音」「バイブレーション」「LED」も動作しません。
着信音	SMS受信時の着信音を設定します。 **［OFF］／［プリセットから選択］／［SDカードから選択］→着信音を選択→［OK］**
バイブレーション	SMS受信時のバイブレーションを設定します。 **［OFF］／パターンを選択→［OK］**
LED	SMS受信時に着信ランプを点滅するかどうかを設定します。
文字サイズ	SMSの本文の文字サイズを設定します。 「特大」「大」「中」「小」「極小」
署名	SMSの新規作成時に、本文にあらかじめ署名を挿入するかどうかを設定します。
署名編集	挿入する署名の内容を設定します。 **署名を入力→［設定］**

受信フィルター	指定番号	指定した電話番号からのSMSを受信した場合、受信拒否するかどうかを設定します。
	指定番号リスト	指定番号リストが表示されます。 **入力欄をタップ→登録する電話番号を入力→[追加]** ・「 」をタップすると、「アドレス帳引用」「送信履歴引用」「受信履歴引用」から入力方法を選択して、電話番号を登録できます。 ・登録した電話番号を削除するには、[削除]→削除する電話番号を選択→[削除]→[はい]と操作します。 ・電話番号は、最大10件まで登録できます。 ・受信フィルターで受信を拒否しても、送信側は正常に送信されたことになります。送信料もかかります。
	アドレス帳登録外	電話帳に登録されていない電話番号からのSMSを受信拒否するかどうかを設定します。選択してオンに設定すると、電話帳に登録されていない電話番号からのSMSを受信しないようになります。
送達確認	SMSが相手に届いた際、メッセージを表示させるかどうかを設定します。 「確認する」「確認しない」 ・「確認する」を選択した場合は、確認方法を選択します。 [送信画面/送信ボックス]:送信が完了すると、相手の方にメールが届いた旨のメッセージが表示されます。送信ボックスではアイコンで送達結果を確認できます。 [送信ボックス]:送信ボックスのアイコンで送達結果を確認できます。 ・「確認しない」に設定すると、メッセージは表示されず、送信ボックスのアイコンも表示されません。	

SMS安心ブロック機能を設定する

SMS安心ブロック機能は、本文中にURLや電話番号を含むSMSを受信拒否する機能です。

memo

◎SMS安心ブロック機能は、ご利用開始時から設定が有効となっています。
◎機種変更した場合は、以前ご使用の機種で設定された内容がそのまま継続されます。
◎ブロック対象のSMSは、通常のSMS(ぷりペイド送信含む)です。
着信お知らせサービス、お留守番サービスEX(伝言お知らせ)※、待ちうた情報お知らせサービスは、対象外です。
※お留守番サービスEXは有料オプションサービスです。

■SMS安心ブロック機能の設定方法

SMS安心ブロック機能の設定は、特定の電話番号にSMSを送信することで行います。

設定を解除する	本文に「解除」と入力して、09044440010にSMSを送信する。
設定を有効にする	本文に「有効」と入力して、09044440011にSMSを送信する。
設定を確認する	本文に「確認」と入力して、09044440012にSMSを送信する。

※設定時のSMS送信は無料です。
※設定完了の案内SMSは、「09044440012」の番号通知で届きます。

■SMS安心ブロック機能で受信拒否された場合

送信したSMSがSMS安心ブロック機能により受信拒否された場合は、「送信できませんでした」とエラーメッセージが表示され送信されません。

PCメールを利用する

普段パソコンなどで利用しているメールアカウントを本製品に設定し、パソコンと同じようにメールを送受信できます。

- PCメールをご利用になるには、あらかじめPCメールのアカウントを設定する必要があります。
- PCメールでau one メールをご利用になるには、事前にau one メールの設定を行う必要があります。

PCメールのアカウントを設定する

初めてPCメールを使用するときには、PCメールのアカウントを設定します。

- 設定を手動で入力する必要がある場合は、PCメールサービスプロバイダまたはシステム管理者に、正しいPCメールアカウント設定を問い合わせてください。

1 アプリ一覧→[PCメール]

2 PCメールのメールアドレスとパスワードを入力→[完了]→[次へ]

自動的にメールサーバーの設定が行われます。

- 「手動設定」をタップした場合、または「次へ」をタップしても自動的に設定できない場合は、アカウントタイプの選択画面が表示されます。画面の指示に従い、手動でPCメールアカウントを設定してください。

3 アカウントの設定で必要事項を選択→[次へ]

4 アカウント設定でアカウント名などを入力→[次へ]

設定したアカウントのメールが読み込まれ、受信トレイ画面が表示されます。

memo

◎ PCメールアカウントを追加するには、受信トレイ画面で[⋮]→[設定]→画面上部の「アカウントを追加」をタップして設定してください。

◎ 複数のPCメールアカウントが登録されている場合、受信トレイ画面上部のアカウント名をタップ→表示を切り替えるアカウントをタップすると、そのアカウントのみの受信トレイ画面が表示されます。

◎ 複数のPCメールアカウントが登録されている場合、受信トレイ画面上部のアカウント名をタップ→[統合ビュー]と操作すると、登録されているすべてのアカウントの受信メールが表示されます。

アカウントの設定を変更する

1 アプリ一覧→[PCメール]

受信トレイ画面が表示されます。

2 [⋮]→[設定]→設定を変更するアカウントを選択

3

アカウント名	アカウント名を変更します。
名前	あなたの名前(差出人名)を変更します。
署名	署名を変更します。
クイック返信	本文に頻繁に挿入する文章を引用して、新規作成/編集できます。
優先アカウント	選択すると、メールアカウントが複数設定されている場合に、PCメールを作成するときの優先アカウントに設定します。
受信トレイの確認頻度※1	新着メールの自動確認の有無や自動確認の間隔を設定します。
自動ダウンロード	Wi-Fi®接続時に最近受信したメールの添付ファイルを自動的にダウンロードします。
メール着信通知	PCメールを受信した場合にステータスバーに受信したことを表示するかどうかを設定します。

メール

着信音を選択	着信音を設定します。
バイブレーション	バイブレーションを設定します。
受信設定	受信メールサーバーと送信メールサーバーを設定します。
送信設定	
アカウントを削除	▶P.101「PCメールのアカウントを削除する」

※1「受信トレイの確認頻度」を「自動確認しない」以外に設定すると、従量制データ通信をご利用の場合は、新着メールを確認するたびに料金がかかる場合があります。

※メニューに表示される項目は、アカウントによって異なります。

PCメールのアカウントを削除する

1 受信トレイ画面→[⋮]→[設定]→削除するアカウントをタップ

2 [アカウントを削除]→[OK]

PCメールを送信する

1 受信トレイ画面→[✉]

PCメール作成画面が表示されます。

2 [👤]→電話帳から送信する相手を選択→[✓]

「To」をタップして、宛先のメールアドレスを直接入力することもできます。

3 [件名]→件名を入力

4 [メールを作成します]→本文を入力

5 [▶]

■PCメール作成画面のメニューを利用する

1 PCメール作成画面→[⋮]

2

ファイルを添付	PCメールに添付するファイルを選択します。 添付したファイルを削除する場合は「✕」をタップします。
Cc／Bccを追加	Cc／Bcc入力欄を追加します。宛先と同じ方法で入力できます。
下書きを保存	作成中のPCメールを下書きへ保存します。
破棄	作成中のPCメールを破棄します。
クイック返信を挿入	クイック返信を選択し、本文に挿入します。
設定	メール受信時の動作や文字サイズなど、PCメール全般の設定やアカウントごとに設定します。

※メニューに表示される項目は、設定によって異なります。

PCメールを受信する

1 PCメールを受信すると

PCメールを受信するとステータスバーに✉が表示され、メール受信音が鳴ります。

2 ステータスバーを下にスライド

3 PCメールの情報を選択

受信トレイ画面が表示されます。
1件受信の場合は、受信メール内容表示画面が表示されます。

4 受信したPCメールを選択

受信メール内容表示画面が表示されます。

◎アカウントの設定で「メール着信通知」(▶P.100)をオンに設定していない場合は、ステータスバーに通知されませんので、ご注意ください。

■添付ファイルを保存する

1 受信メール内容表示画面→[添付ファイル:X]

添付ファイルの一覧が表示されます。
Xには、添付ファイルの個数が入ります。

2 [保存]

添付ファイルは、「ファイル管理」(▶P.125)の「フォルダ」カテゴリーにある「Download」フォルダに保存されます。

- 添付ファイルが表示されていない場合は「読み込み」をタップすると、ファイルを確認できます。

memo

◎添付ファイルのあるメールは、受信トレイ画面に[ ]が表示されます。

■メールを別のフォルダに移動する

1 受信トレイ画面→移動するメールをロングタッチ

2 [ ]→移動先のフォルダをタップ

memo

◎受信メール内容表示画面→[ ]→移動先のフォルダをタップと操作しても、メールを別のフォルダに移動できます。
◎登録したアカウントによっては、フォルダへの移動ができない場合があります。

PCメールを返信/転送する

1 受信トレイ画面→返信/全員に返信/転送するメールを選択→[ ]

- 選択したメールの右側に「 」が表示されている場合は、[ ]→[全員に返信]/[転送]と操作すると、全員に返信/転送することができます。

2 本文を入力

「転送」を選択した場合は、転送先の宛先を入力します。

- 元のメールの本文を削除するには「元のメッセージを挿入」を解除します。

3 [ ]

PCメールを削除する

1 受信トレイ画面→削除するメールをロングタッチ→[ ]

- 複数件削除したい場合は、ロングタッチ後、削除したいメールを複数件ロングタッチ→[ ]と操作してください。

◎受信メール内容表示画面→[ ]と操作しても、メールを削除できます。

au one メールを利用する

au one メールは、情報料無料･大容量のWebメールサービスです。高性能な検索機能や迷惑メールフィルターを利用したり、Eメール(@ezweb.ne.jp)で送受信したEメールをau one メールに自動保存したりできます。
また、PCメールでau one メールを利用することができます。
PCメールで利用する場合は、au one メールの会員登録を行った後、以下の設定を行う必要があります。

- au one メールのデスクトップ画面(▶P.104)で[設定]→[メール転送とPOP/IMAP設定]と操作し、「IMAPを有効にする」に設定する
- au one メールのデスクトップ画面(▶P.104)で[設定]→[アカウント]→[Googleアカウントの設定]→[メールパスワード設定]→[次へ]と操作し、メールパスワードを設定する

会員登録する

au one メールをご利用になるには、最初にau one メールの会員登録を行い、au one メールのメールアドレスを取得していただく必要があります。会員登録を行うことにより、「○○@auone.jp」のアドレスを取得できます。
会員登録するにはau IDが必要です。「au IDの設定をする」(▶P.42)をご参照ください。

1. **Eメールトップ画面(▶P.79)→[⋮]→[au oneメール]→[au one メールTop]**
2. **アプリケーションを選択**
3. **au IDとパスワードを入力→[ログイン]**
4. **[保存しない]/[保存]/[今は保存しない]**
   会員登録画面が表示されます。
   「保存しない」/「保存」をタップした場合、次回から確認画面が表示されなくなります。
5. **画面に従って必要項目を入力し、利用規約を読む**
6. **[規約に同意して登録する]**
   登録内容の確認画面が表示されます。
7. **[上記の内容で登録する]**
   会員登録が完了します。

◎一定期間、お客様による本サービスの利用がまったくない場合、お客様が本サービスを利用して保存したデータファイルをすべて削除し、本サービスを解除することがあります。
◎au one メールを解約した場合や、携帯電話サービスを解約した場合などは、メールデータはすべて削除されます。

au one メールを確認する

会員登録後は以下の操作でau one メールを確認できます。

1 Eメールトップ画面(▶P.79)→[⋮]→[au oneメール]→[au one メールTop]

au one メールのデスクトップ画面(受信トレイ)が表示されます。

2 「au one メール 表示:」の「標準」をタップ

受信トレイがau one メールの表示形式で表示されます。
画面を上へスライドして「デスクトップ」をタップすると、デスクトップ画面に戻ります。

■ au one メールの機能について

機能	説明
メール検索	入力されたキーワードをもとに、差出人名称や件名、メール本文などから対象となるメールを検索できます。
メール送信	新規メールを作成して送信します。返信や転送もできます。
メール受信	受信したメールは、スレッド(最初のメールへの返信)単位で表示されます。重要なメールにスター(星印)を付けて保存したり、ラベルを付けることでメールやスレッドの分類ができます。
au one メールへの自動保存機能	Eメール(@ezweb.ne.jp)で送受信したEメールをau one メールに自動的に保存できます。

Gmailを利用する

Gmailとは、Googleが提供するメールサービスです。本製品からGmailの確認・送受信などができます。

- Gmailの利用にはGoogleアカウントが必要です。詳しくは、「Googleアカウントをセットアップする」(▶P.42)をご参照ください。
- 利用方法などの詳細については、Googleのホームページをご参照ください。

Gmailを起動する

1 アプリ一覧→[Gmail]

アカウント設定したGmailの受信トレイ画面が表示されます。

- [⋮]→[ラベルの設定]と操作すると、受信トレイの同期と通知設定画面が表示されます。
- 「 」をタップすると、受信トレイや送信トレイなどが一覧できるラベル画面が表示されます。

Gmailを更新する

本製品の「Gmail」アプリケーションとサーバーのGmailを同期して、新着メールを受信できます。

1 受信トレイ画面→[ ]

Gmailを送信する

1 アプリ一覧→[Gmail]
2 [ ]
3 [To]→宛先を入力
4 [件名]→件名を入力
5 [メールを作成]→本文を入力
6 [ ]

Gmailを受信する

1 **Gmailを受信すると**
Gmailを受信すると、ステータスバーにが表示され、メール受信音が鳴ります。
2 **ステータスバーを下にスライド**
3 **メールの情報を選択**
受信トレイ画面が表示されます。
1件受信の場合は、受信メール内容表示画面が表示されます。
4 **受信したメールを選択**
受信メール内容表示画面が表示されます。

Gmailを返信/転送する

1 アプリ一覧→[Gmail]

■ 送信者に返信する場合

2 返信するメールを選択→[ ]
3 本文を入力
4 [ ]

■ 全員に返信/転送する場合

2 全員に返信/転送するメールを選択→選択したメールの右側にある「 」をタップ→[全員に返信]/[転送]
3 **本文を入力**
「転送」を選択した場合は、転送先の宛先を入力します。
4 [ ]

Gmailのメニューを利用する

Gmail受信トレイ画面で「 」をタップするとオプションメニューが表示され、設定やヘルプなどの操作が行えます。

インターネット

インターネットに接続する

パケット通信または無線LAN（Wi-Fi®）機能を使用してインターネットに接続できます。

- パケット通信（LTE NET、LTE NET for DATA）（▶P.108「パケット通信を利用する」）
- Wi-Fi®（▶P.174「無線LAN（Wi-Fi®）機能」）

memo

◎LTE NETまたはLTE NET for DATAに加入していない場合は、パケット通信を利用することができません。

パケット通信を利用する

本製品は、「LTE NET」や「LTE NET for DATA」のご利用により、手軽にインターネットに接続してパケット通信を行うことができます。本製品にはあらかじめLTE NETでインターネットへ接続する設定が組み込まれており、インターネット接続を必要とするアプリケーションを起動すると自動的に接続されます。

LTE NET for DATAでインターネットへ接続するには、アプリ一覧→［設定］→［その他...］→［モバイルネットワーク］→［auネットワーク設定］→［接続サービスの設定］→「LTE NET for DATA」を選択、と操作します。

memo

◎最大通信速度受信75Mbps／送信25Mbpsでのパケット通信によるインターネット接続やLAN接続を行うことができます。
※ご使用の通信環境により、最大通信速度が低下する場合があります。

◎LTEフラットなどのパケット通信料定額／割引サービスご加入でインターネット接続時の通信料を定額でご利用いただけます。LTE NET、LTE NET for DATA、パケット通信料定額／割引サービスについては、最新のau総合カタログ／auのホームページをご参照ください。

■パケット通信ご利用上の注意

- 画像を含むホームページの閲覧、動画データなどのダウンロード、通信を行うアプリケーションやGoogleサービスなどのアプリケーションを使用するなど、データ量の多い通信を行うとパケット通信料が高額となるため、パケット通信料定額／割引サービスへのご加入をおすすめいたします。
- ネットワークへの過大な負荷を防止するため、一度に大量のデータ送受信を継続した場合やネットワークの混雑状況などにより、通信速度が自動的に制限される場合があります。

■ご利用パケット通信料のご確認方法について

ご利用パケット通信料は、次のURLでご照会いただけます。

https://cs.kddi.com/（auお客さまサポート）

- 初回のご利用の際は、お申し込みが必要です。

ブラウザを利用する

ブラウザを利用して、パソコンと同じようにWebページを閲覧できます。

Webページを表示する

1 ホームスクリーン→[(ブラウザ)]

ブラウザ画面が表示されます。
お買い上げ時はAndroid向けの「auポータル」がホームページに設定されています。

memo

◎非常に大きなWebページをブラウザで表示した場合は、アプリケーションが自動的に終了することがあります。

■ ブラウザ画面での基本操作

次のタッチパネル操作でWebページを閲覧できます(Webページによっては操作できない場合があります)。

- タップ:リンクやキーを選択・実行できます。
- スライド/フリック:ページをスクロールできます。
- 指を広げる/狭める:ページを拡大/縮小できます。
- ダブルタップ:タップした位置を拡大/縮小できます。

■ Webページ内のテキストをコピーする場合

1 ブラウザ画面→テキストをロングタッチ

リンクのあるテキストの場合はロングタッチ→[テキスト選択]と操作します。

2 「」/「」をドラッグして、テキストの範囲を選択

3 [](Copy)

4 貼り付け先の入力欄をロングタッチ→[貼り付け]

貼り付け一覧画面が表示されます。

5 貼り付けるテキストを選択

Webページを移動する

ブラウザ画面の上部に表示されるURL表示欄にキーワードを入力して、Webサイトの情報を検索できます。また、URLを直接入力してサイトを表示できます。

1 ブラウザ画面→URL表示欄を選択

2 URL表示欄にキーワード/URLを入力→[実行]

- 入力した文字を含む検索候補がURL表示欄の下に一覧表示された場合は、タップしてWebページを表示することもできます。

memo

◎URL表示欄にキーワードを入力した場合、ブラウザ設定メニューの「検索エンジンの設定」で設定した検索エンジンで検索します(▶P.110)。
◎クイックメニュー(▶P.110)をオンにしている場合、URL表示欄はブラウザ画面上部には表示されません。クイックメニューから表示してください。

ブラウザ画面のメニューを利用する

1 ブラウザ画面→[⋮]

2

再読み込み/停止	表示中のサイトの情報を再読み込みします。読み込み中の場合は、読み込みを中止します。
進む	「」をタップしてサイトを表示した場合に、操作前に表示していたサイトに進みます。
新規タブ	別のサイトを新しいタブで表示します。

新規シークレットタブ	別のサイトを、履歴を残さずに新しいタブで表示します。
ブックマーク	▶P.111「ブックマーク／履歴／保存したページを利用する」
最新版を表示	現在表示中のページを再読み込みする。
ブックマークを保存	▶P.111「ブックマークに登録する」
ページを共有	表示しているサイトのURLをメールなどで共有できます。
ページ内を検索	表示しているページ内でテキストを検索します。
ブラウザ終了	ブラウザ終了時に、キャッシュ消去や履歴消去などを選択してブラウザを終了することができます。
オフラインに保存	表示中のページをブックマーク画面の「保存したページ」に登録します。
PC版サイト表示	パソコン用のサイトを表示します。
設定	ホームページの設定、プライバシー設定、セキュリティ設定、文字サイズや検索エンジンの設定、設定のリセットなどを行うことができます。

■リンクのメニューを利用する

リンクをロングタッチするとコンテキストメニューが表示され、リンクの保存、URLやテキストのコピーなどの操作が行えます。

クイックメニューを利用する

ブラウザ画面→[⋮]→[設定]→[Labs]→「クイックメニュー」を選択、と操作すると、ブラウザ画面から新しいタブやブックマーク画面をすばやく表示できる「クイックメニュー」を利用できます。

クイックメニューは、ブラウザ画面の左端または右端から画面の中央に向けて指をスライドすると項目を選択できます。

① **新規タブ**
別のサイトを新しいタブで表示します。

② **タブ一覧**
現在開いているタブが一覧表示されます。

③ **URL表示欄**
別のサイトを現在のタブで表示します。

④ **ブックマーク**
ブックマーク画面が表示されます。

⑤ **ブラウザ画面のメニュー**
ブラウザ画面のメニューが表示されます。

《クイックメニュー》

インターネット

ブックマーク／履歴／保存したページを利用する

1 ブラウザ画面→[★]

ブックマーク画面が表示されます。

2 「ブックマーク」／「履歴」／「保存したページ」タブをタップ

3 利用するブックマーク／履歴／保存したページを選択

memo

◎ブックマーク画面で「履歴」タブをタップ→[★]／[☆]と操作すると、選択した履歴をブックマークに追加／削除できます。

ブックマークに登録する

表示中のサイトをブックマークに登録します。

1 ブラウザ画面→[⋮]→[ブックマークを保存]

ブックマーク登録画面が表示されます。

2 ラベルやアカウント先などの項目を入力→[OK]

ブックマーク／履歴画面のメニューを利用する

ブックマーク画面でブックマークをロングタッチすると、ブックマークの編集や削除などの操作が行えます。
また、履歴画面で履歴をロングタッチすると、ブックマークの保存や履歴削除などの操作が行えます。

ツール・アプリケーション

電話帳

電話帳には電話番号やメールアドレスなどの連絡先情報を登録できます。

memo

◎電話帳に登録された電話番号や名前などは、事故や故障によって消失してしまうことがあります。大切な電話番号などは控えておかれることをおすすめします。事故や故障が原因で電話帳が変化･消失した場合の損害および逸失利益につきましては、当社では一切の責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。

◎「アカウントと同期」(▶P.185)を利用して、サーバーに保存されたGoogleの連絡先などと本製品の電話帳を同期できます。(Googleアカウント以外と同期する場合でも、最初にGoogleアカウントを登録してください。)

連絡先を登録する

1 アプリ一覧→[電話帳]

電話帳一覧画面が表示されます。

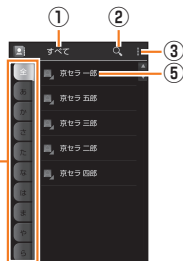
連絡先が未登録の場合は、操作2で新規連絡先を登録してください。

アカウントが未登録の場合は、アカウントの登録を行ってください。アカウントが未登録でも「新しい連絡先を作成」をタップすると、新規連絡先の登録を行えます。

① **グループの名前**

タップすると、グループの一覧が表示されます。

電話帳一覧画面で左右にフリック操作を行っても、同じアカウント内でのグループ表示を切り替えることができます。

「すべて」:すべての電話帳を表示

《電話帳一覧画面(50音順)》

② **検索**

登録されている連絡先を検索します。

③ **メニューアイコン**

電話帳一覧画面のメニューが表示されます。

④ **インデックスタブ**

⑤ **連絡先に登録された名前**

タップすると、連絡先が表示されます。

:詳細表示画面を表示

2 [⋮]→[新規登録]

- 「登録先」メニューが表示された場合は、使用するアカウントを選択してください。常に同じアカウントに連絡先を登録する場合は、「常にこの操作で使用する」をタップしてから、アカウントを選択します。
- アカウントを追加するかどうかの画面が表示された場合は、画面に従って操作してください。

3 必要な項目を入力

- 各項目をタップすると項目を入力できます。また「新しく追加」／「☒」をタップすると、項目を追加／削除できます。
- 「別のフィールドを追加」をタップすると、新しい項目を追加できます。
- 項目によっては、右側に表示されているラベル欄をタップすると、ラベルを変更できます。「カスタム」を選択すると、新しいラベル名を入力できます。

4 [完了]

memo

◎登録する電話番号が一般電話の場合は、市外局番から入力してください。

◎相手の方から電話番号の通知がない場合は、「着信設定」は有効になりません。

◎「別のフィールドを追加」で「SNS」を追加し入力する場合は、SNSにログインし画像を登録します。画面に従って操作してください。

プロフィールを登録する

1 **電話帳一覧画面→[⋮]→[プロフィール表示]→[⋮]→[編集]**

2 **必要な項目を入力→[完了]**

SNSの画像を連絡先に登録する

SNS(Facebook、Twitter)に登録してある画像を連絡先に登録することができます。

- SNSから画像を追加するには、あらかじめSNSのアカウントを作成する必要があります。

1 **電話帳一覧画面→[⋮]→[SNS画像登録]**

2 **[Facebookから登録]/[Twitterから登録]**

3 **SNSにログイン**

4 **登録する画像を選択**

5 **[完了]**

選択した画像が登録されます。

連絡先から電話をかける

1 **電話帳一覧画面→電話をかける連絡先をタップ**

2 **[📞]**

連絡先をお気に入りに登録する

連絡先にお気に入りのマークを付けることができます。お気に入りリストを使用すると、マークを付けた連絡先にすばやくアクセスできます。

1 **お気に入りに登録する連絡先の詳細表示画面→名前の横の[★]**

★が★に変わり、お気に入りに登録されます。

◎電話帳一覧画面で[すべて](グループの名前)→[お気に入り]と操作すると、お気に入り一覧画面が表示され、お気に入りリストを確認できます。

連絡先を編集/削除する

連絡先を編集する

1 **編集する連絡先の詳細表示画面→[⋮]→[編集]**

連絡先編集画面が表示されます。

2 **項目を選択して編集**

3 **[完了]**

連絡先を削除する

1 **削除する連絡先の詳細表示画面→[⋮]→[削除]→[OK]**

- 電話帳一覧画面→[⋮]→[削除]→削除する連絡先をタップ→[🗑]→[OK]と操作しても、連絡先を削除できます。

◎本体の空き容量が少ないと、連絡先の編集/削除ができない場合があります。ご注意ください。

グループを設定する

グループごとに名前や着信音、バイブパターン、着信LEDなどを設定できます。

- 「アカウントと同期の設定をする」(▶P.185)を利用して、アカウントと同期すると、自動的にグループが作成されます。

1 電話帳一覧画面→[⋮]→[グループ編集]→[新規追加]

- すでに登録済みのグループを編集する場合は、グループを選択→[編集]と操作してください。グループを選択→[連絡先の登録]と操作すると、グループに新しい連絡先を登録できます。

2

グループの名前	グループの名前を設定します。
着信音	着信音を設定します。
バイブパターン	バイブパターンを設定します。
着信LED	着信LEDを設定します。

3 [完了]

memo

◎ 相手の方から電話番号の通知がない場合は、グループの着信設定は有効になりません。
◎ 個別の連絡先に「着信設定」が設定されている場合は、そちらが優先されます。
◎ グループを削除しても、登録されている連絡先は削除されません。

連絡先をインポート/エクスポートする

連絡先をmicroSDメモリカードからインポート/エクスポートできます。

- 連絡先によっては、データの一部がインポート/エクスポートされない場合があります。

インポートする

microSDメモリカードに保存されている連絡先をインポートします。

1 電話帳一覧画面→[⋮]→[インポート/エクスポート]

2 [SDカードからインポート]

アカウントを登録している場合は、登録先を選択する画面が表示されます。登録先を選択してください。

- microSDメモリカードに、連絡先ファイル(vCardファイル)が1つの場合は、インポートが開始されます。

■ **microSDメモリカードに、連絡先ファイル(vCardファイル)が複数ある場合**

3 インポートする連絡先ファイル(vCardファイル)をタップ→[インポート]

連絡先ファイルの選択画面で[X件選択済み]→[全て選択]→[インポート]と操作すると、すべての連絡先ファイルをインポートできます。

エクスポートする

microSDメモリカードへエクスポートします。

1 電話帳一覧画面→[⋮]→[インポート/エクスポート]

2 [SDカードにエクスポート]

連絡先の選択画面が表示されます。

3 エクスポートする連絡先をタップ→画面下部の「✓」をタップ→[OK]

連絡先の選択画面で[X件選択済み]→[全て選択]→画面下部の「✓」をタップ→[OK]と操作すると、すべての連絡先をエクスポートできます。

連絡先のメニューを利用する

電話帳一覧画面のメニューを利用する

■ オプションメニューの場合

1 電話帳一覧画面→[⋮]

2

プロフィール表示	プロフィールが表示されます。
新規登録	▶P.114「連絡先を登録する」
グループ編集	▶P.116「グループを設定する」
SNS画像登録	▶P.115「SNSの画像を連絡先に登録する」
サムネイル画像表示	画像の表示／非表示を選択します。
削除	▶P.115「連絡先を削除する」
インポート／エクスポート	▶P.116「連絡先をインポート／エクスポートする」
アカウント	▶P.185「アカウントと同期の設定をする」

※画面により選択できる項目は異なります。

■ コンテキストメニューの場合

1 電話帳一覧画面→連絡先をロングタッチ

2

編集	▶P.115「連絡先を編集する」
削除	▶P.115「連絡先を削除する」
グループ設定	連絡先のグループを設定します。
お気に入り登録／解除（★）	連絡先をお気に入りに登録／解除します。

※画面により選択できる項目は異なります。

詳細表示画面のメニューを利用する

■ オプションメニューの場合

1 詳細表示画面→[⋮]

2

編集	▶P.115「連絡先を編集する」
共有	連絡先をvCardファイルにして、赤外線やBluetooth®機能、メール添付などで送信することができます。
削除	▶P.115「連絡先を削除する」
分割	統合した連絡先を分割することができます。
統合	複数の連絡先の登録内容を、1つの連絡先にまとめて表示することができます。
着信音を設定	着信音を設定します。

※メニューに表示される項目は、画面によって異なります。

■ コンテキストメニューの場合

1 詳細表示画面→電話番号／メールアドレスをロングタッチ

2

クリップボードにコピー	クリップボードにコピーします。
メインの番号に設定する／メインの番号を解除する	通常使用するメインの電話番号に設定／解除します。
メインのアドレスに設定する／メインのアドレスを解除する	通常使用するメインのメールアドレスに設定／解除します。

※メニューに表示される項目は、画面によって異なります。

カメラ

本製品に搭載されているカメラ機能を使って、フォトの撮影やムービーの録画、バーコードの読み取りなどを行えます。

カメラを利用する

本製品は有効画素数約808万画素のCMOSアウトカメラと約120万画素のCMOSインカメラを搭載し、フォトやムービーの撮影ができます。
電池残量が少ない場合や極端に高温になっている場合は、カメラを使用することができません。また、使用中は電池残量低下や温度上昇に応じてディスプレイの輝度が落ちる場合があります。
また、カメラを使用する前に、空き容量のあるmicroSDメモリカードをセットしてください。撮影したフォトまたはムービーはすべてmicroSDメモリカードに保存されます。

■ 撮影した画像のプリント

microSDメモリカードに保存した画像をプリンターやDPEショップでプリントできます。
本製品で撮影した画像はExif Printに対応しています。

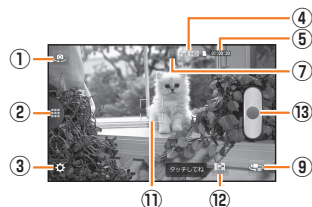
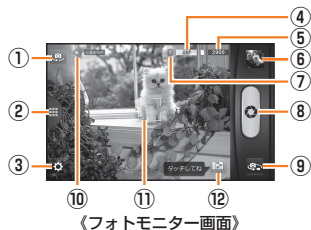
カメラをご利用になる前に

- レンズ部に指紋や油脂などが付くと、画像がぼやける場合があります。撮影前にはめがね拭き用などの柔らかな布でレンズ部を拭いてください。強くこするとレンズを傷付けるおそれがあります。
- 撮影時にはレンズ部に指や髪、ストラップなどがかからないようにご注意ください。ストラップが撮影の邪魔になる場合は、ストラップを手で固定してから撮影してください。
- 手ブレにご注意ください。画像がブレる原因となりますので、本体が動かないようにしっかりと持って撮影するか、セルフタイマー機能を利用して撮影してください。
  特に室内など光量が十分でない場所では、手ブレが起きやすくなりますのでご注意ください。
  また、被写体が動いた場合もブレた画像になりやすいのでご注意ください。
- 被写体がディスプレイに確実に表示されていることを確認してから、シャッター操作をしてください。カメラを動かしながらシャッター操作をすると、画像がブレる原因となります。
- ムービーを録画する場合は、マイクを指などで覆わないようにご注意ください。また、録画時の声の大きさや周囲の環境によって、マイクの音声の品質が悪くなる場合があります。
- 次のような被写体に対しては、ピントが合わないことがあります。
  -無地の壁などコントラストが少ない被写体
  -強い逆光のもとにある被写体
  -光沢のあるものなど明るく反射している被写体
  -ブラインドなど、水平方向に繰り返しパターンのある被写体
  -カメラからの距離が異なる被写体がいくつもあるとき
  -暗い場所にある被写体
  -動きが速い被写体
- 撮影ライトを目に近づけて点灯させないでください。撮影ライト点灯時は発光部を直視しないようにしてください。また、他の人の目に向けて点灯させないでください。視力低下などの障がいを起こす原因となります。
- マナーモードを設定している場合でも、フォト撮影時にシャッター音が鳴ります。ムービー録画時も、録画開始時、録画停止時に音が鳴ります。音量は変更できません。
- 不安定な場所に本製品を置いてセルフタイマー撮影を行うと、着信などでバイブレータが振動するなどして本製品が落下するおそれがあります。

- 本製品を利用して撮影または録音したものを複製、編集などする場合は、著作権侵害にあたる利用方法をお控えいただくことはもちろん、他人の肖像を勝手に使用、改変などをすると肖像権を侵害することとなりますので、そのような利用方法もお控えください。なお実演や興行、展示物などの中には、個人として楽しむなどの目的であっても、撮影または録音などが禁止されている場合がありますので、ご注意ください。
- お客様が本製品のカメラ機能を利用して公衆に著しく迷惑をかける不良行為などを行った場合、法律や条例／迷惑防止条例などに従って罰せられることがあります。
- 位置情報が付加された写真をインターネット上にアップロードする場合、第三者に位置情報を知られる可能性がありますので、ご注意ください。

撮影画面の見かた

1 ホームスクリーン→[(カメラ)]

《フォトモニター画面》

《ムービーモニター画面》

① **アウトカメラ／インカメラ切替**

② **エフェクト**

エフェクト撮影時に表示され、フィルター効果を設定できます。

③ **設定アイコン**

タップすると各種設定アイコンが表示され、カメラの設定ができます。

:撮影モード

カメラ: 通常撮影、連写撮影、スマイルシャッター撮影、エフェクト撮影、HDR撮影、オートブラケット撮影

ビデオ: 通常撮影、エフェクト撮影

:撮影サイズ／録画サイズ

カメラ: VGA、WVGA、1M ワイド、1.2M、2M、2M ワイド、3M、5M、8M

ビデオ: QVGA、VGA、WVGA、HD、フルHD

:ズーム

タップするとズームバーが表示され、調整バーや画面を上下にスライドするとズームを調整できます。

:露出設定

タップすると露出調整バーが表示され、調整バーや画面を左右にスライドすると露出を調整できます。

:撮影ライト
カメラ:ON、OFF、オート
ビデオ:ON、OFF

:その他設定
カメラを設定します。(▶P.120「撮影前の設定をする」)

④ **撮影サイズ**
⑤ **撮影可能残り枚数/録画時間**
⑥ **直前に撮影/録画したデータ**
直前に撮影/録画したデータのサムネイルを表示します。タップするとデータを確認できます。撮りログ設定時は、撮りログ画面が表示されます。(▶P.126「撮りログでアルバムを再生する」)
⑦ **電池レベル状態**
電池残量が少なくなったときに表示されます。
⑧ **撮影(シャッター)**
⑨ **カメラ/ビデオ切替**
(カメラ) (ビデオカメラ)
⑩ **位置測位中/位置情報付加**
(位置測位中) (測位成功) (測位失敗)
⑪ **オートフォーカス枠**
⑫ **撮りログ**
撮りログを設定します。(▶P.121「撮りログを設定する」)
⑬ **録画/停止**

memo

◎撮影ライトをONに設定すると、フォトの撮影時やムービーの録画時に撮影ライトが点灯します。撮影ライトを「オート」に設定した場合は、フォトの撮影時、周囲が暗い場合のみ撮影ライトが点灯します。

撮影前の設定をする

1 **フォトモニター画面/ムービーモニター画面→[ ]→[ ]**
カメラ設定画面が表示されます。

2

フォーカス設定	コンティニュアスAF	自動的にピントを合わせます。
	顔認識	最大4人までの顔を自動的に検出して自動的にピントを合わせます。
	マクロ	ピントが合う範囲を近距離撮影用に固定します。
	OFF	遠く離れた被写体にピントを合わせます。
手ぶれ補正	手ぶれを防いでフォト/ムービーを撮影するかどうかを設定します。	
セルフタイマー	セルフタイマーを設定します。設定した秒数が経過した後、フォト/ムービーの撮影を開始します。 「OFF」「2秒」「5秒」「10秒」 ・カウントダウン中は撮影ライトが点滅します。 ・カウントダウン中に「 」/「●」をタップすると、カウントダウンを中止して撮影を開始します。	
撮影シーン	撮影シーンを選択します。選択したシーンに最適な撮影条件が設定されます。 「標準」「人物」「風景」「食べ物」「スポーツ」「夜景」「メモ・地図」	
位置情報付加	設定後に撮影したすべてのフォトに、位置情報を付加します。	
画質設定	フォト撮影時の画質を設定します。	

ホワイトバランス	被写体を自然な色合いでフォト／ムービー撮影できるように、白を基準にした色の調整ができます。 「オート」「蛍光灯(昼光色)」「蛍光灯(昼白色)」「白熱灯」「太陽光」
撮影補助ライン	フォトモニター画面／ムービーモニター画面に、格子状の撮影補助ラインを表示します。
シャッター音	フォトのシャッター音を設定します。
プレビュー再生	フォト撮影後にプレビュー再生するかどうかを設定します。
初期設定に戻す	カメラの設定をお買い上げ時の状態に戻します。

※メニューに表示される項目は、画面によって異なります。

■撮りログを設定する

撮りログを設定すると、撮影／録画したデータを撮りログアルバムに保存できます。

1 フォトモニター画面／ムービーモニター画面→[ ]

撮りログ設定画面が表示されます。
初回起動時には、撮りログの説明画面が表示されます。「次へ」をタップして確認後、「OK」をタップしてください。

2

撮りログ	撮りログをオン／オフにします。
撮りログアルバム作成	撮影／録画したデータを保存するアルバムを作成します。既存のアルバムから、データの保存先を選択する場合は、リストからアルバムを選択します。

フォトを撮影する

1 ホームスクリーン→[(カメラ)]

フォトモニター画面が表示されます。

2 [ ]

自動的にピントを合わせた後でシャッター音が鳴ります。撮影したデータは自動的に保存されます。

■撮影モードを切り替える

1 フォトモニター画面→[ ]→[ ]

2

通常撮影	フォトを撮影します。
連写撮影	1回の撮影で、シャッターを押している間最大9枚のフォトを連続撮影します。連写撮影の撮影サイズは「VGA」のみで、シャッター音は「カシャ」に固定されます。
スマイルシャッター撮影	フォト撮影時に、撮影対象の笑顔を検出して、自動的に撮影します。
エフェクト撮影	エフェクト効果を設定します。 「色鉛筆」「ポスター」「コミック」「ポップアート」「モノクロ」「部分着色」「フィルター」「ノスタルジー」「ビビッド」「万華鏡」「魚眼」「サーモグラフィー風」「コントラスト」「彩度」
HDR撮影	露出レベルの異なる複数の写真を1枚に合成します。
オートブラケット撮影	1回の撮影で、露出の異なるフォトを3枚撮影します。

memo

◎フォトモニター画面で約1分間何も操作しないと、カメラが終了します。
◎常時、オートフォーカスが動作し、自動でピントを合わせるコンティニュアスAF機能を搭載しておりますが、被写体によっては、ピントが合うまでに時間がかかる場合があります。また、コンティニュアスAF動作中に画面上の被写体をタッチすると、タッチした被写体を追従して自動でピントを合わせることができます。
◎スマイルシャッターモードでセルフタイマー撮影を行った場合、カウントダウン終了後に笑顔を検出して、自動的に撮影します。

顔検出オートフォーカスについて

◎「フォーカス設定」(▶P.120)を「顔認識」に設定している場合は、フォトモニター画面で人物の顔を検出すると、オートフォーカス枠が顔の位置に表示されます(最大4人)。

■ フォトプレビュー画面を利用する

「プレビュー再生」が「プレビュー固定表示」に設定されている場合は、フォトプレビュー画面で撮影したフォトを確認できます。また、Eメールで送信することもできます。

1 フォトプレビュー画面→画面上部のメニュー項目を選択

:表示中のフォトを送付したり、表示中のムービーをYouTubeなどにアップロードしたりします。
:表示中のフォトを削除します。
:表示中のフォトを編集します。

memo

◎メニュー項目は撮影モード設定により異なります。
◎位置情報を付加した画像をインターネットにアップロードした場合、撮影した位置が公開されますのでご注意ください。

ムービーを録画する

1 ホームスクリーン→[(カメラ)]→[]

ムービーモニター画面が表示されます。

2 [●]

録画が開始されます。

3 [■]

録画が停止します。録画したデータは自動的に保存されます。

◎録画中に着信があった場合は、録画を停止・保存して着信画面が表示されます。
◎ムービーモニター画面で約1分間何も操作しないと、ビデオカメラが終了します。
◎録画中は送話口(マイク)でのみ、録音できます。

バーコードリーダーを利用する

バーコードリーダーでバーコードやQRコードを読み取ることができます。読み取った内容は、ウェブサイト表示や電話帳・メールの作成に利用できます。JANコードとQRコードの読み取りに対応しています。

1 アプリ一覧→[バーコードリーダー]

初めて起動したときは、利用規約が表示されます。内容をご確認の上、画面の指示に従って操作してください。

QuickPanoramaでパノラマ写真を撮影する

撮影した画像を連結し、1枚のパノラマ写真を作成します。

1 アプリ一覧→[QuickPanorama]

ギャラリー

microSDメモリカードに保存されている静止画や動画などを閲覧したり、簡単な編集を行ったりすることができます。
再生可能なファイル形式については、「利用できるデータの種類」(▶P.223)をご参照ください。

静止画や動画を再生する

1 アプリ一覧→[ギャラリー]

アルバム一覧画面が表示されます。
「[カメラ]」をタップするとカメラを起動できます。
「アルバム」をタップすると、アルバム以外のカテゴリーに切り替えることができます。

2 アルバムをタップ

データ表示画面が表示されます。

3 再生する静止画や動画をタップ

静止画や動画の再生画面が表示されます。

memo

◎静止画のデータ表示画面で「[▶]」をタップすると、スライドショーを開始します。

ギャラリーのメニューを利用する

■アルバム一覧画面のメニューを利用する

1 アルバム一覧画面→[⋮]

2

アルバムを選択	選択したアルバムの共有や削除が行えます。
オフラインで使用する	アルバムをオフラインで利用できるように設定します。
更新	表示を更新します。
設定	ギャラリーを設定します。

■静止画再生画面のメニューを利用する

1 静止画再生画面→[⋮]

2

削除	静止画を削除します。
スライドショー	スライドショーを開始します。
編集	静止画を編集します。
左に回転	静止画を左に回転させます。
右に回転	静止画を右に回転させます。
トリミング	静止画をトリミングします。
詳細情報	静止画の詳細情報を表示します。
登録	登録可能なアプリケーションを選択します。
地図に表示	静止画に位置情報が含まれる場合は、地図を表示します。

※メニューに表示される項目は、画面によって異なります。

静止画を編集する

microSDメモリカードに保存されている静止画を編集することができます。

編集可能なファイル形式は、.jpg形式、.png形式などです。データによっては利用できない場合があります。

1 アプリ一覧→[エフェクトプラス]

2 [タッチして写真を選択してください]→編集する静止画をタップ

画面右下の静止画をタップすると、最後に編集した静止画を再度編集できます。

- 「アプリケーションを選択」メニューが表示された場合は、使用するアプリケーションを選択してください。常に同じアプリケーションを使用する場合は、「常にこの操作で使用する」を選択してから、アプリケーションを選択します。

3

	静止画をエフェクト加工します。
	スタンプを貼り付けます。
	静止画にフリーハンドで描画できます。
	静止画に文字を追加します。
	静止画をトリミングします。
	静止画を回転させせます。

4 [保存]→[OK]

音楽を聴く

音楽やプレイリストなどを視聴することができます。

再生可能なファイル形式については、「利用できるデータの種類」(▶P.223)をご参照ください。

音楽データを再生する

microSDメモリカードに保存されたコンテンツをカテゴリー別に表示して再生できます。

- 音楽再生中に「SDカードのマウント解除」(▶P.163)は行わないでください。

音楽を再生する

1 アプリ一覧→[Playミュージック]

2 [プレイリスト]/[新着]/[アーティスト]/[アルバム]/[曲]/[ジャンル]

各カテゴリーのリスト画面が表示されます。

- 「曲」をタップした場合は、操作 4 に進みます。
- [プレイリスト]→アイテムをロングタッチ→[削除]→[OK]と操作すると、プレイリストが削除されます。曲は削除されません。

3 アイテムをタップ

4 曲をタップ

◎ 音量は、◀ ▶ で調節します。

曲や曲に関連する情報を検索する

microSDメモリカードに保存されている曲を検索したり、曲に関連する情報を検索することができます。

1 アプリ一覧→[Playミュージック]

■ microSDメモリカードに保存されている曲を検索する場合

2 [🔍]→検索する曲の情報を入力→[🔍]

■ 曲に関連する情報を検索する場合

2 アイテム／曲をロングタッチ→[このアーティストの曲を探す]

プレイリストを作成する

1 アプリ一覧→[Playミュージック]→[プレイリスト]

2 [⋮]→[新しいプレイリスト]

3 プレイリスト名を入力→[OK]

memo

◎プレイリストに曲を追加するには、曲をロングタッチ→[プレイリストに追加]→プレイリストを選択、と操作します。

ビデオを再生する

Google Playで映画をレンタルしたり、保存した動画を再生したりできます。

- ビデオの利用にはGoogleアカウントの設定が必要です。詳しくは、「Googleアカウントをセットアップする」(▶P.42)をご参照ください。

1 アプリ一覧→[Playムービー]

2 再生する動画をタップ

動画再生画面が表示され、動画が再生されます。

ファイルを一覧で表示する

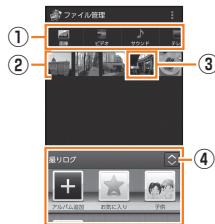
ファイル管理は、microSDメモリカード内のデータをカテゴリー別に一覧表示し、再生することができます。

データを再生する

1 アプリ一覧→[ファイル管理]

データ表示画面が表示されます。

初回起動時には、撮りログの説明画面が表示されます。「次へ」をタップして確認後、「OK」をタップしてください。

表示するデータが画像／ビデオの場合はサムネイル表示、サウンド／テレビ／文書／SDカードの場合はリスト表示で表示されます。

《データ表示画面（サムネイル表示）》　《データ表示画面（リスト表示）》

① **カテゴリー**

タップすると、選択したカテゴリーのデータをデータ表示エリアに表示します。

※画面に表示しきれていないカテゴリーがある場合は、左右にフリックすると他のカテゴリーを表示できます。

画像：すべての画像データを表示します。

ビデオ：すべての動画データを表示します。

サウンド：すべての音／音楽データを表示します。

テレビ:ワンセグ録画データやレコーダー連携などの録画データを表示します。
文書:Officeのデータ、テキストデータ、PDFなどを表示します。
SDカード:microSDメモリカード内をフォルダ階層ごとに表示します。

② **データ表示エリア**
データの一覧を表示します。エリアを左右にフリックするとカテゴリーを切り替えることができます。

③ **サムネイル**
データのサムネイルを表示します。

④ **撮りログ**
「◇」/「^」をタップすると、撮りログのアルバム一覧画面が表示されます。

⑤ **データ情報**
データの種別に応じてファイル名、フォルダ名、ファイル保存日時、チャンネル名、番組名などが表示されます。

2 データを選択

データの種別に応じたアプリケーションが起動し、データが再生されます。
再生するアプリケーションが複数存在する場合、アプリケーション選択画面が表示される場合があります。アプリケーションを選択すると再生されます。

◎ファイル管理で表示されるデータの中には、再生できないものもあります。

データ表示画面のメニューを利用する

ファイル管理から、データの共有や削除、登録などさまざまな操作ができます。

■ オプションメニューの場合

データ表示画面で「⋮」をタップすると、データのソートや削除、microSDメモリカードの容量の確認、最新情報に更新などの操作ができます。

■ コンテキストメニューの場合

データ表示画面でデータをロングタッチすると、データの共有や削除、ファイル名やフォルダ名の編集、壁紙や着信音への登録、詳細情報の確認などの操作ができます。

◎著作権保護されたデータは、登録データとして利用できないことがあります。

撮りログでアルバムを再生する

撮影/録画したデータをアルバムで管理・再生します。

1 データ表示画面で「画像」/「ビデオ」カテゴリーをタップ→「撮りログ」の「◇」/「^」をタップ

アルバム一覧画面が表示されます。

2 アルバムを選択

アルバムが再生されます。
初回起動時には表示レイアウト選択画面が表示されます。「イベントアルバム」/「タイムライン」を選択してください。
• データを選択してデータの再生を行うこともできます。

◎データ表示画面で、アルバムが1行のみ表示された状態でも、上下にフリックして選択したアルバムを再生することができます。

撮りログのメニューを利用する

アルバムの編集や表紙画像の変更などができます。

■ オプションメニューの場合

アルバム一覧画面やアルバム再生中の画面で「⋮」をタップすると、アルバムのソートや削除、編集、最新情報に更新などの操作ができます。

■ コンテキストメニューの場合
アルバム一覧画面やアルバム再生中の画面でアルバムやデータをロングタッチすると、アルバムの編集や表紙画像の変更、削除などの操作ができます。

LISMO Playerを利用する

LISMOでダウンロードした曲や音楽CDから読み込んだデータなどの音楽を再生して楽しむことができます。

◎ LISMO Portを使うと、パソコンに読み込んだ音楽CDの曲などを転送することができます。
LISMO Portは、auホームページからダウンロードできます。

1 アプリ一覧→[LISMO Player]

初回起動時には許可画面が表示されます。内容をご確認の上、「閉じる」を選択してください。
「通信設定」画面が表示された場合は、内容をご確認の上、「はい」をタップします。
「個人情報の外部送信について」が表示された場合は、内容をご確認の上、「OK」をタップします。
「ストア」ボタンの説明画面が表示された場合は、「閉じる」をタップします。

◎ 楽曲情報を持っていない曲が見つかった場合は、Gracenote音楽認識サービスを利用して楽曲情報を自動的に取得します。
◎ 音楽認識技術と関連情報はGracenote®社によって提供されています。
Gracenoteは、音楽認識技術と関連情報配信の業界標準です。詳細は、Gracenote®社のホームページをご参照ください。
http://www.gracenote.com

◎ 通信できない環境・設定においては楽曲情報取得機能は利用できません。また、曲によっては楽曲情報取得ができないものもあります。

ワンセグ

ワンセグは、モバイル機器向けの地上デジタルテレビ放送サービスで、映像・音声とともにデータ放送を受信することができます。
「ワンセグ」サービスについては、下記ホームページなどでご確認ください。
社団法人デジタル放送推進協会
http://www.dpa.or.jp/

ワンセグをご利用になる前に

■ TV(ワンセグ)利用時のご注意

- TV(ワンセグ)の利用には、通話料やパケット通信料はかかりません。ただし、通信を利用したデータ放送の付加サービスなどを利用する場合はパケット通信料がかかります。
- TV(ワンセグ)は日本国内の地上波デジタルテレビ放送ワンセグ専用です。海外では、放送方式や放送の周波数が異なるため使用できません。また、BS・110度CSデジタル放送を見ることはできません。
- ワンセグ画面表示中は、本製品が温かくなり、長時間肌に触れたまま操作していると低温やけどの原因となる場合がありますのでご注意ください。
- 自動車や原動機付自転車、自転車などの運転中や歩行中はTV(ワンセグ)を利用しないでください。周囲の音が聞こえにくく、映像や音声に気をとられ、交通事故の原因となります。
- 耳を刺激するような大きな音量で長時間続けて視聴すると、聴力に悪い影響を与えることがありますので、ご注意ください。

■電波について

次のような場所では、電波の受信状態が悪く、画質や音質が劣化する場合や受信できない場合があります。

- 放送局から遠い地域または極端に近い地域
- 移動中の電車・車、地下街、トンネルの中、室内など
- 山間部やビルの陰
- 高圧線、ネオン、無線局、線路、高速道路の近くなど
- その他、妨害電波が多かったり、電波が遮断されたりする場所

電波の受信状態を改善するためには、次のことをお試しください。

- 室内で視聴する場合は、窓のそばの方がより受信状態が改善されます。

memo

◎MHL(▶P.153)接続中はワンセグを受信できない場合がありますので、ワンセグの視聴や録画をするときは、MHLケーブル(市販品)を取り外してください。

■電池残量少、高温時の動作

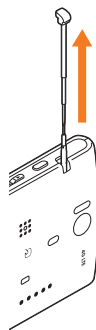
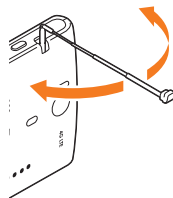
電池残量が少ない場合や高温になっている場合は、ワンセグを使用することができません。TV番組を録画中の場合は、それまでに録画した内容を保存し、ワンセグが終了します。また、電池残量が少ないと、ワンセグを起動できません。

■連続視聴可能時間について

TV(ワンセグ)	約10時間

※使用条件により連続視聴可能時間は変わります。

■TVアンテナについて

TV(ワンセグ)を視聴する際は、電波を十分に受信できるようにTVアンテナを伸ばしてご利用ください。
TVアンテナは固定されるまで十分に引き出してください。

また、TVアンテナは回転します。受信感度の良い方向に向けてお使いください。

ワンセグの初期設定をする

ワンセグを初めて起動したときは、視聴するエリアを設定します。設定が完了すると、TV(ワンセグ)を見ることができます。

1 アプリ一覧→[ワンセグ]

2 [チャンネル設定]→[地域選択]→現在の地域を選択→[はい]

チャンネル設定画面で「現在地から設定」をタップすると、自動でチャンネル設定が開始されます。

ワンセグを見る

1 アプリ一覧→[ワンセグ]

TVメニュー画面が表示されます。

2 [TV視聴]

TV視聴画面が表示されます。

TV視聴画面で「↩」をタップすると、TVメニュー画面に戻ります。

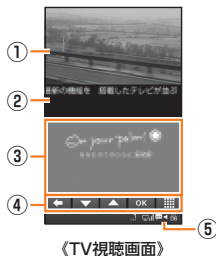
① **映像**

② **字幕**

③ **データ放送**

④ **データ放送用リモコン**

- ←:前ページに戻る
- ▲/▼:カーソル移動
- OK:項目の選択
- ▦:テンキーを表示/非表示

⑤ **TVステータスバー**

《TV視聴画面》

《TV視聴画面(全画面)》

memo

◎音量は、◀▶で調節します。

◎ワンセグを起動したときやチャンネルを切り替えたときに、デジタル放送の特性として映像やデータ放送のデータ取得に時間がかかる場合があります。

◎電波状態によって映像や音声が途切れたり、止まったりする場合があります。

■ワンセグ視聴中の操作

TV視聴画面で映像もしくは字幕をタップすると、メニュー、「lock」、視聴用リモコンが表示/非表示されます。

① ⋮

タップすると、TV視聴画面のメニューが表示されます。

② **画面ロックアイコン**

タップすると、画面表示を縦/横方向にロックまたはロック解除します。

③ **視聴用リモコン**

◀/▶:前/次のチャンネルに切り替え

1~12:チャンネル切り替え

録画:録画開始/終了

番組情報をタップ:番組情報の詳細を表示

ワンセグの設定をする

1 TV視聴画面→映像をタップ→[⋮]→[詳細設定]

2

チャンネル情報	視聴可能なチャンネル情報が表示されます。
番組情報表示	取得した番組情報が表示されます。
チャンネルリスト選択	登録した地域(放送エリア)がチャンネルリストとして一覧で表示されます。
チャンネル設定	チャンネルの設定をします。

チャンネル追加登録	TV視聴画面からチャンネルを追加登録します。
視聴・録画予約	▶P.132「TV番組を録画予約／ 視聴予約する」
予約結果一覧	予約結果の一覧を表示します。
画面表示切替	映像とデータ放送の表示を切り替えます。
字幕表示設定	字幕表示のオン／オフを切り替えます。
オフタイマー	ワンセグ視聴を終了するタイマーの設定をします。
主／副音声設定	主／副音声の設定をします。
音声切替	音声切替の設定をします。
音量設定	音量を調節します。
効果音設定	データ放送の効果音のオン／オフを切り替えます。
確認表示初期化	確認画面の表示を初期化します。
データ放送へ戻る	データ放送が表示されます。
サービス選局	1つのチャンネルを複数のサブチャンネルに分けたマルチ編成番組の放送が行われている場合は、サブチャンネルを選択できます。
TVリンク	登録したTVリンクが表示されます。

◎データ放送を見る場合は、通話料やパケット通信料はかかりません。ただし、データ放送で取得した情報からの関連サイトへのアクセスや追加情報の取得には、パケット通信料がかかります。

TVリンクを利用する

データ放送によっては、関連サイトへのリンク情報(TVリンク)が表示される場合があります。TVリンクを本製品に登録すると、後で関連サイトに接続できます。

■TVリンクを登録する

1 TV視聴画面→登録するリンクをタップ

◎TVリンクの登録方法は番組によって異なります。

■TVリンクを表示する

1 TVメニュー画面→[TVリンク]

TVリンクリスト画面が表示されます。

2 TVリンクをタップ→画面の指示に従って操作

- TVリンクをロングタッチすると、詳細表示／1件削除などの操作が行えます。

◎TVリンクリスト画面で「⋮」をタップすると、登録件数の確認や削除などの操作が行えます。
◎TVリンクには有効期限が設定されている場合があります。

ツール・アプリケーション

ワンセグを録画する

表示中の映像･音声･字幕･データ放送をmicroSDメモリカードに録画します。

1 TV視聴画面→映像をタップ→視聴用リモコンの[録画]

録画が開始されます。

2 録画中に視聴用リモコンの[録画]→[はい]

録画が停止します。

memo

◎受信状態の安定した場所で録画してください。受信状態が不安定な場合、録画されないことがあります。
◎録画保存できる最大ファイルサイズは約2GB、連続録画可能時間は約24時間です。
◎録画保存できる件数は、99件までです。
◎録画中に、他の機能からmicroSDメモリカードを利用した場合、録画が失敗することがあります。
◎録画中は、チャンネルの切り替えはできません。
◎録画中に別の機能を利用しても録画は継続されます（バックグラウンド録画）。
◎TV（ワンセグ）のバックグラウンド録画中にデータ通信サービスを行うと、TV（ワンセグ）の電波状態が悪くなり、正常に録画できなくなる場合があります。
◎録画しているTV番組が有料放送やコピー制御されている場合や、放送エリアが変わった場合は、録画が途中で終了する場合があります。
◎本製品で保存された動画は、他の機器で再生できない場合や、ファイル名などの情報が異なって表示される場合があります。
◎ダビング10には対応していません。
◎デジタル放送で視聴･録画できる番組には、次のコピー制御信号が含まれています。
- コピー制御信号が「コピー可能」「ダビング10」「1回だけコピー可能」の番組は録画できます。
- コピー制御信号が「コピー禁止」の番組は録画できません。

◎録画中にコピー制御信号が変更される場合があります。「コピー禁止」の番組に変更された場合は、それまでに録画したデータを保存して、録画を中止します。

番組表を利用する

番組表を利用できます。番組表からTV視聴画面の表示や録画／視聴の予約などが利用できます。

- 視聴や予約ができるのは地上デジタル放送の番組のみです。

1 TVメニュー画面→[番組表]

番組表画面が表示されます。

- アプリ一覧→[auテレビ.Gガイド]と操作しても、番組表画面を表示できます。
- 番組表を初めて起動したときは、年齢と性別の設定、利用規約の同意画面、視聴する地域を設定する画面、au one ID 設定画面が表示されます。画面に従って操作してください。

2 番組を選択

番組情報画面が表示されます。

memo

◎番組表画面／番組情報画面で「⋮」をタップすると、番組表のメニュー画面が表示されます。

TV番組を録画予約／視聴予約する

TV番組の視聴や録画の予約ができます。

1 TVメニュー画面→[視聴・録画予約]

録画／視聴予約画面が表示されます。

2 [録画]／[視聴]→[ ]→[新規]

3

チャンネル名	チャンネルを設定します。
番組名	番組名を登録します。
開始日付／開始時間	開始日付／時刻を設定します。
終了日付／終了時間	終了日付／時刻を設定します。
繰り返し設定	予約の繰り返しを設定します。
オフタイマー設定	ワンセグ視聴を終了するタイマーの設定をします。

※画面により選択できる項目は異なります。

4 [登録]

設定した予約が表示されます。

- 予約をタップすると、予約内容を確認できます。
- 予約をロングタッチ→[詳細表示]／[削除]と操作すると、予約を編集／削除できます。

■録画予約した時刻になると

「録画予約」で設定したタイミングになると、ステータスバーにお知らせが表示されます。設定した時刻になると録画を開始します。

■視聴予約した時刻になると

「視聴予約」で設定したタイミングになると、ステータスバーにお知らせが表示されます。設定した時刻になると視聴を開始します。

memo

◎終了日付／終了時間（録画）やオフタイマー設定（視聴）により、録画や視聴は自動的に終了します。
◎録画／視聴予約が登録されている場合、録画／視聴予約画面で「 」をタップして、登録件数の確認や削除の操作を行うことができます。
◎TV視聴画面→[ ]→[詳細設定]→[視聴·録画予約]と操作しても、TV番組の視聴や録画の予約ができます。

録画したTV番組を再生する

1 TVメニュー画面→[録画データ]

録画データリスト画面が表示されます。

- [ ]をタップすると、録画データを削除できます。

2 録画データをタップ

再生が開始されます。

- 録画データをロングタッチすると、録画データの情報の表示／削除／再生の操作を行うことができます。

memo

◎映像もしくは字幕をタップすると、「lock」、録画再生用リモコンが表示されます。
◎録画再生用リモコンでは、以下の操作を行えます。

▶／⏸：再生／一時停止
⏪※／⏩※：スキップ（戻る）／スキップ（進む）
※ ロングタッチすると巻き戻し／早送りをします。

ユーザー設定をする

TV視聴画面、データ放送の設定や各種初期化やリセットを行うことができます。

設定を初期化する

チャンネル設定やTV設定などを初期化します。

1. **TVメニュー画面→[ユーザ設定]**
2. **[チャンネル設定初期化]／[放送用保存領域消去]／[TV設定リセット]→[はい]**

放送エリアを登録・変更する

お使いの地域(放送エリア)によって受信チャンネルは異なります。放送エリアは10件まで登録できます。

放送エリアを登録する

1. **TVメニュー画面→[チャンネル設定]→[地域選択]**
   チャンネル設定画面で「現在地から設定」をタップすると、自動でチャンネル設定が開始されます。
2. **登録する地域を選択→[はい]**
   チャンネルリスト選択画面が表示されます。

放送エリアを変更する

1. **TVメニュー画面→[チャンネルリスト選択]**
2. **チャンネルリストを選択**
   視聴する放送エリアが変更されます。

■チャンネルリスト選択画面のメニューを利用する

チャンネルリスト選択画面で画面をロングタッチするとメニュー項目が表示され、チャンネル情報、チャンネル設定、タイトル編集、1件削除などの操作が行えます。
また、[チャンネル情報]→チャンネル情報をロングタッチすると、リモコン番号設定や番組表の表示、1件削除などが行えます。

memo

◎ TV視聴画面→[⋮]→[詳細設定]→[チャンネル設定]／[チャンネルリスト選択]と操作しても、チャンネルの設定／チャンネルリストの変更ができます。

NFC／おサイフケータイ®(FeliCa)

NFC／おサイフケータイ®(FeliCa)について

NFC／おサイフケータイ®(FeliCa)とは

■NFC

NFCとはNear Field Communicationの略で、ISO(国際標準化機構)で規定された国際標準の近接型無線通信方式です。非接触ICカード機能やリーダー／ライター機能(R/W)、機器間通信機能(P2P)などが本製品でご利用いただけます。
NFCを利用したサービスによっては、ご利用になりたいサービスプロバイダのNFC対応アプリをダウンロードする必要があります。
ご利用いただけるNFCサービスについて、詳しくは「NFCポータルサイト」(▶P.137)をご参照ください。
NFCを使っての各サービスご利用にあたっては、NFC機能をサポートしているau電話並びにau電話に挿入されたau Micro IC Card (LTE)へ、サービスのご利用に必要となるデータ(以下、NFCデータといいます)を書き込む場合があります。

なお、ご利用にあたっては、「NFCサービスご利用上の注意」(▶P.234)をあわせてご参照ください。

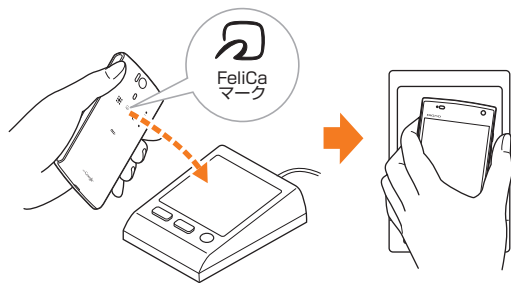
■おサイフケータイ®(FeliCa)

おサイフケータイ®とは、FeliCaと呼ばれる非接触ICカード技術を搭載した携帯電話でご利用いただけるサービスです。本製品をリーダー／ライター(店舗のレジなどにあるFeliCaチップ内のデータをやりとりする装置)にかざすだけで、電子マネーでのショッピングや、クーポン情報の取得などにご利用いただけます。
おサイフケータイ®をご利用になるには、サービスによってはおサイフケータイ®対応アプリをダウンロードする必要があります。
なお、ご利用にあたっては、「おサイフケータイ®対応サービス ご利用上の注意」(▶P.233)をあわせてご参照ください。

NFC／おサイフケータイ®(FeliCa)ご利用にあたって

- 本製品の紛失には、ご注意ください。ご利用いただいていたNFCサービス／おサイフケータイ®対応サービスに関する内容は、サービス提供会社などにお問い合わせください。
- 紛失・盗難などに備え、NFC／おサイフケータイ®のロックをおすすめします。紛失・盗難・故障などによるデータの損失につきましては、当社は責任を負いかねますのでご了承ください。
- 各種暗証番号およびパスワードにつきましては、お客様にて十分ご留意のうえ管理をお願いいたします。
- ガソリンスタンド構内などの引火性ガスが発生する場所でNFC／おサイフケータイ®をご利用になる際は、必ず事前に電源を切った状態でご使用ください。NFC／おサイフケータイ®をロックされている場合はロックを解除したうえで電源をお切りください。
- おサイフケータイ®対応アプリを削除するときは、各サービスの提供画面からサービスを解除してから削除してください。
- FeliCaチップ内にデータが書き込まれたままの状態でおサイフケータイ®の修理を行うことはできません。携帯電話の故障・修理の場合は、あらかじめお客様にFeliCaチップ内のデータを消去していただくか、当社がFeliCaチップ内のデータを消去することに承諾していただく必要があります。データの消去の結果、お客様に損害が生じた場合であっても、当社は責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。
- NFCデータ／FeliCaチップ内のデータが消失してしまっても、当社としては責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。万一消失してしまった場合の対応は、各サービス提供会社にお問い合わせください。
- NFCサービス／おサイフケータイ®対応サービスの内容、提供条件などについては、各サービス提供会社にご確認、お問い合わせください。
- 各サービスの提供内容や対応機種は予告なく変更する場合がありますので、あらかじめご了承ください。
- 対応機種によって、NFCサービス／おサイフケータイ®対応サービスの一部がご利用いただけない場合があります。詳しくは、各サービス提供会社にお問い合わせください。
- 電話がかかってきた場合や、アラームの時刻になるとおサイフケータイ®対応アプリからのFeliCaチップへのデータの読み書きが中断され、読み書きがされない場合があります。
- 電池残量がなくなった場合、NFC／おサイフケータイ®がご利用いただけない場合があります。
- おサイフケータイ®対応アプリ起動中は、おサイフケータイ®によるリーダー／ライターとのデータの読み書きができない場合があります。
- 次の場合は、NFC／おサイフケータイ®を利用できません。ただし、リーダー／ライターにかざしてのデータのやりとりは可能です。
  - 機内モード中
  - 一度も電波を受けていない場合、または海外ローミングの場合における、充電中/microUSBケーブル01(別売)接続中/イヤホンなどのケーブル類を接続中

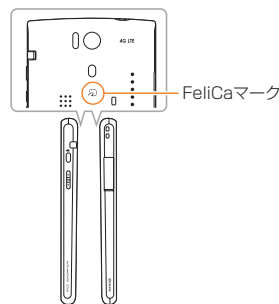
リーダー／ライターとデータをやりとりする

FeliCaマークをリーダー／ライターにかざすだけで、NFCデータ／FeliCaチップ内のデータのやりとりができます。

- FeliCaマークをリーダー／ライターにかざす際に強くぶつけないようにご注意ください。
- FeliCaマークはリーダー／ライターの中心に平行になるようにかざしてください。
- FeliCaマークをリーダー／ライターの中心にかざしても読み取れない場合は、本製品を少し浮かす、または前後左右にずらしてかざしてください。
- FeliCaマークとリーダー／ライターの間に金属物があると読み取れないことがあります。また、FeliCaマークの付近にシールなどを貼り付けると、通信性能に影響を及ぼす可能性がありますのでご注意ください。
- FeliCaマークを強い力で押さないでください。通信に障害が発生するおそれがあります。

memo

◎ おサイフケータイ®対応アプリを起動せずに、リーダー／ライターとのデータの読み書きができます。
◎ 本製品の電源を切っていてもご利用いただけます。ただし、「NFC／おサイフケータイロック」を設定している場合は、ご利用いただけません。

他の携帯電話とデータをやりとりする

NFC機能（Androidビーム）を搭載した携帯電話との間でデータを送受信できます。

- 2台の携帯電話を並行にしてFeliCaマークを重ね合わせ、送受信が終了するまで動かさないようにしてください。
- 送受信の操作や送受信されるデータについては、対応するアプリケーションの動作に依存します。画面に従って操作してください。
- FeliCaマークを重ね合わせても、送受信に失敗する場合があります。失敗した場合は、送受信の操作を再度行ってください。
- NFC機能を利用した送受信を行う場合は、「Androidビーム」を有効にしてください。
- FeliCaマークをゆっくりと重ね合わせると送受信を失敗することがあります。

NFC／おサイフケータイ®(FeliCa)を設定する

1 **アプリ一覧→[設定]→[その他...]→[NFC／おサイフケータイ設定]**

2

NFC／おサイフケータイロック	NFC／おサイフケータイ®の機能をロック／解除します。 ・ロックNo.を入力→[次へ]と操作すると、NFC／おサイフケータイ®機能のロックが設定／解除されます。
NFC R/W P2P	▶P.136「NFC機能を有効にする」
Androidビーム	Androidビーム(NFC P2P機能)を利用したデータ通信ができます。 ・Androidビームについては、「Androidビームでデータを送受信する」(▶P.137)をご参照ください。
NFC／おサイフケータイロックNo.変更	「NFC／おサイフケータイロック」のロックNo.を変更します。 ・ロックNo.を入力→[次へ]→新しいロックNo.を入力→[次へ]→再度新しいロックNo.を入力→[OK]と操作すると変更できます。
NFC／おサイフケータイロックNo.初期化	「NFC／おサイフケータイロック」のロックNo.を忘れた場合は、PINロック解除コードを利用してロックNo.を再設定できます。 ・PINロック解除コードを入力→[次へ]→新しいロックNo.を入力→[次へ]→再度新しいロックNo.を入力→[OK]と操作すると再設定できます。

memo

◎PINロック解除コードについて詳しくは、「PINコードについて」(▶P.22)をご参照ください。

「NFC／おサイフケータイロック」について

◎「NFC／おサイフケータイロック」を有効にしている場合は、NFC／おサイフケータイ®(FeliCa)をご利用できません。

◎「NFC／おサイフケータイロック」ご利用中に電池が切れると、「NFC／おサイフケータイロック」が解除できなくなります。電池残量にご注意ください。電池が切れた場合は、充電後に「NFC／おサイフケータイロック」を解除してください。

◎ロックNo.はau Micro IC Card (LTE)に保存され、本製品から取り外してもau Micro IC Card (LTE)内に保持されます。ロックNo.について詳しくは、「ご利用いただく各種暗証番号について」(▶P.22)をご参照ください。

◎NFC／おサイフケータイ®をロックすると、ステータスバーに[LOCK]が表示されます。

NFCを利用する

NFC機能を有効にする

NFCリーダー／ライター機能を利用したNFCカードの読み書きができます。

1 **アプリ一覧→[設定]→[その他...]→[NFC／おサイフケータイ設定]→「NFC R／W P2P」を選択**

・非接触ICカード機能は、NFC機能の有効／無効にかかわらず利用できます。

Androidビームでデータを送受信する

NFC機能を搭載した携帯電話との間でデータを送受信できます。

- Androidビームでデータを送受信するには、あらかじめ「NFC R／W P2P」を有効にし、「Androidビーム」を「ON」に設定しておいてください。
- すべてのNFC機能を搭載した携帯電話との通信を保証するものではありません。

■データを送信する

例：電話帳（顔写真なし）を1件送信する場合

1 アプリ一覧→[電話帳]→連絡先を選択

2 受信側の端末と、FeliCaマークを向かい合わせる

3 [タップしてビーム]

■データを受信する

1 送信側の端末と、FeliCaマークを向かい合わせる

◎アプリケーションによってはAndroidビームをご利用になれません。
◎通信に失敗した場合は、本製品を少し浮かす、または前後左右にずらしてもう一度かざしてください。

NFCメニューを利用する

NFCサービスに対応するアプリの一覧表示やNFCロックの設定などのほか、各種設定を行うことができます。

1 アプリ一覧→[NFCメニュー]

NFCメニュー画面が表示されます。
NFCサービスに対応したアプリが表示されます。
初回起動時は、許可画面や利用規約画面が表示されます。内容をご確認の上、画面に従って操作してください。

2 アプリケーションを選択

■NFCメニュー画面のメニューを利用する

1 NFCメニュー画面→[⊙]

2

サービス一覧更新	登録しているサービスの情報を更新します。	
NFCポータルサイト	ブラウザを起動してNFCポータルサイトを表示します。	
NFCロック	NFC機能のロックなどの設定を行います。 • 詳しくは「NFC／おサイフケータイ®（FeliCa）を設定する」（▶P.136）をご参照ください。	
ヘルプ	NFCメニューのヘルプを表示します。	
設定	表示タイプ変更	NFCメニュー画面の表示タイプを設定します。
	カテゴリータイプ変更	カテゴリーの表示方法を横方向／縦方向に切り替えます。
	配色変更	NFCメニュー画面の色を設定します。
	アニメーション	NFCメニュー画面をアニメーションするかどうかを設定します。
	利用規約	NFCメニューの利用規約を表示します。
決済カード設定	決済するカードを設定します。	

NFCタグリーダーを利用する

NFCタグの読み込みやデータ書き込みを行えます。またデータ読み取り後、その情報に応じた動作をします。
NFCタグリーダーを利用するには、あらかじめアプリケーションをダウンロードしてください。

1 アプリ一覧→[NFCタグリーダー]

NFC機能が無効に設定されている場合は、注意画面が表示されます。画面に従って操作して、NFC機能を有効にしてください。
初回起動時は、許可画面や利用規約画面が表示されます。内容をご確認の上、画面に従って操作してください。

2

Share	NFC機能を持つ相手側の機器との間で電話帳などの各種データを送受信します。
Writing	NFCタグに書き込む情報を設定し、NFCタグにかざして書き込みます。
History	NFC機能の利用履歴を表示します。
Setting	NFC SettingやApp Settingを行います。 • NFC Settingについて詳しくは「NFC／おサイフケータイ®(FeliCa)を設定する」(▶P.136)をご参照ください。 • App Settingを設定すると、メインカラー選択、効果音、NFCタグ認識音、NFCタグ書き込み音の設定や、利用規約の確認ができます。

NFCデータをやりとりする

本製品背面のFeliCaマークをリーダー／ライターにかざしたり、NFC機能を持つ機器間同士でFeliCaマークを近づけたりすることで、NFCデータのやりとりができます。

おサイフケータイ®(FeliCa)を利用する

おサイフケータイ®対応サービスを利用する

利用方法などの詳細については、おサイフケータイ®画面→[⋮]→[サポートメニュー]→[操作ガイド]と操作しておサイフケータイ®の操作ガイドをご参照ください。

1 アプリ一覧→[おサイフケータイ]

おサイフケータイ®画面が表示されます。
初期設定画面が表示された場合は、画面の指示に従って操作してください。

2 [おすすめ]→サービスを選択

表示されたショートカット、またはサービス紹介サイトから、ご利用になりたいサービスを選択してください。
• サービスによっては初期登録が必要です。画面に従って操作してください。

memo

◎操作2で「ロック設定」をタップすると、NFC／おサイフケータイ設定画面(▶P.136)が表示され、「NFC／おサイフケータイロック」の設定などを行うことができます。

■おサイフケータイ®画面のメニューを利用する

1 おサイフケータイ®画面→[⋮]

2

表示形式切替	表示モードを切り替えます。
サービス表示情報更新	おサイフケータイ®画面を最新の状態に更新します。
メモリ使用状況	おサイフケータイ®のメモリ使用状況を確認します。

サポートメニュー	おサイフケータイアプリ ご利用規約	おサイフケータイ®の利用規約を表示します。
	電子マネー残高表示機能 ご利用条件	電子マネー残高表示機能の利用条件を表示します。
	バージョン情報	利用中のバージョンを確認します。
	操作ガイド	おサイフケータイ®の操作ガイドを表示します。
	設定リセット	サービス一覧情報をリセットします。 • おサイフケータイ®のアプリやデータは削除されません。

Androidアプリ

Google Playを利用すると、便利なアプリケーションやゲームに直接アクセスでき、本製品にダウンロード、インストールすることができます。また、アプリケーションのフィードバックや意見を送信したり、好ましくないアプリケーションや本製品と互換性がないアプリケーションを不適切なコンテンツとして報告したりすることができます。

Google Playを利用する

Google Playは、Googleのサービスです。

- Google Playのご利用にはGoogleアカウントの設定が必要です。詳しくは、「Googleアカウントをセットアップする」(▶P.42)をご参照ください。
- ダウンロードするアプリケーションやゲームには無料のものと有料のものがあり、Google Playのアプリケーション一覧ではその区別が明示されています。有料アプリケーションの購入、返品、払い戻し請求などの詳細については、「Google Playヘルプ」(▶P.140)でご確認ください。

Google Playをご利用になる前に

- アプリケーションのインストールは安全であることを確認の上、自己責任において実施してください。アプリケーションによっては、ウイルスへの感染や各種データの破壊、お客様の位置情報や利用履歴、携帯電話内に保存されている個人情報などがインターネットを通じて外部に送信される可能性があります。
- 万一、お客様がインストールを行ったアプリケーションなどにより各種動作不良が生じた場合、当社では責任を負いかねます。この場合、保証期間内であっても有償修理となる場合もありますので、あらかじめご了承ください。
- お客様がインストールを行ったアプリケーションなどにより、自己または第三者への不利益が生じた場合、当社では責任を負いかねます。
- アプリケーションによっては、自動的にパケット通信を行うものがあります。パケット通信は、切断するかタイムアウトにならない限り、接続されたままです。手動でパケット通信を切断するにはアプリ一覧→[設定]→[その他...]→[モバイルネットワーク]→「LTE」／「データ通信」を解除します。
- アプリケーションによっては、自動的にアップデートが実行される場合があります。
- アプリケーションによっては、microSDメモリカードをセットしていないと利用できない場合があります。
- アプリケーションの中には動作中スリープモードに入らなくなったり、バックグラウンドで動作して電池の消耗が激しくなるものがあります。
- 本製品に搭載されているアプリケーションやインストールされているアプリケーションは、アプリケーションのバージョンアップによって操作方法や画面表示が予告なく変更される場合があります。また、本書に記載の操作と異なる場合がありますのであらかじめご了承ください。

アプリケーションを検索し、インストールする

1 アプリ一覧→[Playストア]

Google Play画面が表示されます。
初めて起動したときは、利用規約が表示されます。内容をご確認の上、「同意する」をタップしてください。

■ 有料のアプリケーションを購入するときは

アプリケーションが有料の場合は、ダウンロードする前に購入手続きを行います。

- アプリケーションに対する支払いは一度だけです。一度ダウンロードした後のアンインストールと再ダウンロードには料金がかかりません。

■ 返金を請求する

購入後一定時間内であれば返金を請求することができます。クレジットカードには課金されず、アプリケーションは本製品からアンインストールされます。

- 返金請求は、各アプリケーションに対して最初の一度のみ有効です。過去に一度購入したアプリケーションに対して返金請求をし、同じアプリケーションを再度購入した場合には、返金請求はできません。

■ Google Playヘルプ

Google Playについてお困りのときや質問がある場合は、Google Play画面→[⋮]→[ヘルプ]と操作します。アプリケーションを選択すると、Google PlayヘルプWebページに進みます。

au Marketを利用する

au Marketは、auのサービスです。auスマートパスのアプリ取り放題に対応したAndroidアプリをインストールできます。目的のアプリをカテゴリーやキーワード、ランキングから検索できます。

- 一部の機能を利用するには、au IDを設定する必要があります。au IDの設定方法については、「au IDの設定をする」(▶P.42)をご参照ください。

1 アプリ一覧→[au Market]

auスマートパスのページが表示されます。
利用規約と、ご利用にあたっての注意点(初回起動時のみ)が表示されます。内容をご確認の上、画面の指示に従って操作してください。

2 アプリケーションを探す

auスマートパスに対応していないアプリケーションは、「auポータル」の「メニューリスト」で探してください。

memo

◎auスマートパスに対応していないアプリケーションは、「auポータル」の「メニューリスト」からダウンロードしてください。
◎au Marketを利用する際は、利用規約に従ってご使用ください。アプリケーションのダウンロード方法、有料アプリの決済方法は各アプリケーションの配信元によって異なります。
◎アプリケーションによっては、microSDメモリカードをセットしていないと利用できない場合があります。

アプリケーションを管理する

インストールされたアプリケーションを表示したり、設定を調整したりできます。多くのアプリケーションにインストールを補助するウィザードが付属しています。

提供元不明のアプリケーションのダウンロード

提供元不明のアプリケーションをダウンロードする前に、本製品本体の設定でダウンロードを許可する必要があります。
ダウンロードするアプリケーションは発行元が不明な場合もあります。お使いの本製品と個人データを保護するため、Google Playなどの信頼できる発行元からのアプリケーションのみダウンロードしてください。

1 アプリ一覧→[設定]→[セキュリティ]→「提供元不明のアプリ」を選択

2 注意文を確認→[OK]

インストールされたアプリケーションを削除する

インストールされたアプリケーションを削除する前に、アプリケーション内に保存されているデータも含めて、そのアプリケーションに関連する保存しておきたいコンテンツはすべてバックアップしてください。

- アプリケーションによっては削除できないものもあります。

1 アプリ一覧→[設定]→[アプリ]

アプリ管理画面が表示されます。

2 「ダウンロード済み」タブをタップ→削除するアプリケーションをタップ

3 [アンインストール]

4 [OK]→[OK]

memo

◎Google Playからダウンロード、インストールしたアプリケーションはすべてアンインストールすることができます。
◎アプリケーション内に保存されているデータを消去する場合は、アプリ管理画面→データを消去するアプリケーションをタップ→[データを消去]→[OK]と操作します。
◎アプリケーションのキャッシュを消去する場合は、アプリ管理画面→キャッシュを消去するアプリケーションをタップ→[キャッシュを消去]と操作します。
◎アプリケーションを強制終了／無効にする場合は、アプリ管理画面→強制終了／無効にするアプリケーションをタップ→[強制終了]／[無効にする]と操作します。アプリ一覧に表示されているアプリケーションを無効にすると、アプリ一覧に表示されなくなりますので、ご注意ください。
◎アプリケーションによっては、次の操作でもアンインストールを行うことができます。
アプリ一覧→アプリをロングタッチ→画面上部の「アンインストール」までアイコンをドラッグして、指を離す→[OK]→[OK]

■ ダウンロードしたアプリケーションを表示する

1 アプリ管理画面→「ダウンロード済み」タブをタップ

ダウンロードしたアプリケーションの一覧が表示されます。

- 「すべて」タブをタップするとすべてのアプリケーションの一覧が、「SDカード上」タブをタップするとmicroSDメモリカードへ移動可能なアプリケーションの一覧が表示されます。
  microSDメモリカードへ移動されているアプリケーションにはチェックが付いています。

2 確認するアプリケーションをタップ

- 「SDカードに移動」をタップすると、アプリケーションをmicroSDメモリカードに移動できます。

◎microSDメモリカードに移動できるアプリケーションの場合のみ、「SDカードに移動」を操作できます。
◎「auスマートパス」(▶P.159)の[アプリ]→[マイアプリ]からも、ダウンロードしたアプリケーションを表示できます。

GREEマーケットを利用する

GREEマーケットではGREEの無料ゲームなどを簡単に探すことができます。

1 アプリ一覧→[GREEマーケット]

GREEマーケット画面が表示されます。
画面内のコーナーから利用したいゲームなどを探すことができます。

◎GREEマーケットのゲームを利用するには、GREEマーケットの会員登録が必要となる場合があります。

YouTube

Googleが提供するオンライン動画ストリーミングサービス「YouTube」を利用して、動画の再生や、キーワード入力による動画検索、カテゴリー別表示、撮影した動画のアップロードができます。

YouTubeを利用する

1 アプリ一覧→[YouTube]

利用契約が表示された場合は、内容をご確認の上、画面の指示に従って操作してください。

2 再生する動画を選択

◎ムービーをアップロードするには、YouTubeへのログインが必要になります。あらかじめYouTubeアカウントを取得してください。
◎YouTubeの詳細については、YouTube画面→[⋮]→[設定]→[YouTubeについて]→[ヘルプ]と操作してご確認ください。

Facebookを利用する

Facebookを利用して、メッセージの投稿や閲覧などができます。

• Facebookの利用方法などの詳細については、Facebookのホームページをご参照ください。
http://www.facebook.com/

1 アプリ一覧→[Facebook]

2 メールアドレスとパスワードを入力→[ログイン]

アカウントをお持ちではない場合は「Facebookに登録」をタップし、画面の指示に従って登録を行ってください。

Friends Noteを利用する

Friends Noteを利用して、電話帳の連絡先やFacebook･TwitterなどのSNSの友達リストをまとめて管理することができます。また、電話、メール、SNSなどの連絡方法を簡単に選択できたり、複数のSNSやブログにまとめて投稿することができます。

• Friends Noteを利用するには、au IDが必要になります。au IDの設定方法については、「au IDの設定をする」(▶P.42)をご参照ください。

1 アプリ一覧→[Friends Note]

初回起動時には許可画面が表示されます。
内容をご確認の上、「同意する」をタップして、画面の指示に従って操作してください。

2 [同意する]

au ID確認画面が表示されます。
au IDが未設定の場合は、設定画面／ログイン画面が表示されます。画面の指示に従って設定してください。

3 [今すぐ]／[後で]

Googleサービス

トークやマップ、カレンダーなどGoogleが提供するアプリを利用することができます。

Googleトークを利用する

Googleトークは、Googleのインスタントメッセージサービスです。Googleトークを使用して、メンバーとチャットを楽しむことができます。

- Googleトークの利用にはGoogleアカウントが必要です（▶P.42）。

Googleトークにログインする

すでにGoogleアカウントを設定している場合は、ログインなしでご利用になれます。

1 アプリ一覧→［トーク］

Googleアカウントを設定していない場合は、画面の指示に従って設定してください。

◎ Googleトークの詳細については、Googleトークの画面→［⋮］→［設定］→アカウントを選択→［利用規約とプライバシー］→アプリケーションを選択→［Help Center］、またはGoogleトーク画面→［⋮］→［ヘルプ］と操作して確認してください（Help Centerは英語で表示されます）。

Googleマップを利用する

Googleマップで現在地の表示や別の場所の検索、ルート検索などを行うことができます。Googleマップを起動すると、近くの基地局からの情報によって、おおよその現在地が表示されます。GPS受信機が現在地を測位すると、現在地はより正確な場所に更新されます。
Googleマップの利用には、Googleアカウントが必要です。詳しくは「Googleアカウントをセットアップする」（▶P.42）をご参照ください。

- Googleマップで現在地の確認や目的地の検索などを行うには、アプリ一覧→［設定］→［その他...］→［モバイルネットワーク］→［LTE］／［データ通信］を選択、また、アプリ一覧→［設定］→［位置情報サービス］→［GPS機能］を選択、と操作して、あらかじめデータ通信／GPS機能を有効にする必要があります。
- 利用方法などの詳細については、Googleのホームページや、Googleマップ画面→［⋮］→［ヘルプ］と操作してGoogleマップのヘルプをご参照ください。
- 指定のACアダプタやmicroUSBケーブル01（別売）などを接続した場合、接続機器の磁気が影響し、地磁気センサーが正常に動作しないことがあります。ケーブル類を外してご使用ください。
- 方位計は、地球の微小な磁場を感知して方位を算出しています。以下の場所では、計測の障害になったり、誤差が大きく発生したりする場合がありますので、それらがない場所に移動してから計測してください。
  -建物（特に鉄筋コンクリート造り）、大きな金属の物体（電車、自動車）、高圧線、架線など、金属（鉄製の机、ロッカーなど）、家庭電化製品（テレビ、パソコン、スピーカーなど）、永久磁気（磁気ネックレスなど）
- 地磁気の弱い場所では方位計測に影響する場合があります。
- 以下の場合は、方位計測の精度に影響を及ぼすおそれがありますので、「地磁気センサー感度補正」（▶P.190）を行ってください。また、定期的に「地磁気センサー感度補正」を行うことをおすすめします。

-方位計の起動直後や、本製品を強い磁力に近づけた場合
-急激な温度変化を伴う環境に長時間置いた場合
-本製品が磁気を帯びた場合

- 「地磁気センサー感度補正」を行うときは、本体をしっかりと持ち、画面上にイラストで表示される動作をゆっくりと行ってください。補正が完了するまで、繰り返し実施してください。
- 「地磁気センサー感度補正」を行う環境や起動しているアプリケーションによっては補正に失敗する場合があります。その場合は、「地磁気センサー感度補正」を行う場所を変えるか、起動しているアプリケーションを終了させるなどしてからやり直してください。

1 アプリ一覧→[マップ]

Googleマップ画面が表示されます。
マップの新機能画面が表示された場合は、「OK」を選択するとGoogleマップ画面が表示されます。
現在地をすばやく検出するために、推奨される機能を有効にするかどうかの確認画面が表示される場合があります。「設定」または「スキップ」を選択してください。「設定」を選択すると、各機能の設定画面が表示されます。

Google Latitudeを利用する

Google Latitudeを利用すると、地図上で友人と位置を確認しあったり、ステータスメッセージを共有したりできます。Latitude上では、SMSやPCメールを送ったり、電話をかけたり、また、友人の現在地までの移動経路を検索したりすることもできます。

- Google Latitudeの利用にはGoogleアカウントが必要です。
- 位置情報を共有するには、Latitudeに参加して自分の位置情報を提供する友人を招待するか、友人からの招待を受ける必要があります。

Latitudeに参加する

1 アプリ一覧→[Latitude]

初めてLatitudeに参加した場合は、「現在地の共有」画面が表示されます。「家族や友だちと現在地を共有できます」をタップし、画面の指示に従って設定してください。

- Googleマップのマップ画面→[マップ]→[Latitudeに参加]と操作しても、Latitudeに参加できます。一度Latitudeに参加すると、メニュー項目は「Latitude」に変わります。

memo

◎Latitudeの設定およびログアウトは、地図を表示中に自分の現在地に表示された吹き出しをタップ→[プライバシー設定を編集]→[Latitudeからログアウト]と操作します。

ローカルを利用する

現在地周辺の施設や店舗などをすばやく検索できます。

1 アプリ一覧→[ローカル]

2 検索するカテゴリーをタップ

「🔍」をタップし、キーワード入力欄に地名や店名を入力しても検索できます。
カテゴリーを追加する場合は、[⋮]→[検索を追加]→カテゴリーなどを入力します。

3 検索結果から目的の情報をタップ

memo

◎利用する場所によって、使用できる機能が異なります。
◎サービス内容は、予告なく変更される場合があります。

Googleナビを利用する

Googleが提供する「Googleナビ」を利用して、現在地から目的地までのルートを検索し、ナビゲーションします。

- Googleナビを利用するには、あらかじめ「GPS機能」を有効にする必要があります。

1 アプリ一覧→[ナビ]

初回起動時には利用契約が表示されます。内容をご確認の上、画面の指示に従って操作してください。

■ 音声で検索する場合

2 [目的地を音声入力]→送話口(マイク)に向かってキーワードを話す

■ 入力して検索する場合

2 [目的地をキーボードで入力]→キーワードを入力→[実行]

■ 電話帳に登録されている住所から検索する場合

2 左右にスライドして「連絡先」を選択→目的地を選択

■ スター付きの場所から検索する場合

2 左右にスライドして「スター付き」を選択→目的地を選択

カレンダーを利用する

カレンダーを1日、1週間、1ヶ月で表示することができます。

- カレンダーの利用にはExchangeアカウント／Googleアカウントのいずれかが必要です。初回利用時に表示されるアカウント追加画面でExchangeアカウントの場合は「コーポレート」、Googleアカウントの場合は「Google」を選択します。Exchangeアカウントの設定については、画面に従って操作してください。Googleアカウントの設定については、「Googleアカウントをセットアップする」(▶P.42)をご参照ください。
- 「アカウントと同期」を利用して、サーバーに保存されたカレンダーと本製品のカレンダーを同期できます。

1 アプリ一覧→[カレンダー]

カレンダー画面が表示されます。

memo

◎カレンダー画面左上部の暦をタップ→[日]／[週]／[月]／[予定リスト]と操作すると、カレンダーの表示を1日表示／1週間表示／1ヶ月表示／予定リストに切り替えることができます。

◎時間帯をロングタッチすると、予定を作成などの操作ができます。

カレンダーのメニューを利用する

1 カレンダー画面→[⋮]

2

予定を作成	▶P.147「予定を新規登録する」
更新	同期しているカレンダーを更新します。
検索	予定を検索します。
表示するカレンダー	同期しているカレンダーから表示するカレンダーを選択します。
設定	▶P.147「カレンダーを設定する」

予定を新規登録する

1 カレンダー画面→[⋮]→[予定を作成]

新規作成・編集画面が表示されます。

2

カレンダー	複数のカレンダーを設定している場合、予定を登録するカレンダーを選択します。
タイトル	予定のタイトルを入力します。
場所	予定の場所を入力します。
開始	開始日時と終了日時を設定します。 • 終了日時は開始日時より前には設定できません。
終了	
終日	予定を終日に設定します。
タイムゾーン	タイムゾーンを設定します。
ゲスト	登録する予定に招待する人のメールアドレスを入力します。 • 「,」で区切って、複数入力できます。 • 予定の登録が完了すると、入力した宛先に予定データを添付したメールが送信されます。
説明	予定の内容などを入力します。
繰り返し	予定の繰り返しを指定します。
通知	予定開始日時からどのくらい前に通知するかを設定します。メールで通知を行うことも可能です。 • 「通知を追加」／「╳」をタップすると、通知を追加／削除できます。不要な通知は削除してください。
外部向け表示	外部に予定の有無を公開します。
公開設定	予定を外部に公開するか設定します。

3 [完了]

カレンダーを設定する

カレンダーの表示、通知方法、通知音、バイブレーション、通知間隔などを設定します。

1 カレンダー画面→[⋮]→[設定]→[全般設定]

2 変更する項目を選択

アラームを利用する

指定した時刻をアラーム音や時刻の読み上げ、バイブレータでお知らせできます。

1 アプリ一覧→[アラーム]

アラーム一覧画面が表示されます。

2 [アラームの追加]

• 設定済みのアラームを編集する場合は、編集するアラームをタップします。

3

アラームをONにする	選択したアラームをオン／オフに設定します。
時刻設定	アラームの時刻を設定します。
繰り返し	アラームの繰り返しを曜日で指定します。 • 毎日アラームを鳴動させる場合は、すべての曜日を選択します。
アラーム音	アラーム音を設定します。
時刻読み上げ	「目覚まし用」「予定通知用」を設定します。
バイブレーション	アラーム音と同時にバイブレータを動作させるかどうかを設定します。
ラベル	名称を設定します。

4 [OK]

設定内容を保存して、アラーム一覧画面に戻ります。

「□」をタップするたびにアラームのオン／オフが切り替わります。

memo

◎アラームを設定した時刻になると、アラーム音や時刻の読み上げ、バイブレータが設定時間の間鳴動し、ラベルの内容が表示されます。
◎時刻の読み上げを設定すると、時刻読み上げ時はアラーム音が小さくなります。
◎アラーム音量が1以上に設定されていて、通話中にアラームが起動した場合、受話部（レシーバー）からアラームを知らせる割込音が鳴ります。
◎アラームを停止する場合は、「停止」または「スヌーズ」をタップします。
◎電源が入っていない場合は、アラームは鳴りません。

アラームを削除する

1 アラーム一覧画面→削除するアラームをロングタッチ

2 [アラームを削除]→[OK]

選択したアラームが削除されます。

アラーム全体の設定をする

1 アラーム一覧画面→[⚙]

2

マナーモード優先	マナーモード中にアラーム音を鳴動するかどうかを設定します。
アラームの音量	アラームの音量を設定します。
スヌーズ間隔	スヌーズの間隔を設定します。
アラーム鳴動時間	アラームが鳴動する時間を設定します。
ボタン動作	アラーム時に「⮌」をタップした場合や、◀▶を押した場合の動作を設定します。
デフォルトアラーム音	デフォルトのアラーム音を設定します。

電卓を利用する

1 アプリ一覧→[電卓]

電卓画面が表示されます。

削除：最後に入力した数字／記号を消去します。ロングタッチすると入力した内容をすべて消去できます。

消去：計算結果を消去します。

memo

◎数値や計算結果をロングタッチ→[切り取り]／[コピー]／[貼り付け]の操作をすることができます。
◎電卓画面→[■]→[関数機能]／[標準機能]と操作すると、ボタンを関数機能／標準機能に切り替えることができます。また、電卓画面で左右にスライド／フリックしても、関数機能／標準機能に切り替えることができます。
◎電卓画面→[■]→[履歴消去]と操作すると、入力内容の履歴を消去できます。

ニュースと天気を利用する

位置情報をもとにした天気予報、ニュース、スポーツ、エンタテインメントなどの各種情報がチェックできます。
ご利用になる前に現在地情報が取得できるように設定（▶P.186）する必要があります。

1 アプリ一覧→[ニュースと天気]

ニュースと天気TOP画面が表示されます。
「天気予報」をタップすると、当日の気温、降水確率などを確認できます。

メモ帳を利用する

1 アプリ一覧→[メモ帳]

メモ帳一覧画面が表示されます。

2 [⊕]→メモを入力→[保存]

メモ帳を確認／編集する

1 メモ帳一覧画面→メモをロングタッチ

2

編集	登録したメモを編集します。
すぐ文字連携	登録したメモの内容をすぐ文字に入力できます。
.txtにして共有	登録したメモを.txt形式にして、添付ファイルとして選択したアプリに連携します。
削除	登録したメモを削除します。

memo

◎本文中の電話番号／メールアドレス／URLをタップまたはロングタッチして、電話帳に登録／発信／SMSの作成／メールの作成／ブラウザでサイトの表示などが行えます。

メモ帳を選択して削除する

1 メモ帳一覧画面→[🗑]

2 削除するメモ帳を選択→[🗑]→[OK]

[X件選択済み]→[全て選択]→[🗑]→[OK]と操作すると、すべてのメモ帳を削除することができます。

すぐ文字を利用する

入力した文字を利用して、アプリケーションを起動することができます。

1 アプリ一覧→[すぐ文字]

すぐ文字の説明画面が表示されます。確認後、「OK」をタップしてください。

「次回から表示しない」を選択すると、次回以降は表示されません。

2 文字を入力

入力した文字数が表示されます。

3 起動するアプリケーションのアイコンを選択

乗換ナビ	入力した文字を出発駅･到着駅として、乗換NAVITIMEアプリの検索画面が表示されます。
SMS	入力した文字をメッセージとしたSMS作成画面が表示されます。
Eメール	入力した文字をEメール本文とした送信メール作成画面が表示されます。
YouTube	YouTubeが起動し、入力した文字で検索された一覧が表示されます。
付箋メモ	入力した文字を内容とした付箋メモの作成画面が表示されます。
ジーニアス英和和英	入力した文字でジーニアス英和和英辞典検索の結果が表示されます。

家庭医学大全科	入力した文字で家庭医学大全科検索の結果が表示されます。
大辞林	入力した文字で大辞林検索の結果が表示されます。
COOKPAD	入力した文字でCOOKPADレシピ検索の結果が表示されます。
マップ	Googleマップが起動し、入力した文字でマップ検索します。
取扱説明書	『取扱説明書』アプリケーションが起動し、入力した文字で検索された結果が表示されます。
共有	入力した文字ですぐ文字を利用して起動するアプリケーションを選択します。

※表示される項目、並び順は場合により異なります。

memo

◎起動するアプリケーションが存在する場合に、アプリケーションのアイコンが表示されます。
◎入力欄の下に履歴が表示された場合は、履歴の文字部分をタップすると、選択した履歴を入力欄に入力します。
◎履歴の[☒]→[OK]と操作すると、履歴を消去できます。
また、すぐ文字画面→[⋮]→[履歴の全件消去]→[OK]と操作すると、すべての履歴を削除できます。
◎すぐ文字画面→[⋮]→[履歴表示]→[ON]／[OFF]と操作すると、履歴の表示／非表示を切り替えることができます。
◎履歴内のアプリケーションのアイコンをタップすると、履歴を入力欄に入力し、そのアプリケーションを起動します。
◎すぐ文字画面→[?]と操作すると、すぐ文字のヘルプを表示することができます。
◎アプリケーションのアイコンをロングタッチすると、履歴の絞り込みを行います。

起動するアプリケーションのアイコンを編集する

1 すぐ文字画面→[⋮]→[アイコン編集]

■追加する場合

2 [アイコンの追加]→アプリケーションを選択→[完了]

最大22個まで登録できます。

■並べ替える場合

2 並べ替えるアイコンをロングタッチ→並べ替える位置にアイコンをドラッグ→[完了]

■削除する場合

2 削除するアイコンをロングタッチ→「×削除」にアイコンをドラッグ→[完了]

すぐごえを利用する

音声を入力して、アプリケーションとさまざまな連携をすることができます。

1 アプリ一覧→[すぐごえ]

すぐごえの説明が表示されます。確認後、「OK」をタップしてください。「次回から表示しない」を選択すると、次回以降は表示されません。

2 音声を入力

入力した音声が表示され、対応するアプリケーションが起動します。

- 音声での呼び出し方がわからない場合は、「?」をタップするとヘルプ画面が表示されます。ヘルプ画面で行いたい項目をタップ→呼び出し方を確認→[試す]→音声を入力、と操作すると、対応するアプリケーションが起動します。
- 複数のアプリケーションが認識された場合は、起動するアプリケーションを選択します。

■アプリケーションが認識されなかった場合

3 [連携アプリを選択]→起動するアプリケーションのアイコンを選択

• [アプリの呼び方として登録]→呼び方を登録したいアプリケーションを選択、と操作すると、認識されなかった呼び方を登録することができます。

SMS	入力した音声をメッセージとしたSMS作成画面が表示されます。
Eメール	入力した音声をEメール本文とした送信メール作成画面が表示されます。
Gmail	入力した音声をGmail本文とした送信メール作成画面が表示されます。
YouTube	YouTubeが起動し、入力した音声で検索された一覧が表示されます。
Google検索	Google検索が起動し、入力した音声で検索された一覧が表示されます。
乗換ナビ	入力した音声を出発駅・到着駅として、乗換NAVITIMEアプリの検索画面が表示されます。
COOKPAD	入力した音声でCOOKPADレシピ検索の結果が表示されます。
マップ	Googleマップが起動し、入力した音声でマップ検索します。
付箋メモ	入力した音声を内容とした付箋メモの作成画面が表示されます。
予定を作成	入力した音声をタイトルとした予定の作成画面が表示されます。
電話帳 検索	電話帳が起動し、入力した音声で検索された連絡先が表示されます。
取扱説明書	『取扱説明書』アプリケーションが起動し、入力した音声で検索された結果が表示されます。
アプリを探す	au Marketが起動し、入力した音声で検索されたアプリの一覧が表示されます。
メモ帳	入力した音声を内容としたメモ帳の作成画面が表示されます。
撮りログ	撮りログが起動し、入力した音声で検索されたアルバムが再生されます。

◎スリープモード中に[▶]を長く押しても、すぐごえを起動できます。ただし、画面ロックの設定によっては起動できない場合があります。

すぐごえを設定する

1 すぐごえ画面→[⚙]

2

読み上げ設定	すぐごえで読み上げる音声を設定します。
アプリの呼び方	アプリの呼び方を設定します。 • 呼び方をロングタッチ→[OK]、と操作すると、呼び方をリセットできます。
連絡先の呼び方	連絡先の呼び方を設定します。 • 呼び方をロングタッチ→[OK]、と操作すると、呼び方をリセットできます。
着信時に自動起動	着信やメールを受信したとき、「すぐごえ」を起動して着信／受信があったことを音声でお知らせします。また、音声入力で相手に電話したり、メールを作成したりすることができます。

◎「連絡先の呼び方」で設定できるのは、音声入力時の呼び方です。すぐごえの読み上げ方を設定する機能ではありません。

OfficeSuiteを利用する

OfficeSuiteを利用してWord、Excelなどのファイルを閲覧できます。

1 アプリ一覧→[OfficeSuite]

OfficeSuiteが起動します。

音声レコーダーを利用する

1 アプリ一覧→[音声レコーダー]

音声レコーダー画面が表示されます。

2 [●]

録音が開始されます。

3 [■]

録音を停止し、録音した音声が保存されます。

memo

◎ microSDメモリカードがセットされていない場合、録音できません。
◎ 録音中にmicroSDメモリカードの容量がなくなった場合、録音を停止します。
◎ 音声データは、micorSDメモリカード内の「Recordings」フォルダに保存されます。
◎ 保存された音声データは「ファイル管理」(▶P.125)などの音データ管理用アプリケーションでも確認できます。
◎ Bluetooth®機能で接続しているマイクから録音することはできません。本製品の送話口(マイク)で録音してください。

音声を再生する

1 音声レコーダー画面→[≡]

音声データ一覧画面が表示されます。

2 音声データをタップ

再生が開始されます。

- 音声データをロングタッチすると、音声データの共有/削除/ファイル名編集/詳細情報の表示を行うことができます。

音声データを選択して削除する

1 音声データ一覧画面→[🗑]

2 削除する音声データを選択→[🗑]→[OK]

[X件選択済み]→[全て選択]→[🗑]→[OK]と操作すると、すべての音声データを削除することができます。

簡易ライトを利用する

1 アプリ一覧→[簡易ライト]

簡易ライトが点灯します。約30秒経過すると消灯します。

- 簡易ライト消灯中に、画面をタップすると点灯します。
- 簡易ライト点灯中に、画面をタップすると消灯します。

memo

◎ 簡易ライトを目に近づけて点灯させないでください。また、簡易ライト点灯時は発光部を直視しないようにしてください。同様に簡易ライトを他の人の目に向けて点灯させないでください。視力低下などの障がいを起こす原因となります。
◎ ご使用時は電池の減りにご注意ください。

MHL接続を利用する

本製品とHDMI端子付きテレビをMHLケーブル（市販品）で接続すると、本製品と同じ画面をテレビに表示することができます。

1 本製品とテレビをMHLケーブル（市販品）で接続

本製品の外部接続端子とテレビのHDMI端子を接続します。

充電ランプが赤色に点灯し、ステータスバーにメッセージとが表示されます。

2 テレビに出力する画面を表示

3 本製品とテレビからMHLケーブル（市販品）を抜く

◎起動しているアプリケーションによっては、MHL接続が利用できない場合があります。

◎MHL接続中は、MHLケーブル（市販品）やテレビによっては、十分に充電できない場合があります。

◎MHL接続中の音出力は、テレビから出力されない場合があります（着信音、通話音声など）。

◎MHL接続中はワンセグを受信できない場合がありますので、ワンセグの視聴や録画をするときは、MHLケーブル（市販品）を取り外してください。

◎テレビで視聴される場合は、接続後にテレビ側の画面表示サイズを全画面に設定しておいてください。

省電力ナビを利用する

バックライトの消灯時間や画面の明るさを最小値に設定したり、Wi-Fi®やBluetooth®接続などをオフにしたりすることで電池の消耗を抑えます。

1 アプリ一覧→［省電力ナビ］

省電力ナビの説明画面が表示されます。

- 「次回から表示しない」を選択すると、次回以降は表示されません。

2 ［OK］

省電力設定画面が表示されます。

3

省電力設定		
省電力設定	省電力モードを選択すると、省電力にするための項目が一括で無効、または最小値に設定されます。 各モードのエコレベルと待受時間が表示されます。 **OFF**：元の設定に戻ります。 **マイ省電力**：以下の項目を個別に設定できます。 **省電力モード**：「すべてのデータ通信」のみ設定できます。	
	バックライト消灯	バックライトが自動消灯するまでの時間を選択します。
	画面の明るさ	画面の明るさを設定します。
	画面の向き	本製品の向きに合わせて、自動的に縦表示／横表示を切り替えるかどうかを設定します。
	Wi-Fi	Wi-Fi®をオンにするかどうかを設定します。
	Bluetooth	Bluetooth®をオンにするかどうかを設定します。

省電力設定	GPS機能を使用	GPS機能の設定をします。
	ライブ壁紙	ライブ壁紙の設定をします。
	NFC R/W P2P	NFC機能の設定をします。
	すべてのデータ通信	データ通信の設定をします。

memo

◎省電力設定画面で[■]→[その他の設定]→「自動で省電力モード」を選択、と操作すると、設定した電池残量の値(%)以下になると、自動的に省電力モードが設定されます。電池残量が設定した値(%)より上になると自動的に省電力モードが解除されます。

起動中のアプリケーションを管理する

1 省電力設定画面→「アプリケーション管理」タブをタップ

アプリケーション管理画面が表示されます。

2 終了するアプリケーションの「終了」をタップ

「全て終了」をタップすると、起動中のアプリケーションをすべて終了することができます。

memo

◎アプリケーション管理画面で[■]→[常時起動アプリ設定]→常時起動させておくアプリケーションをタップして選択→[完了]と操作すると、「全て終了」をタップしても終了しないアプリケーションを設定できます。

◎アプリケーションによっては、終了すると正常に動作できないものもありますので、「常時起動アプリ設定」に設定しておくことをおすすめします。

◎アプリケーションによっては、「終了」をタップしても終了しないものがあります。

auお客さまサポートを利用する

au電話の契約内容や月々の利用状況などを簡単に確認できるほか、auお客さまサポートウェブサイトへアクセスして、料金プランやオプションサービスなどの申込変更手続きができます。

- 利用方法などの詳細については、auお客さまサポートアプリ起動中に[MENU]→[ヘルプ]と操作してauお客さまサポートのヘルプをご参照ください。

1 アプリ一覧→[auお客さまサポート]

- 初回起動時は設定メニューが表示され、アカウント設定および自動更新設定が行えます。アカウントを設定せずに利用する場合は、「「サポートID」を設定せずに利用する」をタップします。
- サポートIDの新規取得は、auお客さまサポートウェブサイト(https://cs.kddi.com/)にて取得することができます。
- 利用規約が表示された場合は、内容をご確認の上、「同意する」をタップしてください。

2

確認する	au電話の契約内容や月々の利用状況等を簡単に確認できます。
変更する	au電話の契約内容を変更できます。
サポート&サービス	▶P.155「安心セキュリティパックを利用する」
調べる	よくあるご質問の確認やauお客さまサポートウェブサイトへの接続などができます。

memo

◎画面下部の「MENU」をタップすると、各種お問い合わせ先窓口や設定メニュー、ヘルプが表示されます。「MENU」が表示されていない場合は「■」をタップします。

安心セキュリティパックを利用する

安心セキュリティパックでできること

「3LM Security」「リモートサポート」「ウイルスバスター™モバイル for au」の3種類のアプリケーションを利用して、さまざまなセキュリティ機能とサポートサービスをご利用になれます。

- 安心セキュリティパックは有料サービスです。

memo

◎ 安心セキュリティパックにご加入いただいた場合、「3LM Security」と「ウイルスバスター™モバイル for au」のセットアップを行ってください。

<安心セキュリティパックの位置検索をご利用いただくにあたって>

◎ 当社では、提供したGPS情報に起因する損害については、その原因にかかわらず一切の責任を負いませんので、あらかじめご了承ください。

<ご注意>

◎ サービスエリア内でも地下街など、GPS衛星と基地局からの電波の受信状況が悪い場所では、正確な位置情報が取得できない場合があります。

◎ 「GPS機能」を無効にしていると、位置情報が通知されません。

◎ ご契約いただいているau Micro IC Card (LTE)の情報と、利用開始設定時のau Micro IC Card (LTE)の情報が一致している端末の検索ができます。

◎ auご契約者とご利用者が異なる場合は、必要に応じてauお客さまサポートから利用者認証番号を設定してください。

- 利用者認証番号はauお客さまサポートからのみ設定解除が可能です。
- 利用者認証番号を設定された際は必ずお忘れにならないようにご注意ください。
- 利用者認証番号を忘れた場合、サービスをご利用になれませんのでご注意ください。
  また、お客さまのau携帯電話より操作しない限り、番号の再設定などが行えません。

■ 3LM Security

- 本製品を盗難・紛失された場合に、本製品を遠隔操作でロックすることができます。
- 画面ロックの暗証番号を忘れてしまった場合に、遠隔操作で暗証番号の変更ができます。
- 本製品を盗難・紛失された場合に、本製品内のデータを削除する場合には、お客さまセンターへご連絡ください。
- 「3LM Security」を起動したときや、本製品が遠隔ロックされたときなどは、端末の位置情報がサーバーに送信されます。また、常に位置情報を送信するように設定することもできます。
- 定期的に本製品の端末情報をサーバーに送信します。

■ リモートサポート

- 携帯電話の操作についてお問い合わせいただいた際に、オペレータのパソコンとお客様の本製品の画面を共有し、お客様の操作をサポートすることで、オペレータが直接問題を解決します。

■ ウイルスバスター™モバイル for au

- 不正アプリ対策
  アプリのインストール時にファイルをスキャンして、不正アプリのインストールを防止。また、インストール済みアプリを手動でスキャンして削除することもできます。
- Webフィルタ
  ギャンブルや出会い系サイトなど、青少年に不適切なサイトへのアクセスをブロックします。
- Web脅威対策
  ウイルス、不正アプリの配布元サイトや、フィッシング詐欺サイトなど、不正サイトへのアクセスを未然にブロックします。
- 着信ブロック／SMSブロック
  迷惑電話やSMSの着信拒否だけでなく、特定のキーワードを含むメッセージをブロックすることもできます。

■3LM Securityを利用する

1 アプリ一覧→[auお客さまサポート]→[サポート&サービス]→[安心セキュリティパック]→[3LM Security]

初回起動時には、3LM Securityの利用承諾説明画面が表示されます。内容をご確認の上、[同意します]→[有効にする]と操作してください。
利用承諾説明画面→[利用規約]→アプリケーションを選択、と操作すると、3LM Securityの利用規約を確認できます。
- アプリ一覧→[3LM Security]でも同様に操作できます。

■リモートサポートを利用する

1 お客さまセンターまでお問い合わせ

2 アプリ一覧→[auお客さまサポート]→[サポート&サービス]→[安心セキュリティパック]→[リモートサポート]

起動時には、使用許諾契約書を確認する画面が表示されます。内容をご確認の上、「同意する」を選択してください。
- アプリ一覧→[リモートサポート]でも同様に操作できます。

3 オペレータの指示に従って操作

■ウイルスバスター™モバイル for auを利用する

1 アプリ一覧→[auお客さまサポート]→[サポート&サービス]→[安心セキュリティパック]→[ウイルスバスターモバイル for au]

初回起動時には、使用許諾契約書を確認する画面が表示されます。内容をご確認の上、「同意する」を選択してください。
- アプリ一覧→[ウイルスバスター]でも同様に操作できます。

2 項目を選択

3 画面の指示に従って操作

memo

◎Webフィルタは、Android標準ブラウザでのLTE NET、無線LAN(Wi-Fi®)接続時に有効です。

au災害対策アプリを利用する

au災害対策アプリは、災害用伝言板や、緊急速報メール(緊急地震速報、災害・避難情報、津波警報)、災害用音声お届けサービスを利用することができるアプリです。

1 アプリ一覧→[au災害対策]

au災害対策メニュー画面が表示されます。

災害用伝言板を利用する

災害用伝言板とは、震度6弱程度以上の地震などの大規模災害発生時に、被災地域のお客様がLTE NET上から自己の安否情報を登録することが可能となるサービスです。登録された安否情報はau電話をお使いの方のほか、他社携帯電話やパソコンなどからも確認していただくことが可能です。
詳しくは、auホームページの「災害用伝言板サービス」をご参照ください。

1 au災害対策メニュー画面→[災害用伝言板]

画面の指示に従って、登録/確認を行ってください。

memo

◎安否情報の登録を行うには、Eメールアドレス（@ezweb.ne.jp）が必要です。あらかじめ、メールアドレスを設定しておいてください。メールアドレスの設定について、詳しくは「Eメールを設定する」（▶P.89）をご参照ください。
◎無線LAN（Wi-Fi®）接続中は、削除および安否お知らせメールの設定変更はご利用いただけません。
◎当社は、本サービスの品質を保証するものではありません。本サービスへのアクセスの集中や設備障害に伴う安否情報の登録にかかわる不具合、安否情報の破損、滅失などによる損害または登録された安否情報に起因する損害につきましては原因の如何によらず、一切の責任を負いかねます点、ご了承のうえご利用ください。

緊急速報メールを利用する

緊急速報メールとは、気象庁が配信する緊急地震速報や津波警報、国や地方公共団体が配信する災害・避難情報を、特定エリアのau電話に一斉にお知らせするサービスです。
お買い上げ時は、緊急速報メール（緊急地震速報および災害・避難情報）の「受信設定」は「受信する」に設定されています。津波警報の受信設定は、災害・避難情報の設定にてご利用いただけます。
緊急地震速報を受信した場合は、周囲の状況に応じて身の安全を確保し、状況に応じた、落ち着きのある行動をお願いいたします。津波警報を受信したときは、直ちに海岸から離れ、高台や頑丈な高いビルなど安全な場所に避難してください。

1 au災害対策メニュー画面→[緊急速報メール]

受信ボックスが表示されます。
確認したいメールを選択すると、メールの詳細を確認できます。

2

削除	受信したメールを削除します。
設定	**緊急地震速報**：緊急地震速報を受信するかどうかを設定します。 **災害・避難情報**：災害・避難情報および津波警報を受信するかどうかを設定します。
	音量：受信音の音量を設定します。 **バイブ**：受信時にバイブレータが動作するかどうかを設定します。 **マナー時の鳴動**：マナーモード設定中は、マナーモードの設定でお知らせするかどうかを設定します。
	緊急地震速報：緊急地震速報の受信音やバイブレータの動作を確認します。 **災害・避難情報**：災害・避難情報および津波警報の受信音やバイブレータの動作を確認します。

memo

◎日本国内のみのサービスです(海外ではご利用になれません)。
◎緊急速報メールは、情報料・通信料とも無料です。
◎電源を切っているときや通話中は、緊急速報メールを受信できません。
◎SMS／Eメール送受信時やブラウザ利用時などの通信中であったり、サービスエリア内でも電波の届かない場所(トンネル、地下など)や電波状態の悪い場所では、緊急速報メールを受信できない場合があります。
◎受信に失敗した緊急速報メールを、再度受信することはできません。
◎緊急速報メール受信時は、専用の警報音が鳴動します。警報音は変更できません。
◎お客様の現在地とは、異なる地域に関する情報を受信する場合があります。
◎当社は、本サービスに関して、通信障害やシステム障害による情報の不達・遅延、および情報の内容、その他当社の責に帰すべからざる事由に起因して発生したお客様の損害について責任を負いません。
◎気象庁が配信する緊急地震速報や津波警報の詳細については、気象庁ホームページをご参照ください。
http://www.jma.go.jp/

緊急地震速報について

◎緊急地震速報とは、最大震度5弱以上と推定した地震の際に、強い揺れ(震度4以上)が予測される地域をお知らせするものです。
◎地震の発生直後に、震源近くで地震(P波、初期微動)をキャッチし、位置、規模、想定される揺れの強さを自動計算し、地震による強い揺れ(S波、主要動)が始まる数秒～数十秒前に、可能な限りすばやくお知らせします。
◎震源に近い地域では、緊急地震速報が強い揺れに間に合わないことがあります。
◎テレビやラジオ、その他伝達手段により提供される緊急地震速報とは、配信するシステムが異なるため、緊急地震速報の到達時刻に差異が生じる場合があります。

津波警報について

◎津波警報とは、気象庁から配信される津波警報(大津波、津波)を、対象沿岸を含む地域へお知らせするものです。

災害・避難情報について

◎災害・避難情報とは、国や自治体から配信される避難勧告や避難指示、各種警報などの住民の安全にかかわる情報を、お知らせするものです。

災害用音声お届けサービスを利用する

災害用音声お届けサービスとは、大規模災害時にスマートフォンで音声を録音し、安否を届けたい方へ音声メッセージとしてお届けするサービスです。

1 au災害対策メニュー画面→[災害用音声お届けサービス]

■音声を送る(送信)

「声をお届け」を選択し、「①お届け先を選択※」→「②お届けしたい声を録音」の順で操作してください。

※お届け先は、電話帳からも選択可能です。

■音声を受け取る(受信)

音声メッセージが届いたことが、ポップアップ画面、もしくは、SMSで通知されます。音声メッセージを受信(ダウンロード)し、再生することで、聞くことができます。

- 受け取る相手が災害用音声お届けサービスに対応した「au災害対策アプリ」を立ち上げていないスマートフォンや、au携帯電話の場合、SMSでお知らせします。
- SMSで通知された場合、au災害対策アプリに情報は保存されません。

memo

◎音声メッセージの送受信は、LTE／3Gネットワークで利用可能です。無線LAN(Wi-Fi®)通信などは無効にしてご利用ください。
◎音声メッセージは最大30秒の録音が可能です。
◎au携帯電話間のみ、音声メッセージのやりとりが可能です(他社携帯電話との相互利用は2013年春以降を予定しています)。
◎メディアの音量を小さくしている、もしくはマナーモードに設定している場合、音声を聞き取れない場合があります。
◎本体(メモリ)に空き容量がない場合は、音声メッセージが保存・再生できない場合があります。
◎音声メッセージの受信に対応していない端末があります。詳しくはauホームページをご覧ください。

auスマートパスを利用する

auスマートパスは、月額390円(税込)で、500本以上のアプリ取り放題、auスマートパス会員様限定のお得なクーポンやプレゼント、大切な写真や動画･電話帳のお預かりサービス、セキュリティアプリなど、スマートフォンを安心･快適にご利用いただけるサービスです。

- 利用方法などの詳細については、auスマートパストップページから「ヘルプ」をタップしてヘルプをご参照ください。

memo

◎ご利用の際はパケット通信料が高額になる場合がありますので、パケット通信料定額／割引へのご加入をおすすめします。

1 ホームスクリーン→[(auスマートパス)]

auスマートパスにご登録いただいてない場合は、ページトップにある「非会員の方　新規登録」を選択し、au IDとパスワードを入力後、利用規約の内容をご確認の上、「利用規約に同意」をタップしてください。au IDをお持ちでない場合は、au IDを取得してください。

- 「アプリケーションを選択」メニューが表示された場合は、使用するアプリケーションを選択してください。常に同じアプリケーションを使用する場合は、「常にこの操作で使用する」を選択してから、アプリケーションを選択します。

2

アプリ取り放題	500本以上のアプリからお好きなアプリを好きなだけダウンロードいただくことができるサービスです。
クーポン＆プレゼント	auスマートパス会員様限定のお得なクーポンやプレゼントなどを紹介しています。
データお預かり	大切な写真や動画、電話帳を簡単･安心に預けることができるサービスです。
安心･セキュリティ	大切な情報をしっかりガードする、安心の強力セキュリティアプリです。

memo

◎画面下部の「お問い合わせ」をタップすると、各種お問い合わせ先窓口を表示できます。
◎サービスを解約された場合、すべてのサービスが利用できなくなります。ダウンロードしたアプリについてはサービス解約後、自動的に消去されます。解約後はご利用いただけません。
◎アプリケーションなどにより、お客様が操作していない場合でも、自動的にパケット通信が行われる場合があります。
◎ご利用になれるコンテンツは、機種によって異なる場合があります。
◎各コンテンツは予告なく終了、または内容が変更になる場合があります。

ファイル管理

microSDメモリカードを利用する

microSDメモリカード(microSDHCメモリカード、microSDXCメモリカードを含む)を本製品にセットすることにより、データを保存/移動/コピーすることができます。また、電話帳、メールなどをmicroSDメモリカードに控えておくことができます。

memo

◎ 他の機器で初期化したmicroSDメモリカードは、本製品では正常に使用できない場合があります。本製品で初期化してください。初期化する方法については、「microSDメモリカードを初期化する」(▶P.165)をご参照ください。

◎ 著作権保護されたデータによっては、パソコンなどからmicroSDメモリカードへ移動/コピーは行えても本製品で再生できない場合があります。

◎ microSDXCメモリカードはSDXC対応機器でのみご使用いただけます。万一、SDXC非対応の機器にmicroSDXCメモリカードを差し込んだ場合、フォーマットを促すメッセージが表示されることがありますが、フォーマットはしないでください。
SDXC非対応の機器でmicroSDXCメモリカードをフォーマットした場合、microSDXCカードからデータが失われ、異なるファイルシステムに書き換えられます。また、microSDXCメモリカード本来の容量で使用できなくなることがあります。

■取扱上のご注意

- microSDメモリカードのデータにアクセスしているときに、電源を切ったり衝撃を与えたりしないでください。データが壊れるおそれがあります。
- microSDメモリカードをセットしている状態で、落下させたり振動・衝撃を与えたりしないでください。記録したデータが壊れる(消去される)ことがあります。
- microSDメモリカードスロットには、液体、金属片、燃えやすいものなどmicroSDメモリカード以外のものは挿入しないでください。火災・感電・故障の原因となります。
- 本製品はmicroSD/microSDHC/microSDXCメモリカードに対応しています。対応のmicroSD/microSDHC/microSDXCメモリカードにつきましては、各microSDメモリカード発売元へお問い合わせいただくか、auホームページをご参照ください。

microSDメモリカードを取り付ける/取り外す

microSDメモリカードを取り付ける

1 本体の電源を切り、電池フタと電池パックを取り外す(▶P.35)

2 microSDメモリカードの挿入方向を確認し、カチッと音がするまでまっすぐにゆっくり差し込む

挿入時はカチッと音がしてロックされていることをご確認ください。また、ロックされる前に指を離すとmicroSDメモリカードが飛び出す可能性があります。ご注意ください。

3 電池パックを取り付け、電池フタを装着する

◎microSDメモリカードには、表裏／前後の区別があります。無理に入れようとすると取り外せなくなったり、破損するおそれがあります。

microSDメモリカードを取り外す

microSDメモリカードを取り外す場合は、必ずマウント（読み書き可能状態）を解除してから行ってください。

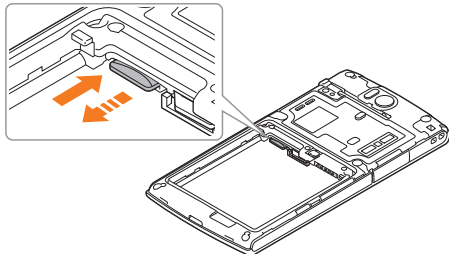
1 アプリ一覧→[設定]→[ストレージ]

2 [SDカードのマウント解除]→[OK]

マウントが解除され、ステータスバーにが表示されます。

3 本体の電源を切り、電池フタと電池パックを取り外す

4 microSDメモリカードをカチッと音がするまで奥へゆっくり押し込む

カチッと音がしたら、microSDメモリカードに指を添えながら手前に戻してください。microSDメモリカードが少し出てきますのでそのまま指を添えておいてください。強く押し込んだ状態で指を離すと、勢いよく飛び出す可能性がありますのでご注意ください。

5 microSDメモリカードをゆっくり引き抜く

まっすぐにゆっくりと引き抜いてください。
microSDメモリカードによっては、ロック解除できず出てこない場合があります。その場合は指で軽く引き出して取り外してください。

6 電池パックを取り付け、電池フタを装着する

◎microSDメモリカードの端子部には触れないでください。
◎microSDメモリカードを無理に引き抜かないでください。故障・データ消失の原因となります。
◎microSDメモリカードにインストールされたアプリケーションは、microSDメモリカードを取り外すと利用できません。
◎長時間お使いになった後、取り外したmicroSDメモリカードが温かくなっている場合がありますが、故障ではありません。
◎データが壊れる（消去される）ことがありますので、microSDメモリカードにデータを保存中はマウント解除操作を行わないでください。

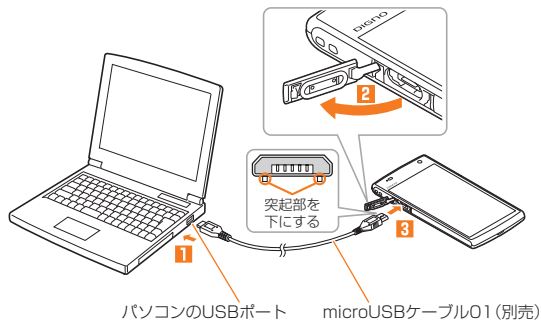
microUSBケーブルでパソコンと接続する

本製品とパソコンをmicroUSBケーブル01（別売）で接続すると、本製品に取り付けたmicroSDメモリカード内のデータを読み書きできます。また、音楽／動画データの転送も可能です。

- USBドライバおよびインストールマニュアルについては、下記のホームページをご確認ください。
  auのホームページ：http://www.au.kddi.com/seihin/ichiran/shuhenkiki/usb_cable_win/usb_driver.html

1 パソコンが完全に起動している状態で、microUSBケーブル01（別売）をパソコンのUSBポートに接続

2 本製品の外部接続端子カバーを開ける

3 本製品が完全に起動している状態で、microUSBケーブル01（別売）のmicroUSBプラグの向きを確認し、外部接続端子にまっすぐに差し込む

■USB接続モードを切り替える

本製品とパソコンを接続すると、USB接続モードの切り替えができます。

1 ステータスバーを下にスライド→[カードリーダーとして接続]／[メディアデバイスとして接続]

2

カードリーダー	▶P.164「メモリカードリーダー／ライターとして使う」
メディア（MTP）	▶P.165「MTPモードで接続する」

■メモリカードリーダー／ライターとして使う

本製品をメモリカードリーダー／ライターとして利用することができます。

1 本製品とパソコンを接続し、USB接続モードを「カードリーダー」にする

2 [ストレージON]→[OK]

本製品に取り付けたmicroSDメモリカードが「マイコンピュータ」の「リムーバブルディスク」として認識され、パソコンを操作することで、メモリカードリーダー／ライターとして利用できるようになります。

3 パソコンを操作してデータを転送

4 転送終了後、パソコンの「ハードウェアの安全な取り外し」の手順に従って、本製品を停止

5 [ストレージOFF]

6 microUSBケーブル01（別売）を本製品から取り外す

microUSBケーブル01（別売）のコネクタ部分を持って、まっすぐに引き抜いてください。

memo

◎パソコンとマウント中は、本製品のアプリケーションからmicroSDメモリカードは使用できません。マウント中にmicroSDメモリカードを使用するアプリケーションを操作するとmicroSDメモリカードが挿入されていない旨のメッセージが表示される場合があります。その場合は、カードリーダーモードを解除してから再度操作してください。
◎パソコンとマウント中は、microSDメモリカードにインストールしたアプリケーションを起動することはできません。
◎本製品にmicroSDメモリカードが挿入されていない場合は、カードリーダーモードで接続できません。
◎Windows XP／Windows Vista／Windows 7以外のOSでの動作は、保証していません。
◎USB HUBを使用すると、正常に動作しない場合があります。
◎パソコンとデータの読み書きをしている間にmicroUSBケーブル01（別売）を取り外すと、データを破損するおそれがあります。取り外さないでください。
◎通信中に電池パックを取り外さないでください。
◎microSDXCを使用し、Windows XPのパソコンとマスストレージ接続したときは、パソコンの状態により使用できない場合があります。

■MTPモードで接続する

パソコンのWindows Media® Playerと音楽や動画などのデータを同期させたり、パソコンと本製品に取り付けたmicroSDメモリカードとの間で、ドラッグ＆ドロップでデータをコピー／移動できます。

1 **本製品とパソコンを接続し、USB接続モードを「メディア（MTP）」にする**

2 **パソコンでWindows Media® Playerを起動する**

3 **Windows Media® Playerを操作してデータを同期する**

詳しい操作方法については、Windows Media® Playerのヘルプをご参照ください。
ドラッグ＆ドロップでデータをコピー／移動するには、パソコンで本製品のフォルダを開き、「USBストレージ」フォルダ（microSDメモリカード）を開いてから操作します。

4 **転送終了後、microUSBケーブル01（別売）を本製品から取り外す**

microUSBケーブル01（別売）のコネクタ部分を持って、まっすぐに引き抜いてください。

メモリの使用量を確認する

本体内メモリやmicroSDメモリカードの合計容量や空き容量を確認できます。

1 **アプリ一覧→［設定］→［ストレージ］**

2

本体メモリ	合計容量	本体の合計容量／空き容量が確認できます。
	空き容量	
SDカード	合計容量	microSDメモリカードの合計容量／空き容量が確認できます。※
	空き容量	

※メモリの一部をmicroSDメモリカード仕様に基づく管理領域として使用するため、実際にご使用いただけるメモリ容量は、microSDメモリカードに表記されている容量より少なくなります。

microSDメモリカードを初期化する

microSDメモリカードを初期化すると、microSDメモリカードに保存されているデータ（アプリケーションを含む）はすべて削除されます。

1 **アプリ一覧→［設定］→［ストレージ］**

2 **［SDカード内データを消去］→［SDカード内データを消去］→［すべて消去］**

memo

◎初期化は、充電しながら行うか、電池パックが十分に充電された状態で行ってください。

DiXiM Playerを利用する

無線LAN(Wi-Fi®)機能を利用して、microSDメモリカードに保存されている画像をDLNA(Digital Living Network Alliance)対応のテレビで見たり、ブルーレイディスクレコーダーで録画したデータを本製品で再生したりできます。また、ブルーレイディスクレコーダーで受信したテレビ放送や、DLNA対応のパソコンやネットワーク接続HDD(NAS)のデータを本製品で視聴できます。

- あらかじめDLNA対応機器で設定が必要になります。詳しくは、DLNA対応機器の取扱説明書をご参照ください。

DLNAを設定する

1 アプリ一覧→[DiXiM Player]→[⚙]→[DiXiM Serverの設定]

注意事項画面が表示されます。確認後、「はい」をタップしてください。「次回以降表示しない」を選択すると、次回以降は表示されません。

2

DiXiM Server	DLNAサーバーが起動します。
サーバー名	DLNA対応機器に表示される名前を設定します。
アクセス権の設定	「アクセス権の初期設定」を選択すると、DLNA対応機器から本製品へのアクセスを許可します。解除すると、「接続機器の一覧」で選択したDLNA対応機器のみアクセスが許可されます。
公開フォルダ設定	DLNA対応機器に公開するフォルダを設定します。
Wi-Fi設定	▶P.174「Wi-Fi®機能をオンにする」
起動時のメッセージ	起動時の注意事項画面の表示を設定します。

ファイルを共有する

本製品のデータをDLNA対応機器で操作する場合は、あらかじめ本製品のDiXiM Serverを起動し、DLNA対応機器からのアクセスを許可しておきます。DLNA対応機器のデータを本製品で操作する場合は、DLNA対応機器も本製品からのアクセスを許可しておきます。

本製品のデータをDLNA対応機器で再生/表示する

1 DLNA対応機器から本製品のデータを操作する

本製品でデータを再生する

本製品のデータをDLNA対応機器に配信したり、DLNA対応機器のデータを本製品で再生できます。

1 アプリ一覧→[DiXiM Player]

■本製品のデータを本製品で再生操作して配信する場合

2 サーバーの一覧で本製品のサーバー名を選択→データの種類を選択→フォルダを選択

3 配信するデータをロングタッチ→[ ]→再生するDLNA対応機器を選択

■DLNA対応機器のデータを本製品で再生する場合

2 サーバーの一覧でDLNA対応機器のサーバー名を選択→データの種類を選択→フォルダを選択

3 再生するデータをロングタッチ→[▶]

ファイル管理

◎ DiXiM Player画面で、[⚙]→[リモート再生機器の選択方法]→「あらかじめ決めておく」を選択→[既定のリモート再生機器]と操作すると、あらかじめ再生するDLNA対応機器を選択することができます。
◎ データの選択画面で、データをロングタッチ→[⬇]と操作するとデータをダウンロードできます。

デジタル録画番組を再生する

データのアップロードに対応したブルーレイディスクレコーダーなどのDLNA対応機器で録画したデジタル番組を、本製品に保存して再生することができます。
あらかじめDLNA対応機器の本製品からのアクセスを許可しておきます。

1 アプリ一覧→[DiXiM Player]

2 DLNA対応機器からアップロードする

アップロードされたデータが本製品に保存されます。

3 [ ]→データを選択

4 プレイヤー画面で再生

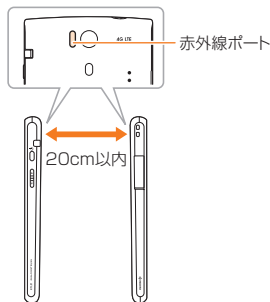
ファイル管理

データ通信

赤外線通信

本製品と赤外線通信機能を持つほかの機器との間で、電話帳、プロフィール、各種データを送受信できます。

赤外線の利用について

赤外線の通信距離は20cm以内でご利用ください。
また、データの送受信が終わるまで、本製品の赤外線ポート部分を、相手側の赤外線ポート部分に向けたままにして動かさないでください。
赤外線通信を行うには、送る側と受ける側がそれぞれ準備する必要があります。受ける側が受信状態になっていることを確認してから送信してください。

◎ NFC R/W P2P設定がオンの場合は赤外線通信が行えませんので、設定をオフにしてからやり直してください。
◎ 本製品の赤外線通信は、IrMCバージョン1.1に準拠しています。ただし、相手側の機器がIrMCバージョン1.1に準拠していても、機能によって正しく送受信できないデータがあります。
◎ 直射日光があたる場所や蛍光灯の真下、赤外線装置の近くでは、正常に通信できない場合があります。
◎ 赤外線ポートが汚れていると、正常に通信できない場合があります。柔らかな布で赤外線ポートを拭いてください。
◎ 送受信時に認証コードの入力が必要になる場合があります。認証コードは、送受信を行う前にあらかじめ通信相手と取り決めた4桁の数字です。送る側と受ける側で同じ番号を入力します。
◎ 赤外線通信中に音声着信、アラームなど、他のアプリケーションが起動した場合、赤外線通信は終了します。
◎ 著作権保護されたデータなど、データによっては送信しても他の機器では再生できない場合があります。
◎ 相手側の機器やデータの種類、容量によっては再生や登録ができない場合があります。

赤外線でデータを受信する

1 アプリ一覧→[赤外線]→[赤外線受信]

認証コードの入力画面が表示された場合は、認証コード(4桁)を入力→[OK]と操作してください。

2 受信完了→[OK]

■ 電話帳やプロフィールのvCardファイルを受信した場合

2 受信完了→[OK]→[OK]→登録先を選択

「登録先」メニューが表示された場合は、登録するアカウントを選択してください。常に同じアカウントに連絡先を登録する場合は、「常にこの操作で使用する」を選択してから、アカウントを選択します。

memo

◎データの種類、容量によっては保存できない場合があります。

赤外線でデータを送信する

1 アプリ一覧→[赤外線]→[赤外線送信]

2

電話帳	電話帳の宛先一覧が表示されます。連絡先をvCardファイルにして送信します。
プロフィール	プロフィールをvCardファイルにして送信します。
ファイル	ファイル管理で各種ファイルを選択して送信します。

■ 電話帳/ファイルを選択した場合

3 送信するデータを選択→[✓]

各機能のメニューから赤外線送信する

電話帳やプロフィール(vCardファイル)、各種データを1件送信することができます。

例:連絡先を送信する場合

1 送信する連絡先の詳細表示画面→[⋮]→[共有]

2 [赤外線]

Bluetooth®機能

Bluetooth®機能は、パソコンやハンズフリー機器などのBluetooth®機器とワイヤレス接続できる技術です。Bluetooth®機器と通信するには、Bluetooth®機能をオンにする必要があります。また、必要に応じて本製品とBluetooth®機器のペアリング(登録)を行ってください。

memo

◎本製品はすべてのBluetooth®機器との接続動作を確認したものではありません。したがって、すべてのBluetooth®機器との接続は保証できません。

◎無線通信時のセキュリティとして、Bluetooth®標準仕様に準拠したセキュリティ機能に対応していますが、使用環境および設定内容によってはセキュリティが十分でない場合が考えられます。Bluetooth®通信を行う際はご注意ください。

◎Bluetooth®通信時に発生したデータおよび情報の漏洩につきましては、当社は一切の責任を負いかねますので、あらかじめご了承ください。

■Bluetooth®機能使用時の注意

良好な接続を行うために、以下の点にご注意ください。

1. 本製品とほかのBluetooth®機器とは、見通し距離10m以内で接続してください。周囲の環境(壁、家具など)や建物の構造によっては、接続可能距離が極端に短くなることがあります。
2. ほかの機器(電気製品、AV機器、OA機器など)から2m以上離れて接続してください。特に電子レンジ使用時は影響を受けやすいため、必ず3m以上離れてください。近づいていると、ほかの機器の電源が入っているときに正常に接続できないことがあります。また、テレビやラジオに雑音が入ったり映像が乱れたりすることがあります。

■無線LAN（Wi-Fi®）対応機器との電波干渉について

本製品のBluetooth®機能と無線LAN（Wi-Fi®）対応機器は同一周波数帯（2.4GHz）を使用するため、無線LAN（Wi-Fi®）対応機器の近辺で使用すると、電波干渉が発生し、通信速度の低下、雑音や接続不能の原因になることがあります。
この場合、以下の対策を行ってください。

1. Bluetooth®機器と無線LAN（Wi-Fi®）対応機器は、10m以上離してください。
2. 10m以内で使用する場合は、Bluetooth®機器または無線LAN（Wi-Fi®）対応機器の電源を切ってください。

Bluetooth®機能をオンにする

本製品でBluetooth®機能を利用する場合は、あらかじめ次の操作でBluetooth®機能をオンに設定します。
他のBluetooth®機器からの接続要求、機器検索への応答、オーディオ出力、ハンズフリー通話、データ送受信などが利用可能になります。

1 アプリ一覧→[設定]→[Bluetooth]

2 「Bluetooth」を「ON」にする

Bluetooth®機能がオンになり、ステータスバーに（接続待機中のアイコン）が表示されます。

◎ Bluetooth®機能のオン／オフ設定は、電源を切っても変更されません。
◎ Bluetooth®機能は本製品の電源を切った状態では利用できません。
◎ Bluetooth®機能をオンにすると、電池の消耗が早くなります。使用しない場合は電池の消耗を抑えるためにBluetooth®機能をオフにしてください。また飛行機の中や病院など、無線機器の使用が禁止されている場所では、Bluetooth®機能をオフにしてください。

Bluetooth®機器を登録する

本製品と他のBluetooth®機器を接続するには、あらかじめペアリング（登録）を行います。

- 機器によって、ペアリングのみ行う場合と、続けて接続まで行う場合があります。

1 アプリ一覧→[設定]→[Bluetooth]

2 [デバイスの検索]

検出されたBluetooth®デバイス名が一覧表示されます。

3 ペアリングを行うBluetooth®デバイス名を選択

4 画面の指示に従って操作

パスキー入力画面が表示されたときは、本製品とBluetooth®機器で同じパスキー（4～16桁の数字）を入力します。

memo

◎ Bluetooth®機器との接続中には、他のBluetooth®機器を登録できない場合があります。
◎ ペアリングを行うデバイス側で、Bluetooth®機能が有効になっていることとBluetooth®検出機能がオンになっていることを確認してください。
◎ 接続するBluetooth®デバイス名が表示されていないときは、「デバイスの検索」をタップして、機器を再検索します。

■パスキーについて

パスキーは、Bluetooth®機器同士が初めて通信するときに、お互いに接続を許可するために、本製品およびBluetooth®機器で入力する暗証番号です。本製品では、4～16桁の数字を入力できます。

memo

◎パスキー入力は、セキュリティ確保のために約30秒の制限時間が設けられています。
◎接続する機器によっては、毎回パスキーの入力が必要な場合があります。

他のBluetooth®機器から検出可能にする

1 アプリ一覧→[設定]→[Bluetooth]

2 本製品のデバイス名をタップ

本製品が、他のBluetooth®機器から一定時間検出可能になります。

- 検出可能な時間は、Bluetooth設定画面→[ ]→[表示のタイムアウト]と操作すると変更できます。

■他のBluetooth®機器からペアリング要求を受けた場合

ペアリングを要求された場合は、必要に応じて「ペア設定する」をタップまたはパスキーを入力し、Bluetooth®機器を認証します。

Bluetooth®機器の接続を解除する

1 Bluetooth設定画面→接続中のBluetooth®デバイスの「 」をタップ

2 [ペアを解除]

Bluetooth®機能でデータを送受信する

あらかじめ本製品のBluetooth®機能をオンにしてください。

Bluetooth®機能でデータを送信する

連絡先、静止画、動画、音楽などのファイルを、他のBluetooth®機器に送信できます。

- 送信は各アプリケーションの「共有」のメニューから行ってください。

Bluetooth®機能でデータを受信する

1 他のBluetooth®機器からデータ送信

ステータスバーに「Bluetooth共有:ファイル着信」と表示されます。

2 ステータスバーを下にスライド

3 [Bluetooth共有:ファイル着信]

4 [承諾]

ステータスバーに が表示され、データの受信が開始されます。
お知らせで受信状態を確認できます。

無線LAN（Wi-Fi®）機能

家庭内で構築した無線LAN（Wi-Fi®）環境や、外出先の公衆無線LAN（Wi-Fi®）環境を利用して、インターネットサービスに接続できます。

memo

◎ご自宅などでご利用になる場合は、インターネット回線と無線LAN親機（Wi-Fi®ネットワーク）をご用意ください。
◎外出先でご利用になる場合は、あらかじめ外出先のWi-Fi®ネットワーク状況を、公衆無線LANサービス提供者のホームページなどでご確認ください。公衆無線LANサービスをご利用になるときは、別途サービス提供者との契約などが必要な場合があります。
◎すべての公衆無線LANサービスとの接続を保証するものではありません。
◎無線LAN（Wi-Fi®）機能は、電波を利用して情報のやりとりを行うため、電波の届く範囲であれば自由にLAN接続できる利点があります。その反面、セキュリティの設定を行っていないときは、悪意ある第三者により不正に進入されるなどの行為をされてしまう可能性があります。お客様の判断と責任において、セキュリティの設定を行い、使用することを推奨します。

Wi-Fi®機能をオンにする

Wi-Fi®機能を使用するには、Wi-Fi®機能をオンにしてから利用可能なWi-Fi®ネットワークを検索して接続します。

1 アプリ一覧→［設定］→［Wi-Fi］

2 「Wi-Fi」を「ON」にする

Wi-Fi®機能が起動し、利用可能なWi-Fi®ネットワークがスキャンされます。
Wi-Fi®機能がオンになるまで、時間がかかる場合があります。

memo

◎Wi-Fi®機能がオンのときでもパケット通信を利用できます。ただしWi-Fi®ネットワーク接続中は、Wi-Fi®機能が優先されます。
◎Wi-Fi®ネットワークが切断されると、自動的にパケット通信に切り替わります。
◎Wi-Fi®機能を使用するときには十分な電波強度が得られるようご注意ください。Wi-Fi®ネットワークの電波強度は、本製品をお使いの位置によって異なります。Wi-Fi®ルーターの近くに移動すれば、電波強度が改善されることがあります。

Wi-Fi®ネットワークに接続する

1 アプリ一覧→[設定]→[Wi-Fi]→「Wi-Fi」を「ON」にする

Wi-Fi設定画面が表示され、利用可能なWi-Fi®ネットワークが一覧表示されます。

2 接続するWi-Fi®ネットワークを選択→[接続]

- セキュリティで保護されたWi-Fi®ネットワークに接続する場合は、パスワード(セキュリティキー)※を入力し、「接続」をタップします。

※パスワード(セキュリティキー)は、アクセスポイントで設定されています。詳しくは、ネットワーク管理者にお問い合わせください。

- 接続が完了すると、ステータスバーにが表示されます。

memo

◎Wi-Fi設定画面で接続中のWi-Fi®ネットワークをタップすると、ネットワーク情報の詳細が表示されます。

◎お使いの環境によっては通信速度が低下したり、ご利用になれない場合があります。

Wi-Fi®ネットワークを簡単に設定する

AOSS™、WPSまたはau Wi-Fi接続ツールに対応した無線LAN(Wi-Fi®)のアクセスポイントを利用して接続する場合は、簡単な操作で接続できます。

- あらかじめ無線LAN(Wi-Fi®)機能をオンにしてください。

1 Wi-Fi設定画面→[簡単設定]

■AOSS™方式の場合

2 [AOSS設定]→[ ]

- 使用許諾が表示された場合は、内容をご確認の上、「同意する」を選択してください。

3 アクセスポイント側でAOSS™ボタンを押す

■WPS方式の場合

2 [WPSボタン]

3 アクセスポイント側で専用ボタンを押す

■au Wi-Fi接続ツールの場合

2 [かんたん接続(宅内)]

3 アクセスポイント側で専用ボタンを押す

Wi-Fi®ネットワークを手動で追加する

1 Wi-Fi設定画面→[ネットワークを追加]

2 追加するWi-Fi®ネットワークのネットワークSSIDを入力

3 セキュリティ設定を選択

必要に応じて、追加するWi-Fi®ネットワークのセキュリティ情報を入力します。

4 [保存]

memo

◎手動でWi-Fi®ネットワークを追加する場合は、あらかじめネットワークSSIDや認証方式などをご確認ください。

データ通信

オープンネットワーク通知を設定する

オープンネットワーク(パスワードなどが設定されていないWi-Fi®ネットワーク)が検出されたら通知するように設定します。

1 Wi-Fi設定画面→[⋮]→[高度な設定]→「ネットワークの通知」を選択

オープンネットワーク通知が設定されます。

Wi-Fi®機能を切断する

1 Wi-Fi設定画面→接続中のWi-Fi®ネットワークを選択

2 [切断]

memo

◎ Wi-Fi設定画面で接続中のWi-Fi®ネットワークをロングタッチ→[ネットワークから切断]と操作しても、接続を切断できます。
◎ 切断すると、再接続のときにパスワード(セキュリティキー)の入力が必要になる場合があります。

Wi-Fi®機能のスリープ設定をする

Wi-Fi®機能のスリープ設定を変更することで、画面のバックライトが消灯したときに本体のWi-Fi®機能がオフになるように設定できます。また、Wi-Fi®機能を常にオンにするか、あるいは充電時には常にオンにするように設定することも可能です。

1 Wi-Fi設定画面→[⋮]→[高度な設定]→[Wi-Fiのスリープ設定]

2 スリープ設定を選択

電波が弱いときにWi-Fi®機能をオフにする

電波強度が一定未満のアクセスポイントを一覧に表示しないように設定します。

1 Wi-Fi設定画面→[⋮]→[高度な設定]→「接続不良のとき無効にする」を選択

Wi-Fi®機能の周波数帯域を設定する

本製品で使用するWi-Fi®機能の周波数帯域※を設定します。

※ 詳しくは「5GHz帯ご使用上の注意」(▶P.29)をご参照ください。

1 Wi-Fi設定画面→[⋮]→[高度な設定]→[Wi-Fi周波数帯域]

2 使用する周波数帯域を選択

アクセスポイントをスキャンする間隔を設定する

アクセスポイントが検出できない場合の再スキャン間隔の最大値を設定します。

1 Wi-Fi設定画面→[⋮]→[高度な設定]→[自動スキャン間隔の設定]

2 自動スキャン間隔を選択

Auto IP機能を設定する

DHCP機能によるIPアドレス取得に失敗したときに、自律的にIPアドレスを取得するように設定します。

1 Wi-Fi設定画面→[⋮]→[高度な設定]→「AutoIP機能を有効にする」を選択→[OK]

静的IPを使用して接続する

静的IPアドレスを使用してWi-Fi®ネットワークに接続するように設定できます。

1 Wi-Fi設定画面→接続するWi-Fi®ネットワークをタップ

2 「詳細オプションを表示」を選択

3 「IP設定」欄をタップ→[静的]

静的IPアドレスを使用するには、「IPアドレス」「ゲートウェイ」「ネットワークプレフィクス長」「DNS 1」「DNS 2」の入力が必要です。

4 [接続]

Wi-Fi Directを設定する

Wi-Fi Direct対応デバイス同士を接続するように設定できます。

1 アプリ一覧→[設定]→[その他...]

2 [Wi-Fi Direct設定]

- Wi-Fi®設定がオンになっている場合はWi-Fi®設定をオフにします。
- 接続要求を出す場合は、「Wi-Fi Direct設定」画面のデバイスの一覧から接続先を選択し、画面の指示に従って操作します。

3 [接続]

テザリング

テザリングとは、本製品をポータブルアクセスポイントとしてインターネットに接続することができる機能です。無線LAN機器を最大10台まで接続したり、microUSBケーブル01(別売)でパソコンと本製品を接続して、インターネットに接続することもできます。

1 アプリ一覧→[設定]→[その他...]→[テザリング]

2

USBテザリング※	USB経由でテザリングします。 あらかじめ「microUSBケーブルでパソコンと接続する」(▶P.163)を参照してmicroUSBケーブル01(別売)を接続してください。
Wi-Fiテザリング	本製品をポータブルアクセスポイントとしてインターネットに接続します。
Wi-Fiテザリング設定	ポータブルアクセスポイントのセットアップと管理をします。必要な情報を入力します。
ヘルプ	ヘルプを表示します。

※USBテザリング機能を使用する場合は、あらかじめパソコンにUSBドライバのインストールが必要です。USBドライバおよびインストールマニュアルについては、下記のホームページをご確認ください。
auのホームページ:http://www.au.kddi.com/seihin/ichiran/shuhenkiki/usb_cable_win/usb_driver.html

memo

◎テザリング機能のご利用には別途ご契約が必要です。
◎USBテザリング機能をオフにする場合は、microUSBケーブル01(別売)を抜いてください。
◎「Wi-Fiテザリング設定」で「セキュリティ」を「Open」にすると、意図しない機器からの接続のおそれがありますので、ご注意ください。

機能設定

機能設定

設定メニューから各種機能を設定、管理します。壁紙や着信音のカスタマイズや、セキュリティの設定、データの初期化などをすることができます。

設定メニューを表示する

1 アプリ一覧→[設定]

設定メニュー画面が表示されます。

■設定メニュー項目一覧

項目	設定内容	参照先
Wi-Fi	無線LAN(Wi-Fi®)機能を設定します。	P.174
Bluetooth	Bluetooth®機能を設定します。	P.171
データ使用	データ通信量の表示やデータ通信の使用上限を設定します。	P.181
その他...	機内モードやVPN、MHL、テザリングなどの通信に関する設定を行います。	P.181
音	マナーモードやバイブレータ(振動)、着信音、通知音、操作音など、音に関する設定を行います。	P.183
ディスプレイ	フォントや壁紙、明るさ、画面の向きなど、画面表示に関する設定を行います。	P.185
ストレージ	本製品本体内やmicroSDメモリカードのメモリ容量の確認、microSDメモリカードの初期化を行います。	P.185
電池	電池残量や使用量を表示します。	P.185
アプリ	ダウンロードしたアプリケーションを確認したり、実行中のアプリケーションに関する設定を行います。	P.141
アカウントと同期	オンラインサービスのアカウント管理や、データ同期に関する基本設定を行います。	P.185
位置情報サービス	無線LAN(Wi-Fi®)機能やGPS機能などを使った位置情報に関する設定を行います。	P.186
セキュリティ	画面ロックの設定などセキュリティに関する設定を行います。	P.186
言語と入力	表示言語の設定、文字入力関連の設定を行います。	P.188
データの初期化	本製品本体の初期化を行います。	P.188
日付と時刻	日付と時刻の表示形式などの設定を行います。	P.189
ユーザー補助	通話終了時の動作や、ユーザー補助サービスの設定を行います。	P.189
開発者向けオプション	USBデバッグや疑似ロケーションなど、開発者向けの設定を行います。	P.190
端末情報	電話番号や電池残量などの情報を確認できます。ソフトウェア更新もここから行います。	P.190

memo

◎アプリ一覧→[⋮]→[端末設定]と操作しても、設定メニュー画面を表示できます。

無線とネットワークの設定をする

Wi-Fi®やBluetooth®接続、ホームネットワークの設定など、通信に関する設定を行います。

1 設定メニュー画面

2

Wi-Fi	▶P.174「無線LAN(Wi-Fi®)機能」	
Bluetooth	▶P.171「Bluetooth®機能」	
データ使用	データ通信を使用するかどうかを設定します。 • オンにすると、モバイルデータの制限を設定することもできます。 • オフにすると、Eメールの送受信などができなくなります。 • [⋮]→「データローミング」/「データを制限する」を選択→[OK]と操作して、データ通信の詳細な設定を行うことができます。 • [⋮]→「Wi-Fi使用を表示」を選択、と操作すると、Wi-Fi使用のタブが表示され、データ使用量を確認できます。	
その他...	機内モード	▶P.181「機内モードを設定する」
	VPN	▶P.182「VPNを設定する」
	MHL	▶P.182「MHLを設定する」
	NFC/おサイフケータイ設定	▶P.136「NFC/おサイフケータイ®(FeliCa)を設定する」
	Wi-Fi Direct	Wi-Fi Direct対応デバイス同士をピア・ツー・ピア(P2P)型により相互接続することが可能となります。
	Wi-Fi Direct設定	▶P.177「Wi-Fi Directを設定する」
	テザリング	▶P.177「テザリング」
	モバイルネットワーク	▶P.183「モバイルネットワークを設定する」

機内モードを設定する

機内モードを設定すると、ワイヤレス機能(電話、パケット通信、無線LAN(Wi-Fi®)機能、Bluetooth®機能)がすべてオフになります。

1 設定メニュー画面→[その他...]

2 「機内モード」を選択

機内モードがオンの場合でも無線LAN(Wi-Fi®)/Bluetooth®機能をオンにすることができます。航空機内や病院など電波の使用を禁止された区域では無線LAN(Wi-Fi®)/Bluetooth®機能を使用しないようご注意ください。

memo

◎ 携帯電話の使用が禁止されている場所(航空機内、医療機器や電子機器のそばなど)では、電源を切ってください。

◎ 機内モードを有効に設定すると、電話をかけることができません。ただし、110番(警察)、119番(消防機関)、118番(海上保安本部)、157番(お客さまセンター)には、電話をかけることができます。なお、電話をかけた後は、自動的に無効に設定されます。

◎ 機内モードを有効に設定すると、電話を受けることはできません。また、メールの送受信、無線LAN(Wi-Fi®)機能、Bluetooth®機能による通信なども無効にします。

◎ [⏻](1秒以上長押し)→[機内モード]と操作してもオン/オフを切り替えることができます。

VPNを設定する

仮想プライベートネットワーク(VPN:Virtual Private Network)は、保護されたローカルネットワーク内の情報に、別のネットワークから接続する技術です。VPNは一般に、企業や学校、その他の施設に備えられており、ユーザーは構内にいなくてもローカルネットワーク内の情報にアクセスできます。
本製品からVPNアクセスを設定するには、ネットワーク管理者からセキュリティに関する情報を得る必要があります。

- 本製品は以下の種類のVPNに対応しています。
  - PPTP
  - L2TP/IPSec PSK
  - L2TP/IPSec RSA
  - IPSec Xauth PSK
  - IPSec Xauth RSA
  - IPSec Hybrid RSA

VPNを追加する

1 設定メニュー画面→[その他...]→[VPN]

- 初回起動時など、セキュリティの設定が必要な場合は画面の指示に従って設定してください。項目の内容については、「画面ロックを設定する」(▶P.187)をご参照ください。

2 [VPNネットワークの追加]

3 VPN設定の各項目を設定→[保存]

VPN設定画面のリストに、新しいVPNが追加されます。

◎追加したVPNは編集したり、削除したりできます。編集するには、変更するVPNをロングタッチ→[ネットワークの編集]→必要に応じてVPNの設定を変更→[保存]と操作します。
削除するには、削除するVPNをロングタッチ→[ネットワークを削除]と操作します。

VPNに接続する

1 設定メニュー画面→[その他...]→[VPN]

VPN設定画面に、追加したVPNがリスト表示されます。

2 接続するVPNをタップ

3 必要な認証情報を入力→[接続]

VPNに接続すると、接続中を示す通知がステータスバーに表示されます。

VPNを切断する

1 ステータスバーを下にスライド→VPN接続中を示す通知をタップ

VPN接続済みポップアップで、「切断」をタップすると切断されます。

MHLを設定する

HDMI端子付きテレビと接続するための設定を行います。

1 設定メニュー画面→[その他...]→[MHL]

2

解像度設定	テレビの解像度を設定します。
TV出力サイズ	テレビへの出力サイズを設定します。
TVリモコンの操作方法	テレビリモコンを操作する方法を表示します。

モバイルネットワークを設定する

データ通信やローミングなどのネットワークを利用できるように設定します。

■LTEネットワークに接続する

1 設定メニュー画面→[その他...]→[モバイルネットワーク]→「LTE」を選択

■データ通信を設定する

1 設定メニュー画面→[その他...]→[モバイルネットワーク]→「データ通信」を選択

memo

◎「LTE」を解除するとLTE通信でのパケット通信ができなくなります。
◎「データ通信」を解除するとデータ通信が無効になり、CDMA1XWIN(国内でのEVDOマルチキャリアサービスを含む)/LTE通信でのパケット通信ができなくなります。
◎ローミング設定については、「海外利用に関する設定を行う」(▶P.207)をご参照ください。

■ローミング時のデータ通信を設定する

1 設定メニュー画面→[その他...]→[モバイルネットワーク]→「データローミング」を選択→[OK]

音の設定をする

マナーモードの設定や着信音など、音やバイブレータ、着信ランプに関する設定を行います。

1 設定メニュー画面→[音]

2

音量	▶P.184「各種音量を調節する」
バイブパターン	▶P.184「バイブレータのパターンを設定する」
マナーモード	▶P.184「マナーモードを設定する」
着信音	着信音に設定するデータを選択して登録します。
着信LED	着信時の着信ランプの点滅色を設定します。
デフォルトの通知音	通知音に設定するデータを選択して登録します。
バイブと着信音	▶P.184「バイブレータを設定する」
お知らせLED	新着通知受信時に通知を確認するまで着信ランプを点滅させるかどうかを設定します。
ダイヤルパッド操作音	ダイヤルパッドのタッチ操作音を有効にするかどうかを設定します。
タッチ操作音	タッチ操作音を有効にするかどうかを設定します。
画面ロックの音	画面のロック/ロック解除時に音を鳴らすかどうかを設定します。
タッチ操作バイブ	タッチ操作時にバイブレータが動作するかどうかを設定します。

各種音量を調節する

1 設定メニュー画面→[音]→[音量]

次の項目の音量を調節します。
- 音楽、動画、ゲーム、その他のメディア
- 着信音と通知音　・アラーム

2 スライダを左右にドラッグして、音量を調節

音量を上げる／下げるにはスライダを右／左にドラッグします。

3 [OK]

memo

◎マナーモード設定時に、「着信音と通知音」を調節するとマナーモードは解除されます。

バイブレータのパターンを設定する

1 設定メニュー画面→[音]→[バイブパターン]

次の項目のバイブレータのパターンを調節します。
- マナーモード　・着信時

2 [パターン1]／[パターン2]／[パターン3]

3 [OK]

マナーモードを設定する

マナーモードを設定することで、公共の場所で周囲の迷惑とならないように設定できます。

1 設定メニュー画面→[音]→[マナーモード]

2 [OFF]／[バイブレーション]／[ミュート]

memo

◎ (1秒以上長押し)→[ ]／[ ]／[ ]と操作しても、ミュート／バイブレーション／OFFを切り替えられます。
◎ を押すと、着信音量が1段階下がります。着信音量を下げることで、バイブレーション／ミュートにすることもできます。
◎マナーモード中でもカメラのシャッター音や録画開始／終了音は鳴動します。
◎マナーモード設定中に機能設定の内容を再生して確認したときは、消音の状態でデータが再生されます。機能によっては、再生中に を押すと音量を調節できます。

バイブレータを設定する

1 設定メニュー画面→[音]

2 「バイブと着信音」を選択

memo

◎解除すると、バイブレータは鳴動しません。

画面の設定をする

画面の明るさの設定や文字フォントの切り替えなど、表示に関する設定を行います。

1 **設定メニュー画面→[ディスプレイ]**

2

画面の明るさ	画面の明るさを設定します。 •「明るさを自動調整」を選択すると、周囲の明るさに合わせて画面の明るさが自動的に調整されます。
壁紙	ホームスクリーンの壁紙を設定します。
画面の自動回転	本製品の向きに合わせて、自動的に縦表示/横表示を切り替えるかどうかを設定します。
スリープ	スリープモードへ移行するまでの時間を設定します。
フォント切替	画面に表示される文字フォントを設定します。 • 起動中のアプリケーションが終了する場合があります。
フォントサイズ	画面に表示されるフォントサイズを設定します。

ストレージに関する設定をする

1 **設定メニュー画面→[ストレージ]**

2

本体メモリ	本体メモリの使用量を確認します。
合計容量	本体メモリの容量を確認します。
SDカード	microSDメモリカードの使用量を確認します。
合計容量	microSDメモリカードの容量を確認します。
SDカードをマウント	microSDメモリカードを認識します。
SDカードのマウント解除	microSDメモリカードの認識を解除して、microSDメモリカードを安全に取り外します。
SDカード内データを消去	▶P.165「microSDメモリカードを初期化する」

※表示される項目は、画面によって異なります。

電池使用量を表示する

1 **設定メニュー画面→[電池]**

電池残量や電池使用時間などが表示されます。

アカウントと同期の設定をする

本製品とGoogleオンラインサービスの連絡先、カレンダー、Gmailなどの自動同期を設定します。

• 同期するには、本製品でGoogleアカウントなどのオンラインサービスのアカウントを設定する必要があります。手動で同期するか、または自動同期するように設定できます。

1 **設定メニュー画面→[アカウントと同期]**

2

OFF/ON	本製品とGoogleオンラインサービスの連絡先、カレンダー、Gmailなどの自動同期を設定します。

アカウントを追加/削除する

■アカウントを追加する

1 **設定メニュー画面→[アカウントと同期]→[アカウントを追加]**

2 **追加するアカウントを選択**

3 画面の指示に従って操作

■アカウントを削除する

1 設定メニュー画面→[アカウントと同期]→削除するアカウントを選択→[⋮]

2 [アカウントを削除]→[アカウントを削除]

memo

◎他のアプリケーションで使用されているアカウントは削除できません。削除するには、「データの初期化」（▶P.188）が必要です。

位置情報の設定をする

1 設定メニュー画面→[位置情報サービス]

2

Googleの位置情報	Wi-Fi®またはモバイルネットワークを利用して位置情報を取得するかどうかを設定します。
GPS機能	高精度な位置情報を取得するかどうかを設定します。
位置情報とGoogle検索	Googleが現在地情報を使用することを許可するかどうかを設定します。

memo

GPS機能の使用について

◎電池の消費を節約する場合は、無効に設定してください。

◎周囲に建物などがなく、天空が見える場所では精度が高くなります。周囲の環境により、正しい位置情報が取得できない場合は、天空が見える場所へ移動してください。

セキュリティの設定をする

1 設定メニュー画面→[セキュリティ]

2

画面のロック	▶P.187「画面ロックを設定する」
顔認識の精度を改善	いろいろな状態の顔を登録することで、顔認識の精度を改善することができます。
パターンを表示する	ロックを解除するときに指の軌跡を線で表示するかどうかを設定します。
自動ロック	スリープモード移行後、「画面のロック」で設定した解除方法が必要になるまでの時間を設定します。
電源ボタンでロック	「自動ロック」の設定にかかわらず、⏻を押してスリープモードに移行した場合に、すぐにロック画面を表示するかどうかを設定します。
タッチ操作バイブ	タッチ操作をしたときにバイブレータが動作するかどうかを設定します。
所有者情報	ロック画面に所有者の情報を表示します。
UIMカードロック設定	▶P.187「UIMカードロックを設定する」
パスワードを表示	パスワード入力時に文字を表示するかどうかを設定します。
端末管理者	端末管理者の情報を表示します。
提供元不明のアプリ	▶P.141「提供元不明のアプリケーションのダウンロード」
信頼できる認証情報	信頼できるCA証明書を表示します。
SDカードからインストール	暗号化された証明書をmicroSDメモリカードからインストールします。 ・認証情報ストレージパスワードを設定していない場合は、設定画面が表示されます。認証情報ストレージパスワードを設定してください。

認証ストレージの消去	認証情報ストレージのすべてのコンテンツをクリアして、パスワードをリセットします。

※表示される項目は、画面によって異なります。

画面ロックを設定する

スリープモードになったときに、ロックがかかるように設定します。

1 設定メニュー画面→[セキュリティ]→[画面のロック]

2

なし	画面ロックを無効にします。
タッチ	アイコンをタップして、画面ロックを解除します。
フェイスアンロック	顔認証で画面ロックを解除します。
パターン	ロック解除パターンを入力して解除します。
PIN	PINを入力して解除します。
パスワード	4～16桁の英数字／記号を入力して解除します。

■画面ロックをかける

画面ロックの解除方法を「なし」以外に設定している場合、(電源)を押す、または自動的に画面のバックライトが消灯すると、画面ロックがかかります。

■画面ロックを解除する

1 ロック画面で現在のロック解除方法を実行する

ロック解除を5回続けて失敗した場合は、画面に従って再試行してください。

memo

◎画面ロック中、ロックを解除していない状態でも「緊急通報」をタップして、110番(警察)、119番(消防機関)、118番(海上保安本部)、157番(お客さまセンター)への電話はかけられます。

◎画面ロック解除パターンを5回続けて失敗した場合は、正しく指定されていない旨のメッセージが表示されます。「OK」をタップして30秒後に再試行できます。

UIMカードロックを設定する

UIMカードにPINコード(暗証番号)を設定し、電源を入れたときにPINコードを入力することで、不正使用から保護できます。PINコードについては「PINコードについて」(▶P.22)をご参照ください。

1 設定メニュー画面→[セキュリティ]→[UIMカードロック設定]→「UIMカードロック」を選択

2 UIMカードのPINコードを入力→[OK]

■電源を入れたときにPINコードを入力する

1 PINコードの入力画面→PINコードを入力→[OK]

■PINコードを変更する

UIMカードロックが有効に設定されているときのみ変更できます。

1 設定メニュー画面→[セキュリティ]→[UIMカードロック設定]→[PINコードの変更]

2 現在のPINコードを入力→[OK]

3 新しいPINコードを入力→[OK]

4 もう一度新しいPINコードを入力→[OK]

言語と入力に関する設定をする

1 **設定メニュー画面→[言語と入力]**

2

言語(Language)	日本語と英語の表示を切り替えます。 • 起動中のアプリケーションが終了する場合があります。	
デフォルト	デフォルトのキーボードを設定します。	
Google音声入力	音声入力の言語や不適切な語句に関する設定をします。	
iWnn IME	▶P.62「iWnn IMEの設定を行う」	
漢字手書き(LaLaStroke)	▶P.60「手書き入力の設定をする」	
連続かな手書き(LaLaStroke)		
音声認識装置	音声認識アプリがあるときは一覧が表示されます。	
音声検索	音声認識アプリの設定画面が表示されます。	
テキスト読み上げの出力	Pico TTS	Pico TTSを設定します。 Google Playからデータをインストールすることができます。
	音声の速度	テキストを読み上げる速度を設定します。
	サンプルを再生	音声合成の短いサンプルを再生します。

※ 表示される項目は、画面によって異なります。

memo

◎テキスト読み上げを利用する場合は、あらかじめ音声データをインストールする必要があります。また、テキスト読み上げは「言語」が「日本語」の場合には利用できないことがあります。

◎microSDメモリカードに音声データをインストールした状態で、ソフトウェアアップデートなどのソフトウェアの更新を実行すると、テキスト読み上げの動作が不安定になる場合があります。ソフトウェアの更新を実行した場合は、microSDメモリカードにインストールされている音声データを削除し、再度音声データのインストールを行ってください。

本製品を初期化する

1 **設定メニュー画面→[データの初期化]→[データの初期化]**

2 **[携帯端末をリセット]→[OK]→[すべて消去]**

• 画面ロックの設定によっては、ロック解除が必要な場合があります。

memo

◎データの初期化を実行すると本体内のすべてのデータが消去されます。データの初期化を実行する前に本体内のデータをバックアップすることをおすすめします。

◎「SDカード内データを消去」を選択するとmicroSDメモリカード内のデータも消去できます。

◎設定メニューの以下の項目は、データの初期化を実行してもリセットされません。

• UIMカードロック設定
• 「NFC/おサイフケータイロック」の設定/ロックNo.

◎本製品を初期化すると、デジタル著作権管理(DRM)コンテンツのライセンス情報が削除され、コンテンツの再生ができなくなる場合があります。

日付と時刻の設定をする

1 設定メニュー画面→[日付と時刻]

2

自動設定	ネットワーク上の日付･時刻情報を使って、自動的に補正します。 • CDMAエリア内で自動設定を解除することはできません。
自動タイムゾーン	ネットワーク上のタイムゾーン情報を使って、自動的に補正します。
日付設定	▶P.189「日付を設定する」
時刻設定	▶P.189「時刻を設定する」
タイムゾーンの選択	タイムゾーンを選択します。
24時間表示	選択すると24時間表示、解除すると12時間表示となります。
日付形式	日付の表示形式を選択します。

memo

◎「自動設定」を選択するとネットワークから日付や時刻が自動で設定されます。お買い上げ時は「自動設定」に設定されています。
◎日付、時刻、タイムゾーンの手動設定をするには、あらかじめ「自動設定」「自動タイムゾーン」を解除してネットワーク自動設定を解除する必要があります。
◎海外通信事業者によっては時差補正が正しく行われない場合があります。設定メニュー画面→[日付と時刻]→[タイムゾーンの選択]→設定するタイムゾーンを選択、と操作して、タイムゾーンを設定することができます。

日付を設定する

1 設定メニュー画面→[日付と時刻]→[日付設定]

2 数字を上下にスライドして日付を合わせる

3 [設定]

時刻を設定する

1 設定メニュー画面→[日付と時刻]→[時刻設定]

2 数字を上下にスライドして時間と分を合わせる

「24時間表示」を解除している場合は、「午前」/「午後」をスライドして午前/午後を切り替えます。

3 [設定]

ユーザー補助の設定をする

1 設定メニュー画面→[ユーザー補助]

2

サービス	インストールされているサービス名を表示します。
大きい文字サイズ	文字サイズが大きくなります。
電源ボタン通話終了	⏻で通話を終了するかどうかを設定します。
画面の自動回転	本製品の向きに合わせて、自動的に縦表示/横表示を切り替えるかどうかを設定します。
パスワードの音声出力	パスワードを音声で出力するか設定します。
ロングタッチ時間	ロングタッチの時間を設定します。
ウェブスクリプト	アプリからウェブへのアクセスを容易にするウェブスクリプトをインストールします。

ユーザー補助プラグインを利用する

ユーザーの操作に音や振動で反応したり、テキストを読み上げたりするユーザー補助プラグインを有効にします。ユーザー補助のプラグインは、Google Playからインストールすることができます。

開発者向けオプションに関する設定をする

アプリケーション開発時に使用するオプションを設定します。

端末情報に関する設定をする

本製品のバージョンなどの情報を確認します。また、アップデートやセンサーの補正などを行います。

1 設定メニュー画面→[端末情報]

2

ソフトウェアアップデート	▶P.219「ソフトウェアやOSを更新する」
地磁気センサー感度補正	モーションセンサー、地磁気センサーの補正を行います。 本体をしっかりと持ち、画面上にイラストで表示される動作をゆっくりと行ってください。 補正が完了してバイブレータが振動するまで、繰り返し実施してください。
端末の状態	電池残量や電話番号などの、端末の状態を確認できます。
法的情報	利用規約などの法的情報を表示します。
モデル番号	バージョンや各番号を確認できます。
Androidバージョン	
カーネルバージョン	
ビルド番号	

auのネットワークサービス・海外利用

auのネットワークサービスを利用する

auでは、次のような便利なサービスを提供しています。

サービス		参照先
標準サービス	SMS	P.96
	着信お知らせサービス	P.192
	着信転送サービス	P.192
	割込通話サービス	P.195
	発信番号表示サービス	P.196
	番号通知リクエストサービス	P.197
有料オプションサービス※	お留守番サービスEX	P.198
	三者通話サービス	P.203
	迷惑電話撃退サービス	P.204
	通話明細分計サービス	P.205

※有料オプションサービスは、別途ご契約が必要になります。
お申し込みやお問い合わせの際は、auショップもしくはお客さまセンターまでご連絡ください。
各サービスのご利用料金や詳細については、auホームページ(http://www.au.kddi.com/)でご確認ください。

着信お知らせサービスを利用する(標準サービス)

着信お知らせサービスについて

着信お知らせサービスは、au電話の電源を切っていた場合や機内モード中の場合、または電波の届かない場所にいた場合、着信があったことをSMSでお知らせするサービスです。電話をかけてきた相手の方が伝言を残さずに電話を切った場合に、着信があった時間と、相手の方の電話番号をお知らせします。

memo

◎ 電話番号通知がない着信についてはお知らせしません。ただし、番号通知があっても番号の桁数が20桁以上の場合はお知らせしません。
◎ お留守番サービスセンターが保持できる着信お知らせは、最大4件です。
◎ 着信があってから約6時間経過してもお知らせできない場合、お留守番サービスセンターから着信お知らせは自動的に消去されます。
◎ ご契約時の設定では、着信お知らせで相手の方の電話番号をお知らせします。お留守番サービス総合案内(▶P.198)で着信お知らせ(着信通知)を停止することができます。
◎ 通話中などですぐにお知らせできない場合があります。その場合は、お留守番サービスセンターのリトライ機能によりお知らせします。

着信転送サービスを利用する(標準サービス)

電話がかかってきたときに、登録した別の電話番号に転送するサービスです。
電波が届かない地域にいるときや、通話中にかかってきた電話などを転送する際の条件を、無応答転送、話中転送、フル転送、選択転送の4つから選択できます。

memo

◎ 緊急通報番号(110、119、118)、時報(117)、天気予報(177)など一般に転送先として望ましくないと思われる番号には転送できません。
◎ 着信転送サービスとお留守番サービス(▶P.198)は同時に開始することはできません。着信転送サービスの設定中にお留守番サービスを開始すると、着信転送サービスは自動的に停止されます。
◎ 着信転送サービスと番号通知リクエストサービス(▶P.197)を同時に開始すると、非通知からの着信を受けた場合、番号通知リクエストサービスを優先します。
◎ 無応答転送、話中転送、選択転送は同時に設定が可能です。同時に開始している場合の優先順位は、次の通りです。
① 話中転送　② 選択転送　③ 無応答転送
◎ 無応答転送、話中転送、選択転送を開始した後でフル転送を開始すると、フル転送のみ有効となります。

■ ご利用料金について

月額使用料	無料
サービス開始「1422」〜「1425」	無料
サービス停止「1420」	無料
相手先から本製品までの通話料	有料 ※電話をかけてきた相手の方のご負担となります。
本製品から転送先までの通話料	有料 ※お客様のご負担となります。 ※海外の電話に転送した場合は、ご契約された国際電話通信事業者からのご請求となります。

応答できない電話を転送する(無応答転送)

電波の届かない場所にいるときや、電源が切ってあるときなど、かかってきた電話に出ることができないときに電話を転送します。

1 ホームスクリーン→[(電話)]→[1][4][2][2]+転送先電話番号を入力→[発信]

ホームスクリーン→[(電話)]→[メニュー]→[通話設定]→[転送電話]→[無応答転送]→[OK]と操作し、ガイダンスに従って転送先電話番号を登録しても設定できます。

2 [ ]

memo

◎前回と同じ転送先を設定する場合には、ホームスクリーン→[(電話)]→[1][4][2][1][2]→[発信]と操作して設定できます。

◎着信転送サービスの応答時間は変更できません。

◎無応答転送を設定しているときに電話がかかってくると、着信音が鳴っている間は、電話に出ることができます。

◎GSM／UMTSローミング中は、電波の届かない場所にいるときや、電源が切ってあるときのみ転送されます。

通話中にかかってきた電話を転送する(話中転送)

1 ホームスクリーン→[(電話)]→[1][4][2][3]+転送先電話番号を入力→[発信]

ホームスクリーン→[(電話)]→[メニュー]→[通話設定]→[転送電話]→[話中転送]→[OK]と操作し、ガイダンスに従って転送先電話番号を登録しても設定できます。

2 [ ]

memo

◎前回と同じ転送先を設定する場合には、ホームスクリーン→[(電話)]→[1][4][2][1][3]→[発信]と操作して設定できます。

◎話中転送と割込通話サービス(▶P.195)を同時に設定している場合は、割込通話サービスが優先されます。

◎GSM／UMTSローミング中は、話中転送はご利用になれません。

かかってきたすべての電話を転送する(フル転送)

1 ホームスクリーン→[(電話)]→[1][4][2][4]+転送先電話番号を入力→[発信]

ホームスクリーン→[(電話)]→[メニュー]→[通話設定]→[転送電話]→[フル転送]→[OK]と操作し、ガイダンスに従って転送先電話番号を登録しても設定できます。

2 [ ]

memo

◎前回と同じ転送先を設定する場合には、ホームスクリーン→[(電話)]→[1][4][2][1][4]→[発信]と操作して設定できます。

◎フル転送を設定している場合は、お客様の本製品は呼び出されません。

手動で転送する（選択転送）

かかってきた電話に出ることができないときなどに、手動で転送します。

1 ホームスクリーン→[（電話）]→[1][4][2][5]＋転送先電話番号を入力→[発信]

ホームスクリーン→[（電話）]→[メニュー]→[通話設定]→[転送電話]→[選択転送]→[OK]と操作し、ガイダンスに従って転送先電話番号を登録しても設定できます。

2 [ ]

memo

◎前回と同じ転送先を設定する場合には、ホームスクリーン→[（電話）]→[1][4][2][1][5]→[発信]と操作して設定できます。
◎着信中に転送操作をすると、転送先電話番号に転送します。
◎「エリア設定」を「海外（GSM／UMTS）」に設定している場合は、ご利用になれません。

海外の電話へ転送する

au国際電話サービスをご利用いただくと、海外の電話に転送できます。

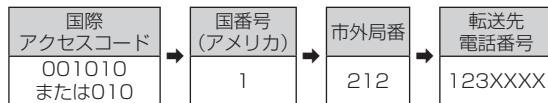
例：アメリカの「212−123−XXXX」に転送する場合

1 ホームスクリーン→[（電話）]→転送の種類によって、それぞれの番号を入力→[発信]

[1][4][2][2]：無応答転送　[1][4][2][4]：フル転送
[1][4][2][3]：話中転送　[1][4][2][5]：選択転送

2 転送先電話番号を入力

転送先電話番号を国際アクセスコードから入力します。

国際アクセスコード	➡	国番号（アメリカ）	➡	市外局番	➡	転送先電話番号
001010 または010		1		212		123XXXX

※市外局番が「0」で始まる場合は、「0」を除いて入力してください（イタリア・モスクワの固定電話など一部例外もあります）。

3 [ ]

memo

◎au国際電話サービス以外の国際電話サービスでも転送がご利用いただけますが、一部の国際電話通信事業者で転送できない場合があります。

着信転送サービスを停止する（転送停止）

着信転送サービスを停止します。

1 ホームスクリーン→[（電話）]→[1][4][2][0]→[発信]

ホームスクリーン→[（電話）]→[メニュー]→[通話設定]→[転送電話]→[転送停止]→[OK]と操作しても設定できます。

2 [ ]

着信転送サービスを遠隔操作する（遠隔操作サービス）

お客様の本製品以外のau電話、他社の携帯電話、PHS、NTT一般電話、海外の電話などから、着信転送サービスの転送開始（無応答転送、話中転送、フル転送、選択転送）、転送停止ができます。

1 090−4444−XXXXに電話をかける

上記のXXXXには、サービス内容によって次の番号を入力してください。

サービス内容	番号
無応答転送開始	1422
話中転送開始	1423
フル転送開始	1424
選択転送開始	1425
転送停止	1420

2 ご利用の本製品の電話番号を入力

3 暗証番号（4桁）を入力

暗証番号については「ご利用いただく各種暗証番号について」（▶P.22）をご参照ください。

4 ガイダンスに従って操作

memo

◎暗証番号を3回連続して間違えると、通話は切断されます。
◎遠隔操作には、プッシュトーンを使用します。プッシュトーンが送出できない電話を使って遠隔操作を行うことはできません。

割込通話サービスを利用する（標準サービス）

通話中に別の方から電話がかかってきたときに、現在通話中の電話を一時的に保留にして、後からかけてこられた方と通話ができるサービスです。

memo

◎新規にご加入いただいた際には、サービスは開始されていますので、すぐにご利用いただけます。ただし、機種変更の場合や修理からのご返却時またはau Micro IC Card (LTE)を差し替えた場合には、ご利用開始前に割込通話サービスをご希望の状態（開始／停止）に設定し直してください。

■ご利用料金について

月額使用料	無料
通話料	電話をかけた方のご負担（保留中でも通話料はかかります）

割込通話サービスを開始する

1 ホームスクリーン→[（電話）]→[1][4][5][1]→[発信]

2 [ ]

memo

◎割込通話サービスと番号通知リクエストサービス（▶P.197）を同時に開始すると、非通知からの着信を受けた場合、番号通知リクエストサービスが優先されます。
◎割込通話サービスと迷惑電話撃退サービス（▶P.204）を同時に開始すると、迷惑電話撃退サービスが優先されます。
◎「エリア設定」を「海外（GSM／UMTS）」に設定している場合は、ご利用になれません。

割込通話サービスを停止する

1 **ホームスクリーン→[(電話)]→[1][4][5][0]→[発信]**

2 **[ ]**

memo

◎パケット通信中の場合、割り込み通話停止を設定中にも割り込みを受ける場合があります。
◎「エリア設定」を「海外(GSM／UMTS)」に設定している場合は、ご利用になれません。

割込通話を受ける

例:Aさんと通話中にBさんが電話をかけてきた場合

1 **Aさんと通話中に割込音が聞こえる**

2 **着信中に「 」を右にスライド**

Aさんとの通話は保留になり、Bさんと通話できます。
「 」をタップするたびにAさん･Bさんとの通話を切り替えることができます。
「 」をタップすると、通話中／保留中の両方の通話が終了します。

memo

◎通話中に相手の方が電話を切ったときは、保留中の相手の方との通話に切り替わります。
◎割込通話時の着信も着信履歴に記録されます。ただし、発信者番号通知／非通知などの情報がない着信については記録されない場合があります。

割り込みされたくないときは

大事な用件などで割り込みされたくない通話相手の場合は、その相手の方との通話だけ、割り込みを禁止できます。

1 **ホームスクリーン→[(電話)]→[1][4][5][2]+相手先電話番号を入力→[発信]**

memo

◎発信者番号を通知する／しないを設定する場合は、「186」「184」を最初にダイヤルしてください。
◎割込禁止の通話中に別の相手の方から電話があった場合は、お話し中になります。ただし、お留守番サービスを開始しているときは、お留守番サービスへ転送されます。

発信番号表示サービスを利用する(標準サービス)

電話をかけた相手の方の電話機にお客様の電話番号を通知したり、着信時に相手の方の電話番号をお客様の本製品のディスプレイに表示したりするサービスです。

■お客様の電話番号の通知について

相手の方の電話番号の前に「184」(電話番号を通知しない場合)または「186」(電話番号を通知する場合)を付けて電話をかけることによって、通話ごとにお客様の電話番号を相手の方に通知するかどうかを指定できます。

memo

◎ 発信者番号（お客様の電話番号）はお客様の大切な情報です。お取り扱いについては十分にお気を付けください。
◎ 電話番号を通知しても、相手の方の電話機やネットワークによっては、お客様の電話番号が表示されないことがあります。
◎ 海外から発信した場合、相手の方に電話番号が表示されない場合があります。

■ 相手の方の電話番号の表示について

電話がかかってきたときに、相手の方の電話番号が本製品のディスプレイに表示されます。
相手の方が電話番号を通知しない設定で電話をかけてきたときや、電話番号が通知できない電話からかけてきた場合は、その理由がディスプレイに表示されます。

表示	説明
「非通知設定」（ID Unsent）	相手の方が発信者番号を通知しない設定で電話をかけている場合に表示されます。
「公衆電話」（Pay Phone）	相手の方が公衆電話からかけている場合に表示されます。
「通知不可能」（Not Support）	相手の方が国際電話、一部地域系電話、CATV電話など、発信者番号を通知できない電話から電話をかけている場合に表示されます。

番号通知リクエストサービスを利用する（標準サービス）

電話をかけてきた相手の方が電話番号を通知していない場合、相手の方に電話番号の通知をしてかけ直して欲しいことをガイダンスでお伝えするサービスです。

memo

◎ 初めてご利用になる場合は、停止状態になっています。
◎ お留守番サービス（▶P.198）、着信転送サービス（▶P.192）、割込通話サービス（▶P.195）、三者通話サービス（▶P.203）のそれぞれと、番号通知リクエストサービスを同時に開始すると、番号通知リクエストサービスが優先されます。
◎ 番号通知リクエストサービスと迷惑電話撃退サービス（▶P.204）を同時に開始すると、迷惑電話撃退サービスが優先されます。
◎ サービスの開始・停止には、通話料はかかりません。

番号通知リクエストサービスを開始する

1 **ホームスクリーン→[（電話）]→[1][4][8][1]→[発信]**

2 **[ ]**

memo

◎ 電話をかけてきた相手の方が意図的に電話番号を通知してこない場合は、相手の方に「こちらはauです。お客様の電話番号を通知しておかけ直しください。」とガイダンスが流れ、相手の方に通話料がかかります。
◎ 番号通知リクエストサービスを開始したまま海外（国際ローミングエリア）へ行かれた場合にも、電話番号を通知してこない相手の方からの着信には、番号通知リクエストサービスのガイダンスが流れます。
◎ 次の条件からの着信時は、番号通知リクエストサービスは動作せず、通常の接続となります。
- 公衆電話、国際電話
- SMS
- その他、相手の方の電話網の事情により電話番号を通知できない電話からの発信の場合

番号通知リクエストサービスを停止する

1 **ホームスクリーン→[（電話）]→[1][4][8][0]→[発信]**

2 **[ ]**

お留守番サービスEXを利用する（オプションサービス）

お留守番サービスEXについて

電源を切っているときや、電波の届かない場所にいるとき、「機内モード」を有効に設定しているとき、一定の時間が経過しても電話に出られなかったときなどに、留守応答して相手の方からの伝言をお預かりするサービスです。

■ お留守番サービスEXをご利用になる前に

- au電話ご購入時や、機種変更や電話番号変更のお手続き後、修理時の代用機貸し出しと修理後返却の際にお留守番サービスEXに加入中の場合、お留守番サービスは開始されています。
- お留守番サービスと着信転送サービス（▶P.192）は同時に開始できません。
- お留守番サービスを開始しているときに着信転送サービスを開始すると、お留守番サービスは自動的に停止されます。
- お留守番サービスと番号通知リクエストサービス（▶P.197）を同時に開始すると、非通知からの着信を受けた場合に番号通知リクエストサービスが優先されます。

■ お留守番サービスEXでお預かりする伝言・ボイスメールについて

お留守番サービスEXでは、次の通りに伝言・ボイスメールをお預かりします。

お預かり（保存）する時間	7日間まで※1
お預かりできる件数	99件まで※2
1件あたりの録音時間	3分まで

※1 お預かりから7日間以上経過している伝言・ボイスメールは、自動的に消去されます。
※2 件数は伝言とボイスメール（▶P.200）の合計です。100件目以降の場合は、電話をかけてきた相手の方に、伝言・ボイスメールをお預かりできないことをガイダンスでお知らせします。

■ ご利用料金について

月額使用料	315円（税込）
特番へのダイヤル操作	入力する特番にかかわりなく、蓄積された伝言・ボイスメールを聞いた場合は通話料がかかります。伝言・ボイスメールがないときなど、伝言・ボイスメールを聞かなかった場合は通話料がかかりません。
遠隔操作	遠隔操作を行った場合、すべての操作について遠隔操作を行った電話に対して通話料がかかります。
伝言・ボイスメールの録音	伝言・ボイスメールを残す場合、伝言・ボイスメールを残した方の電話に通話料がかかります。 ※お留守番サービスに転送する旨のガイダンス中に電話を切った場合には通話料は発生しません。転送され応答メッセージが流れ始めた時点から通話料が発生します。

お留守番サービス総合案内（141）を利用する

総合案内からは、ガイダンスに従って操作することで、伝言・ボイスメールの再生、応答メッセージの設定（録音／確認／変更）、英語ガイダンスの設定／日本語ガイダンスの設定、不在通知（蓄積停止）の設定／解除、着信お知らせの開始／停止ができます。

1 ホームスクリーン→[（電話）]→[1][4][1]→[発信]

2 ガイダンスに従って操作

お留守番サービスを開始する

■ 通話中にかかってきた電話も転送する場合（留守番開始1）

1 ホームスクリーン→[（電話）]→[1][4][1][1]→[発信]

ホームスクリーン→[（電話）]→[メニュー]→[通話設定]→[留守番電話]→[留守番開始1]→[OK]と操作しても設定できます。

2 [ ]

■通話中にかかってきた電話は転送しない場合(留守番開始2)

1 ホームスクリーン→[(電話)]→[1][4][1][3]→[発信]

ホームスクリーン→[(電話)]→[メニュー]→[通話設定]→[留守番電話]→[留守番開始2]→[OK]と操作しても設定できます。

2 []

■お留守番サービスEXでの留守応答について

電話がかかってきたとき、本製品の状態が次の場合には、お留守番サービスに転送され、留守応答します。

- 電波の届かない場所にいた場合や電源を切っていた場合、または一定時間呼び出しても電話に出なかった場合(無応答転送)
- 通話中にかかってきた場合(「留守番開始1」で開始した場合のみ)(話中転送)
- 着信中に転送操作した場合(選択転送)

memo

◎お留守番サービスを開始しているときに電話がかかってきても、着信音が鳴っている間は電話に出ることができます。

◎「エリア設定」を「海外(GSM/UMTS)」に設定している場合は、「留守番開始2」でお留守番サービスを開始できません。日本で「留守番開始2」のお留守番サービスを開始したまま海外へ行かれた場合は、通話中の着信もお留守番サービスに転送します。

お留守番サービスを停止する

1 ホームスクリーン→[(電話)]→[1][4][1][0]→[発信]

ホームスクリーン→[(電話)]→[メニュー]→[通話設定]→[留守番電話]→[留守番停止]→[OK]と操作しても設定できます。

2 []

memo

◎お留守番サービスを停止しても、録音された伝言・ボイスメールや応答メッセージは消去されません。

◎お留守番サービスを停止していても、伝言・ボイスメール再生「1417」、応答メッセージの録音/確認/変更「1414」などの操作をすることができます。

電話をかけてきた方が伝言を録音する

ここで説明するのは、電話をかけてきた方が伝言を録音する操作です。

1 お留守番サービスで留守応答

- かかってきた電話がお留守番サービスに転送されると、本製品のお客様が設定された応答メッセージで応答します。(▶P.201「応答メッセージの録音/確認/変更をする」)
- 電話をかけてきた相手の方は「#」を押すと、応答メッセージを最後まで聞かずに(スキップして)操作2に進むことができます。ただし、応答メッセージのスキップ防止が設定されている場合は、「#」を押しても応答メッセージはスキップしません。

2 伝言を録音

録音時間は、3分以内です。

伝言を録音した後、操作3へ進む前に電話を切っても伝言をお預かりします。

3 「#」を押して録音を終了

録音終了後、ガイダンスに従って次のキー操作ができます。

「1」:録音した伝言を再生して、内容を確認する

「2」:録音した伝言を「至急扱い」にする

「9」:録音した伝言を消去して、取り消す

「*」:録音した伝言を消去して、録音し直す

4 電話を切る

memo

◎電話をかけてきた方が「至急扱い」にした伝言は、伝言やボイスメールを再生するとき、他の「至急扱い」ではない伝言より先に再生されます。
◎お留守番サービスに転送する旨のガイダンス中に電話を切った場合には通話料は発生しませんが、転送されて応答メッセージが流れ始めた時点から通話料が発生します。

ボイスメールを録音する

相手の方がau電話でお留守番サービスをご利用の場合、相手の方を呼び出すことなくお留守番サービスに直接ボイスメールを録音できます。また、相手の方がお留守番サービスを停止していてもボイスメールを残すことができます。

1 ホームスクリーン→[(電話)]→[1][6][1][2]＋相手の方のau電話番号を入力→[発信]

2 ガイダンスに従ってボイスメールを録音

伝言お知らせについて

お留守番サービスセンターで伝言やボイスメールをお預かりしたことを通知音と文字でお知らせします。お知らせする内容は、お預かりした時間と相手の方の電話番号となります。
伝言お知らせは、SMSで確認できます。

memo

◎同じ電話番号から複数の伝言・ボイスメールをお預かりした場合は、最新の伝言・ボイスメールのみについてお知らせします。
◎お留守番サービスセンターが保持できる伝言お知らせの件数は20件です。
◎伝言・ボイスメールをお預かりしてから約48時間経過してもお知らせできない場合、お留守番サービスセンターから伝言お知らせは自動的に消去されます。
◎通話中などですぐにお知らせできない場合があります。その場合は、お留守番サービスセンターのリトライ機能によりお知らせします。

伝言・ボイスメールを聞く

1 ホームスクリーン→[(電話)]→[1][4][1][7]→[発信]

ホームスクリーン→[(電話)]→[メニュー]→[通話設定]→[留守番電話]→[留守伝言再生]→[OK]と操作しても設定できます。
ホームスクリーン→[(電話)]→「1」をロングタッチ→[OK]と操作しても設定できます。

2 ガイダンスに従ってキー操作

「1」：同じ伝言をもう一度聞く
「2」：伝言を保存
「4」：5秒間巻き戻して聞き直す
「5」：伝言を一時停止（20秒間）※
「6」：5秒間早送りして聞く
「9」：伝言を消去
「0」：伝言再生中の操作方法を聞く
「#」：次の伝言を聞く
「*」：前の伝言を聞く

※「」以外のキーをタップすると、伝言の再生を再開します。

3 []

memo

◎お留守番サービスの留守応答でお預かりした伝言も、ボイスメール（▶P.200）も同じものとして扱われます。
◎伝言･ボイスメールの再生後、保存または消去を選択しないと、その伝言･ボイスメールは常に新しいものとして保存されます。

応答メッセージの録音／確認／変更をする

新しい応答メッセージの録音や現在設定している応答メッセージの内容の確認／変更、スキップ防止などの設定を行うことができます。

1 ホームスクリーン→[（電話）]→[1][4][1][4]→[発信]

ホームスクリーン→[（電話）]→[メニュー]→[通話設定]→[留守番電話]→[応答内容変更]→[OK]と操作しても設定できます。

■ すべてお客様の声で録音するタイプの応答メッセージを録音する場合（個人メッセージ）

2 [1]→3分以内で応答メッセージを録音→[#]→[#]→[]

■ 名前のみお客様の声で録音するタイプの応答メッセージを録音する場合（名前指定メッセージ）

2 [2]→10秒以内で名前を録音→[#]→[#]→[]

■ 設定されている応答メッセージを確認する場合

2 [3]→応答メッセージを確認→[]

■ 蓄積停止時の応答メッセージ（不在通知）を録音する場合

2 [7]→3分以内で応答メッセージを録音→[#]→[#]→[]

memo

◎録音できる応答メッセージは、各1件です。
◎ご契約時は、標準メッセージに設定されています。
◎応答メッセージを最後まで聞いて欲しい場合は、応答メッセージ選択後の設定でスキップができないようにすることもできます。
◎録音した応答メッセージがある場合に、ガイダンスに従って「4」をタップすると標準メッセージに戻すことができます。
◎録音した蓄積停止時の応答メッセージ（不在通知）がある場合に、ガイダンスに従って「8」をタップすると標準メッセージに戻すことができます。
◎「エリア設定」を「海外（GSM／UMTS）」に設定している場合は、ご利用になれません。

伝言の蓄積を停止する（不在通知）

長期間の海外出張やご旅行でご不在の場合などに伝言･ボイスメールの蓄積を停止することができます。
あらかじめ蓄積停止時の応答メッセージ（不在通知）を録音しておくと、お客様が録音された声で蓄積停止時の留守応答ができます。
（▶P.201「応答メッセージの録音／確認／変更をする」）

1 ホームスクリーン→[（電話）]→[1][6][1][0]→[発信]

2 ガイダンスを確認→[]

memo

◎蓄積を停止する場合は、事前にお留守番サービスを開始しておく必要があります。
◎蓄積を停止した後、お留守番サービスを停止／開始しても、蓄積停止は解除されません。お留守番サービスで伝言･ボイスメールをお預かりできるようにするには、「1611」にダイヤルして蓄積停止を解除する必要があります。
◎「エリア設定」を「海外（GSM／UMTS）」に設定している場合は、ご利用になれません。

蓄積停止を解除する

1 ホームスクリーン→[(電話)]→[1][6][1][1]→[発信]

2 ガイダンスを確認→[ ]

memo

◎蓄積を停止した後、お留守番サービスを停止／開始しても、蓄積停止は解除されません。お留守番サービスで伝言・ボイスメールをお預かりできるようにするには、「1611」にダイヤルして蓄積停止を解除する必要があります。
◎「エリア設定」を「海外（GSM／UMTS）」に設定している場合は、ご利用になれません。

お留守番サービスを遠隔操作する（遠隔操作サービス）

お客様の本製品以外のau電話、他社の携帯電話、PHS、NTT一般電話、海外の電話などから、お留守番サービスの開始／停止、伝言・ボイスメールの再生、応答メッセージの録音／確認／変更などができます。

1 090−4444−XXXXに電話をかける

上記のXXXXには、サービス内容によって次の番号を入力してください。

サービス内容	番号
総合案内（伝言再生など）	0141
お留守番サービスの開始	1411／1413
お留守番サービスの停止	1410
伝言・ボイスメールの再生	1417

2 ご利用の本製品の電話番号を入力

3 暗証番号（4桁）を入力

暗証番号については「ご利用いただく各種暗証番号について」（▶P.22）をご参照ください。

4 ガイダンスに従って操作

◎暗証番号を3回連続して間違えると、通話は切断されます。
◎遠隔操作には、プッシュトーンを使用します。プッシュトーンが送出できない電話を使って遠隔操作を行うことはできません。

英語ガイダンスへ切り替える

お留守番サービスの操作ガイダンスや、標準の応答メッセージを日本語から英語に変更できます。

1 ホームスクリーン→[(電話)]→[1][4][1][9][1]→[発信]

英語ガイダンスに切り替わったことが英語でアナウンスされます。

2 [ ]

◎ご契約時は、日本語ガイダンスに設定されています。
◎「エリア設定」を「海外（GSM／UMTS）」に設定している場合は、ご利用になれません。

日本語ガイダンスへ切り替える

1 ホームスクリーン→[(電話)]→[1][4][1][9][0]→[発信]

日本語ガイダンスに切り替わったことが日本語でアナウンスされます。

2 [ ]

◎「エリア設定」を「海外（GSM／UMTS）」に設定している場合は、ご利用になれません。

三者通話サービスを利用する（オプションサービス）

通話中に他のもう1人に電話をかけて、3人で同時に通話できます。

例：Aさんと通話中に、Bさんに電話をかけて3人で通話する場合

1 Aさんと通話中に[ ]→Bさんの電話番号を入力

通話中に電話帳や発信履歴／着信履歴から電話番号を呼び出すこともできます。

2 [発信]

通話中のAさんとの通話が保留になり、Bさんを呼び出します。

3 Bさんと通話

4 [グループ通話]

3人で通話できます。

「 」をタップすると、Bさんとの電話が切れ、Aさんとの二者通話に戻ります。

「 」をタップすると、Aさんとの電話とBさんとの電話が両方切れます。

◎ GSM／UMTSローミング中はご利用になれません。また、CDMAローミング中でも、ネットワーク事業者によっては、ご利用になれない場合があります。
◎ 三者通話中の相手の方が電話を切ったときは、もう1人の相手の方との通話になります。
◎ 三者通話ではAさんとの通話、Bさんとの通話それぞれに通話料がかかります。通話料はそれぞれ電話をかけた方のご負担になります。
◎ 三者通話中は、割込通話サービスをご契約のお客様でも割り込みはできません。
◎ 三者通話の2人目の相手の方として、割込通話サービスをご利用のau電話を呼び出したとき、相手の方が割込通話中であった場合には、割り込みはできません。

■ ご利用料金について

月額使用料	有料
通話料	電話をかけた方のご負担（保留中でも通話料はかかります）

迷惑電話撃退サービスを利用する（オプションサービス）

迷惑電話やいたずら電話がかかってきて通話した後に「1442」にダイヤルすると、次回からその発信者からの電話を「お断りガイダンス」で応答するサービスです。

memo

◎お留守番サービス（▶P.198）、着信転送サービス（▶P.192）、割込通話サービス（▶P.195）、三者通話サービス（▶P.203）、番号通知リクエストサービス（▶P.197）のそれぞれと、迷惑電話撃退サービスを同時に開始すると、迷惑電話撃退サービスが優先されます。

■ご利用料金について

月額使用料	有料
番号登録「1442」	無料
最後の登録を削除「1448」	無料
すべての登録を削除「1449」	無料

最後に着信した電話番号を登録する

迷惑電話などの着信後、次の操作を行います。

1 **ホームスクリーン→[（電話）]→[1][4][4][2]→[発信]**

2 **[ ]**

memo

◎登録できる電話番号は10件までです。10件を超えて登録すると、最も古い電話番号を削除して、新しい電話番号を登録します。
◎電話番号の通知のない着信についても登録できます。
◎次の条件からの着信時は登録できません。
- 警察、消防機関、海上保安本部
- 公衆電話、国際電話
- SMS

◎通話をせずに、不在着信となった電話番号は登録できません。
◎登録した相手の方から電話がかかってくると、相手の方に「こちらはauです。おかけになった電話番号への通話は、お客様のご希望によりおつなぎできません。」とお断りガイダンスが流れ、相手の方に通話料がかかります。
◎登録された相手の方が、電話番号を非通知で発信した場合もお断りガイダンスに接続されます。
◎「エリア設定」を「海外（GSM／UMTS）」に設定している場合は、受信拒否リストへの登録削除ができません。日本で登録されていた相手の方から着信があった場合には、お断りガイダンスに接続されます。
◎登録した相手の方でも次の条件の場合は、迷惑電話撃退サービスは動作せず、通常の接続となります。
- SMS
- 国際ローミング中のau電話からの着信

最後に登録した電話番号を削除する

1 **ホームスクリーン→[（電話）]→[1][4][4][8]→[発信]**

2 **[ ]**

memo

◎受信拒否リストに複数の電話番号が登録されている場合は、最後に登録した電話番号から順に1件ずつ削除されます。
◎「エリア設定」を「海外（GSM／UMTS）」に設定している場合は、ご利用になれません。

登録した電話番号を全件削除する

1 ホームスクリーン→[(電話)]→[1][4][4][9]→[発信]

2 []

通話明細分計サービスを利用する（オプションサービス）

分計したい通話について相手先電話番号の前に「131」を付けてダイヤルすると、通常の通話明細書に加えて、分計ダイヤルした通話分について分計明細書を発行するサービスです。それぞれの通話明細書には、「通話先・通話時間・通話料」が記載されます。

1 ホームスクリーン→[(電話)]→[1][3][1]＋相手先電話番号を入力→[発信]

memo

◎分計したい通話ごとに、相手先電話番号の前に「131」を付けてダイヤルする必要があります。
◎発信者番号を通知する／しないを設定する場合は、「186」「184」を最初にダイヤルしてください。
◎フリーダイヤル、緊急通報番号（110、119、118）、SMSなどの一部の番号では「131」を付けて分計発信できません。分計対象外の番号へ「131」を付けてダイヤルした場合は、ご利用できない旨のガイダンスが流れます。
◎月の途中でサービスに加入されても、加入日以前から「131」を付けてダイヤルされていた場合は、月初めまでさかのぼって分計対象として明細書へ記載されます。

グローバルパスポート

グローバルパスポートとは、日本国内でご使用の本製品をそのまま海外でご利用いただける国際ローミングサービスです。本製品は渡航先に合わせてGSMネットワーク、UMTSネットワーク、CDMAネットワークのいずれでもご利用になれます。

- いつもの電話番号のまま、世界のGSMネットワーク、UMTSネットワーク、CDMAネットワークで話せます。
- 特別な申し込み手続きや日額・月額使用料は不要で、通話料は国内分との合算請求ですので、お支払いも簡単です。グローバルパスポートのご利用可能国、料金、その他サービス内容など詳細につきましては、auホームページまたはお客さまセンターにてご確認ください。
- 海外ではLTEネットワークはご利用になれません。

memo

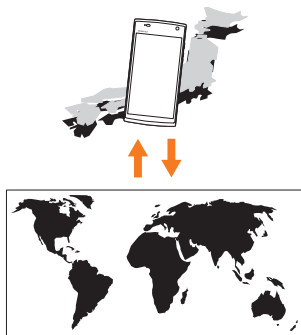
◎GSMとは、Global System for Mobile Communicationsの略です。デジタル携帯電話に使われている無線通信方式の1つで、欧州、アメリカ、アジア、オセアニア、アフリカなど、世界で幅広く利用されている方式です。日本で使われているCDMAやPDCなどとは適合していません。
◎国際ローミングとは、日本でお使いのau電話または電話番号のまま海外の携帯電話事業者ネットワークにおいて音声通話などをご利用いただくサービスです。

■ご利用イメージ

1 国内では、auのネットワークでご利用になれます。

2 本製品の「エリア設定」（▶P.208）を行います。

3 世界のGSM／UMTS／CDMAネットワークでいつもの番号で話せます。

4 帰国したら「エリア設定」（▶P.208）を「日本」へ戻します。

海外でご利用になるときは

海外でグローバルパスポートGSM／グローバルパスポートCDMAをご利用になるときは、「海外利用に関する設定を行う」（▶P.207）、「エリアを設定する」（▶P.208）に従い、各種設定を行ってください。
新規ご契約でご利用の場合、日本国内での最初のご利用日の2日後から海外でのご利用が可能です。

memo

◎ 日本国内でEメール（@ezweb.ne.jp）の初期設定を行っていない場合、海外でデータ通信をご利用いただけません。Eメール（@ezweb.ne.jp）をご利用にならない場合でも、渡航前に必ずEメール（@ezweb.ne.jp）の初期設定を行ってください。

海外で安心してご利用いただくために

海外での通信ネットワーク状況はauホームページでご案内しています。渡航前に必ずご確認ください。
http://www.au.kddi.com/service/kokusai/tokomae/

■ 本製品を盗難・紛失したら

- 海外で本製品を盗難・紛失された場合は、auショップもしくはお客さまセンターまで速やかにご連絡いただき、通話停止の手続きをおとりください。盗難・紛失された後に発生した通話料・パケット通信料もお客様の負担になりますのでご注意ください。
- 本製品に挿入されているau Micro IC Card (LTE)を盗難・紛失された場合、第三者によって他の携帯電話（海外用GSM携帯電話を含む）に挿入され、不正利用される可能性もありますので、PINコードを設定されることをおすすめします。（▶P.22「PINコードについて」）

■ 海外での通話・通信のしくみを知って、正しく利用しましょう

- ご利用料金は国・地域によって異なります。
- 海外における通話料は、各種割引サービスの対象となりません。
- 海外で着信した場合でも通話料がかかります。
- 国・地域によっては、「発信」をタップした時点から通話料がかかる場合があります。

海外でご利用できるサービス

本製品は、「グローバルパスポートGSM」「グローバルパスポートCDMA」に対応していますので、特別な手続きなしで海外の対応エリアでそのままご利用になれます。ただし、一部の機能についてはご利用になれません。また、海外でのご利用は国内パケット通信料定額サービスの対象外となるため、通信料が高額となる可能性があります。海外で利用できる通信サービスは次の通りです。

通信サービス	説明
音声通話	日本国内で利用している電話番号のまま、滞在国内での発着信や、日本や滞在国外への国際電話発信が可能です。
インターネット	海外でもインターネット接続が可能です。
Eメール(@ezweb.ne.jp)/PCメール/Gmail/au oneメール/SMS	海外でもご利用になれます。
GPS機能による現在地確認※	海外でもGPS機能を利用して現在地確認ができます。

※あらかじめ日付・時刻を正しく設定しておいてください。

- 海外でのご利用料金(通話料、パケット通信料)は、日本国内とは異なります。詳しくは「サービスエリアと海外での通話料」(▶P.210)および「パケットサービス・メッセージサービスの通信料」(▶P.211)をご参照ください。

memo

◎SMSのデータ量が渡航先の携帯電話網で許容されている長さより長い場合は、SMSの内容が一部受信されなかったり、複数に分割されて受信する場合や文字化けして受信する場合があります。また、電波状態などによって送信者がSMSを蓄積されても、渡航先では受信されません。

海外利用に関する設定を行う

海外で本製品を利用するには、渡航先で接続する通信事業者のネットワークに切り替える必要があります。

PRL(ローミングエリア情報)を取得する

PRL(ローミングエリア情報)とは、KDDI(au)と国際ローミング契約を締結している海外提携事業者のエリアに関する情報です。
海外渡航時には、最新のPRLを渡航前に取得してからお使いください。

1 アプリ一覧→[設定]→[その他...]→[モバイルネットワーク]→[ローミング設定]→[OK]→[PRL設定]→[PRLバージョンを更新する]→[OK]

接続後に流れる音声ガイダンスを確認してから電話をお切りください。
電話をお切りになった後、更新が開始されます。更新には10分程度時間がかかることがあります。

memo

◎PRLの更新にかかる通話料・通信料は無料です。
◎エリアによっては更新できない場合があります。
◎古いPRLデータのまま利用し続けている場合は、海外のエリアによって通信ができなくなることがありますので、あらかじめご了承ください。

エリアを設定する

本製品を使用するエリアを設定します。

1 **アプリ一覧→[設定]→[その他...]→[モバイルネットワーク]→[ローミング設定]→[OK]→[エリア設定]**

2

日本	日本国内でご利用になる場合に設定します。
日本／海外（自動）	日本国内または海外でご利用になる場合（CDMAネットワーク／GSMネットワーク／UMTSネットワークから自動設定）に設定します。
日本／海外（CDMA）	日本国内または海外でCDMAネットワークをご利用になる場合に設定します。
海外（GSM／UMTS）	海外でGSMネットワーク／UMTSネットワークをご利用になる場合に設定します。

データローミングを設定する

ローミング中にパケット通信を利用できるように設定します。

1 **アプリ一覧→[設定]→[その他...]→[モバイルネットワーク]→「データローミング」を選択**

「OK」をタップすると、データローミングが有効になります。

- アプリ一覧→[設定]→[データ使用]→[⋮]→「データローミング」を選択→[OK]と操作しても、データローミングを有効にできます。

渡航先で電話をかける

渡航先から国外（日本含む）に電話をかける

渡航先から日本または他の国へ電話をかけます。

例：渡航先からアメリカの「212-123-XXXX」にかける場合

1 **ホームスクリーン→[（電話）]**

2 **国際アクセス番号、国番号、市外局番、相手の方の電話番号を入力→[発信]**

※1 「0」をロングタッチすると、「+」が入力され、発信時に渡航先の国際アクセス番号が自動で付加されます。

※2 市外局番が「0」で始まる場合は、「0」を除いて入力してください（イタリア・モスクワなど一部の国や地域の固定電話などの例外もあります）。

memo

◎ 電話をかける相手の方がグローバルパスポート利用者の場合は、相手の方の渡航先にかかわらず国番号として「81」（日本）を入力してください。

◎ 渡航先から日本に電話をかける場合は、操作**2**で[メニュー]→[日本へ発信]と操作しても発信できます。

渡航先の国内に電話をかける

日本国内での操作と同様の操作で、相手の方の一般電話や携帯電話に電話をかけることができます。

1 **ホームスクリーン→[（電話）]**

2 **電話番号を入力**

渡航先によって操作が異なります。

渡航先	番号
アメリカ本土、ハワイ、サイパン	「1」＋市外局番＋相手の方の電話番号

3 **[発信]**

渡航先で電話を受ける

日本国内にいるときと同様の操作で電話を受けることができます。

memo

◎ 渡航先に電話がかかってきた場合は、いずれの国からの電話であっても日本からの国際転送となります。発信側には日本までの通話料がかかり、着信側には着信料がかかります。

■ 日本国内から渡航先に電話をかけてもらう場合

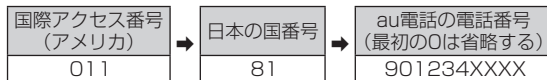
日本国内にいるときと同様に電話番号をダイヤルして、電話をかけてもらいます。

■ 日本以外の国から渡航先に電話をかけてもらう場合

渡航先にかかわらず日本経由で電話をかけるため、国際アクセス番号および「81」(日本)をダイヤルしてもらう必要があります。

例:アメリカから日本国内のau電話「090-1234-XXXX」にかけてもらう場合

1 国際アクセス番号、日本の国番号、au電話の電話番号を入力→[発信]

国際アクセス番号(アメリカ)	➡	日本の国番号	➡	au電話の電話番号(最初の0は省略する)
011		81		901234XXXX

お問い合わせ方法

海外からのお問い合わせ

■ 本製品からのお問い合わせ方法(通話料無料)

+(「0」をロングタッチ) + 81 + 3 + 6670 + 6944

受付時間:24時間

■ 一般電話からのお問い合わせ方法1(渡航先別電話番号)

アジア	韓国	002-800-00777113
	中国/マカオ/台湾	00-800-00777113
	香港/タイ	001-800-00777113
	インドネシア	001-803-81-0235
	ベトナム	120-81-003
	インド	000800-810-1134
北米・中南米	アメリカ(本土)	1-877-532-6223
	メキシコ	01-800-123-3426
	ブラジル	0021-800-00777113
オセアニア	サイパン	1-866-333-7129
	ニュージーランド	00-800-00777113
	ハワイ	1-877-532-6223

受付時間:24時間(通話料無料)

memo

◎ ホテル客室からご利用の場合は手数料などがかかる場合があります。
◎ 地域によっては公衆電話やホテル客室、携帯電話からご利用いただけない場合があります。
◎ 携帯電話からのご利用の場合は現地携帯電話会社による国内料金課金のケースがありますのでご了承ください。
◎ 記載の国は、主な例となります。最新情報についてはauホームページをご参照ください。

■ 一般電話からのお問い合わせ方法2

「一般電話からのお問い合わせ方法1」に記載のない国・地域からは、以下の方法でお問い合わせください。

渡航先の国際アクセス番号 + 81 + 3 + 6670 + 6944

受付時間:24時間(国際通話料がかかります)

日本国内からのお問い合わせ

au電話から(局番なしの)157番(通話料無料)
一般電話から フリーコール 0077-7-111(通話料無料)
受付時間 9:00～20:00(年中無休)

サービスエリアと海外での通話料

渡航先の国･地域によってご利用いただけるサービスや通話料が異なります。

通話料は免税。単位は円／分。

	国･地域名	音声通話	パケットサービス	滞在国内通話料	日本への国際通話料	他国への国際通話料	着信した場合の料金
アジア	中国	○	○	70	175	265	145
	韓国	○	○	50	125	265	70
	台湾	○	○	70	175	265	145
	タイ	○	○	70	175	265	155
	フィリピン	○	○	75	175	265	155
	インドネシア	○	○	70	260	280	155
	ベトナム	○	○	70	195	280	80
	香港	○	○	70	175	265	145
	シンガポール	○	○	75	175	265	155
	インド	○	○	70	180	280	180
	マレーシア	○	○	75	175	265	80
	マカオ	○	○	70	175	265	145
オセアニア	ハワイ	○	○	120	140	210	165
	グアム	○	○	80	140	210	130
	サイパン	○	○	80	140	210	130
	オーストラリア	○	○	80	180	280	80
	ニュージーランド	○	○	80	180	280	80

	国･地域名	音声通話	パケットサービス	滞在国内通話料	日本への国際通話料	他国への国際通話料	着信した場合の料金
北米･中南米	アメリカ	○	○	120	140	210	165
	カナダ	○	○	120	140	210	165
	メキシコ	○	○	70	230	280	180
	ブラジル	○	○	80	280	280	140
ヨーロッパ･中東	フランス	○	○	80	180	280	110
	ドイツ	○	○	80	180	280	110
	イギリス	○	○	80	180	280	110
	イタリア	○	○	80	280	280	110
	スペイン	○	○	80	180	280	110
	スイス	○	○	80	180	280	110
	ロシア	○	○	80	380	380	110
	オランダ	○	○	80	180	280	110
	アラブ首長国連邦	○	○	80	180	280	140

memo

◎各種割引サービス·パケット通信料定額／割引サービスの対象となりません。
◎海外で着信した場合でも通話料がかかります。
◎発信先は、一般電話でも携帯電話でも同じ通話料がかかります。
◎渡航先でコレクトコール·フリーダイヤルなどをご利用になった場合でも渡航先での国内通話料がかります。
◎アメリカ本土、ハワイ、グアム、サイパン、カナダ、プエルトリコ、米領バージン諸島の間の通話料は、各国·地域内通話料金（120円／分（免税）または80円／分（免税））となります。
◎ニュージーランドで情報提供ダイヤルをご利用になると一律600円／分（免税）の料金がかかりますのでご注意ください。
◎韓国で情報提供ダイヤルをご利用になると一律500円／分（免税）の料金がかかりますのでご注意ください。
◎中国、香港、マカオ、台湾の間の通話料は、「日本以外への国際通話」料金（265円／分（免税））となります。
◎国·地域によっては、「発信」をタップした時点から通話料がかかる場合があります。したがって相手につながらなくても通話料が発生することがあります。
◎2012年9月現在の情報です。
◎最新情報についてはauホームページをご参照ください。

パケットサービス·メッセージサービスの通信料

海外でご利用できるサービスについては「海外でご利用できるサービス」（▶P.207）をご参照ください。

■パケットサービス·メッセージサービスの通信料（免税）

パケット通信料	SMS送信料	SMS受信料
1.6円／KB	100円／通	無料

■海外ダブル定額

対象となる海外事業者に接続した場合、1日あたり1,980円で約24.4MBまで、約24.4MB以上でも1日あたり最大2,980円でご利用いただけます。
詳しくは、auホームページをご参照ください。

◎海外でご利用になった場合の料金です。海外で受信したパケット量に応じて課金されます。
◎渡航先でのパケット通信料は、各種割引サービス·パケット通信料定額／割引サービスの対象となりません。
◎SMSは、送信が完了した時点、または、SMS蓄積時に送信料が発生します。

国際アクセス番号＆国番号一覧

■国際アクセス番号

国·地域名	番号
アメリカ本土、カナダ、ハワイ、グアム、サイパン	011
中国、フィリピン、ベトナム、インド、マレーシア、マカオ、ニュージーランド、メキシコ、フランス、ドイツ、イギリス、イタリア、スペイン、スイス、オランダ	00
タイ、インドネシア、香港、シンガポール	001
韓国	00700（002）
台湾	005（002）
オーストラリア	0011
ブラジル	0021
ロシア	810

■国番号（カントリーコード）

国·地域名	番号	国·地域名	番号
アイルランド（IRL）	353	デンマーク（DNK）	45
アメリカ合衆国（USA）	1	ドイツ（DEU）	49
アラブ首長国連邦（ARE）	971	日本（JPN）	81
イギリス（GBR）	44	ニュージーランド（NZL）	64
イスラエル（ISR）	972	ノルウェー（NOR）	47
イタリア（ITA）	39	バミューダ諸島（BMU）	1

国･地域名	番号	国･地域名	番号
インド(IND)	91	ハンガリー(HUN)	36
インドネシア(IDN)	62	バングラデシュ(BGD)	880
オーストリア(AUT)	43	フィリピン(PHL)	63
オランダ(NLD)	31	フィンランド(FIN)	358
カナダ(CAN)	1	フランス(FRA)	33
韓国(KOR)	82	ベトナム(VNM)	84
ギリシャ(GRC)	30	ベルギー(BEL)	32
シンガポール(SGP)	65	ポルトガル(PRT)	351
スイス(CHE)	41	香港(HKG)	852
スウェーデン(SWE)	46	マカオ(MAC)	853
スペイン(ESP)	34	マレーシア(MYS)	60
タイ(THA)	66	メキシコ(MEX)	52
台湾(TWN)	886	ルクセンブルグ(LUX)	352
中国(CHN)	86	ロシア(RUS)	7

※ハワイ、サイパンの国番号は、アメリカ合衆国(USA)「1」になります。

グローバルパスポートに関するご利用上のご注意

■渡航先での音声通話に関するご注意

- 渡航先でコレクトコール、フリーダイヤル、クレジットコール、プリペイドカードコールをご利用になった場合、渡航先での国内通話料が発生します。
- 国･地域によっては、「発信」をタップした時点から通話料がかかる場合があります。
- 海外で着信した場合は、日本国内から渡航先までの国際通話料が発生します。着信通話料については、国内利用分と合わせてauからご請求させていただきます。着信通話料には国際通話料が含まれていますので、別途国際電話会社からの請求はありません。

■通話明細に関するご注意

- 通話時刻は日本時間での表記となりますが、実際の通話時刻と異なる場合があります。
- 海外通信事業者などの都合により、通話明細上の通話先電話番号、ご利用地域が実際と異なる場合があります。
- 渡航先で着信した場合、「通話先電話番号」に着信したご自身のau電話の番号が表記されます。

■渡航先でのパケット通信料に関する注意

- 渡航先でのご利用料金は、国内でのご利用分に合算して翌月に(渡航先でのご利用分につきましては、翌々月以降になる場合があります)請求させていただきます。同一期間のご利用であっても別の月に請求される場合があります。
- 国内でパケット通信料が無料となる通信を含め、渡航先ではすべての通信に対しパケット通信料がかかります。

■渡航先でのメールのご利用に関するご注意

- 渡航先においては、パケット利用可能なアイコンの表示のある場合にパケット通信が可能です。圏内表示のみの場合は音声通話(およびご利用の地域によってはSMS送受信)のみご利用になれます。
- SMSのデータ量が渡航先の携帯電話網で許容されている長さより長い場合は、SMSの内容が一部受信できなかったり、複数に分割されて受信する場合や文字化けして受信する場合があります。また、電波状態などによって送信者がSMSを蓄積されても、渡航先では受信されません。
- SMSを電波状態の悪いエリアで受信した場合、日本へ帰国された後で渡航先で受信したメッセージと同一のメッセージを受信することがあります。
- 渡航先で、電波状態などの問題によりSMSを直接受け取れなかった場合には、送信者がそのSMSを蓄積しても、ローミング中は受信できません。お預かりしたSMSはSMSセンターで72時間保存されます。

■その他ご利用上の注意

- 渡航先での通話料･パケット通信料は、各種割引サービス･パケット通信料定額／割引サービスの対象となりません。
- 渡航先により、連続待受時間が異なりますのでご注意ください。
- 海外で使用する場合は、海外で使用可能なACアダプタで充電してください。なお、海外旅行用変圧器を使用して充電しないでください。
- 渡航先でリダイヤルする場合は、しばらく間隔をあけておかけ直しいただくとつながりやすくなります。
- 渡航先でグローバルパスポートに着信した場合、原則として発信者番号は表示されますが、海外通信事業者の事情により「通知不可能」や、まったく異なる番号が表示されることがあります。また、発信側で発信者番号を通知していない場合であっても、発信者番号が表示されることがあります。
- サービスエリア内でも、電波の届かないところではご利用になれません。
- グローバルパスポートは、海外通信事業者の事情によりつながりにくい場合があります。
- 航空機の中では、計器類に悪影響を与えますので、携帯電話の電源は必ずお切りください。ただし、一部の航空会社ではご利用いただける場合もございます。詳細はご搭乗される航空会社にお問い合わせください。
- グローバルパスポートは海外通信事業者ネットワークに依存したサービスですので、海外通信事業者などの都合により、発着信･各種サービス、一部の電話番号帯への接続がご利用いただけない場合があります。
- 渡航先でのネットワークガイダンスは海外通信事業者のガイダンスに依存します。
- 渡航先ローミング中は、「料金安心サービス」の発信規制の対象になりません。
- 渡航中に「料金安心サービス【ご利用停止コース】」で設定した限度額を超過した場合、渡航先ではそのままご利用になれますが、帰国後の国内通話は発信規制となります。また国内で発信規制状態になっていても、グローバルパスポートとしては渡航先で使うことができます。
- 番号通知リクエストサービスを起動したまま渡航され、日本以外の国から着信を受けた場合、相手の方に番号通知リクエストガイダンスが流れ、着信できない場合がありますので、あらかじめ日本国内で停止してください。
- 渡航先でご利用いただけない場合、au電話の電源をオフ／オンすることでご利用可能となる場合があります。

付録／索引

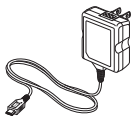
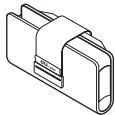
付録

周辺機器のご紹介

- ■ 電池パック(KYL21UAA)
- ■ 急速充電対応卓上ホルダ(KYL21PUA)
- ■ 卓上ホルダ専用ACアダプタ(KYL21PQA)
- ■ 共通ACアダプタ04(0401PWA)(別売)
- ■ 共通ACアダプタ03(0301PQA)(別売)
- ■ 共通ACアダプタ03 ネイビー(0301PBA)(別売)
- ■ 共通ACアダプタ03 グリーン(0301PGA)(別売)
- ■ 共通ACアダプタ03 ピンク(0301PPA)(別売)
- ■ 共通ACアダプタ03 ブルー(0301PLA)(別売)

共通ACアダプタ04

- ■ AC Adapter JUPITRIS(ホワイト)(L02P001W)(別売)
- ■ AC Adapter JUPITRIS(レッド)(L02P001R)(別売)
- ■ AC Adapter JUPITRIS(ブルー)(L02P001L)(別売)
- ■ AC Adapter JUPITRIS(ピンク)(L02P001P)(別売)
- ■ AC Adapter JUPITRIS(シャンパンゴールド)(L02P001N)(別売)
- ■ 共通DCアダプタ03(0301PEA)(別売)

- ■ auキャリングケースF ブラック(0105FCA)(別売)

- ■ ポータブル充電器02(0301PFA)(別売)
- ■ microUSBケーブル01 (0301HVA)(別売)
- ■ microUSBケーブル01 ネイビー(0301HBA)(別売)
- ■ microUSBケーブル01 グリーン(0301HGA)(別売)
- ■ microUSBケーブル01 ピンク(0301HPA)(別売)
- ■ microUSBケーブル01 ブルー(0301HLA)(別売)

※お使いのACアダプタによりイラストと形状が異なることがあります。

memo

◎最新の対応周辺機器につきましては、auホームページ(http://www.au.kddi.com/)にてご確認いただくか、お客さまセンターにお問い合わせください。

◎本ページの周辺機器は、auオンラインショップからご購入いただけます。
http://auonlineshop.kddi.com/

故障とお考えになる前に

故障とお考えになる前に次の内容をご確認ください。

こんなときは	ご確認ください	参照
電源が入らない	電池パックは充電されていますか？	P.38
	電池パックは正しく取り付けられていますか？	P.34
	電池パックの端子が汚れていませんか？	P.38
	⏻を長押ししていますか？	P.41
	充電ランプが黄色で点滅していませんか？	P.41
電源が勝手に切れる	電池パックは十分に充電されていますか？	P.38
電源起動時のロゴ表示中に電源が切れる	電池パックは十分に充電されていますか？	P.38
電話がかけられない	電源は入っていますか？	P.41
	au Micro IC Card (LTE)が挿入されていますか？	P.36
	電話番号が間違っていませんか？（市外局番から入力していますか？）	P.66
	電話番号入力後、「発信」をタップしていますか？	P.66
	「エリア設定」が間違っていませんか？	P.208
	「機内モード」が設定されていませんか？	P.181
電話がかかってこない	電波は十分に届いていますか？	P.53
	サービスエリア外にいませんか？	P.53
	電源は入っていますか？	P.41
	au Micro IC Card (LTE)が挿入されていますか？	P.36
	「エリア設定」が間違っていませんか？	P.208
	「着信拒否」が設定されていませんか？	P.68
	「機内モード」が設定されていませんか？	P.181
	「着信転送サービス」が設定されていませんか？	P.192
(圏外)が表示される	サービスエリア外か、電波の弱いところにいませんか？	P.53
	内蔵アンテナ付近を指などで覆っていませんか？	P.33
	「エリア設定」が間違っていませんか？	P.208
Wi-Fi®がつながらない	Wi-Fi®の電波は十分に届いていますか？	P.53
	Wi-Fi®の設定をしましたか？	P.174
	本体または電池温度が高温になっていませんか？温度によって機能を停止する場合があります。	－
	「機内モード」が設定されていませんか？	P.181
	省電力モード設定時もWi-Fi®がオフへ設定されます。	P.153
ディスプレイ／着信ランプは点灯／点滅するが着信音が鳴らない	着信音量が最小に設定されていませんか？	P.183
	マナーモードに設定されていませんか？	P.184
充電ができない	充電用機器は正しく接続されていますか？	P.39
	電池パックは正しく取り付けられていますか？	P.34
	本体または電池温度が高温または低温になっていませんか？ 温度によって充電を停止する場合があります。	P.38
	指定の周辺機器（アダプタなど）で充電をしていますか？	P.39
	パソコンにUSBドライバのインストールが必要な場合があります。USBドライバおよびインストールマニュアルについては、下記のホームページをご確認ください。 auのホームページ：http://www.au.kddi.com/seihin/ichiran/shuhenkiki/usb_cable_win/usb_driver.html	P.163
キー／タッチパネルの操作ができない	電源は入っていますか？	P.41
	「画面ロック」が設定されていませんか？	P.187
	電源を切り、もう一度電源を入れ直してください。	P.41
NFC／おサイフケータイ®が使えない	電池パックは十分に充電されていますか？	P.38
	NFC／おサイフケータイ®をロックしていませんか？	P.136
	本製品のFeliCaマークがある位置を読取機にかざしていますか？	P.135

こんなときは	ご確認ください	参照
タッチパネルで意図した通りに操作できない	タッチパネルの正しい操作方法をご確認ください。	P.44
	電源を切り、もう一度電源を入れ直してください。	P.41
が表示される	au Micro IC Card (LTE)が挿入されていますか？	P.36
充電してくださいなどと表示された	電池残量がほとんどありません。	P.38
電話が勝手に応答する	「伝言メモ」が設定されていませんか？	P.70
電池パックを利用できる時間が短い	十分に充電されていますか？ • 赤色の充電ランプが消灯するまで、充電してください。	P.38
	電池パックが寿命となっていませんか？	P.20
	(圏外)が表示される場所での使用が多くありませんか？	P.53
	使用していないアプリケーションや機能を終了･停止してください。	P.154
電話をかけたときに受話部(レシーバー)から「プーッ、プーッ、プーッ…」と音がしてつながらない	サービスエリア外か、電波の弱いところにいませんか？	P.53
	無線回線が非常に混雑しているか、相手の方が通話中ですのでおかけ直しください。	–
ディスプレイの照明がすぐに消える	「スリープ」が短く設定されていませんか？	P.185
	省電力モード設定時、バックライト消灯が「15秒」へ設定されます。	P.153
画面照明が暗い	「画面の明るさ」が暗く設定されていませんか？	P.185
	本体または電池温度が高温になっていませんか？ 温度によって画面の輝度を落とす場合があります。	–
	省電力モード設定時、画面の明るさが「暗い」へ設定されます。	P.153
相手の方の声が聞こえない／聞き取りにくい	通話音量が最小に設定されていませんか？	P.66
	受話部(レシーバー)が耳に当たるようにしてください。	P.33 P.34
イヤホンマイクのマイクが使えない	コネクタが正しく挿入されていますか？イヤホンマイク端子の奥までしっかり挿入してください。	P.219

こんなときは	ご確認ください	参照
TV(ワンセグ)が映らない／映像が止まる／音声が止まる／ノイズが出る	電池残量が少なくなっていませんか？	P.38
	地上デジタルテレビ放送の放送波は十分に届いていますか？	P.128
	TVアンテナを伸ばしていますか？	P.128
	視聴している場所が選択している地域と合っていますか？	P.133
	本体または電池温度が高温になっていませんか？ 温度によって機能を停止する場合があります。	P.128
動作が遅くなった／アプリケーションの動作が不安定になった／一部のアプリケーションを起動できない	メモリの空き容量がなくなると動作が安定しません。空き容量が少なくなったら、不要なアプリケーションを削除してメモリの空き容量を確保してください。	P.141
画面が動かなくなり、どのキーをタップしても操作できない	電源を切り、もう一度電源を入れ直してください。	P.41
電話帳の個別の設定が動作しない	相手の方から電話番号の通知はありますか？通知がない場合は、電話帳の着信設定は有効になりません。また、電話帳のグループ着信設定は有効になりません。	–
	同じ電話番号が2件以上電話帳に登録されていませんか？	P.114
Webページに画像が表示されない	Webページの画像を表示しないように設定していませんか？	P.110
PCメールを作成できない	PCメールのアカウントは追加しましたか？	P.100
メモリカードを認識しない	microSDメモリカードは正しくセットされていますか？	P.162
	microSDメモリカードのマウントが解除されていませんか？	P.163
パソコンからmicroSDメモリカードを認識できない	microSDXCメモリカードを使用する場合はMTPモードで接続してください。	P.164
カメラが動作しない	電池残量が少なくなっていませんか？	P.38
	本体または電池温度が高温になっていませんか？ 温度によって機能を停止する場合があります。	P.118

さらに詳しい内容については、以下のauホームページのauお客さまサポートでご案内しております。
http://cs.kddi.com/support/komatta/kosho/index.html

イヤホンを使用する

イヤホン(市販品)、イヤホンマイク(市販品)、ステレオイヤホンマイク(市販品)を接続して使用します。

1 本製品のイヤホンマイク端子にイヤホンを接続

◎イヤホンマイクの種類によっては使用できない場合があります。

ソフトウェアやOSを更新する

最新のソフトウェアに更新することで、最適なパフォーマンスを実現し、最新の拡張機能を入手できます。
ソフトウェアのアップデートの種別により、更新の方法が異なります。
- 本製品本体でソフトウェアをダウンロードして更新する
- 本製品本体でWi-Fi®を利用して、ソフトウェアをダウンロードして更新する
- パソコンに接続してソフトウェアを本製品に転送して更新する

■ご利用上の注意

- au Micro IC Card (LTE)が挿入されていない場合は、ソフトウェア更新はできません。
- パケット通信を利用して本製品からインターネットに接続するとき、データ通信に課金が発生します。
- ソフトウェアの更新が必要な場合は、auホームページなどでお客様にご案内させていただきます。詳細内容につきましては、auショップもしくはお客さまセンター(157/通話料無料)までお問い合わせください。また、本製品をより良い状態でご利用いただくため、ソフトウェアの更新が必要な本製品をご利用のお客様に、auからのお知らせをお送りさせていただくことがあります。
- 更新前にデータのバックアップをされることをおすすめします。
- 十分に充電してから更新してください。電池残量が少ない場合や、更新途中で電池残量が不足するとソフトウェア更新ができません。
- 電波状態をご確認ください。電波の受信状態が悪い場所では、ソフトウェア更新に失敗することがあります。
- ソフトウェア更新中は操作できません。110番(警察)、119番(消防機関)、118番(海上保安本部)へ電話をかけることもできません。また、アラームなども動作しません。
- ソフトウェア更新に失敗したときや中止されたときは、ソフトウェア更新を実行し直してください。
- ローミング中は、ご利用になれません。

- ソフトウェア更新に失敗すると、本製品が使用できなくなる場合があります。本製品が使用できなくなった場合は、auショップもしくはPiPit(一部ショップを除く)にお持ちください。

ソフトウェアやOSをダウンロードして更新する

インターネット経由で、本製品から直接更新ソフトウェアをダウンロードできます。
「メジャーアップデート開始」では、本製品のOSをダウンロードできます。

1 **アプリ一覧→[設定]→[端末情報]→[ソフトウェアアップデート]**

2 **[ソフトウェア更新開始]/[メジャーアップデート開始]**
以降は、画面の指示に従って操作してください。

◎利用可能なネットワークを自動検索するために、ご契約内容によっては通信料が発生する場合がありますのでご注意ください。
◎ソフトウェア更新/メジャーアップデート後に元のバージョンに戻すことはできません。

パソコンに接続して更新する

OSのメジャーアップデートの場合は、パソコンにインストールできる「京セラAndroid端末アップデートツール」を使用して、ソフトウェアを本製品へ転送できます。「京セラAndroid端末アップデートツール」をインストールするパソコンは、インターネットに接続されている必要があります。
本製品をパソコンと接続するには、あらかじめパソコンにUSBドライバのインストールが必要です。USBドライバおよびインストールマニュアルについては、下記のホームページをご確認ください。
● auのホームページ:
http://www.au.kddi.com/seihin/ichiran/shuhenkiki/usb_cable_win/usb_driver.html

「京セラAndroid端末アップデートツール」の詳細については下記のホームページでご案内します。
● 京セラのホームページ:
http://www.kyocera.co.jp/prdct/telecom/consumer/kyl21/

◎「京セラAndroid端末アップデートツール」はメジャーアップデートのご案内時に公開されます。

アフターサービスについて

■修理を依頼されるときは

修理については安心ケータイサポートセンターまでお問い合わせください。

保証期間中	保証書に記載されている当社無償修理規定に基づき修理いたします。
保証期間外	修理により使用できる場合はお客様のご要望により、有償修理いたします。

memo

◎メモリの内容などは、修理する際に消えてしまうことがありますので、控えておいてください。なお、メモリの内容などが変化・消失した場合の損害および逸失利益につきましては、当社では一切責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。

◎修理の際、当社の品質基準に適合した再利用部品を使用することがあります。

◎交換用携帯電話機お届けサービスにて回収した今までお使いのau電話は、再生修理した上で交換用携帯電話機として再利用します。また、auアフターサービスにて交換した機械部品は、当社にて回収しリサイクルを行います。そのため、お客様へ返却することはできません。

■補修用性能部品について

当社はこのDIGNO S本体およびその周辺機器の補修用性能部品を、製造終了後6年間保有しております。補修用性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。

■保証書について

保証書は、お買い上げの販売店で、「販売店名、お買い上げ日」などの記入をご確認の上、内容をよくお読みいただき、大切に保管してください。

■安心ケータイサポートプラスについて

au電話を長期間安心してご利用いただくために、月額会員アフターサービス制度「安心ケータイサポートプラス」をご用意しています(月額399円、税込)。故障や盗難・紛失など、あらゆるトラブルの補償を拡大するサービスです。本サービスの詳細については、auホームページをご確認いただくか、安心ケータイサポートセンターへお問い合わせください。

memo

◎ご入会は、au電話のご購入時のお申し込みに限ります。

◎ご退会された場合は、次回のau電話のご購入時まで再入会はできません。

◎機種変更・端末増設などをされた場合、最新の販売履歴のあるau電話のみが本サービスの提供対象となります。

◎au電話を譲渡・承継された場合、安心ケータイサポートプラスの加入状態は譲受者に引き継がれます。

◎機種変更時・端末増設時などにより、新しいau電話をご購入いただいた場合、以前にご利用のau電話に対する「安心ケータイサポートプラス」は自動的に退会となります。

◎サービス内容は予告なく変更する場合があります。

■au Micro IC Card (LTE)について

au Micro IC Card (LTE)は、auからお客様にお貸し出ししたものになります。紛失・破損の場合は、有償交換となりますので、ご注意ください。なお、故障と思われる場合、盗難・紛失の場合は、auショップもしくはPiPitまでお問い合わせください。

■アフターサービスについて

アフターサービスについてご不明な点がございましたら、下記の窓口へお問い合わせください。

お客さまセンター（紛失・盗難時の回線停止のお手続き、操作方法について）

一般電話からは フリーコール**0077-7-113**（通話料無料）
au電話からは　局番なしの**113**（通話料無料）

安心ケータイサポートセンター（紛失・盗難・故障について）

一般電話／au電話からは フリーコール**0120-925-919**（通話料無料）
受付時間9:00～21:00（年中無休）

■auアフターサービスの内容について

サービス内容			安心ケータイサポートプラス	
			会員	非会員
交換用携帯電話機お届けサービス	自然故障	1年目	無料	補償なし
		2年目以降	お客様負担額 1回目：5,250円 2回目：8,400円	
	部分破損、水濡れ、全損、盗難、紛失			
預かり修理	自然故障	1年目	無料	無料
		2年目以降	無料（3年保証）	実費負担
	部分破損		お客様負担額 上限5,250円	
	水濡れ、全損、紛失、盗難		補償なし	補償なし （機種変更対応）

※金額はすべて税込

memo

交換用携帯電話機お届けサービス

◎ au電話がトラブルにあわれた際、お電話いただくことでご指定の送付先に交換用携帯電話機（同一機種・同一色、新品電池含む）をお届けします。故障した今までお使いのau電話は、交換用携帯電話機がお手元に届いてから14日以内にご返却ください。
◎ 本サービスをご利用された日を起算日として、1年間に2回までご利用可能です。本サービス申し込み時において過去1年以内に本サービスのご利用がない場合は1回目、ご利用がある場合は2回目となります。
※ 詳細はauホームページでご確認ください。

預かり修理

◎ 水濡れ・全損はこの対象とはなりません。
◎ お客様の故意・改造（分解改造・部品の交換・塗装など）による損害や故障の場合は補償の対象となりません。
◎ 外装ケースの汚れや傷、塗装の剥れなどによるケース交換は割引の対象となりません。

利用できるデータの種類

本製品は、次のファイル形式の表示･再生に対応しています。

種類	ファイル形式
音	.3gp、.mp4、.m4a、.3g2、.flac、.mp3、.mid、.xmf、.mxmf、.rtttl、.rtx、.ota、.imy、.ogg、.mkv、.ts、.wav、.aac、.amr
フォト	.jpg、.png、.bmp、.gif、.webp
ムービー	.3gp、.mp4、.3g2、.ts、.webm、.mkv

◎ サイズによっては再生できない場合があります。
◎ 著作権保護が設定されているデータは、再生できない場合があります。

主な仕様

項目		仕様
ディスプレイ		約4.7インチ、約1677万色、TFT全透過型
		720×1280ドット(HD720)
質量		約157g(電池パック含む)
連続通話時間	国内	約1110分
	海外(GSM)	約730分
	海外(CDMA)	約1220分:アメリカ本土／ハワイ／中国本土 • 対象国は2012年9月時点
連続待受時間	国内	約580時間(LTEエリア)
		約720時間(3Gエリア)
	海外(GSM)	約660時間
	海外(CDMA)	約570時間:アメリカ本土／中国本土 約710時間:ハワイ • 対象国は2012年9月時点
連続テザリング時間		約560分(WAN側3G) 約450分(WAN側LTE)
サイズ(幅×高さ×厚さ)		約66×134×10.8mm(最厚部11.6mm)
保存可能容量※1		約10GB
アウトカメラ有効画素数		約808万画素
インカメラ有効画素数		約120万画素
無線LAN(Wi-Fi®)機能		IEEE802.11a／b／g／n準拠
Bluetooth®機能	対応バージョン	Bluetooth®標準規格Ver.4.0+EDR準拠※2
	出力	Bluetooth®標準規格Class 1
	通信距離※3	見通しの良い状態で10m以内

Bluetooth®機能	対応プロファイル※4	SPP(Serial Port Profile) A2DP(Advanced Audio Distribution Profile) AVRCP(Audio／Video Remote Control Profile)Ver.1.3 HSP(Headset Profile) HFP(Hands-Free Profile) OPP(Object Push Profile) PBAP(Phone Book Access Profile) HID(Human Interface Device Profile) PXP(Proximity Profile) DUN(Dial-Up Networking Profile)※5
	使用周波数帯	2.4GHz帯(2.402GHz～2.480GHz)

※1 データとアプリケーションで保存領域を共有しているため、本体内の保存可能容量はアプリケーションの使用容量により減少します。
※2 本製品およびすべてのBluetooth®機能搭載機器は、Bluetooth® SIGが定めている方法でBluetooth®標準規格に適合していることを確認しており、認証を取得しています。ただし、接続する機器の特性や仕様によっては、操作方法が異なったり、接続してもデータのやりとりができない場合があります。
※3 通信機器間の障害物や電波状態により変化します。
※4 Bluetooth®機器同士の使用目的に応じた仕様のことで、Bluetooth®標準規格で定められています。
※5 ご利用いただくには「カーナビデータ通信設定」アプリが必要です。「カーナビデータ通信設定」アプリは「auポータル」→「メニューリスト」からダウンロードしてください。一部のカーナビゲーションシステムのみに対応しています。
ご利用にあたっては、au総合カタログおよびauホームページをご参照ください。

◎ 連続通話時間・連続待受時間は、充電状態・気温などの使用環境・使用場所の電波状態・機能の設定などによって半分以下になることもあります。

携帯電話機の比吸収率(SAR)について

この機種DIGNO Sの携帯電話機は、国が定めた電波の人体吸収に関する技術基準および電波防護の国際ガイドラインに適合しています。この携帯電話機は、国が定めた電波の人体吸収に関する技術基準(※1)ならびに、これと同等な国際ガイドラインが推奨する電波防護の許容値を遵守するよう設計されています。

この国際ガイドラインは世界保健機関(WHO)と協力関係にある国際非電離放射線防護委員会(ICNIRP)が定めたものであり、その許容値は使用者の年齢や健康状況に関係なく十分な安全率を含んでいます。国の技術基準および国際ガイドラインは電波防護の許容値を人体頭部に吸収される電波の平均エネルギー量を表す比吸収率(SAR:Specific Absorption Rate)で定めており、携帯電話機に対するSARの許容値は2.0W/kgです。この携帯電話機の側頭部におけるSARの最大値は0.762W/kgです。個々の製品によってSARに多少の差異が生じることもありますが、いずれも許容値を満足しています。携帯電話機は、携帯電話基地局との通信に必要な最低限の送信電力になるよう設計されているため、実際に通話している状態では、通常SARはより小さい値となります。一般的には、基地局からの距離が近いほど、携帯電話機の出力は小さくなります。この携帯電話機は、側頭部以外の位置でも使用可能です。KDDI推奨のauキャリングケースFブラック(0105FCA)(別売)を用いて携帯電話機を身体に装着して使用することで、この携帯電話機は電波防護の国際ガイドラインを満足します(※2)。KDDI推奨のauキャリングケースFブラック(0105FCA)(別売)をご使用にならない場合には、身体から1.5cm以上の距離に携帯電話機を固定でき、金属部分の含まれていない製品をご使用ください。世界保健機関は、『携帯電話が潜在的な健康リスクをもたらすかどうかを評価するために、これまで20年以上にわたって多数の研究が行われてきました。今日まで、携帯電話使用によって生じるとされる、いかなる健康影響も確立されていません。』と表明しています。さらに詳しい情報をお知りになりたい場合には世界保健機関のホームページをご参照ください。(http://www.who.int/docstore/peh-emf/publications/facts_press/fact_

japanese.htm)SARについて、さらに詳しい情報をお知りになりたい方は、以降に記載の各ホームページをご参照ください。

○ 総務省のホームページ:
http://www.tele.soumu.go.jp/j/sys/ele/index.htm
○ 一般社団法人電波産業会のホームページ:
http://www.arib-emf.org/index02.html
○ auのホームページ:
http://www.au.kddi.com/

※1 技術基準については、電波法関連省令(無線設備規則第14条の2)で規定されています。
※2 携帯電話機本体を側頭部以外でご使用になる場合のSARの測定法については、2010年3月に国際規格(IEC62209-2)が制定されました。国の技術基準については、2011年10月に、諮問第118号に関して情報通信審議会情報通信技術分科会より一部答申されています。

索引

数字／アルファベット

あ

か

さ

た

な

は

ま

や

ら

わ

付録／索引

知的財産権について

■商標について

本書に記載している会社名、製品名は、各社の商標または登録商標です。

iWnn IME
Google、Google ロゴ、Android、Android ロゴ、Google Play、Google Play ロゴ、Play ミュージック、Playミュージックロゴ、Playムービー、Playムービーロゴ、Gmail、Gmail ロゴ、Google マップ、Google マップ ロゴ、Google トーク、Google トーク ロゴ、Google Latitude、Google Latitude ロゴ、Google マップ ナビ、Google マップ ナビ ロゴ、Google+ ローカル、Google+ ローカル ロゴ、Google 音声検索、Google 音声検索 ロゴ、YouTube および YouTube ロゴは、Google Inc. の商標または登録商標です。

Microsoft®、Windows®およびWindows®XP/Windows Vista®/Windows®7は米国Microsoft Corporationの米国およびその他の国における登録商標です。
Microsoft® Windows® の正式名称は、Microsoft® Windows® Operating Systemです。

Microsoft®、Microsoft® Excel®、Microsoft® PowerPoint®、Windows Media®、Exchange®は、米国およびその他の国における米国Microsoft Corporationの登録商標または商標です。
Microsoft® Word、Microsoft® Officeは、米国Microsoft Corporationの商品名称です。

QRコードは株式会社デンソーウェーブの登録商標です。

ロヴィ、Rovi、Gガイド、G-GUIDE、Gガイドモバイル、G-GUIDE MOBILE、およびGガイド関連ロゴは、米国Rovi Corporationおよび/またはその関連会社の日本国内における商標または登録商標です。

microSD、microSDHC、microSDXCロゴはSD-3C,LLCの商標です。

Bluetooth®ワードマークおよびロゴは、Bluetooth SIG, Inc.が所有する登録商標であり、京セラ株式会社は、これら商標を使用する許可を受けています。

AirStation™、AOSS™は株式会社バッファローの商標です。

Wi-Fi®、WPA®、Wi-Fi CERTIFIED ロゴ、Wi-Fi Protected SetupロゴはWi-Fi Allianceの登録商標です。
Wi-Fi CERTIFIED™、Wi-Fi Protected SetupはWi-Fi Allianceの商標です。

FeliCaはソニー株式会社が開発した非接触ICカードの技術方式です。
FeliCaはソニー株式会社の登録商標です。
は、フェリカネットワークス株式会社の登録商標です。
「おサイフケータイ®」は株式会社NTTドコモの登録商標です。

© 2012 NBGI

「jibe」はJibe Mobile株式会社の商標です。

Skype、関連商標およびロゴ、「S」記号はSkype Limited社の商標です。

FacebookおよびFacebookロゴはFacebook, Inc.の商標または登録商標です。

「GREE」は、日本で登録されたグリー株式会社の登録商標または商標です。

TRENDMICRO、およびウイルスバスターは、トレンドマイクロ株式会社の登録商標です。

Copyright © 2010- Three Laws of Mobility. All Rights Reserved.

本製品は株式会社セックのワンセグトータルソリューション「airCube for Android」を搭載しています。「airCube」は株式会社セックの登録商標です。

「NAVITIME」は、株式会社ナビタイムジャパンの登録商標です。

音楽認識テクノロジーおよび関連データは、Gracenote®により提供されます。
Gracenoteは、音楽認識テクノロジーおよび関連コンテンツ配信の業界標準です。
詳細については、次のWebサイトをご覧ください:www.gracenote.com
GracenoteからのCDおよび音楽関連データ:
Copyright © 2000 - present Gracenote.
Gracenote Software: Copyright 2000 - present Gracenote.
この製品およびサービスは、以下に挙げる米国特許の1つまたは複数を実践している可能性があります:
#5,987,525、#6,061,680、#6,154,773、#6,161,132、#6,230,192、#6,230,207、#6,240,459、#6,330,593、およびその他の取得済みまたは申請中の特許。

一部のサービスは、ライセンスの下、米国特許(#6,304,523)用にOpen Globe,Inc.から提供されました。
GracenoteおよびCDDBはGracenoteの登録商標です。
Gracenoteのロゴとロゴタイプ、および「Powered by Gracenote」ロゴはGracenoteの商標です。
Gracenoteサービスの使用については、次のWebページをご覧ください：
www.gracenote.com/corporate

文字変換は、オムロンソフトウェア株式会社のiWnnIMEを使用しています。
iWnn IME©OMRON SOFTWARE Co., Ltd. 2009-2012 All Rights Reserved.

THIS PRODUCT IS LICENSED UNDER THE MPEG-4 VISUAL PATENT PORTFOLIO LICENSE FOR THE PERSONAL AND NON-COMMERCIAL USE OF A CONSUMER FOR (i) ENCODING VIDEO IN COMPLIANCE WITH THE MPEG-4 VISUAL STANDARD ("MPEG-4 VIDEO") AND/OR (ii) DECODING MPEG-4 VIDEO THAT WAS ENCODED BY A CONSUMER ENGAGED IN A PERSONAL AND NONCOMMERCIAL ACTIVITY AND/OR WAS OBTAINED FROM A VIDEO PROVIDER LICENSED BY MPEG LA TO PROVIDE MPEG-4 VIDEO. NO LICENSE IS GRANTED OR SHALL BE IMPLIED FOR ANY OTHER USE. ADDITIONAL INFORMATION INCLUDING THAT RELATING TO PROMOTIONAL, INTERNAL AND COMMERCIAL USES AND LICENSING MAY BE OBTAINED FROM MPEG LA, LLC. SEE HTTP://WWW.MPEGLA.COM.

（1）ACCESS、ACCESSロゴ、NetFrontは、株式会社ACCESSの日本国、米国その他の国・地域における商標または登録商標です。
（2）本製品の一部分に、Independent JPEG Groupが開発したモジュールが含まれています。

「すぐ文字」「DIGNO」は京セラ株式会社の登録商標です。

絵文字ソリューションパッケージ © OMRON SOFTWARE Co., Ltd. 2011 All Rights Reserved.

枠なし手書き文字認識は、株式会社東芝のLaLaStrokeを使用しています。
LaLaStrokeは株式会社東芝の商標です。

書体切り替えには、株式会社リムコーポレーションの「もじチェン」を使用しています。「もじチェン」は株式会社リムコーポレーションの登録商標です。
本製品には、株式会社リムコーポレーションの書体を搭載しています。
本製品には、株式会社モリサワの書体を搭載しています。

MHLのロゴ、MHLおよびMobile High-Definition LinkはMHL,LLCの商標です。

Copyright© 2012 DigiOn, Inc. All rights reserved.
デジオン、DigiOn、DiXiMは、株式会社デジオンの登録商標です。

DLNA®、DLNAロゴおよびDLNA CERTIFIED™は、Digital Living Network Allianceの商標です。
DLNA®, the DLNA Logo and DLNA CERTIFIED™ are trademarks, service marks, or certification marks of the Digital Living Network Alliance.
本機のDLNA認証は京セラ株式会社が取得しました。

本製品には、絵文字画像として株式会社NTTドコモから利用許諾を受けた絵文字が含まれています。

本製品には赤外線通信機能としてイーグローバレッジ株式会社のDeepCore® 3.0Plus for Androidを搭載しています。Copyright© 2012 E-Globaledge Corp. All Rights Reserved.

静止画手ブレ補正機能には株式会社モルフォの「PhotoSolid」を採用しております。「PhotoSolid」は株式会社モルフォの登録商標です。
動画手ブレ補正機能には株式会社モルフォの「MovieSolid」を採用しております。「MovieSolid」は株式会社モルフォの登録商標です。
被写体自動追尾技術には株式会社モルフォの「TrackSolid」を採用しております。「TrackSolid」は株式会社モルフォの登録商標です。
パノラマ画像生成技術には株式会社モルフォの「QuickPanorama」を採用しております。「QuickPanorama」は株式会社モルフォの登録商標です。
画像エフェクト技術には株式会社モルフォの「Morpho Effect Library」を採用しております。「Morpho Effect Library」は株式会社モルフォの商標です。
HDR(High Dynamic Range)技術にはMorpho HDRを採用しています。Morpho HDRは株式会社モルフォの商標です。

その他社名および商品名は、それぞれ各社の登録商標または商標です。

このマニュアルで説明されている携帯電話にインストールされているソフトウェアについては、お客様に使用権が許諾されています。本ソフトウェアのご使用に際しては、以下の点に注意ください。
(a) ソフトウェアのソースコードの全部または一部について、複製、頒布、改変、解析、リバースエンジニアリングまたは導出をおこなってはなりません。
(b) 法律や規則に違反して、ソフトウェアの全部または一部を輸出してはなりません。
(c) ソフトウェアの商品性、特定目的への適合性、第三者知的財産権の不侵害などの黙示の保証を行うものではありません。
ただし、ソフトウェアに含まれている、GNU General Public License(GPL)、GNU Library/Lesser General Public License(LGPL)およびその他のオープンソースソフトウェアのライセンスに基づくソフトウェアならびに京セラ株式会社が許諾を受けたソフトウェアのご使用に際しては、当該ソフトウェアのライセンス条件が優先して適用されます。
なお、オープンソースソフトウェアについては、以下に明示しております「オープンソースソフトウェアについて」をご確認ください。

■オープンソースソフトウェアについて

本製品は、GNU General Public License (GPL)、GNU Library/Lesser General Public License (LGPL)またはその他のオープンソースソフトウェアライセンス及び／またはその他の著作権ライセンス、免責条項、ライセンス通知の適用を受ける第三者のソフトウェアを含みます。GPL、LGPL及びその他のライセンス、免責条項及びライセンス通知の具体的な条件については、本製品の「端末情報」から参照いただけます。詳細については当社ホームページをご覧ください。

本製品には、京セラ株式会社が著作権を有するソフトウェア及び京セラが許諾を受けたソフトウェアが含まれています。

本製品に含まれる、京セラ株式会社がオープンソースソフトウェアの規格やライセンスに準拠し設計、開発したソフトウェアの著作権は京セラ株式会社又は第三者が有しており、著作権法上認められた使用法及び当社が別途認めた使用法を除き、お客様は当社に無断で頒布、複製、改変、公衆送信等の使用を行うことはできません。

■輸出管理規制

本製品および付属品は、日本輸出管理規制(「外国為替及び外国貿易法」およびその関連法令)の適用を受ける場合があります。

また米国政府機関が定める米国輸出規制(Export Administration Regulations、およびその他の関連法令)、その他の国の法令等の適用を受ける場合があります。本製品および付属品を直接的、または間接的とを問わず輸出および再輸出する場合は、お客様の責任および費用負担において必要となる手続きをお取りください。詳しい手続きについては経済産業省または米国商務省、その他関係機関へお問い合わせください。

Gracenote®エンドユーザー使用許諾契約書

本ソフトウエア製品または本電器製品には、カリフォルニア州エメリービル市のGracenote, Inc.(以下「Gracenote」とする)から提供されているソフトウェアが含まれています。本ソフトウエア製品または本電器製品は、Gracenote社のソフトウェア(以下「Gracenoteソフトウェア」とする)を利用し、音楽CDや楽曲ファイルを識別し、アーティスト名、トラック名、タイトル情報(以下「Gracenoteデータ」とする)などの音楽関連情報をオンラインサーバー或いは製品に実装されたデータベース(以下、総称して「Gracenoteサーバー」とする)から取得するとともに、取得されたGracenoteデータを利用し、他の機能も実現しています。お客様は、本ソフトウエア製品または本電器製品の使用用途以外に、つまり、エンドユーザー向けの本来の機能の目的以外にGracenoteデータを使用することはできません。

お客様は、Gracenoteデータ、Gracenoteソフトウェア、およびGracenoteサーバーを非営利的かつ個人的目的にのみに使用することについて、同意するものとします。お客様は、いかなる第三者に対しても、Gracenote ソフトウェアやGracenoteデータを、譲渡、コピー、転送、または送信しないことに同意するものとします。**お客様は、ここに明示的に許諾されていること以外の目的に、Gracenoteデータ、Gracenoteソフトウェア、またはGracenoteサーバーを使用または活用しないことに同意するものとします。**

お客様は、お客様がこれらの制限に違反した場合、Gracenoteデータ、Gracenoteソフトウェア、およびGracenoteサーバーを使用するための非独占的な使用許諾契約が解除されることに同意するものとします。また、お客様の使用許諾契約が解除された場合、お客様はGracenoteデータ、Gracenoteソフトウェア、およびGracenoteサーバー全ての使用を中止することに同意するものとします。Gracenoteは、Gracenoteデータ、Gracenoteソフトウェア、およびGracenoteサーバーの全ての所有権を含む、全ての権利を保有します。いかなる場合においても、Gracenoteは、お客様が提供する任意の情報に関して、いかなる支払い義務もお客様に対して負うことはないものとします。お客様は、Gracenote, Inc.が本契約上の権利をGracenoteとして直接的にお客様に対し、行使できることに同意するものとします。

Gracenoteのサービスは、統計的処理を行うために、クエリ調査用の固有の識別子を使用しています。無作為に割り当てられた数字による識別子を使用することにより、Gracenoteサービスを利用しているお客様を認識しながらも、特定することなしにクエリを数えられるようにしています。詳細については、Webページ上の、GracenoteのサービスにするGracenoteプライバシーポリシーを参照してください。

Gracenoteソフトウェアとgracenoteデータの個々の情報は、お客様に対して「現状有姿」のままで提供され、使用が許諾されるものとします。Gracenoteは、Gracenoteサーバーにおける全てのGracenoteデータの正確性に関して、明示的または黙示的を問わず、一切の表明や保証をしていません。Gracenoteは、妥当な理由があると判断した場合、Gracenoteサーバーからデータを削除したり、データのカテゴリを変更したりする権利を保有するものとします。Gracenoteソフトウェアまたは Gracenote サーバーにエラー、障害のないことや、或いはGracenoteソフトウェアまたはGracenoteサーバーの機能に中断が生じないことの保証は致しません。Gracenoteは、将来Gracenoteが提供する可能性のある、新しく拡張や追加されるデータタイプまたはカテゴリを、お客様に提供する義務を負わないものとします。また、Gracenoteは、任意の時点でサービスを中止できるものとします。

- **Gracenoteは、黙示的な商品適合性保証、特定目的に対する商品適合性保証、権利所有権、および非侵害性についての責任を負わないものとし、これに限らず、明示的または黙示的ないかなる保証もしないものとします。Gracenoteは、お客様によるGracenoteソフトウェアまたは任意のGracenoteサーバーの利用により、得る結果について保証しないものとします。いかなる場合においても、Gracenoteは結果的損害または偶発的損害、或いは利益の損失または収入の損失に対して、一切の責任を負わないものとします。**

おサイフケータイ®対応サービス ご利用上の注意

■ご利用上の注意
お客さまがおサイフケータイ®対応サービスをご利用するにあたっては、以下の事項を承諾していただきます。

1. おサイフケータイ®対応サービスについて
   1. おサイフケータイ®対応サービスとは、おサイフケータイ®に搭載されたFeliCaチップを利用したサービスです。
   2. おサイフケータイ®対応サービスは、おサイフケータイ®対応サービス提供者(以下、SPといいます)が提供します。各SPの提供するおサイフケータイ®対応サービスをご利用になる場合には、お客さまは当該SPとの間で利用契約を締結する必要があります。おサイフケータイ®対応サービスの内容、提供条件等については、各SPにご確認、お問い合わせください。
   3. おサイフケータイ®対応サービスの内容、提供条件等について、当社は一切保証しかねますのであらかじめご了承ください。
2. FeliCaチップ内のデータの取扱い等について
   1. お客さまがおサイフケータイ®対応サービスをご利用するにあたり、お客さまのおサイフケータイ®のFeliCaチップへのデータの書き込み及び書き換え並びにこれらに関する記録の作成、管理等は、SPが行います。
   2. FeliCaチップ内のデータの使用及びその管理については、お客さま自身の責任で行ってください。
   3. おサイフケータイ®の故障等により、FeliCaチップ内のデータの消失、毀損等が生じることがあります。かかるデータの消失、毀損等の結果お客さまに損害が生じた場合であっても、当社は責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。
   4. 当社は、FeliCaチップ内にデータが書き込まれたままの状態でおサイフケータイ®の修理を行いません。お客さまは、当社におサイフケータイ®の修理をお申し付けになる場合は、あらかじめFeliCaチップ内のデータを消去した上でおサイフケータイ®をauショップもしくはPiPitにお渡しいただくか、当社がFeliCaチップ内のデータを消去することに承諾していただく必要があります。かかるデータの消去の結果お客さまに損害が生じた場合であっても、当社は責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。
   5. SPがお客さまに提供するFeliCaチップ内のデータのバックアップ、移し替え等の措置(以下、SPバックアップ等といいます)については、SPの定めるおサイフケータイ®対応サービスの提供条件によります。おサイフケータイ®対応サービスのご利用開始前に必ず、当該おサイフケータイ®対応サービスを提供するSPに対し、SPバックアップ等の有無及び内容等についてご確認ください。SPバックアップ等のないサービスを選択したこと、SPバックアップ等を利用しなかったこと、又はSPバックアップ等が正常に機能しなかったこと等によりFeliCaチップ内のデータのバックアップ等が行われなかった場合であっても、それにより生じた損害、SPバックアップ等のご利用料金にかかる損害、その他FeliCaチップ内のデータの消失、毀損等、又は第三者の不正利用により生じた損害等、おサイフケータイ®対応サービスに関して生じた損害について、また、SPバックアップ等を受けるまでにおサイフケータイ®対応サービスをご利用できない期間が生じたことにより損害が生じたとしても、当社は責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。
   6. 当社は、いかなる場合もFeliCaチップ内のデータの再発行や復元、一時的なお預かり、他のFeliCaチップへの移し替え等を行うことはできません。
3. FeliCaチップの固有の番号等の通知について
   1. おサイフケータイ®対応サービスによっては、お客さまのおサイフケータイ®に搭載されたFeliCaチップを特定するために、当該FeliCaチップ固有の番号が、おサイフケータイ®対応サービスを提供する当該SPに送信される場合があります。
   2. 当社は、SPがおサイフケータイ®対応サービスを提供するために必要な範囲で、お客さまのおサイフケータイ®に搭載されたFeliCaチップ固有の番号と、FeliCaチップ内のデータが消去されているか否か、及び当該FeliCaチップの廃棄処理情報について、当該SPに通知する場合があります。
   3. auショップもしくはPiPitは、SPバックアップ等の各種手続きにおいて、お客様の電話番号等をSPに通知し、お客さまのFeliCaチップ内のデータについて当該SPに問い合わせる場合があります。
4. 不正利用について
   1. お客さまのおサイフケータイ®の紛失・盗難等により、FeliCaチップ内のデータを不正に利用されてしまう可能性があるため、十分ご注意ください。FeliCaチップ内のデータが不正利用されたことによるお客さまの損害について、当社は責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。
   2. 万一のおサイフケータイ®の紛失・盗難等に備え、ご利用前にセキュリティ機能を設定されることを推奨します。おサイフケータイ®の機種によってセキュリティのご利用方法が異なるため、詳細は取扱説明書やauホームページ等をご確認ください。但し、セキュリティ機能をご利用いただいた場合でも、FeliCaチップ内のデータの不正利用等を完全に防止できるとは限りませんのであらかじめご了承ください。
   3. おサイフケータイ®対応サービスによっては、SPによりサービスを停止できる場合があります。紛失・盗難等があった場合の対応方法については、各SPにお問い合わせください。
   4. 機種変更や廃棄等によりおサイフケータイ®のご利用を中止される場合には、不正に利用されることを防ぐため、必ずFeliCaチップ内のデータを全て削除してください。なお、かかるデータの削除の結果お客さまに損害が生じた場合

であっても、当社は責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。

5. その他

1. おサイフケータイ®対応サービスにおいて通信機能をご利用の場合は、お客さまのau通信サービスのご契約内容によっては、データ量に応じた通信料が発生することがあります。なお、読み取り機におサイフケータイ®をかざしておサイフケータイ®対応サービスを利用される際には通信料は発生しません。
2. おサイフケータイ®対応サービスのご利用開始後におサイフケータイ®の契約名義又は電話番号の変更があった場合等、当該おサイフケータイ®対応サービスのご利用及びお客さまご自身でのFeliCaチップ内のデータの削除ができなくなることがあります。
なお、当該おサイフケータイ®対応サービスのFeliCaチップ内のデータを削除する場合は、あらかじめ当社又は当社代理店により当該おサイフケータイ®に搭載されたFeliCaチップ内の全てのデータを消去する必要がありますのでご了承ください。

NFCサービスご利用上の注意

■NFCについて

1. NFCとは、Near Field Communicationの略で、ISO（国際標準化機構）で規定された国際標準の近接型無線通信方式です。主に、非接触ICカード機能、リーダー／ライター機能、機器間通信機能などがあります。
2. NFCを使っての各サービスご利用にあたっては、NFC機能をサポートしているau電話並びにau電話に挿入されたau Micro IC Card (LTE)へ、サービスのご利用に必要となるデータ（以下、NFCデータといいます）を書き込みする場合があります。
3. NFC機能を使った各サービスは、サービスプロバイダー（以下、SPといいます）が提供します。各SPの提供する対応サービス（以下、NFCサービスといいます）をご利用になる場合には、お客さまは当該SPとの間で利用契約を締結する必要があります。NFCサービスの内容、提供条件等については、各SPにご確認、お問い合わせください。
4. SPが提供するNFCサービスの内容、提供条件等について、当社は一切保証しかねますのであらかじめご了承ください。

■NFCデータの取り扱い等について

1. お客さまがNFCサービスをご利用するにあたり、お客さまのau電話に挿入されたau Micro IC Card (LTE)へのNFCデータの書き込み、書き換え並びにこれらに関する記録の作成、管理等は、SPが行います。
2. au電話並びにau Micro IC Card (LTE)内のNFCデータの使用及びその管理については、お客さま自身の責任で行ってください。
3. au電話本体並びにau Micro IC Card (LTE)の故障等により、NFCデータの消失、毀損等が生じることがあります。かかるデータの消失、毀損等の結果お客さまに損害が生じた場合であっても、当社は責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。
4. SPがお客さまに提供するNFCデータのバックアップ、移し替え等の措置（以下、SPバックアップ等といいます）については、SPの定めるサービスの提供条件によります。NFCサービスのご利用開始前に必ず、当該NFCサービスを提供するSPに対し、SPバックアップ等の有無及び内容等についてご確認ください。SPバックアップ等のないサービスを選択したこと、SPバックアップ等を利用しなかったこと、又はSPバックアップ等が正常に機能しなかったこと等によりNFCデータのバックアップ等が行われなかった場合であっても、それにより生じた損害、SPバックアップ等のご利用料金にかかる損害、その他NFCデータの消失、毀損等、又は第三者の不正利用により生じた損害等、NFCサービスに関して生じた損害について、また、SPバックアップ等を受けるまでにNFCサービスをご利用できない期間が生じたことにより損害が生じたとしても、当社は責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。
5. 当社は、いかなる場合もNFCデータの再発行や復元、一時的なお預かり、他への移し替え等を行うことはできません。

■au電話並びにau Micro IC Card (LTE)固有の番号等の通知について

1. NFCサービスによっては、お客さまのau電話及びau Micro IC Card (LTE)を特定するために、当該のau電話並びにau Micro IC Card (LTE)の固有番号が、当該SPに送信される場合があります。
2. 当社は、SPがNFCサービスを提供するために必要な範囲で、お客さまのau電話並びにau Micro IC Card (LTE)固有の番号と、NFCデータが消去されているか否か、及びau電話並びにau Micro IC Card (LTE)の解約処理情報について、当該SPに通知する場合があります。

■不正利用について

1. お客さまのau電話並びにau Micro IC Card (LTE)の紛失･盗難等により、NFCデータを不正に利用されてしまう可能性があるため、十分ご注意ください。NFCデータが不正利用されたことによるお客さまの損害について、当社は責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。
2. 万一、au電話並びにau Micro IC Card (LTE)の紛失･盗難等があった場合であっても、当社ではNFC機能を停止させることはできません。紛失･盗難等があった場合の対応方法については、各SPにお問い合わせください。

■その他

1. NFCサービスにおいて通信機能をご利用の場合は、お客さまのau通信サービスのご契約内容によっては、データ量に応じた通信料が発生することがあります。なお、読み取り機、NFCタグ、他のau電話にau電話をかざしてNFCサービスを利用される際には通信料は発生しません。
2. NFCサービスのご利用開始後に契約名義又は電話番号の変更があった場合、

NFCサービスのご利用及びお客さまご自身でのNFCデータの削除ができなくなることがあります。なお、当該NFCサービスのデータを削除する場合は、あらかじめ当社又は当社代理店によりau Micro IC Card (LTE)内の全てのNFCデータを消去する必要がありますのでご了承ください。
3. 電池パックを外した場合は、NFCサービスをご利用いただけません。
4. 電池残量がなくなった場合、NFCサービスがご利用いただけない場合があります。
5. 機内モード設定中は、NFCサービスがご利用いただけない場合があります。

au Wi-Fi SPOT利用規約

『au Wi-Fi SPOT』のご利用にあたっては、以下の利用契約の内容を承諾の上、ご利用ください。

株式会社ワイヤ･アンド･ワイヤレス(以下「当社」といいます。)は、この利用規約(以下「本規約」といいます。)に従って、KDDI株式会社、沖縄セルラー電話株式会社又はKDDI･沖縄セルラーの通信設備などを使用して通信サービスを提供する通信事業者(以下「KDDI等」といいます。)の通信サービスの契約者(以下の(3)項に定める条件を満たす契約者に限ります。以下「提供対象者」といいます。)に対して、『au Wi-Fi SPOT 』(以下「本サービス」といいます)を提供します。お客さまは、ご利用開始後、本規約を遵守する義務を負うものとします。

(1) 当社は、本サービスの提供にあたり、本規約のほか、別に定める「公衆無線ＬＡＮサービス契約約款」及び「利用規約」の適用を受けます。本規約の規定と「公衆無線ＬＡＮサービス契約約款」及び「利用規約」の規定が抵触する場合は、本規約の規定が優先して適用されます。
また、KDDI等が本サービスに関して制定するご利用条件等は本規約の一部を構成し、本サービスを利用するもの(以下「お客さま」といいます。)はこれを遵守する義務を負います。当社及びKDDI等は、当該規定及びご利用条件等を本サービス用のWeb等への掲載、又はその他の合理的な方法により告知します。

(2) 当社は、本サービス及び本規約を予告なく改訂、追加、変更又は廃止することができるものとします。

(3) 本サービスの提供対象者は、KDDI等の本サービス用のWeb等で掲載します。

(4) 本サービスの提供は(3)項で指定する条件が満たされなくなった場合、自動的に終了するものとします。また、お客さまが本規約に違反した場合、お客さまに対する本サービスの提供を停止し又は終了することができるものとします。

(5) 本サービスは、KDDI等が本サービス用に提供するアプリケーションを搭載したWi-Fi搭載機器で利用できます。
お客さまは、自己の責任と負担において、本サービスを利用するために必要なWi-Fi搭載機器を保持管理するものとします。

(6) 国際ローミングサービスの取扱いは次によります。
①お客さまは、国際ローミングサービスの利用にあたり、関連する法令、提携事業者が定める約款等を遵守するものとします。なお、日本国外における国際ローミングサービスの利用に関しては、当社約款および本規約の定めにかかわらず、関係国の法令または提携事業者その他の電気通信事業者等が定める約款等により、その利用が制限等されることがあります。
②お客さまは、自己の責任に基づき国際ローミングサービスを利用するものとし、国際ローミングサービスの利用結果等について、全責任を負うものとします。
③当社は、国際ローミングサービスについて、その正確性、完全性、有用性等に関し、何らの保証責任および瑕疵担保責任を負わないものとします。
④お客さまは、国際ローミングサービスの利用に伴って、第三者から問合せ、クレームもしくは損害賠償その他の権利の侵害等 (知的財産権その他の権利の侵害等をいう。)の紛争等の請求を受け、または第三者に対して問合せ、クレームもしくは損害賠償等の請求を行う場合は、自己の責任と費用をもって処理解決するものとし、当社は、一切の責任を負わないものとします。
⑤お客さまは、本規約への違反その他自らの責に帰すべき事由により、当社または第三者に対して損害を与えた場合、その損害を賠償するものとします。

(7) 国際ローミングサービスの利用可能エリアと通信料金等は、次によります。
1)利用可能エリア(国、地域等)はWeb等に掲載します。

2）通信料金は、別に定める「公衆無線LANサービス契約約款」にて規定した料金が適用されます。なお、国際ローミングサービスの通信料金は渡航先の通信事業者及び当社の機器によりログイン時刻とログアウト時刻までを測定し、そのデータに基づき算定します。利用終了時にはWi-Fi接続中にアプリよりログアウト操作をしてください。ログアウト操作しない場合は渡航先の通信事業者が一定時間経過後にログアウト処理を行うまで課金される可能性があります。

3）国際ローミングサービスの通信料金は、KDDI等から請求します。

(8)　本サービスに関する著作権等を含む一切の権利は、当社又は第三者に帰属します。お客さまは本サービスに関する当社及び第三者の権利を侵害したり又はそのおそれがあるような行為を一切行ってはならないものとします。

(9)　お客さまは、本規約に係るいかなる権利又は義務も第三者に移転又は譲渡することはできません。

(10)本サービスの利用にあたり、当社がKDDI等からお客さまの氏名・契約電話番号及び契約の料金プランの情報等の開示を受けることを承諾していただきます。

(11)当社が提供するサービスを通じて取得した個人情報は、次の目的の為に利用させていただきます。

- サービスの紹介、提案、および申込受付のため
- サービスの申込に基づくご本人さまの確認等のため
- サービスや契約の期日管理等、継続的なお取引における管理のため
- サービスの提供に関する妥当性の判断のため
- 他の事業者等から個人情報の処理の全部または一部について委託された場合等において、委託された当該業務を適切に遂行するため
- お客さまとの契約や法律等に基づく権利の行使や義務の履行のため
- 市場調査やデータ分析等によるサービスの向上や開発のため
- ダイレクトメールの発送等、サービスに関する各種ご提案やご案内のため
- サービスの終了後の管理のため
- その他お客さまとのお取引を適切かつ円滑に履行するため

(12)本サービス又は本規約に関してお客さまとの間で疑義又は争いが生じた場合には、誠意をもって協議することとしますが、それでもなお解決しない場合には「東京地方裁判所」又は「東京簡易裁判所」を専属の管轄裁判所とします。

附則 本規約は、2011年6月30日から実施します。

附則 本改訂規約は、2012年3月1日から実施します。

附則 本改訂規約は、2012年7月20日から実施します。

OpenSSL License

【OpenSSL License】

Copyright © 1998-2007 The OpenSSL Project. All rights reserved.

This product includes software developed by the OpenSSL Project for use in the OpenSSL Toolkit. (http://www.openssl.org/)

THIS SOFTWARE IS PROVIDED BY THE OpenSSL PROJECT "AS IS" AND ANY EXPRESSED OR IMPLIED WARRANTIES, INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, THE IMPLIED WARRANTIES OF MERCHANTABILITY AND FITNESS FOR A PARTICULAR PURPOSE ARE DISCLAIMED. IN NO EVENT SHALL THE OpenSSL PROJECT OR ITS CONTRIBUTORS BE LIABLE FOR ANY DIRECT, INDIRECT, INCIDENTAL, SPECIAL, EXEMPLARY, OR CONSEQUENTIAL DAMAGES (INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, PROCUREMENT OF SUBSTITUTE GOODS OR SERVICES; LOSS OF USE, DATA, OR PROFITS; OR BUSINESS INTERRUPTION) HOWEVER CAUSED AND ON ANY THEORY OF LIABILITY, WHETHER IN CONTRACT, STRICT LIABILITY, OR TORT (INCLUDING NEGLIGENCE OR OTHERWISE) ARISING IN ANY WAY OUT OF THE USE OF THIS SOFTWARE, EVEN IF ADVISED OF THE POSSIBILITY OF SUCH DAMAGE.

【Original SSLeay License】

Copyright © 1995-1998 Eric Young (eay@cryptsoft.com) All rights reserved.

This product includes cryptographic software written by Eric Young (eay@cryptsoft.com)

THIS SOFTWARE IS PROVIDED BY ERIC YOUNG "AS IS" AND ANY EXPRESS OR IMPLIED WARRANTIES, INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, THE IMPLIED WARRANTIES OF MERCHANTABILITY AND FITNESS FOR A PARTICULAR PURPOSE ARE DISCLAIMED. IN NO EVENT SHALL THE AUTHOR OR CONTRIBUTORS BE LIABLE FOR ANY DIRECT, INDIRECT, INCIDENTAL, SPECIAL, EXEMPLARY, OR CONSEQUENTIAL DAMAGES (INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, PROCUREMENT OF SUBSTITUTE GOODS OR SERVICES; LOSS OF USE, DATA, OR PROFITS; OR BUSINESS INTERRUPTION)
HOWEVER CAUSED AND ON ANY THEORY OF LIABILITY, WHETHER IN CONTRACT, STRICT LIABILITY, OR TORT (INCLUDING NEGLIGENCE OR OTHERWISE) ARISING IN ANY WAY OUT OF THE USE OF THIS SOFTWARE, EVEN IF ADVISED OF THE POSSIBILITY OF SUCH DAMAGE.

FCC Notice

This device complies with part 15 of the FCC Rules. Operation is subject to the following two conditions: (1) This device may not cause harmful interference, and (2) this device must accept any interference received, including interference that may cause undesired operation.

Note:
This equipment has been tested and found to comply with the limits for a Class B digital device, pursuant to part 15 of the FCC Rules. These limits are designed to provide reasonable protection against harmful interference in a residential installation. This equipment generates, uses, and can radiate radio frequency energy and, if not installed and used in accordance with the instructions, may cause harmful interference to radio communications.
However, there is no guarantee that interference will not occur in a particular installation. If this equipment does cause harmful interference to radio or television reception, which can be determined by turning the equipment off and on, the user is encouraged to try to correct the interference by one or more of the following measures:

- Reorient or relocate the receiving antenna.
- Increase the separation between the equipment and receiver.
- Connect the equipment into an outlet on circuit different from that to which the receiver is connected.
- Consult the dealer or an experienced radio/TV technician for help and for additional suggestions.

Warning
The user is cautioned that changes or modifications not expressly approved by the manufacturer could void the user's authority to operate the equipment.

FCC RF EXPOSURE INFORMATION
Warning! Read this information before using your phone.

Warning! Read this information before using your phone. In August 1996, the Federal Communications Commission (FCC) of the United States, with its action in Report and Order FCC 96-326, adopted an updated safety standard for human exposure to radio frequency electromagnetic energy emitted by FCC regulated transmitters. Those guidelines are consistent with

the safety standard previously set by both U.S. and international standards bodies. The design of this phone complies with the FCC guidelines and these international standards.

Body-worn Operation

This device was tested for typical body-worn operations with the back of the phone kept 0.39 inches (1.0 cm) from the body. To comply with FCC RF exposure requirements, a minimum separation distance of 0.39 inches (1.0 cm) must be maintained between the user's body and the back of the phone, including the antenna. All beltclips, holsters and similar accessories used by this device must not contain any metallic components. Body-worn accessories that do not meet these requirements may not comply with FCC RF exposure limits and should be avoided.

Turn off your phone before flying

You should turn off your phone when boarding any aircraft. To prevent possible interference with aircraft systems, U.S. Federal Aviation Administration (FAA) regulations require you to have permission from a crew member to use your phone while the plane is on the ground. To prevent any risk of interference, FCC regulations prohibit using your phone while the plane is in the air.

European RF Exposure Information

Your mobile device is both a radio transmitter and receiver, and is designed not to exceed limits for exposure to radio waves recommended by international guidelines. These guidelines were produced by independent scientific organization, ICNIRP, and include safety margins designed to protect all persons, regardless of age and condition of health.
The guidelines apply a unit of measurement known as the Specific Absorption Rate (SAR). The SAR limit for mobile devices is 2W/kg, and the highest SAR value for this device was 0.640 W/kg*.
As testing measures SAR at the highest transmitting power of a device, actual SAR tends to be lower during ordinary operation. Lower SAR levels are typical during ordinary operation as automatic changes are made within the device to ensure the network can be reached with minimal power.
The World Health Organization (WHO) has stated that present scientific information does not indicate the need for any special precautions to be adopted when using mobile devices. WHO also notes that those wishing to reduce exposure may do so by limiting call length and by using a ‘hands-free’ device to distance the phone from the head and body. For further information, please see the WHO website: http://www.who.int/emf.
* Note that tests are also carried out in accordance with international testing guidelines.

Declaration of Conformity for KYL21

The product ‘KYL21’ is declared to conform with the essential requirements of European Union Directive 1999/5/EC Radio and Telecommunications Terminal Equipment Directive 3.1 (a), 3.1 (b) and 3.2. The Declaration of Conformity can be found on http://www.kyocera.co.jp/prdct/telecom/consumer/ (Japanese only).

-Note-
Below frequency bands are restricted for indoor use only.
5150 - 5250MHz(802.11a/n) in US
5150 - 5350MHz(802.11a/n) in EU

文字入力の詳細情報

■記号一覧

入力できる記号（半角）一覧

（スペース）	!	"	#	$	%
&	'	(	)	*	+
,	-	.	/	:	;
<	=	>	?	@	[
\	]	^	_	`	{
		}	~			

※ 入力できる記号は実際の表示と多少異なります。

入力できる記号（全角）一覧

（スペース）	、	。	，	．	・
：	；	？	！	゛	゜
´	｀	¨	＾	￣	＿
ヽ	ヾ	ゝ	ゞ	〃	仝
々	〆	〇	ー	―	‐
／	＼	～	∥	｜	…
‥	‘	’	“	”	（
）	〔	〕	［	］	｛
｝	〈	〉	《	》	「
」	『	』	【	】	＋
－	±	×	÷	＝	≠
＜	＞	≦	≧	∞	∴

♂	♀	°	′	″	℃
￥	＄	￠	￡	％	＃
＆	＊	＠	§	☆	★
○	●	◎	◇	◆	□
■	△	▲	▽	▼	※
〒	→	←	↑	↓	〓
∈	∋	⊆	⊇	⊂	⊃
∪	∩	∧	∨	￢	⇒
⇔	∀	∃	∠	⊥	⌒
∂	∇	≡	≒	≪	≫
√	∽	∝	∵	∫	∬
Å	‰	♯	♭	♪	†

‡	¶	◯	ゎ	ゐ	ゑ
ヮ	ヰ	ヱ	ヴ	ヵ	ヶ
Α	Β	Γ	Δ	Ε	Ζ
Η	Θ	Ι	Κ	Λ	Μ
Ν	Ξ	Ο	Π	Ρ	Σ
Τ	Υ	Φ	Χ	Ψ	Ω
α	β	γ	δ	ε	ζ
η	θ	ι	κ	λ	μ
ν	ξ	ο	π	ρ	σ
τ	υ	φ	χ	ψ	ω
А	Б	В	Г	Д	Е
Ё	Ж	З	И	Й	К
Л	М	Н	О	П	Р
С	Т	У	Ф	Х	Ц
Ч	Ш	Щ	Ъ	Ы	Ь
Э	Ю	Я	а	б	в
г	д	е	ё	ж	з
и	й	к	л	м	н
о	п	р	с	т	у
ф	х	ц	ч	ш	щ

ъ	ы	ь	э	ю	я
─	│	┌	┐	┘	└
├	┬	┤	┴	┼	━
┃	┏	┓	┛	┗	┣
┳	┫	┻	╋	┠	┯
┨	┷	┿	┝	┰	┥
┸	╂	①	②	③	④
⑤	⑥	⑦	⑧	⑨	⑩
⑪	⑫	⑬	⑭	⑮	⑯
⑰	⑱	⑲	⑳	Ⅰ	Ⅱ
Ⅲ	Ⅳ	Ⅴ	Ⅵ	Ⅶ	Ⅷ
Ⅸ	Ⅹ	㍉	㌔	㌢	㍍
㌘	㌧	㌃	㌶	㍑	㍗
㌍	㌦	㌣	㌫	㍊	㌻
㎜	㎝	㎞	㎎	㎏	㏄
㎡	㍻	〝	〟	№	㏍
℡	㊤	㊥	㊦	㊧	㊨
㈱	㈲	㈹	㍾	㍽	㍼
∮	∑	∟	⊿		

※ 入力できる記号は実際の表示と多少異なります。

■顔文字一覧

ハッピー

- (*^^*)
- (^^)
- (^-^)
- (^^)v
- (^-^)v
- (^_^)
- (^_^)v
- (^o^)
- (^o^)v
- ＼(^^)／
- ＼(^-^)／
- ＼(^_^)／
- ＼(^o^)／
- (^.^)
- (^^)/
- (^-^)/
- (^^)d
- :-)
- :->
- ;-)
- (^—^)
- (^〇^)
- (￣—￣)
- (⌒-⌒)
- o(^o^)o
- p(^^)q
- p(^-^)q
- q(^-^q)
- d=(^o^)=b
- (^-^)ノ∠※。.:*:・'°☆
- (^w^)
- (*´ω｀*)
- (*´∀｀)
- (ノ´∀｀*)
- (´∀｀)
- (´,_ゝ`)
- (o´∀`o)
- (＾∀＾)
- (￣▽￣)
- (〃▽〃)
- (・∇・)
- (☆∀☆)
- (v^-°)♪
- ("⌒∇⌒")
- (#^.^#)
- ((o(^∇^)o))
- ((o(￣—￣)o))
- (*^.^*)
- (*^。^*)
- (*^-^*)
- (*^—^)ノ♪
- (*^_^*)
- (*^▽^)/★*☆♪
- (*^▽^*)
- (*^¬^*)
- (*^0^*)
- (*￣—￣)
- (*￣∇￣)ノ
- (*￣∇￣*)
- (*´-`)
- (*´—｀*)
- (*´∀`)♪
- (*´∇｀*)
- (*≧∀≦*)
- (*ノ▽ノ)
- (。^。^。)
- (。-∀-)
- (///∇///)
- (///ω///)♪
- (//∇//)
- (／▽＼)♪
- (^〇^)
- (^^)b
- (^∇^)
- (＾◇＾)
- (^◇^)

ハッピー

- (^0^)
- (~▽~@) ♪♪♪
- (￣∇￣*)ゞ
- (´∇｀)
- ('-'*)♪
- (〃⌒∇⌒〃)
- (〃^—^〃)
- (〃∇〃)
- (〃⌒—⌒〃)ゞ
- (〃ω〃)
- (° ∇^d)!!
- (≡^∇^≡)
- (≧∇≦)
- (≧▽≦)
- (° ▽° *)
- (●^o^●)
- (°▽°)
- (o^—^o)
- (o＾・＾o)
- (o^0^o)
- (o≧▽°)o
- (o⌒∇⌒o)
- (p^-^)p
- (σ≧▽≦)σ
- ＼(^.^)／
- 《*≧∀≦》
- ♪(/ω＼*)
- ♪ヽ(´▽｀)/
- d(^-^)
- d(⌒—⌒)!
- o(*⌒—⌒*)o
- o(^-^o)(o^-^)o
- O(≧∇≦)O
- v(^o^)
- v(・∀・*)
- Ψ(￣∇￣)Ψ
- ヘ(≧▽≦ヘ)♪
- ヽ(*´▽)ノ♪
- ヾ(@° ▽° @)ノ
- ヽ(^。^)ノ
- ヽ(^〇^)ノ
- ヽ(￣▽￣)ノ
- ヽ(・∀・)ノ

悲しい

- (;_;)
- (;o;)
- (T_T)
- (ToT)
- (TT)
- (T-T)
- (..)
- :-(
- X-<
- (/_;)/~~
- (;_;)/~~~
- (´д｀|||)
- (。>д<)
- m(。≧Д≦。)m
- (´・ω・`)
- (´_ゝ`)
- (´・c_・`)
- (；∀；)
- (TДT)
- (´△｀)
- (ノД`)…
- ((T_T))
- (*ToT)
- (._.)
- (。´Д⊂)
- (／。＼)
- (/—￣;)
- (/_;)
- (／_;)/
- (/´△`＼)
- (/o＼)
- (;;)
- (;-;)
- (;_・)
- (;__q)
- (;O;)
- (;つД｀)
- (´；ω；`)
- ° ° (´O｀)°°
- (T.T)
- (T^T)
- (T__T)
- (T△T)
- (T▽T)
- (T0T)
- (つд；*)
- (ノ_<。)
- (ノ_・,)
- (ノ_・。)
- 。・° °(ノД`)
- ・° ・(つД｀)・° ・
- ・・・(；´Д｀)
- o(T□T)o
- orz
- ρ(・・、)
- Σ(ノд<)

びっくり

- (*_*)
- :-O
- (° □°)
- (° □° ;
- (/--)/
- (° ロ° ;ノ) ノ
- Σ(° Д°)
- (；´_ゝ`)
- ！！(° □° ノ)ノ
- ！Σ (￣□￣;)
- ！Σ(×_×;)!
- (；° Д°)
- (° o°)
- (((((((・・;)
- (((((° ° ;)
- ((((；° Д°)))
- (*_*;
- (*° Q° *)
- (° .°)
- (／□°)／
- (;° °)
- (° ° ;)
- (° 〇° ;)
- (° 〇° ;)?????
- (；° ∀°)
- (;° ∇°)
- (；・∀・)
- (；・ω・)
- (;° 0°)
- (@_@)
- (@_@;)
- (@￣□￣@;)！！
- (° _°)
- (° _° ;)
- (||° Д°)
- (~0~;)
- (￣□||||！！
- (￣□￣;)!!
- (￣0￣;
- (￣0￣)
- (〇_〇) ！！
- (◎-◎;)
- (°Д°)
- (・。・)
- (・。・;
- (・_・)
- (・o・)
- (° m° ;)
- (° O° ;
- (° д°)
- (ノ° o°)ノ
- (ノ￣o￣)ノ
- ＼(>_<)／
- ＼(◎o◎)／
- ＼(° o° ;)/
- ＼(° □＼)(／□°)／
- w(° o°)w
- Σ(￣□￣|||)
- Σ(´□｀;)
- Σ(-∀-；)
- Σ(T▽T;)
- ヘ(° o°;)ノ

困る

困る		
(*_*)	(-.-)	(--;)
(^^;	(^-^;	(^_^;)
(^o^;)	(-_-;)	(>_<)
(・・;)	f(^^;	f(^_^;
f(^_^)	X-<	(((^^;)
(((^_^;)	(((・・;)	(;´д`)
(^^;)))	(^^ゞ	(^-^ゞ
(^_^;)))	(^_^ゞ	(^o^ゞ
(￣▽￣;)	(´Д`)	_(^^;)ゞ
┐('～`;)┌	f(^—^;	σ(^_^;)?
(´д`lll)	。。(〃_ _)σ‖	
(；´∀`)	(-_・)?	
(・◇・)?	(-""-;)	
(——;	(——;)	
((／＿；)／)	(—_—;)	
(*_*;	(-。-;)	
(/≧◇≦＼)	(";)	(;゜゜)
(゜゜;)	(゜〇゜;)	
(゜゜;)(。。;)	(゜〇゜;)?????	
(;^_^A	(;￣—￣A	
(；￣Д￣) ?	(;>_<;)	
(；゜∀゜)	(;゜∇゜)	
(；・∀・)	(；・ω・)	
(;A´▽`A	(?_?)	(@_@;)
(^。^;)	(^^;)	(^-^;)
(^^;)(;^^)	(^^;;	(^—^;A
(^_^;	(^o^;	('_'?)
(~_~;)	(~O~;)	(~Q~;)

困る

困る			
(¨;)	(￣～￣；)	(￣0￣;)	
(￣0￣;	(´▽`；)ゞ		
(´・ω・`)?	(´-ω-`)		
(´Д`lll)	(>.<)	(>_<")	
(><)	(>o<")	(×_×)	
(◎-◎;)	(・。・;	(・＿・;	
(・_・;	(・_・?)	(・・?	
(-o-)	(-o-;)		
?!(・◇・;)?	?(・_・;?		
＼(+_<)/	^^;	^-^;	^_^;
┐(-。ー;)┌	┐(-。-;)┌		
┐(￣ヘ￣)┌	┐(´д`)┌		
f(^^;)	f(^_^;)	orz	
σ(￣∇￣;)	ヽ(´o`;		

怒る

怒る			
(-.-)	(-_-)	:-(	:-<
(￣^￣)	ゞ(')、	(#゜Д゜)	
(・ε・)	(-""-;)	(#`皿´)	
(#￣3￣)	(((￣へ￣井)		
(ー。ー#)	(*`Д´)ノ!!!		
(-_-#)	(`_´メ)	(``)	
(`□´)	(`Δ´)	(`へ´)	
(`へ´*)ノ	(`ロ´;)		
(￣へ￣メ)	(=`ェ´=)		
(・ε・`)	('ε'*)		
(ノ-_-)ノ~┻━┻			
(ノ`△´)ノ	<(`^´)>		
o(`^´*)	ι(`ロ´)ノ	Σ(￣皿￣;;	
ゞ(`´)			

あいさつ

あいさつ		
(^^)/	(^-^)/	(^_^)/
(^o^)/	m(__)m	
(-.-)Zzz・・・・	(/_;)/~~	
(;_;)/~~~	(^^ゞ	(^-^ゞ
(^_^)/~~	(^_^ゞ	(^∧^)
(^3^)/	(^o^)／~~	(^o^ゞ
(^人^)	(-_-)/~~~	
(⌒0⌒)／~~	＼(__)	
(*・∀・*)ノ	(^-^)ゝ゛	
m(。≧Д≦。)m	(o´∀`o)ノ	
('—')/~~	(￣—￣)ノ	
(*・ω・)ノ	(´∀`)/~~	
(v^-゜)♪	(--)//~	
(*^—゜)ノ	(*゜ー゜)ゞ⌒☆	
(*^^*ゞ	(*^—^)ノ♪	
(*^▽^)/★*☆♪	(*￣∇￣)ノ	
(*￣▽￣)ノ~~♪	(*´∀`)ノ	
(*゜▽゜)_□		
(*・x・)ノ~~~♪		
(。・。・)ノ	(。・_・。)ノ	
(。・x・)ゞ♪	(。・ω・。)ゞ	
(／。＼)	(／0￣)	(/o＼)
(；_；)/~~		
(@^^)／~~~		
(@^^)/~~~	(@^^@)／	
(@^▽゜@)ゞ	(^.^)/~~~	
(^.^)ノ	(^^)/~~~	(^—゜)ノ
(^—^)ノ	(^o^)／	(^O^)／

あいさつ

あいさつ	
(-_-).。oO	(-_-)zzz
(`ー´ゞ-☆	(`◇´)ゞ
(￣ー￣ゞ—☆	(￣▽￣)ゞ
(￣0￣)/	(￣q￣)zzz
(´ー`)ノ	(´・ω・`)/~~
('—')/~~	('-'*)♪
(+.+)(-.-)(__)..zzZZ	(>_<)/~~
(><*)ノ~~~~~	
(⌒∇⌒)ノ"	(⌒∇⌒)ノ""
(゜◇゜)ゞ	(・∀・)ノ
(・ω・)ノ	(・ω・`=)ゞ
(・д・)ノ	(-o-)/
(o゜◇゜)ゝ	(o・・o)/~
＼(´O`)／	＼(・o・)／
_(..)_	_(._.)_
|^▽^)ノ	<(_ _*)>
☆⌒(*^∇゜)v	
♪(o・ω・)ノ))	♪v(*'-^*)^☆
♪Ю—(^▽^o)♪	m(._.)m
m(。_。)m	人(￣ω￣;)
ヾ(*T▽T*)	ヾ(´ー`)ノ
ヾ(・◇・)ノ	

アクション		
☆(゜o(○=(゜o゜)o		
☆￣(>。☆)	☆≡(>。<)	
☆⌒（＊＾∇゜）v		
☆⌒(>。≪)	☆○(゜o゜)o	
♀_(`O`)♪	♪(#^ー°)v	
♪(〃∇〃)ノ由☆		
♪(o・ω・)ノ))	♪～(・ε・)	
♪ヽ(´▽｀)/	♪v(*'-^*)^☆	
♪Ю−(^▽^o)♪	c(>_<。)シ*	
C=C=＼(;・_・)／	d(^-^)	
d(⌒ー⌒)!	L('▽')／	m(._.)m
m(。_。)m	o(*￣○￣)ゝ	
o(*⌒−⌒*)o	o(*⌒O⌒)b	
o(^-^o)(o^-^)o	o(____*)Zzz	
o(｀^´*)	o(￣ー￣)○☆	
o(><;)(;><)o	o(T△T=T△T)o	
v(^o^)	v(￣Д￣)v	
v(=∩_∩=)	v(・∀・*)	
゜゜゜゜゜-y(^。^)。o0○		
ε-(´ー`*)	ε=（￣。￣）	
ε=ε=(ノ≧∇≦)ノ		
ε=ε=┏(・_・)┛		
ρ(^o^)b_♪♪	ρ(ーoー)♪	
σ(*´∀｀*)	σ(^_^)	σ(￣∇￣;)
σ(´・д・｀)	σ(≧ω≦*)	
σ(・_・)	σ(o・ω・o)	
φ(・・;	Ψ(￣∇￣)Ψ	
щ(゜▽゜щ)	ヘ(^^ヘ)	

アクション		
ヘ(_ヘ)☆＼(^^;)		
ヘ（x_x；）ヘ	ヘ(・。・。)	
ヘ(・・ヘ)。。		
ヘ(・o・三・o・)ヘ		
三(lll´Д｀)	三(゜∀゜)	
ヽ（´ー｀）ノ⌒○		
ヽ(*´▽)ノ♪	ヾ(--;)	
ヾ(^^ヘ)	ヽ(^○^)ノ	ヽ(^o^;)ノ
ヾ(^o^ゝ)≡(/^_^)/"	ヾ(｀´)	
ヽ(￣▽￣)ノ	ヽ(´ー`)ノ	
ヾ(´▽｀*)ゝ	ヽ(´・`)ノ	
ヽ(´o｀;	ヾ(¬。¬)	
ヾ(・・;)	ヾ(・o・*)シ	
ヾ(゜0゜*)ノ?		

ラブ・友情		
(^3^)/	(^з^)-☆	
(*^)(*^-^*)ゞ		
(*^-^)／＼(*^-^*)／＼(^-^*)		
(*^3(*^o^*)	(*＾3＾)/～☆	
(*^o^)／＼(^-^*)	(*⌒3⌒*)	
(--、)ヾ(^^)	(／＼)＼(^o^)／	
(^^)／＼(^^)		
（＾＾）人（＾＾）	(^3^)/～☆	
(´3｀)	(・∀・)人(・∀・)	

動物・キャラクタ		
(ΦωΦ)	(゜)#))<<	(゜)))<<
(゜))<<	(-)_(-)	(=^エ^=)
(≡・x・≡)	.。o○	
～～～～～(m--)m		
~>゜)ーーー	￣(=∵=)￣	
<゜)#)))彡	<゜)))彡	<*))>=<
<+))))><<	<+)))><<	<+))><<
>゜))))彡	>゜)))彡	>゜))彡
⊂(^(工)^)⊃	⌒(ё)⌒	
○o。.	☆ミ	U^ェ^U

※入力できる顔文字は実際の表示と多少異なります。

■ 絵文字一覧

顔・表情

気持ち・からだ

VS zzz ! ? !! !?

生き物・星座

食べ物・飲み物

● 実際の表示と多少異なります。

● 絵文字を他社携帯電話やパソコンなどに送信すると、一部他社の絵文字に変換されたり、受信側で正しく表示されないことがあります。また、auの異なる携帯電話に送信した場合、auの旧絵文字に変換される場合があります。

● 他社の携帯電話に送信した場合に変換される絵文字の対応表は、以下のホームページでご案内しております。

パソコンから→ http://www.au.kddi.com/email/emoji/index.html

※サイト内の「絵文字対応表」を選択すると対応表の確認ができます。

ご不要になったケータイや取扱説明書はお近くのauショップへ

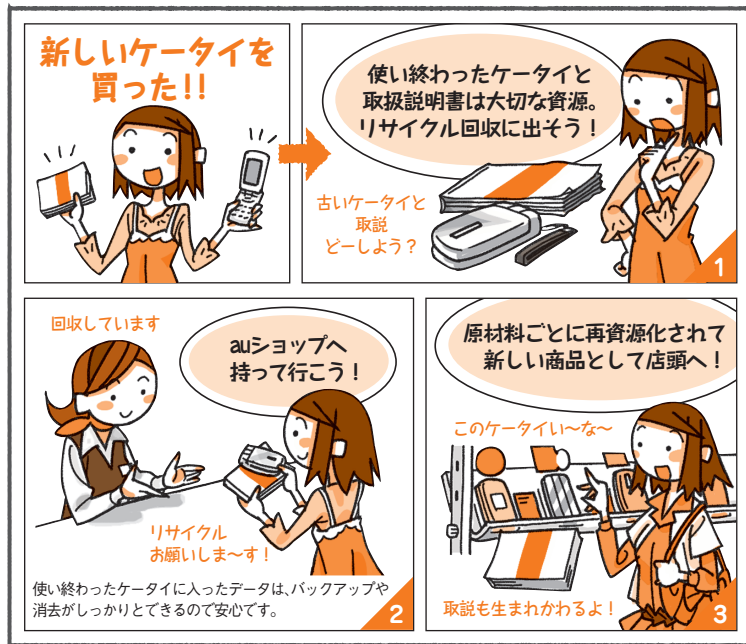
大切な地球のために、
一人ひとりができること。

それは、たとえばケータイや取扱説明書のリサイクルという、とても身近なことから始められます。

ケータイの本体や電池に含まれている希少金属や、取扱説明書などの紙類はリサイクルすることができます。
取扱説明書などの紙類は古紙原料として、製紙会社で再生紙となり、次の印刷物に生まれ変わります。また、このリサイクルによる資源の売却金は、国内の森林保全活動に役立てています。

ご不要になったケータイや取扱説明書は、お近くのauショップへ。
みなさまのご協力をお願いいたします。

ご不要になったケータイや取扱説明書は
お近くのauショップへ

http://www.au.kddi.com/notice/recycle/index.html

お問い合わせ先番号

お客さまセンター

総合・料金について（通話料無料）

一般電話からは
0077-7-111

au電話からは
局番なしの157番

PRESSING ZERO WILL CONNECT YOU TO AN OPERATOR
AFTER CALLING 157 ON YOUR au CELLPHONE.

紛失・盗難時の回線停止のお手続き、
操作方法について（通話料無料）

一般電話からは
0077-7-113

au電話からは
局番なしの113番

上記の番号がご利用になれない場合、下記の番号に
お電話ください。（無料）

0120-977-033（沖縄を除く地域）

0120-977-699（沖縄）

安心ケータイサポートセンター

紛失・盗難・故障について（通話料無料）

一般電話／au電話から
0120-925-919

受付時間　9:00〜21:00（年中無休）

取扱説明書リサイクルにご協力ください。
KDDIではこのマークのあるauショップで回収した
紙資源を、製紙会社と協力し、国内リサイクル活動
を行っています。

携帯電話・PHS事業者は、環境を保護し、貴重
な資源を再利用するためにお客様が不要と
なってお持ちになる電話機・電池・充電器を、
ブランド・メーカーを問わず マークのある
お店で回収し、リサイクルを行っています。

2012年10月第1版

発売元：KDDI（株）・沖縄セルラー電話（株）
製造元：京セラ株式会社